国際コミュニケーション学科＜平成29年度以前入学生対象＞シラバス一覧

科目区分		授業科目	授業の方法	単位表		1年				2年			
				必修	選択	準備	導入	実践	検証	定着	応用	発展	完成
基礎教育科目		社会人基礎入門A（地域と大学・ASP）	講義		1	○	○						
		茶道文化Ⅰ（社会人基礎入門B）	演習	1		○	○						
		茶道文化Ⅱ	演習	1					○				
		茶道文化Ⅲ	演習	1						○	○		
		茶道文化Ⅳ	演習	1								○	○
		心理学概論	講義		2								○
		長崎研究	講義	1			○						
		MS office 演習Ⅰ	演習		1	○	○						
		MS office 演習Ⅱ	演習		1					○	○		
		スポーツ実習	実習		1	○			○				
専門教育科目	コミュニケーション	外国語Ⅰ	講義	2			○						
		外国語Ⅱ	講義	2						○	○		
		ライティング＆グラマーⅠ	講義		2				○				
		ライティング＆グラマーⅡ	講義		2							○	
		英会話Ⅰ	演習	2		○	○						
		英会話Ⅱ	演習	1					○				
		英会話Ⅲ	演習		2					○	○		
		英会話Ⅳ	演習		2							○	○
		韓国語Ⅰ	講義		2	○	○						
		韓国語Ⅱ	講義		2						○		
		韓国語会話	演習		1				○				
		中国語Ⅰ	講義		2	○	○						
		中国語Ⅱ	講義		2						○		
		中国語会話	演習		1				○				
		外国語検定Ⅰ	講義		2	○							
		外国語検定Ⅱ	講義		2					○			
		総合日本語A	講義		2			○					
		総合日本語B	講義		2			○					
		日本語Ⅰ	講義		2	○							
		日本語Ⅱ	講義		2								
		日本語会話Ⅰ	演習		2	○	○						
		日本語会話Ⅱ	演習		1								
		日本語会話Ⅲ	講義		2								
		日本語会話Ⅳ	講義		2								
		外国語Ⅲ	講義		2								
		中国語Ⅲ	講義		2								
		韓国語Ⅲ	講義		2								
	多文化理解	外国文化事情	講義	2		○	○						
		比較文化研究	講義		2					○			
		異文化理解演習	演習		1	○	○						
		国際・時事研究	講義		2						○		
		外国語アクティブラーニング	演習		1							○	○
	キャリアデザイン	キャリアガイダンス	講義	2		○	○						
		キャリアプランニング	講義	2						○	○		
		アカデミックライティング	講義	2								○	
		ビジネス文書	演習		2	○	○						
		ビジネスマナー	講義		1	○	○						
		ホテル業論	講義		2		○						
		ホスピタリティビジネス	講義		2							○	
		グローバル・リーダーシップ	講義		2				○				
		児童英語教授法	講義		2						○		
		日本語教授法	講義		2							○	○

科目区分		授業科目	授業の方法	単位表		1年				2年			
				必修	選択	準備	導入	実践	検証	定着	応用	発展	完成
専門教育科目	課題解決	Awedome Sasebo! Ⅰ（準備）	演習	1		○							
		Awedome Sasebo! Ⅱ（導入）	演習	1			○						
		Awedome Sasebo!Ⅲ（検証）	演習	1					○				
		Awedome Sasebo!Ⅳ（定着）	演習	1						○			
		Awedome Sasebo! Ⅴ（応用）	演習	1							○		
		Awedome Sasebo!Ⅵ（発展）	演習	1								○	
		Awedome Sasebo!Ⅶ（完成）	演習	1									○
	ギャップイヤー	ギャップイヤー事前指導	講義	2		○	○						
		海外文化事情（留学）Ⅰ（アジア圏短期研修）	実習		2			○					
		海外文化事情（留学）Ⅱ（英語圏短期研修）	実習		2			○					
		海外文化事情（留学）Ⅲ（中期研修）	実習		6			○		○			
		インターンシップⅠ	実習		2			○					○
		インターンシップⅡ	実習		2			○		○			
		インターンシップⅢ	実習		2			○					○
		インターンシップⅣ	実習		2							○	
		実践Awedome Sasebo!（サービスラーニング）Ⅰ	実習		2			○					
		実践Awedome Sasebo!（サービスラーニング）Ⅱ	実習		2			○					
		実践Awedome Sasebo!（サービスラーニング）Ⅲ	実習		2			○					
		実践Awedome Sasebo!（サービスラーニング）Ⅳ	実習		2			○					
		ギャップイヤー事後指導	講義	2					○				
		卒業研究	講義	2									○
合計				33	94								

卒業要件

学生が卒業するためには、短期大学に2年以上在学し、本学が設定した授業科目を履修し、次の各号に定める単位を修得すること。

一　基礎科目については、必修5単位を含め8単位以上
二　専門教育科目「コミュニケーション」については、必修7単位を含め11単位以上
三　専門教育科目「多文化理解」については、必修2単位を含め5単位以上
四　専門教育科目「キャリアデザイン」については、必修6単位を含め11単位以上
五　専門教育科目「課題解決」については、必修7単位以上
六　専門教育科目「ギャップイヤー」については、必修4単位を含め8単位以上
七　専門教育科目「卒業研究」については、必修2単位以上
八　自由選択※10単位以上
九　基礎教育科目、専門教育科目、自由選択科目の合計が62単位以上
※自由選択とは、それぞれの領域の最低修得単位数を超えて修得した単位、単位互換制度によって修得した単位を指す。

講義科目名称：社会人基礎入門Ａ（地域と大学・ＡＳＰ）　　授業コード：44101　44121

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	１単位	必修
担当教員			
安部　恵美子			

講義概要	講義や講話および地域の方々や仲間との交流等を通じて、長崎短期大学生及び地域の一員としての自覚を深め、社会人としての基本的な教養を培っていく。
授業計画	１　（４月６－８日）長崎短期大学での学び１ オリエンテーション ２　（４月１２日）長崎短期大学での学び２（安部恵美子学長） 建学の精神及び本授業開設の意義を理解する。 学習課題　復習：配布プリント等を再度読み直す。 予習：学生便覧の学生生活要綱を読んで理解しておくおこと。 ３　（４月１９日）長崎短期大学での学び３（教務委員長、学生委員長） 「短大での学びかた」および「短大での決まりや社会人としての基本的な生活習慣」について理解する。 学習課題　復習：配布プリント等を再度読み直すこと 予習： ４　（４月２６日）長崎短期大学での学び４　（図書館司書　岩崎先生） 図書館・インターネットによる情報収集の方法を理解する。 学習課題　復習：配布プリント等を再度読み直すこと 予習： ５　（４月２８日）仲間作り 新入生歓迎イベントを通じてさまざまな分野の仲間と交流する。 ６　（５月１０日）長崎短期大学での学び５ 自分の主張をきちんと文章で表現する。（小論文テスト） ７　（５月１７日）大人になるために１（１８歳選挙権）　（橘之口裕太佐世保市議会議員） １８歳で選挙権を得るにあたって、選挙・議員活動等について理解する。 学習課題　復習：配布プリント等を再度読み直すこと 予習： ★市議会日程によって変わる可能性有り ８　（５月２４日）Awesome Sasebo １（食物科、保育学科）（食物科教員、保育学科教員） 昨年度、食物科、保育学科で行った　Awesome Sasebo　の内容を聞き、ASP(Awesome Sasebo Project)の意義について理解する。 学習課題　復習：配布プリント等を再度読み直すこと 予習： ９　（５月３１日）Awesome Sasebo ２（国際コミュニケーション学科、茶道文化）（国際コミュニケーション学科教員、茶道文化教員） 昨年度、国際コミュニケーション学科、茶道文化で行った　Awesome Sasebo　の内容を聞き、ASP(Awesome Sasebo Project)の意義について理解する。 学習課題　復習：配布プリント等を再度読み直すこと 予習： １０　（６月７日）大人になるために２ 金融の基礎知識（仮題） （仮）現代社会における金融の基本的な知識について理解する。 学習課題　復習：配布プリント等を再度読み直すこと 予習： １１　（６月２２日）大人になるために２（メディア・リテラシー）（小浦先生） 情報社会において留意すべきこと及びインターネット・トラブルなどの対応について理解する。 学習課題　復習：配布プリント等を再度読み直すこと 予習： １２　（６月２１日）Awesome Sasebo ３（防犯講話）　（相浦警察署生活安全課） 自分たちの生活および地域の防犯、交通安全について理解する。 学習課題　復習：配布プリント等を再度読み直すこと 予習： １３　（６月２８日）Awesome Sasebo ４（佐世保市の観光の現状）　（佐世保市観光商工部観光課） 佐世保市の概要及び観光事業について理解する。

	学習課題　復習：配布プリント等を再度読み直すこと 予習： １４　（７月５日）大人になるために４（保健講話）　（佐世保市保健師、長崎県障害福祉課） 生涯にわたる自分の身体の管理及びさまざまな依存症対策（アルコール・薬物・ギャンブル）について理解する。 学習課題　復習：配布プリント等を再度読み直すこと 予習： １５　（７月１２日）大人になるために５（認知症サポーター養成講座）（佐世保市役所） 認知症に関する基礎的な知識を理解する。（厚労省認知症対策の国家戦略『新オレンジプラン』の施策の一つ） 学習課題　復習：配布プリント等を再度読み直すこと 予習：
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①長崎短期大学の建学の精神が理解できる。 ②長崎短期大学での学びについて理解し、２年間の学習及び生活の計画を立てることができる。 ③地元である長崎県及び佐世保市のことを学び、地域の一員としての自覚を深めることができる。 ④社会人への準備段階としての知識を学び、大人になるための自覚を深めることができる。 ⑤さまざまな分野の仲間と交流し、協調性、コミュニケーション能力、課題解決力を身につけることができる。 授業態度及び授業への意欲（40%）およびレポート等（60%）で総合的に評価する。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：なし（必要に応じて担当教員が補助教材を準備する。） 参考書：適宜指示する。
履修条件	
履修上の注意	講義日程は担当者の都合によって入れ替わることがある。 毎回の資料はファイルに綴じ込み、適宜復習すること。
オフィスアワー	各授業担当者の講義終了後。
備考・メッセージ	座席は決められた場所に着くこと。

講義科目名称：社会人基礎入門Ａ（地域と大学・ＡＳＰ）　　授業コード：33152

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1st ＆ 2ndQ	１年	１単位	必修
担当教員			
岩﨑　千恵			

講義概要	講義や講話および地域の方々や仲間との交流等を通じて、長崎短期大学生及び地域の一員としての自覚を深め、社会人としての基本的な教養を培っていく。
授業計画	１　（４月６－８日）長崎短期大学での学び１ オリエンテーション ２　（４月１０日）長崎短期大学での学び２（安部恵美子学長） 建学の精神及び本授業開設の意義を理解する。 学習課題　復習：配布プリント等を再度読み直す。 予習：学生便覧の学生生活要綱を読んで理解しておくおこと。 ３　（４月１７日）長崎短期大学での学び３（教務委員長、学生委員長） 「短大での学びかた」および「短大での決まりや社会人としての基本的な生活習慣」について理解する。 学習課題　復習：配布プリント等を再度読み直すこと 予習：学校のネットに接続できるようにしておくこと ４　（４月２４日）長崎短期大学での学び４　（図書館司書　岩崎先生） 図書館・インターネットによる情報収集の方法を理解する。 学習課題　復習：配布プリント等を再度読み直すこと 予習：多くの人と自己紹介できるようにしておく ５　（４月日）仲間作り 新入生歓迎イベントを通じてさまざまな分野の仲間と交流する。 ６　（５月８日）長崎短期大学での学び５ 自分の主張をきちんと文章で表現する。（小論文テスト） ７　（５月１５日）大人になるために１（１８歳選挙権）　（橘之口裕太佐世保市議会議員） １８歳で選挙権を得るにあたって、選挙・議員活動等について理解する。 学習課題　復習：配布プリント等を再度読み直すこと 予習：本学HPでAPについて事前学習をする ★市議会日程によって変わる可能性有り ８　（５月２２日）Awesome Sasebo １（食物科、保育学科）（食物科教員、保育学科教員） 昨年度、食物科、保育学科で行った　Awesome Sasebo　の内容を聞き、ASP(Awesome Sasebo Project)の意義について理解する。 学習課題　復習：配布プリント等を再度読み直すこと 予習：本学HPでAPについて事前学習をする ９　（５月２９日）Awesome Sasebo ２（国際コミュニケーション学科、茶道文化）（国際コミュニケーション学科教員、茶道文化教員） 昨年度、国際コミュニケーション学科、茶道文化で行った　Awesome Sasebo　の内容を聞き、ASP(Awesome Sasebo Project)の意義について理解する。 学習課題　復習：配布プリント等を再度読み直すこと 予習：金融に関しての知識を得ておく １０　（６月５日）大人になるために２　金融の基礎知識（仮題） （仮）現代社会における金融の基本的な知識について理解する。 学習課題　復習：配布プリント等を再度読み直すこと 予習：新聞などからインターネットのトラブルについて調べておく １１　（６月１２日）大人になるために２（メディア・リテラシー）（小浦先生） 情報社会において留意すべきこと及びインターネット・トラブルなどの対応について理解する。 学習課題　復習：配布プリント等を再度読み直すこと 予習：自分の住まう地域情報になにがあるか見ておく １２　（６月１９日）Awesome Sasebo ３（防犯講話）　（相浦警察署生活安全課） 自分たちの生活および地域の防犯、交通安全について理解する。 学習課題　復習：配布プリント等を再度読み直すこと 予習：佐世保市のHPで観光について調べておく １３　（６月２６日）Awesome Sasebo ４（佐世保市の観光の現状）　（佐世保市観光商工部観光課） 佐世保市の概要及び観光事業について理解する。

	学習課題　復習：配布プリント等を再度読み直すこと 予習：依存症について調べておく １４　（７月３日）大人になるために４（保健講話）　（佐世保市保健師、長崎県障害福祉課） 生涯にわたる自分の身体の管理及びさまざまな依存症対策（アルコール・薬物・ギャンブル）について理解する。 学習課題　復習：配布プリント等を再度読み直すこと 予習：佐世保市の認知症に関する取り組みを調べておく １５　（７月１０日）大人になるために５（認知症サポーター養成講座）（佐世保市役所） 認知症に関する基礎的な知識を理解する。（厚労省認知症対策の国家戦略『新オレンジプラン』の施策の一つ） 学習課題　復習：配布プリント等を再度読み直すこと
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①長崎短期大学の建学の精神が理解できる。 ②長崎短期大学での学びについて理解し、２年間の学習及び生活の計画を立てることができる。 ③地元である長崎県及び佐世保市のことを学び、地域の一員としての自覚を深めることができる。 ④社会人への準備段階としての知識を学び、大人になるための自覚を深めることができる。 ⑤さまざまな分野の仲間と交流し、協調性、コミュニケーション能力、課題解決力を身につけることができる。 授業態度及び授業への意欲（40%）およびレポート等（60%）で総合的に評価する。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：なし（必要に応じて担当教員が補助教材を準備する。） 参考書：適宜指示する。
履修条件	
履修上の注意	講義日程は担当者の都合によって入れ替わることがある。 毎回の資料はファイルに綴じ込み、適宜復習すること。
オフィスアワー	火曜日（14：50ー16：30）
備考・メッセージ	座席は決められた場所に着くこと。

講義科目名称：社会人基礎Ｂ（茶道文化Ｉ）　　授業コード：12151　13133　14131　21131　22121　42141　43151　53151　54111

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	１単位	必修
担当教員			
安部　直樹・嶋内　麻佐子・萩原　宏美			

講義概要	①茶室は神聖な場所であることを理解する。茶の心を学び、先生を敬い、相手を思いやり、自らを慎む。 ②礼法（座礼、立礼）を覚える。和室での心得を学ぶ。（毎回反復練習をする。） ③茶室に必要な道具名を覚える。点前道具の名称を覚える。道具を大切に扱う。 ④風炉薄茶点前を一人で出来るようになる。 ⑤茶の歴史を学ぶ。鎮信流について学ぶ。
授業計画	1　日本の礼法①・本学における茶道文化について 【学習課題】茶室「不文軒」に来る時は白ソックス、筆記用具を持って来て下さい。 【禅語】「和敬清寂」 【ワンポイント】 ①教科書、学習帳、服紗ばさみ（名前を書く） ②服紗ばさみの中の説明を受ける（扇子、服紗、出し服紗、菓子切り、懐紙、服紗ばさみ） 【授業内容】 ①本学における茶道の考え方について（教科書P1～P2） ②和・敬・清・寂について（教科書P2～P6） ③茶道文化の意義（教科書P7～P12） ④準備当番、茶室での約束事 ⑤玄関での心得について、茶室の入り方を学び体験する （手荷物、靴の脱ぎ方、床の拝見について） ⑥座礼（双手礼・爪甲礼）・立礼（会釈・敬礼・最敬礼）　について学び体験する 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する ③規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する 2　日本の礼法②・座礼、立礼について（お辞儀の仕方） 【学習課題】予習：ドリル（一般常識：誤字訂正） 復習：四規、茶道文化の意義、服紗ばさみの中 【禅語】「看却下」 【ワンポイント】 ①正しい靴の脱ぎ方 ②身だしなみ ③和室で踏んではいけないもの ④席入り、退席の仕方 ⑤座礼・立礼について 【授業内容】 ①風炉薄茶点前（見本・説明） ②服紗の畳み方、扱い方を学ぶ（教科書P53～P55） ③班に分かれて体験する ④服紗の付け方(帯の替わりにベルト使用）・捌き方 ⑤挨拶の仕方・礼法（座礼・立礼）・歩き方（半畳3歩） ⑥靴の脱ぎ方・席入り・退席の仕方 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する ③規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する 3　風炉薄茶点前①・道具の説明 【学習課題】予習：ドリル（一般常識：慣用句）　　復習：礼法、和室で踏んではいけないもの 【禅語】「洗心」 【ワンポイント】 ①雑巾の絞り方、拭き方、掃除機の掛け方 ②茶道具の説明（教科書P37～P50） 【授業内容】 ①茶道具の準備と後片付けについて学ぶ ②仕込み茶碗の仕方を学び体験する（教科書P60-P61） ③服紗の扱い・棗の清め方・茶杓の清め方を体験する（教科書P53～P57） 【社会人基礎力】 ①実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む

		②傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する ③規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する
	4	風炉薄茶点前②・茶巾の絞り方、茶巾のさばき方、仕込み茶碗の仕方、道具の清め方を体験する 【学習課題】予習：ドリル（一般常識：適切なことば） 復習：茶道具と準備と片付けについて 【禅語】「大道無門」 【ワンポイント】 ①利休七則について　（教科書P24-P25） ②敬語について　（尊敬語、謙譲語、丁寧語） ③研究室への入り方を学び体験する 【授業内容】 ①服紗の付け方・捌き方の復習をする（教科書P53-P55） ②服紗の扱い・棗の清め方・茶杓の清め方を体験する（教科書P56-P57） ③茶巾の絞り方、茶巾さばき、仕込み茶碗の仕方を学ぶ（教科書P59-P60） 【社会人基礎力】 ①実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ②課題発見（現状を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する ③計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準儀する力） ：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる ④傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する
	5	風炉薄茶点前③・お菓子の取り方、食べ方を学び体験する 【学習課題】予習：ドリル（一般常識：敬語）　復習：利休七則について 【禅語】「喫茶去」 【ワンポイント】 ①箸の使い方について ②柄杓の持ち方、使い方を学ぶ 【授業内容】 ①お菓子の取り方、食べ方を学び体験する ②柄杓の扱い方、湯の入れ方、茶筅の扱い方、お茶の点て方、飲み方を体験する ③服紗さばき・棗の清め方・茶杓の清め方の復習をする ④道具の片付け 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ③状況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力） ：周囲から期待されている自分の役割を把握して行動する ④規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する
	6	風炉薄茶点前④・水指の置き合わせから洒を持って入るまで 【学習課題】予習：ドリル（一般常識：四字熟語）　復習：道具の準備片付けについて 【禅語】「清風匝地」 【ワンポイント】 ①上着の扱い ②訪問のマナー ③水指の置き合わせから釜の蓋を清めるまで（教科書P70-P72） 【授業内容】 ①茶道具の持ち方（水指・茶碗・棗・洒） ②道具の置き合わせ、清め方、柄杓の扱い方 ③道具の片付け 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ③状況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力） ：周囲から期待されている自分の役割を把握して行動する ④規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する
	7	風炉薄茶点前⑤・茶筅通し・茶碗の拭き方まで 【学習課題】予習：ドリル（一般常識：対義語）　復習：茶道具の持ち方、置き合わせについて 【禅語】「歩々是道場」 【ワンポイント】 ①衣替えについて ②茶筅通し・茶碗の拭き方まで（P73～P74） 【授業内容】 ①道具の置き合わせ、茶筅通しまでの練習 ②茶巾の扱い方　・茶碗の拭き方まで ③道具の片付け 【社会人基礎力】

		①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ③課題発見力（状況を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する ④規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する
	8	風炉薄茶点前⑥・抹茶の入れ方　・水指の蓋の扱い方・湯の入れ方　・茶の点て方 【学習課題】予習：ドリル（一般常識：誤字訂正２） 復習：茶筅通し・茶碗の拭き方まで（P73～P74） 【禅語】「日々是好日」 【ワンポイント】 ①「茶の種類」（緑茶・ウーロン茶・紅茶）（教科書P15-P17） ②抹茶の入れ方、水指の蓋の扱い方、湯の入れ方、茶の点て方　（P74-P75） 【授業内容】 ①お茶を点てるまでを体験する 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ③傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する ④規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する
	9	風炉薄茶点前⑦・客点前　・茶碗の取り込み方 【学習課題】予習：ドリル（一般常識：対義語２） 復習：「茶の種類」（緑茶・ウーロン茶・紅茶） 【禅語】「且座喫茶」 【ワンポイント】 ①「茶の飲み方」（団茶法・抹茶法・煎茶法）（教科書P20-P21） ②客点前　・茶碗の取り込み方（P76） 【授業内容】 ①薄茶前半復習 ②道具の片付け 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②働きかけ力（他人に働きかけ巻き込む力） ：相手を納得させるために、協力することの必然性（意義、理由、内容等）を伝える ③実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ④傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する ⑤規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する
	10	風炉薄茶点前⑧・薄茶点前前半練習 【学習課題】予習：ドリル（一般常識：特別な読み方） 復習：「茶の飲み方」（団茶法・抹茶法・煎茶法） 【禅語】「思邪無」 【ワンポイント】 ①「侘び茶」（村田珠光・武野紹？・千利休）教科書P23-P25） 【授業内容】 ①薄茶前半点前練習 ②道具の片付け 【社会人基礎力】 ①実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ②傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する ③規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する
	11	風炉薄茶点前⑨・薄茶点前前半（内検） 【学習課題】予習：ドリル（一般常識：特別な読み方２）　復習　：薄茶前半点前練習自主練習 【禅語】「明珠在掌」 【ワンポイント】 ①「試験を受ける心構え」（姿勢・位置・落ち着き） ②服装・身だしなみチェックシート記入（ドリルなし） 【授業内容】 ①風炉薄茶前半点前（内検） 【社会人基礎力】 ①実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む

②傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力）
：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する
③規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

12 風炉薄茶点前⑩・薄茶点前後半の見本
【学習課題】予習：ドリル（一般常識：特別な読み方３）
復習：「佗び茶」村田珠光・武野紹？・千利休
【禅語】「処々全真」
【ワンポイント】
①「武家茶」（古田織部・小堀遠州・片桐石州）
【授業内容】
①風炉薄茶点前後半の見本・説明
②風炉薄茶後半点前練習
③道具の片付け
【社会人基礎力】
①実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
②課題発見力（状況を分析し目的や課題を明らかにする力）
：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する
③計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力）
：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる
④規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

13 風炉薄茶点前⑪・薄茶点前練習
【学習課題】予習：点前の自主練習　　復習：「武家茶」（古田織部・小堀遠州・片桐石州）
【禅語】「？啄同時」
【ワンポイント】
①実技試験のチェックポイント
【授業内容】
①薄茶点前練習
②道具の片付け
【社会人基礎力】
①実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
②課題発見力（状況を分析し目的や課題を明らかにする力）
：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する
③規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

14 薄茶点前確認（実技試験）
【学習課題】予習：点前の自主練習　　復習：今までの復習
【禅語】「在眼前」
【ワンポイント】
①実技試験について全体説明
【授業内容】
①薄茶点前前半確認（実技試験）
実技試験を受けたら、客点前をする。　終わった順に速やかに退席する。
【社会人基礎力】
①主体性（物事に進んで取り組む力）
：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む
②実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
③課題発見力（状況を分析し目的や課題を明らかにする力）
：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する

15 平戸について学ぶ。鎮信流についてまとめる
【学習課題】予習：平戸について教科書を読む（P29-P33）　復習：学習帳のまとめ
【禅語】「一期一会」
【ワンポイント】
①平戸について学ぶ（教科書P29～P33）　DVD：平戸の映像
【授業内容】
①鎮信流についてまとめる
②自己評価
③アンケート記入
④学習帳回収
【社会人基礎力】
①実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
②課題発見力（状況を分析し目的や課題を明らかにする力）
：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する
③計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力）
：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる
④発信力（自分の意見をわかりやすく伝える力）
：事例や客観的なデータ等を用いて、具体的にわかりやすく伝える

	⑤ストレスコントロール力（ストレスの発生源に対応する力） ：ストレスの原因を見つけて、自力で、または他人の力を借りてでも取り除く
授業形態	講義と演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①茶道文化で身に付けたマナーや礼法を、茶室以外の生活の中でも実践するようになる。（アクション）：働きかけ力 ②日本の礼儀作法を学び相手を思いやる行動ができるようになる。（チームワーク）：規律性 ③日本の文化を学び、謂れなどを知り、関心を持つようになる。（シンキング）：課題発見力 ④箸の使い方や掃除の仕方を知り、実践できるようになる。（アクション）：主体性 ⑤茶の歴史を知り、自分に置き換えて行動できるようになる。（チームワーク）：状況把握 授業への参加意欲や授業態度：茶道文化の授業に積極的に参加し、講義は真面目に受けているか　15％ 授業ごとの理解度を学習帳で確認する：教科書や学習帳で予習・復習をし、講義の内容を分かりやすくまとめているか　10％ 毎回のドリルや最終回の感想文：お茶の心や鎮信流の基礎的な知識を得ているか、日常の生活に役立てているか　15％ 薄茶点前の実技の評価の観点は、正確な薄茶点前が出来るか：薄茶点前を正確にできるようになったか　60％
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：嶋内麻佐子著「茶道文化基礎編」 テキストを補う為に、必要に応じて学習帳やプリントを使用する。
履修条件	長崎短期大学に入学した本科生
履修上の注意	茶室は神聖な場所ですので、茶室に来る時は、必ず白靴下を持参して下さい。（アクション）：主体性 ＴＰＯを考え、茶室では私語は慎み、服装や髪型にも気を付けて下さい。（アクション）：働きかけ力 毎回の授業範囲を教科書や学習帳で予習、復習し、専門用語の意味など調べておいて下さい（シンキング）：課題発見力 授業開始５分前には、席入りを完了し、気持ちを鎮め授業に臨んで下さい。（アクション）：実行力
オフィスアワー	茶室不文軒での授業が入っていない空きコマは、不文軒での自主練習が可能です。 空きコマでの点前指導を行いますので、研究室に声を掛けてください。（チームワーク）：状況把握力
備考・メッセージ	茶道文化を学ぶ意義を理解し、目標を立てて授業を受けてください。（シンキング）：計画力 ①茶道を通して、相手を思いやる心を学びましょう。（チームワーク）：柔軟性 ②心を鎮めて、点前畳に座りましょう。（アクション）：実行力 ③点前を通して、清らかな精神を創りましょう。（シンキング）：計画力 ④日本古来の総合芸術に触れ、自分の感性を磨きましょう。（シンキング）：創造力 ⑤日本の伝統文化を再発見し、真の国際人を目指しましょう。（シンキング）：課題発見 ⑥日本の礼法を学びましょう。（アクション）：主体性 ⑦茶道鎮信流を通して、地域文化の発展に貢献しましょう。（チームワーク）：発信力 ⑧教師と学生との対話促進により、信頼関係を築きましょう。（チームワーク）：規律性

講義科目名称：茶道文化Ⅱ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	１単位	必修
担当教員			
安部　直樹・嶋内　麻佐子・萩原　宏美			

講義概要	①風炉薄茶点前を一人で出来る。 ②茶花について学ぶ。禅語について学ぶ。 ③大寄せの茶会の心得を学ぶことができる。茶会の客の作法を学ぶことができる。季節と客組みを学ぶことができる。 ④上座、下座を学ぶ。学んだ礼法を日常でも使うことができる。和室での立ち居振る舞いを身に付けることができる。 ⑤前年の茶道大会の映像を見て学ぶ。色々な役割を知ることができる。自分の役割の練習を行い茶道大会に参加する。
授業計画	1　風炉薄茶点前 【禅語】「清風万里秋」 【ワンポイント】 ①「煎茶の入れ方」 ②薄茶点前のポイント確認 ③茶会の流れの映像を見る。（DVD） 【授業内容】 ①煎茶の入れ方を学び体験する ②礼法・服紗捌き・道具の清め方・仕込み茶碗など復習する ③道具の片付け 【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ③課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する ④情況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力） ：周囲から期待されている自分の役割を把握して行動する 2　着物の名称を知る・着付けを学ぶ・着物の畳み方を知る 【禅語】「桂花露香」 【ワンポイント】「着物の種類」 【授業内容】 ①着物の名称を知る・着付けを学ぶ・着物の畳み方を知る① ②着物での立ち居振る舞いを体験する ③懐紙、服紗、扇子の付け方を学ぶ ④風炉薄茶点前練習 【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む 3　着物の名称を知る・着付けを学ぶ・着物の畳み方を知る 【禅語】「行雲流水」 【ワンポイント】「上座と下座」① 【授業内容】 ①着物の名称を知る・着付けを学ぶ・着物の畳み方を知る② ②着物での立ち居振る舞いを体験する ③懐紙、服紗、扇子の付け方を学ぶ ④風炉薄茶点前練習 【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む 4　着物の名称を知る・着付けを学ぶ・着物の畳み方を知る 【禅語】「別無工夫」 【ワンポイント】「上座と下座」② 【授業内容】 ①着物の名称を知る・着付けを学ぶ・着物の畳み方を知る③ ②着物での立ち居振る舞いを体験する ③懐紙、服紗、扇子の付け方を学ぶ ④風炉薄茶点前練習 【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前の自主練習を行う

【社会人基礎力】
①主体性（物事に進んで取り組む力）
：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む
②実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む

5 風炉薄茶点前
【禅語】「平常心是道」
【ワンポイント】「茶道具の扱い方」
【授業内容】
①薄茶点前のポイント確認
②風炉薄茶点前練習
【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前の自主練習を行う
【社会人基礎力】
①主体性（物事に進んで取り組む力）
：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む
②実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
③課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力）
：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する

6 風炉薄茶点前
【禅語】「耕不尽」
【ワンポイント】①「旧暦について学ぶ」（1月～6月）
②「四季と二十四節気（春から夏）」
【授業内容】
①立礼見本点前
②立礼点前練習
【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前の自主練習を行う
【社会人基礎力】
①主体性（物事に進んで取り組む力）
：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む
②実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
③課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力）
：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する

7 風炉薄茶点前・立礼点前練習
【禅語】「放下着」
【ワンポイント】①「旧暦について学ぶ」（7月～12月）
②「四季と二十四節気（秋から冬）」
【授業内容】
①風炉薄茶点前
②立礼点前練習
【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前・立礼点前練習の自主練習を行う
【社会人基礎力】
①主体性（物事に進んで取り組む力）
：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む
②実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
③課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力）
：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する
④柔軟性（意見の違いや立場の違いを理解する力）
：自分の意思を持ちながら、他人の良い意見を共感を持って受け入れる

8 茶道大会パート別練習
【禅語】「泥多仏大」
【ワンポイント】「出し服紗の畳み方・濃茶の飲み方」
【授業内容】
①茶道大会の濃茶水屋、接待、客点前などパート別の仕事内容を学ぶ
（3パートを20分ずつローテーション）
②客点前：出し服紗の使い方・濃茶の飲み方・主菓子の頂き方
③水屋：濃茶を練る
④接待：縁高や濃茶を客へ出す
【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前・立礼点前練習の自主練習を行う
【社会人基礎力】
①課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力）
：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する
②計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力）
：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる
③情況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力）
：周囲から期待されている自分の役割を把握して行動する
④規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

9 茶道大会パート別練習
【禅語】「無功徳」
【ワンポイント】「和食の基本」
【授業内容】
①茶道大会の立礼水屋、接待、客点前などパート別の仕事内容を学ぶ

		（3パートを20分ずつローテーション） ②客点前：薄茶の飲み方・干菓子の頂き方 ③水屋：薄茶を点てる ④接待：懐紙にお菓子と薄茶を客へ出す 【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前・立礼点前練習の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する ②計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力） ：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる ③情況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力） ：周囲から期待されている自分の役割を把握して、行動する ④規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する
	10	茶道大会で使用する道具について学ぶ 【禅語】「徳不弧」 【ワンポイント】「会記について」 【授業内容】 ①茶道大会の会場確認 ②茶道大会で使用する道具について学ぶ 【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前・立礼点前練習の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する ③規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する
	11	茶道の歴史について合同講義 【授業内容】茶道の歴史について合同講義 第３章　茶の湯に関わった人々（教科書P23～P28） 第４章　鎮信流の茶（教科書P29～P33） 【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前・立礼点前練習の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する ②規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する
	12	風炉薄茶点前　・立礼点前練習 【禅語】「知足」 【ワンポイント】「縁起物について」 【授業内容】 ①風炉薄茶点前②立礼点前練習 【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前・立礼点前練習の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ②課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する ③計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力） ：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる ④規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する
	13	初釜 【授業内容】初釜（点前拝見・濃茶飲み方、主菓子取り方、食べ方、裏から点て出し） ①初釜の道具組について説明を聞く ②各班に分かれて新年の抱負を述べ、学習帳 【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前・立礼点前練習の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①発信力（自分の意見をわかりやすく伝える力） ：事例や客観的なデータなどを用いて、具体的にわかりやすく伝える ②傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する ③規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する
	14	・薄茶点前練習　・学習帳まとめ 【禅語】「一以貫之」 【ワンポイント】「正月飾りについて」 【授業内容】 ①薄茶点前練習 ②襖の開け方・閉め方 ②学習帳まとめ

	【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前・立礼点前練習の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ③課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する 15　松芳忌 【授業内容】松芳忌、礼拝練習 ①経歴紹介（映像にて） ②献茶 ③教職員・学生礼拝 ④講話 ⑤松芳忌・アンケート・自己評価 【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前・立礼点前練習の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する ②情況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力） ③規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①薄茶点前の割り稽古により、一人で薄茶点前ができるようになる。　（シンキング）：計画力 ②季節の移ろいを感じるようになる。禅語の意味を理解するようになる。（シンキング）：創造力 ③茶会に関する基本的な知識を学び、理解を深めることができるようになる。（チームワーク）：　規律性 ④茶道点前を通して身に付けたマナーや作法を、学校や生活の中で役立てることができるようになる。（チームワーク）：発信力 ⑤茶道大会に参加し、自分の役割は責任を持って果たすことを目標とする。（チームワーク）：状況把握 授業への参加意欲や授業態度：茶道文化の授業に積極的に参加し、講義は真面目に受けているか。　15％ 授業の理解度：教科書や学習帳で予習、復習をし、講義の内容を分かりやすくまとめているかを学習帳で確認。　10％ 毎回の学習帳や最終回の感想文：お茶の心や鎮信流の基礎的な知識を得ているか。日常の生活に役立てているか。筆記試験　60％ 薄茶点前：薄茶点前を正確にできるようになったか。茶道大会への参加状況といった行動や感想　15％
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：嶋内麻佐子著『茶道文化基礎編』 テキストを補う為に、必要に応じて学習帳やプリントを使用する。
履修条件	茶道文化Ⅰを履修していること
履修上の注意	茶室は神聖な場所ですので、茶室に来る時は、必ず白靴下を持参して下さい。（アクション）：主体性 ＴＰＯを考え、茶室では私語は慎み、服装や髪型にも気を付けて下さい。（アクション）：働きかけ力 毎回の授業範囲を教科書や学習帳で予習、復習し、専門用語の意味など調べておいて下さい（シンキング）：課題発見力 授業開始５分前には、席入りを完了し、気持ちを鎮め授業に臨んで下さい。（アクション）：実行力
オフィスアワー	茶室不文軒での授業が入っていない空きコマは、不文軒での自主練習が可能です。空きコマでの点前指導を行いますので、研究室に声を掛けてください。（チームワーク）：状況把握力
備考・メッセージ	茶道文化を学ぶ意義を理解し、目標を立てて授業を受けてください。（シンキング）：計画力 ①茶道を通して、相手を思いやる心を学びましょう。（チームワーク）：柔軟性 ②心を鎮めて、点前畳に座りましょう。（アクション）：実行力 ③点前を通して、清らかな精神を創りましょう。（シンキング）：計画力 ④日本古来の総合芸術に触れ、自分の感性を磨きましょう。（シンキング）：創造力 ⑤日本の伝統文化を再発見し、真の国際人を目指しましょう。（シンキング）：課題発見 ⑥日本の礼法を学びましょう。（アクション）：主体性 ⑦茶道鎮信流を通して、地域文化の発展に貢献しましょう。（チームワーク）：発信力 ⑧教師と学生との対話促進により、信頼関係を築きましょう。（チームワーク）：規律性

講義科目名称：茶道文化Ⅲ　　授業コード：11112　23141　31134　32551　33551　34133　41122　44131　52551

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	１単位	必修
担当教員			
安部　直樹・嶋内　麻佐子・萩原　宏美			

講義概要	①濃茶点前の道具名を覚える。薄茶点前と濃茶点前の違いを知る。濃茶　点前の道具の使用方法を知る。 ②仕覆の扱いを覚える。水次の扱いを覚える。濃茶の練り方を学ぶ。 ③亭主と客の動きを学ぶ。相客間の心構えを学ぶ。茶花に関する知識を深めることができる。 ④武家茶について学ぶ。鎮信流発祥の地、平戸について学ぶ。鎮信流歴代の宗家を知る。 ⑤上座、下座を理解し、家庭や実習先でもマナーに気を付けるようになる。言葉遣いに気を付けるようになる。
授業計画	1　風炉濃茶点前 【禅語】「和敬清寂」 【ワンポイント】「礼儀作法・伝えたいTPO」 【授業内容】 ①茶道文化の意義　（教科書P7～P12）　再確認 ②出し服紗の畳み方確認 ③茶入の扱い方、紐の結び方 ④席入り、退席、礼法復習 ⑤茶入の紐結び 【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を丁寧に理解する ③実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む 2　風炉濃茶点前 【禅語】「梨花一枝春」 【ワンポイント】「冠婚葬祭」 【授業内容】 ①濃茶見本点前 ②風炉濃茶点前前半① 【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を丁寧に理解する ③規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する 3　風炉濃茶点前 【禅語】「花看半開」 【ワンポイント】「熨斗の知識」 【授業内容】 ①３種類の柄杓の扱い方（切り柄杓・引き柄杓・止め柄杓） ②風炉濃茶点前前半② 【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ②課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する ③計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力） ：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる ④傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を丁寧に理解する ⑤規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する 4　風炉濃茶点前 【禅語】「薫風自南来」 【ワンポイント】「袱紗について」 【授業内容】 ①風炉濃茶点前前半③ 【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む

②課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力）
：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する
③計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力）
：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる
④傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力）
：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を丁寧に理解する
⑤規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

5 風炉濃茶点前
【禅語】「悟無好悪」
【ワンポイント】「食事前に心がけること」
【授業内容】
①風炉濃茶点前後半①
【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う
【社会人基礎力】
①主体性（物事に進んで取り組む力）
：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む
②実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組み続ける
③情況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力）
：周囲から期待されている自分の役割を把握して、行動する
④規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

6 風炉濃茶点前
【禅語】「千里同風」
【ワンポイント】「器の扱い方」
【授業内容】
①風炉濃茶点前後半②
【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う
【社会人基礎力】
①主体性（物事に進んで取り組む力）
：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む
②実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
③情況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力）
：周囲から期待されている自分の役割を把握して行動する
④規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

7 風炉濃茶点前
【禅語】「本来無一物」
【ワンポイント】「衣替えについて・嫌い箸について」
【授業内容】
①風炉濃茶点前総復習①
【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う
【社会人基礎力】
①主体性（物事に進んで取り組む力）
：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む
②実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
③課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力）
：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する
④規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

8 風炉濃茶点前
【禅語】「無事」
【ワンポイント】「雑節について」
【授業内容】風炉濃茶点前総復習②
【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う
【社会人基礎力】
①主体性（物事に進んで取り組む力）
：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む
②実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
③傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力）
：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を丁寧に理解する
④規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

9 風炉濃茶点前
【禅語】「無心」
【ワンポイント】「身だしなみチェックシート」
【授業内容】風炉濃茶点前総復習③
【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う
【社会人基礎力】

		①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ③傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を丁寧に理解する ④規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する
	10	風炉濃茶点前（内検） 【禅語】「思無邪」 【ワンポイント】「試験を受ける心構え」（姿勢・位置・落ち着き） 【授業内容】風炉濃茶点前（内検） 【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ②傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を丁寧に理解する ③規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する
	11	風炉濃茶点前 【禅語】「萬法一如」 【ワンポイント】実技試験のチェックポイント 【授業内容】風炉濃茶点前練習 【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ②傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を丁寧に理解する ③規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する
	12	実技試験 【禅語】「平常心是道」 【授業内容】 ①濃茶点前確認（実技試験） 【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ②課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する ③計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力） ：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる ④規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する
	13	茶会の流れと花寄せ 【禅語】「在眼前」 【ワンポイント】「禁花について」 【授業内容】 ①花寄せ ②ミニ茶会計画・練習 ③学習帳 【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①働きかけ方（他人に働きかけ巻き込む力） ：相手を納得させるために、協力することの必然性（意義、理由、内容など）を伝える ②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ③課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する ④規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する
	14	合同講義 【授業内容】茶道の歴史について合同講義 第４章　鎮信流の茶（教科書P29～P33） 第５章　茶道における諸機能と茶道具について 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を丁寧に理解する

	③規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する 15　班別ミニ茶会 【禅語】「一期一会」 【ワンポイント】「夏を涼しく」 【授業内容】 ①班別ミニ茶会 ②道具の片付け・アンケート ③学習帳回収 【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ②課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する ③計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力） ：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる ④発信力（自分の意見をわかりやすく伝える力） ：事例や客観的なデータ等を用いて、具体的にわかりやすく伝える
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①濃茶席で使用する茶道具の名称や使用方法を学び、正しく使用できるようになる。（アクション）：発信力 ②地域の伝統文化である鎮信流の濃茶点前ができるようになる。（シンキング）：計画力 ③亭主と客の心得などを習得し、心遣いを生活の中で役立てることができるようになる。（チームワーク）：働きかけ力 ④茶道の歴史を学び、鎮信流について説明することができるようになる。（アクション）：実行力 ⑤茶道点前を通して、家庭や社会生活で役立つマナーを身に付けることを目標とする。（チームワーク）：規律性 授業への参加意欲や授業態度：茶道文化の授業に積極的に参加し、講義は真面目に受けているか。15％ 授業の理解度：教科書や学習帳で予習、復習をし、講義の内容を分かりやすくまとめているかを学習帳で確認。10％ 毎回の学習帳や最終回の感想文：お茶の心や鎮信流の基礎的な知識を得ているか。日常の生活に役立てているか。15％ 濃茶点前の実技の評価の観点は、正確な濃茶点前が出来るか、道具を大切に丁寧に扱うことが出来るか、客点前はできているか、など総合的に評価する。実技試験　60％
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：嶋内麻佐子著「茶道文化基礎編」 テキストを補う為に、必要に応じて学習帳やプリントを使用する。
履修条件	茶道文化Ⅰ、Ⅱを履修していること
履修上の注意	茶室に来る時は、必ず白靴下を持参すること。（茶室は神聖な場所である）：主体性 茶室では私語は慎み、服装や髪型にも気を付けること。（ＴＰＯを考える）：働きかけ力 毎回の授業範囲を教科書や学習帳で予習、復習し、専門用語の意味など調べておくこと。（自主学習）：課題発見力 授業開始5分前には、席入りを完了し、気持ちを鎮め授業に臨むこと。（時間厳守）：実行力
オフィスアワー	茶室不文軒での授業が入っていない空きコマは、不文軒での自主練習が可能です。空きコマでの点前指導を行いますので、研究室に声を掛けてください。（チームワーク）：状況把握力
備考・メッセージ	茶道文化を学ぶ意義を理解し、目標を立てて授業を受けてください。（シンキング）：計画力 ①茶道を通して、相手を思いやる心を学びましょう。（チームワーク）：柔軟性 ②心を鎮めて、点前畳に座りましょう。（アクション）：実行力 ③点前を通して、清らかな精神を創りましょう。（シンキング）：計画力 ④日本古来の総合芸術に触れ、自分の感性を磨きましょう。（シンキング）：創造力 ⑤日本の伝統文化を再発見し、真の国際人を目指しましょう。（シンキング）：課題発見 ⑥日本の礼法を学びましょう。（アクション）：主体性 ⑦茶道鎮信流を通して、地域文化の発展に貢献しましょう。（チームワーク）：発信力 ⑧教師と学生との対話促進により、信頼関係を築きましょう。（チームワーク）：規律性

講義科目名称：茶道文化Ⅳ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年	１単位	必修
担当教員			
安部　直樹・嶋内　麻佐子・萩原　宏美			

講義概要	①風炉濃茶点前を一人で出来る。炉濃茶点前を覚える。美味しい濃茶を練るようになる。 ②季節感豊かな茶花の種類を知る。正月の床飾りを学ぶ。法事の床飾りを学ぶ。 ③和室での歩き方を学ぶ。繰り返しにより自然な動きを身に付けることができる。着物の種類について学ぶ。 ④地域文化の継承に貢献する。茶道大会で自分の役割を果たす。自己の修養、自己の成長を学ぶ。 ⑤人や物を大切のする。おもてなしの心を学ぶ。授業最終時には、別棟の茶室（耳順亭）で茶会の流れを学ぶ。
授業計画	1　茶室・露地・炭点前 【禅語】「月白風清」 【ワンポイント】　「炭の力」 【授業内容】 ①炭点前ＤＶＤ ②炭の説明 ③炉濃茶置き合わせ確認 ④炉濃茶点前前半確認 【学習課題】　予習：教科書P63～P69　風炉炭点前 復習：風炉の濃茶点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ③課題発見力（状況を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する ④状況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力） ：周囲から期待されている自分の役割を把握して行動する ⑤規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する 2　炉濃茶点前披露 【禅語】「水急不流月」 【ワンポイント】「中秋の名月」 【授業内容】 ①炉濃茶点前前半復習① 【学習課題】　復習：炉の濃茶点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ③規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する 3　炉・風炉濃茶点前 【禅語】「釣月耕雲」 【ワンポイント】「和室の名称①」 【授業内容】 ①炉濃茶点前前半練習② 【学習課題】　復習：炉と風炉での置き合わせの違いを確認する 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ③規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する 4　炉・風炉濃茶点前 【禅語】「悠然見南山」 【ワンポイント】「和室の名称②」 【授業内容】 ①炉濃茶点前後半練習① 【学習課題】　復習：点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む

②実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
③課題発見力（状況を分析し目的や課題を明らかにする力）
：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する
④規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

5　炉・風炉濃茶点前
【禅語】「独座大雄峰」
【ワンポイント】「祝日・休日について」（１月～３月）
【授業内容】
①炉濃茶点前後半練習②
【学習課題】　復習：点前の自主練習を行う
【社会人基礎力】
①主体性（物事に進んで取り組む力）
：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む
②実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
③課題発見力（状況を分析し目的や課題を明らかにする力）
：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する
④規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

6　立礼点前披露
【禅語】「直心是道場」
【ワンポイント】「祝日・休日について」（４月～６月）
【授業内容】
①立礼見本点前
②立礼点前確認
【学習課題】　復習：点前の自主練習を行う
【社会人基礎力】
①主体性（物事に進んで取り組む力）
：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む
②実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
③課題発見力（状況を分析し目的や課題を明らかにする力）
：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する
④規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

7　立礼、炉、風炉での濃茶点前と薄茶点前
【禅語】「教外別伝不立文字」
【ワンポイント】「祝日・休日について」（７月～９月）
【授業内容】
①立礼、炉濃茶点前練習①
【学習課題】　復習：点前の自主練習を行う
【社会人基礎力】
①主体性（物事に進んで取り組む力）
：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む
②実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
③課題発見力（状況を分析し目的や課題を明らかにする力）
：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する
④柔軟性（意見の違いや立場の違いを理解する力）
：自分の意思を持ちながら、他人の良い意見を共感を持って受け入れる
⑤規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

8　立礼、炉、風炉での濃茶点前と薄茶点前
【禅語】「古今無二路」
【ワンポイント】「祝日・休日について」（１０月～１２月）
【授業内容】
①立礼・炉濃茶点前練習②
【学習課題】　復習：点前の自主練習を行う
【社会人基礎力】
①課題発見力（状況を分析し目的や課題を明らかにする力）
：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する
②計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力）
：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる
③状況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力）
：周囲から期待されている自分の役割を把握して行動する
④規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

9　茶道大会に向けての練習
【禅語】「守拙全天真」
【ワンポイント】「縁起物（だるま）」

【授業内容】
①茶道大会　亭主・接待・水屋・客点前などパート別の仕事内容を学ぶ
（3パートを20分ずつローテーション）
・客点前：①出し服妙の使い方、②濃茶の飲み方、③主菓子の頂き方
・水屋：①濃茶を練る、②薄茶を点てる
・接待：①縁高や濃茶を客へ出す、②懐紙に干菓子と薄茶を出す
【社会人基礎力】
①課題発見力（状況を分析し目的や課題を明らかにする力）
：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する
②計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力）
：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる
③状況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力）
：周囲から期待されている自分の役割を把握して行動する
④規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

10　茶道大会に向けての練習
【禅語】「報恩謝徳」
【ワンポイント】「縁起物（鶴亀）」
【授業内容】
①茶道大会の道具説明
②茶道大会当日の役割の練習に参加する
【社会人基礎力】
①主体性（物事に進んで取り組む力）
：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む
②傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力）
：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する
③規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

11　茶道大会反省会・釜仕舞い
【禅語】「白珪尚可磨」
【ワンポイント】「正月飾りについて」
【授業内容】
①お別れの茶会の流れを冊子、映像で学ぶ
②釜仕舞い
③点て出し
【社会人基礎力】
①実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
②課題発見力（状況を分析し目的や課題を明らかにする力）
：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する
③計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力）
：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる
④規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

12　立礼、炉、風炉での濃茶点前と薄茶点前
【禅語】「門外有松風」
【ワンポイント】「正月飾りについて」「縁起物（松竹梅）」
【授業内容】
①薄茶、濃茶点前練習・学習帳まとめ
②立礼・炉濃茶点前練習
【社会人基礎力】
①主体性（物事に進んで取り組む力）
：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む
②実行力（目的を設定し確実に行動する力）
：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む
③課題発見力（状況を分析し目的や課題を明らかにする力）
：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する
④規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する

13　初釜
【授業内容】軸「高砂」「松に双鶴」
①初釜（濃茶点前）
②点前拝見・主菓子の取り方・食べ方・濃茶の飲み方
③初釜の道具組について説明を聞く
④各班に分かれて新年の抱負を語る
【社会人基礎力】
①傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力）
：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する
②発信力（自分の意見をわかりやすく伝える力）
：事例や客観的なデータ等を用いて、具体的にわかりやすく伝える
③規律性（社会のルールや人との約束を守る力）

	：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する 14　松芳忌 【ワンポイント】「愛別離苦」 【授業内容】 ①松芳忌、礼拝練習 ②経歴紹介（映像にて） ③献茶 ④教職員・学生礼拝 ⑤講話 ⑥自己評価・アンケート・学習帳 【社会人基礎力】 ①傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する ②状況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力） ：周囲から期待されている自分の役割を把握して行動する ③規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する 15　卒業記念茶会　（別れの茶会） 【禅語】「一華開五葉」 【授業内容】お別れの茶会（耳順亭にて） ①茶会の流れ（寄り付き→外待合→蹲踞→躙り口） ②茶席の客体験（主菓子・抹茶） ③点前練習・水屋で点て出し 【学習課題】　予習：「お別れの茶会」の冊子に目を通してくる 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②働きかけ力（他人に働きかけ巻き込む力） ：相手を納得させるために、協力することの必然性（意義、理由、内容など）を伝える ③傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する ④規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する ⑤ストレスコントロール力（ストレスの発生源に対応する力） ：ストレスの原因を見つけて、自力で、または他人の力を借りてでも取り除く
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①点前の練習を重ね、薄茶点前、濃茶点前がスムーズにできるようになる。炭点前を学ぶ。 （アクション）：主体性 ②季節に応じた茶室・茶道具のあしらいに気付くことができるようになる。（シンキング）：課題発見力 ③茶道文化の授業を受けることにより、和室で自然な立ち居振る舞いができるようになる。 （チームワーク）：柔軟性 ④茶道大会の茶席運営に参加し、自分の役割は責任を持って果たすことを目標とする。（チームワーク）：規律性 ⑤茶道を通して身に付けた茶の心を、学校や生活の中で役立て、相手の気持ちを理解できるようになる。 （チームワーク）：傾聴力 授業への参加意欲や授業態度：茶道文化の授業に積極的に参加し、茶道大会の企画運営への携わり方。15% 授業の理解度：教科書や学習帳で予習、復習をし、講義の内容を分かりやすくまとめているかを学習帳で確認。10% 毎回の学習帳や最終回の感想文：お茶の心や鎮信流の基礎的な知識を得ているか。筆記試験　60% 濃茶点前：濃茶点前を正確にできるようになったか。身に付けたマナーや作法を日常生活で生かしているかといった行動や感想　15%
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：嶋内麻佐子著「茶道文化基礎編」 テキストを補う為に、必要に応じて学習帳やプリントを使用する。
履修条件	茶道文化Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを履修していること
履修上の注意	茶室に来る時は、必ず白靴下を持参すること。（茶室は神聖な場所である）：主体性 茶室では私語は慎み、服装や髪型にも気を付けること。（ＴＰＯを考える）：働きかけ力 毎回の授業範囲を教科書や学習帳で予習、復習し、専門用語の意味など調べておくこと。（自主学習）：課題発見力 授業開始５分前には、席入りを完了し、気持ちを鎮め、授業に臨むこと。（時間厳守）：実行力
オフィスアワー	茶室不文軒での授業が入っていない空きコマは、不文軒での自主練習が可能です。空きコマでの点前指導を行いますので、研究室に声を掛けてください。（チームワーク）：状況把握力
備考・メッセージ	茶道文化を学ぶ意義を理解し、目標を立てて授業を受けてください。（シンキング）：計画力 ①茶道を通して、相手を思いやる心を学びましょう。（チームワーク）：柔軟性 ②心を鎮めて、点前畳に座りましょう。（アクション）：実行力 ③点前を通して、清らかな精神を創りましょう。（シンキング）：計画力

	④日本古来の総合芸術に触れ、自分の感性を磨きましょう。（シンキング）：創造力 ⑤日本の伝統文化を再発見し、真の国際人を目指しましょう。（シンキング）：課題発見 ⑥日本の礼法を学びましょう。（アクション）：主体性 ⑦茶道鎮信流を通して、地域文化の発展に貢献しましょう。（チームワーク）：発信力 ⑧教師と学生との対話促進により、信頼関係を築きましょう。（チームワーク）：規律性

講義科目名称：心理学概論　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
8thQ	２年	２単位	選択
担当教員			
中野　明人			

講義概要	①心理学の歴史（流れ）について学ぶ。さまざまな心理検査を通して自分を知る。性格の形成について学ぶ。 ②第一印象の形成、対人認知、、過剰適応について学ぶ。 ③男女関係の心理、夫婦関係の心理、親子・家族関係の心理について学ぶ。 ④現代社会の様々な問題（犯罪や非行の心理的な背景、摂食障害、依存症）について学ぶ。 ⑤セルフカウンセリング（コラージュ療法、ロールレタリング）について学び実際に体験する。さまざまな心理療法について学ぶ。
授業計画	1　心理学を学ぶにあたって ①心理学を学ぶにあたって。 ②心理学の歴史や心理学が何を研究対象にしているのかについて学ぶ。 学習課題　復習： 予習：フロイト、ユング、来談者中心療法について調べておく。 2　自分について知ろう ①性格って何？ ②エゴグラムを使って自分の行動特徴について知る。 学習課題　復習：前回のプリントをしっかり読み込んでおく。 予習：エゴグラムという用語を調べておく。 3　人とうまく付き合うために① ①第一印象の大切さについて学ぶ。 ②人と親密になるには、ということについて学ぶ。 ③自分と似た人違う人、について学ぶ。 学習課題　復習：自分の行動特徴を再確認する。 予習：自分の第一印象について周囲に聞いておく。 4　人とうまく付き合うために② ①好かれる人ってどんな人、「対人魅力」について学ぶ。 ②なぜ人付き合いで疲れるのか、についてその理由について学ぶ。 ③いい人はつらい？過剰適応にならないために何が必要かについて学ぶ。 学習課題　復習：自分の泰一印象を確認し、望ましい自分のイメージを持つ。 予習：対人魅力という言葉の意味を調べておく。 5　集団の心理学 ①集団で浮く人とは。セルフモニタリングについて学ぶ。 ②リーダーシップとは。さまざまなリーダーについて知り、望ましいリーダーに求められる資質について学ぶ。 ③ＰＭ理論について学ぶ。 学習課題　復習：対人魅力となる要素を自分にあてはめて振りかえる。 予習：ストレスこーピングという言葉を調べる。 6　コミュニケーションスキル ①ストレスをためないために。アサーションについて知り、実践してみる。 ②相手を説得する方法。上手に相手を説得するにはどうすればいいか、説得力のある話し方について学ぶ。 ③心の知能指数（EQ）。心の知能指数について、実際に自分で経験をしてみる。特に得意な分野を意識して行動する。 学習課題　復習：PM理論をについて再確認し、自分が理想とするリーダー像を作る。 予習：アサーションという言葉を調べておく。 7　男女関係の心理学① ①男女の脳差とコミュニケーション　。その違いについて脳科学の観点から理解する。 ②友情と恋愛。友情と恋愛の違いを知る。 ③恋心を抱くとき。恋心を抱くには、相手の魅力だけでなく環境的条件も必要であることを学ぶ。 学習課題　復習：EQを高めるにはどうすればいいかについて知る。 予習：LoveとLikeの違いについて知る。 8　男女関係の心理学② ①恋愛の心理学。恋愛の種類について知る。 ②パートナーと別れられない人。どうして好ましくない恋愛から逃れられないのかについて学ぶ。 ③共依存の関係について学ぶ 学習課題　復習：友情と恋愛の違いについて復習しておく。 予習：共依存という言葉を調べておく。 9　心理療法①セルフカウンセリングとしてコラージュ両方を体験してみる ①コラージュ療法の歴史について学ぶ。 ②さまざまなコラージュ療法について学ぶ。

	③実際に体験してみる。 学習課題　復習：共依存にならないためにはどうすればいいかを復習する。 予習：コラージュの実例を調べておく。 １０　夫婦関係の心理学 ①よい夫婦は病気を予防する。病気とコミュニケーションの関係について学ぶ。 ②円滑な夫婦間コミュニケーション。よりよい夫婦間のコミュニケーションについて学ぶ。 学習課題　復習：コラージュ療法の歴史を知る。 予習：実際に自分の周囲の夫婦関係を調べて、病気との関係について考える。 １１　家族関係の心理学 ①成熟した親子関係について学ぶ。 ②生まれた順番と性格。長男長女や末っ子の性格特徴を知る。また次男(次女)三男(三女)の特徴を知る。 ③家族のあり方と親の役割。望ましい家族関係について考える。現代社会における親の役割の重要性について知る。 学習課題　復習：病気とコミュニケーションの関係について振り返る。 予習：自分の性格についてまとめておく。 １２　犯罪と非行の心理学 ①犯罪の心理。犯罪者の特徴について学ぶ。 ②非行の心理。非行を生み出す原因について、さまざまな理論について学ぶ。 ③どうすれば犯罪や非行は防げるか。社会的絆の理論について学ぶ。 学習課題　復習：自分自身の親子関係について振り返る。 予習：最近起こった事件について調べておく。(新聞やニュースなどで) １３　困っている人の心理学 ①さまざまな依存症について知る。アルコール依存症、ギャンブル依存症、薬物依存、インターネット依存症、ゲーム依存症の原因とそのメカニズムについて学ぶ。 ②いい子たちの叫び、摂食障害について学ぶ。摂食障害の背景について知り、その対処法について学ぶ。 ③アダルトチルドレンについて学ぶ。その社会的背景について知り理解する。 学習課題　復習：社会的絆の理論について、自分自身に当てはめて考えておく。 予習：アダルトチルドレンという言葉を調べておく。 １４　夢について ①夢と睡眠の関係について学ぶ。環境的な要因についても学ぶ。 ②心理学における夢の理解について、その歴史的な経緯について学ぶ。 ③夢の分析について学ぶ。場面や登場人物についてそれが何を意味するかについて知る。 学習課題　復習：さまざまな依存症について振り返る。 予習：最近見た夢などについて記録しておく。 １５　心理療法②　セルフカウンセリングとしてロールレタリングを体験する ①ロールレタリングの歴史について学ぶ。 ②ロールレタリングの意義について学ぶ。 ③実際に体験してみる。 学習課題　復習：夢の持つ意味について振り返る。 予習：ロールレタリングという言葉を調べておく
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①自分自身について理解し、説明できるようになる ②人と上手に付き合う方法について理解し、説明できるようになる ③さまざまな人間関係の心理について理解し、説明できるようになる ④現代社会の特徴と心理学の関係について理解し、説明できるようになる ⑤セルフカウンセリングを実際に体験し、自分自身の変化を説明できるようになる ①毎回、授業後にアンケートを実施します。 ①授業後の小レポート(100%)
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：特に使用しない。必要な事項についてはプリントを準備する。 参考書：随時指示する。
履修条件	
履修上の注意	自分自身を知るためには積極的に自分自身を知る姿勢が大事になります。毎回興味をもって受講してください。
オフィスアワー	木曜日の放課後をオフィスアワーとして設定しています。事前に予約を取って研究室を訪問してくださると助かります。 また、水曜日以外の昼休みもオフィスアワーとして利用できますので、ぜひ質問にきてください。
備考・メッセージ	心理学は比較的関心を持ってもらいやすい科目ですが、自分自身をより知るためにも積極的に受講して欲しいと思います。毎回ちょっとした心理テストも行いますが、よりよい自分の方向性を見つけるヒントになればうれしいです。

講義科目名称：コンピュータリテラシー　　授業コード：22151

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ & 2ndQ	１年	１単位	選択
担当教員			
久田　裕己			

講義概要	①コンピュータを活用するために必要な基礎的な知識を学習する ②Googleサービスの活用方法を学習する ③Wordを基礎から学習し、文章の入力やコピーなどの操作、ビジネス文書作成に必要な操作方法を学習する ④Excelを基礎から学習し、計算式の組み立てや関数の使い方、表の装飾、グラフの作成方法を学習する ⑤PowerPointの基礎を学習し、スライドの作成と発表方法を学習する
授業計画	1　オリエンテーション 短大（NJC）システムへのログイン フォルダ作成 Googleアカウントへのログイン ファイルの移動とコピー 2　パソコン基礎 Googleドライブの活用 G-Mailの活用 USBメモリの活用 3　Word基礎（１） タッチタイピング 文字入力（五十音・拗音・促音・アルファベット・記号） 入力テクニック（変換の訂正、入力ミスの訂正、文節長さの変更） 4　Word基礎（２） ビジネス文書の作成（あいさつ文の挿入、文字の装飾、書式設定、拡張書式設定） 学習課題　復習：　中央揃えやインデントなど文字の配置や飾りつけの練習問題を行う 5　Word基礎（３） 表枠作成（表の挿入、列の分割・結合、罫線の装飾） 学習課題　復習：表挿入のボタンの位置および完成例をもとにした表枠作成の練習問題を行う 6　Word基礎（４） 課題作成（ビジネス文書作成） 学習課題　復習：レイアウトを整えたビジネス文書を完成させ、印刷し提出を行う 7　情報活用技法（１） スマホの活用 Googleサービスの活用 8　情報活用技法（２） 動画の撮影 Yourtubeへのアップロード 9　Excel基礎（１） Excelの基本操作（データ入力の基礎、オートフィル、セルの書式設定） 計算式の組み立て（加減乗除） 10　Excel基礎（２） 関数１（合計、平均、カウント、最大、最小） 学習課題　復習：関数の使用（オートSUM）の練習問題を行う 11　Excel基礎（３） グラフ作成（棒グラフ、折れ線グラフ） 学習課題　復習：目的に応じたグラフに必要なデータの選択やグラフの装飾などができるよう、テキストを見直し練習問題を解く 12　Excel基礎（４） 課題作成（表計算） 学習課題　復習：計算式・関数を使った表計算と、それをグラフ化したデータを完成させ、印刷し提出を行う 13　情報活用技法（３） スマホの活用 Googleサービスの活用 14　PowerPoint（１） PowerPointの基本操作（スライド作成、デザイン設定、図形の挿入、表枠の作成） 学習課題　復習：文字や図を活用したスライド作成の例題を完成させる 15　PowerPoint（２） アニメーション設定（画面切り替え効果、図のアニメーション） スライドショー操作と発表の注意点、印刷・配布資料の作成

授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①Googleサービスを活用し、G-Mailでの送受信やファイル管理がスムーズにできる ②ビジネスで活用する文書の形式を理解し、正確に作成することができる ③計算式や関数を使った表計算を行うことができ、必要に応じたグラフ作成や印刷などを行うことができる G-Mail送受信・ファイル保存の課題：10% タッチタイピングの課題：10% 文書作成（Word）の課題：40% 表計算（Excel）の課題：40%
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：コンピュータリテラシー（テキスト代：1,000円）
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	

講義科目名称：コンピュータリテラシー　　授業コード：31154

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ ＆ 2ndQ	１年	１単位	選択
担当教員			
小浦　康平			

講義概要	MS Wordの一般的な操作方法と便利な機能を実践形式で学びます。 日本語能力を養うために日本語タイピング練習を毎回行います。 授業課題のレベルはワープロ検定2級を目標にスキルを高めてもらいます。 漢字ひらがなカタカナを交えた文書や会話文をタイピングを通じて理解を深めてもらいます。
授業計画	1　オリエンテーション コンピュータ室利用のきまりの説明。Wordの基本的な操作方法の演習。タイピング練習。 学習課題　前回の復習： この授業の予習：タイピングの基本ポジションを予習しておく。 2　Wordの基本操作1 見本プリントを参考に文字入力の基本及び装飾について学びます。 学習課題　前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習： 3　Wordの基本操作2 見本のプリントを参考にイラストや写真の挿入方法を学び、ひとりでも扱えるように操作方法を習得します。 学習課題　前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習： 4　研修レポートの作成1 研修授業についてレポートを作成します。これまで習得したスキルを存分に発揮し、デザインよく仕上げてください。授業評価に用いますので必ず期限内に提出してください。 学習課題　前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習： 5　研修レポートの作成2 研修授業についてレポートを作成します。これまで習得したスキルを存分に発揮し、デザインよく仕上げてください。授業評価に用いますので必ず期限内に提出してください。 学習課題　前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習： 6　Wordの基本操作3 見本のプリントを参考に図形描画の使い方を学び、ひとりでも扱えるように操作方法を習得します。 学習課題　前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習： 7　ポスター作成演習1 Wordを使って、商品紹介チラシを作成します。4回目までの内容に加え、バリエーション豊かな装飾など、手数が多くなります。 学習課題　前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習： 8　ポスター作成演習2 前回に引き続き、Wordを使ったポスター作成演習を行います。 学習課題　前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習： 9　ポスター作成演習3 前回に引き続き、Wordを使ったポスター作成演習を行います。 学習課題　前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習： 10　研修レポートの作成3 研修授業についてレポートを作成します。これまで習得したスキルを存分に発揮し、デザインよく仕上げてください。授業評価に用いますので必ず期限内に提出してください。 学習課題　前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習： 11　文書デザイン検定模擬演習1 日本人クラスと同じく文書デザイン検定試験の模擬演習を行います。2級目標ですが、到達レベルによっては3級をチャレンジ目標とします。

	学習課題　前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習： 12　文書デザイン検定模擬演習2 日本人クラスと同じく文書デザイン検定試験の模擬演習を行います。2級目標ですが、到達レベルによっては3級をチャレンジ目標とします。 学習課題　前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習： 13　日本語タイピング演習 読む、書く、聞く、だけでなくタイピングによって日本語文章力の理解を深めるとともに日本語のタイピングスピードアップを図ります。 学習課題　前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習： 14　実用的なパンフレット作成演習1 見本プリントを基に、実用的なパンフレットの作成演習を行います。 学習課題　前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習： 15　実用的なパンフレット作成演習2 見本プリントを基に、実用的なパンフレットの作成演習を行います。 学習課題　前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習：
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①コンピュータの利用上のきまり ②教室のコンピュータのアプリケーションの概要 ③正確な日本語タイピング方法の習得 ④正確で美しい文書の作成 ⑤MS Wordの一般的な操作方法の習得 課題提出（50%）、習熟度（30%）、授業中の態度（20%） 授業に対するモチベーション、課題作成の完成度、アプリケーションの習熟度を重視します。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	毎回、プリントを配布。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業期間中の平日の放課後。
備考・メッセージ	毎回の課題提出が評価に繋がるので休んだ場合も必ず提出する事。

講義科目名称：MS Office演習Ⅱ　Aクラス　　授業コード：21553

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ & 6thQ	２年	１単位	選択
担当教員			
小浦　康平			

講義概要	MS Wordの一般的な操作方法と便利な機能を実践形式で学びます。また、日本情報処理検定協会のワープロ検定や文書デザイン検定試験対策も行います。ビジネス文書作成、ポスターチラシなどの作成演習も行います。毎回必ず授業の冒頭にタイピング練習を行います。
授業計画	1　Wordを使ったパンフレット作成復習 見本を基にWordを使ったパンフレット作成復習を行います。 学習課題　前回の復習： この授業の予習：タイピングの基本ポジションを予習しておく。 2　Excelの基本操作の復習 サンプルデータを基にExcelの基本操作の復習を行います。 学習課題　前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習： 3　Powerpointの基本操作の復習 見本のプリントを参考にPowerpointの基本操作の復習を行います。 学習課題　前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習： 4　ビジネス文書の作成1 日本語でのビジネス文書の作成演習を行います。 学習課題　前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習：就職活動に必要となる履歴書を準備する。 5　ビジネス文書の作成2 英語でのビジネス文書の作成演習を行います。 学習課題　前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習： 6　ホームページ演習1 ホームページの基本であるhtmlについて学びます。 学習課題　前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習： 7　ホームページ演習2 前回に引き続き、htmlの基本とホームページの目的や制作手順、仕組みについて学びます。 学習課題　前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習： 8　情報モラルとセキュリティー1 コンピュータウイルスやネット社会のモラルやマナー、日常利用に役立つ知識などを学びます。 学習課題　前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習： 9　情報モラルとセキュリティー2 前回に引き続き、個人情報の権利や危険性、日常利用に役立つ知識などを学びます。 学習課題　前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習： 10　Powerpointのスライド作成演習1 サンプルデータを基にプレゼンテーション用資料の作成および実践的な印刷の方法について学びます。 学習課題　前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習： 11　Powerpointのスライド作成演習2 サンプルデータを基にプレゼンテーション用資料の作成および実践的な印刷の方法について学びます。 学習課題　前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習： 12　Powerpointのスライド作成演習3 サンプルデータを基にプレゼンテーション用資料の作成および実践的な印刷の方法について学びます。 学習課題　前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習： 13　検定試験対策 7月上旬実施予定のワープロ検定、文書デザイン検定、プレゼンテーション検定、スピード認定試験、表計算検定について検定試験対策を行います。 学習課題　前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習：どの検定試験（級）にチャレンジするか決めておく。 14　実用的なパンフレット製作1 難易度がやや高めの実用的なパンフレットの製作を行います。 学習課題　前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習： 15　実用的なパンフレット製作2

	難易度がやや高めの実用的なパンフレットの製作を行います。 学習課題　前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習：
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①文字入力の速度と正確さを習得する ②正確で美しい文書の作成ができるようになる ③社内外の実務文書の作成ができるようになる ④広告文書を作成できるようになる ⑤ワープロ検定試験、文書デザイン検定の２級レベル以上 課題提出（50%）、習熟度（30%）、入学後の進歩の状況及び授業中の態度（20%） 授業に対するモチベーション、課題作成の完成度、アプリケーションの習熟度を重視します。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	毎回、プリントを配布。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業期間中の平日の放課後。
備考・メッセージ	毎回の課題提出が評価に繋がるので休んだ場合も必ず提出する事。

講義科目名称：MS Office演習Ⅱ　Bクラス　　授業コード：32552

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ & 6thQ	２年	１単位	選択
担当教員			
久田　裕己			

講義概要	①タイピングを習得し、原稿を見ないで打つタッチタイピングを身につける（ワープロ2級レベル） ②Wordの文書作成応用・図形描画応用など、文書の活用・編集技能を身につける ③Excelの関数応用・データの集計・上級グラフの活用・編集技能を身につける
授業計画	1　Word基礎復習 タイピングの10分測定 ビジネス文書作成・表作成　3級レベルの復習 学習課題 予習：次の回の作業内容をテキストで確認しておく。 復習：ホームポジションを守ったタッチタイピングを継続的に学習する 2　Word応用（1） タイピング、スピードアップ練習 複雑な表作成１（セルの分割と結合） 学習課題 予習：次の回の作業内容をテキストで確認しておく。 復習：ホームポジションを守ったタッチタイピングを継続的に学習する 3　Word応用（2） タイピング、スピードアップ練習 複雑な表作成２（複合表） 学習課題 予習：次の回の作業内容をテキストで確認しておく。 復習：ホームポジションを守ったタッチタイピングを継続的に学習する 4　Word応用（3） タイピング、スピードアップ練習 図形の基本操作（移動・コピー・拡大縮小） 図形の挿入と編集（ワードアート・オートシェイプ・クリップアート） 学習課題 予習：次の回の作業内容をテキストで確認しておく。 復習：ホームポジションを守ったタッチタイピングを継続的に学習する 5　Word応用（4） タイピング、スピードアップ練習 図形の挿入と編集（テキストボックス） 図形を使った地図の作成 学習課題 予習：次の回の作業内容をテキストで確認しておく。 復習：ホームポジションを守ったタッチタイピングを継続的に学習する 6　Word応用（5） タイピング、スピードアップ練習 段落設定（段組・段区切り・セクション区切り） 学習課題 予習：次の回の作業内容をテキストで確認しておく。 復習：ホームポジションを守ったタッチタイピングを継続的に学習する 7　Word応用まとめ タイピング課題（500文字文章）の10分測定 課題作成（ビジネス社外文書） 学習課題 予習：次の回の作業内容をテキストで確認しておく。 復習：課題を完成させ、印刷し提出を行う 8　Excel基礎復習 計算式・基本関数を使った表作成　3級レベルの復習 学習課題 予習：次の回の作業内容をテキストで確認しておく。

	復習：基本的な計算式や関数を使った表作成がスムーズにできるよう、テキストを見直して練習を行う 9 Excel応用（1） 関数１（IF・AND・OR） 学習課題 予習：次の回の作業内容をテキストで確認しておく。 復習：目的に応じた関数の利用ができるよう、テキストを見直して練習問題を行う 10 Excel応用（2） 関数２（VLOOKUP・HLOOKUP・LEFT・RIGHT・MID） 学習課題 予習：次の回の作業内容をテキストで確認しておく。 復習：目的に応じた関数の利用ができるよう、テキストを見直して練習問題を行う 11 Excel応用（3） 関数３（SUMIF・COUNTIF） 学習課題 予習：次の回の作業内容をテキストで確認しておく。 復習：目的に応じた関数の利用ができるよう、テキストを見直して練習問題を行う 12 Excel応用（4） データベース（データの並べ替え・抽出） 学習課題 予習：次の回の作業内容をテキストで確認しておく。 復習：目的に応じたデータの抽出等ができるよう、テキストを見直して練習問題を行う 13 Excel応用（5） データベース（データの集計） 学習課題 予習：次の回の作業内容をテキストで確認しておく。 復習：目的に応じたデータの集計ができるよう、テキストを見直して練習問題を行う 14 Excel応用（6） 上級グラフ（折れ線と縦棒の複合グラフ） 学習課題 予習：次の回の作業内容をテキストで確認しておく。 復習：目的に応じたグラフの作成ができるよう、テキストを見直して練習問題を行う 15 Excel応用まとめ 課題作成（関数を使った表作成・データベース・グラフ作成） 学習課題 予習：次の回の作業内容をテキストで確認しておく。 復習：課題を完成させ、印刷し提出を行う
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①正確でスピーディなタイピングを行うことができ、10分間で500文字（2級レベル）の入力を行うことができる ②複雑な表作成・文字の装飾・オブジェクトの活用により文書の作成・編集・構成を行うことができる ③関数式の設定による表作成やデータの集計・抽出、高度なグラフ作成を行うことができる 積み上げ式の授業内容となるため、授業の中で提出する課題作成を重視する タイピングの測定課題：20% 文書作成（Word）の課題：30% 表計算（Excel）の課題：50%
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：MsOffice演習Ⅱ（テキスト代：1,000円）
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	

講義科目名称：MS Office演習Ⅱ　　授業コード：33552

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ & 6thQ	２年	１単位	選択
担当教員			
小浦　康平			

講義概要	MS Wordの一般的な操作方法と便利な機能を実践形式で学びます。また、日本情報処理検定協会のワープロ検定や文書デザイン検定試験対策も行います。ビジネス文書作成、ポスターチラシなどの作成演習も行います。毎回必ず授業の冒頭にタイピング練習を行います。
授業計画	1　Wordを使ったパンフレット作成復習 見本を基にWordを使ったパンフレット作成復習を行います。 学習課題　前回の復習： この授業の予習：タイピングの基本ポジションを予習しておく。 2　Excelの基本操作の復習 サンプルデータを基にExcelの基本操作の復習を行います。 学習課題　前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習： 3　Powerpointの基本操作の復習 見本のプリントを参考にPowerpointの基本操作の復習を行います。 学習課題　前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習： 4　ビジネス文書の作成1 日本語でのビジネス文書の作成演習を行います。 学習課題　前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習：就職活動に必要となる履歴書を準備する。 5　ビジネス文書の作成2 英語でのビジネス文書の作成演習を行います。 学習課題　前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習： 6　ホームページ演習1 ホームページの基本であるhtmlについて学びます。 学習課題　前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習： 7　ホームページ演習2 前回に引き続き、htmlの基本とホームページの目的や制作手順、仕組みについて学びます。 学習課題　前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習： 8　情報モラルとセキュリティー1 コンピュータウイルスやネット社会のモラルやマナー、日常利用に役立つ知識などを学びます。 学習課題　前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習： 9　情報モラルとセキュリティー2 前回に引き続き、個人情報の権利や危険性、日常利用に役立つ知識などを学びます。 学習課題　前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習： 10　Powerpointのスライド作成演習1 サンプルデータを基にプレゼンテーション用資料の作成および実践的な印刷の方法について学びます。 学習課題　前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習： 11　Powerpointのスライド作成演習2 サンプルデータを基にプレゼンテーション用資料の作成および実践的な印刷の方法について学びます。 学習課題　前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習： 12　Powerpointのスライド作成演習3 サンプルデータを基にプレゼンテーション用資料の作成および実践的な印刷の方法について学びます。 学習課題　前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習： 13　検定試験対策 7月上旬実施予定のワープロ検定、文書デザイン検定、プレゼンテーション検定、スピード認定試験、表計算検定について検定試験対策を行います。 学習課題　前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習：どの検定試験（級）にチャレンジするか決めておく。 14　実用的なパンフレット製作1 難易度がやや高めの実用的なパンフレットの製作を行います。 学習課題　前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習： 15　実用的なパンフレット製作2

	難易度がやや高めの実用的なパンフレットの製作を行います。 学習課題　前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習：
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①文字入力の速度と正確さを習得する ②正確で美しい文書の作成ができるようになる ③社内外の実務文書の作成ができるようになる ④広告文書を作成できるようになる ⑤ワープロ検定試験、文書デザイン検定の２級レベル以上 課題提出（50%）、習熟度（30%）、入学後の進歩の状況及び授業中の態度（20%） 授業に対するモチベーション、課題作成の完成度、アプリケーションの習熟度を重視します。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	毎回、プリントを配布。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業期間中の毎週月曜日もしくは火曜日の放課後。
備考・メッセージ	毎回の課題提出が評価に繋がるので休んだ場合も必ず提出する事。

講義科目名称：スポーツ実習　　授業コード：12051　53152

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ & 4thQ	１年	１単位	選択
担当教員			
Luc Roberge			

講義概要	This course is designed to provide students with all the benefits associated with recreation. Students will have the opportunity to learn skills and knowledge that will allow them to gain all the benefits of physical fitness. All instuction will be given in English. Students will also have the opportunity to participate in novel activities.
授業計画	Lesson 1: Introduction to the course and physical fitness. During this course students will participate a wide variety physical activities. Students will have the opportunity to choose which activities in which they will participate. During the year, students will participate in basketball, badminton, volleyball, table tennis, baseball, tennis, California kick ball, capture to flag and more. Lesson 2 During this course students will participate a wide variety physical activities. Students will have the opportunity to choose which activities in which they will participate. During the year, students will participate in basketball, badminton, volleyball, table tennis, baseball, tennis, California kick ball, capture to flag and more. Lesson 3 During this course students will participate a wide variety physical activities. Students will have the opportunity to choose which activities in which they will participate. During the year, students will participate in basketball, badminton, volleyball, table tennis, baseball, tennis, California kick ball, capture to flag and more. Lesson 4 During this course students will participate a wide variety physical activities. Students will have the opportunity to choose which activities in which they will participate. During the year, students will participate in basketball, badminton, volleyball, table tennis, baseball, tennis, California kick ball, capture to flag and more. Lesson 5 During this course students will participate a wide variety physical activities. Students will have the opportunity to choose which activities in which they will participate. During the year, students will participate in basketball, badminton, volleyball, table tennis, baseball, tennis, California kick ball, capture to flag and more. Lesson 6 During this course students will participate a wide variety physical activities. Students will have the opportunity to choose which activities in which they will participate. During the year, students will participate in basketball, badminton, volleyball, table tennis, baseball, tennis, California kick ball, capture to flag and more. Lesson 7 During this course students will participate a wide variety physical activities. Students will have the opportunity to choose which activities in which they will participate. During the year, students will participate in basketball, badminton, volleyball, table tennis, baseball, tennis, California kick ball, capture to flag and more. Lesson 8 During this course students will participate a wide variety physical activities. Students will have the opportunity to choose which activities in which they will participate. During the year, students will participate in basketball, badminton, volleyball, table tennis, baseball, tennis, California kick ball, capture to flag and more. Lesson 9 During this course students will participate a wide variety physical activities. Students will have the opportunity to choose which activities in which they will participate. During the year, students will participate in basketball, badminton, volleyball, table tennis, baseball, tennis, California kick ball, capture to flag and more. Lesson 10 During this course students will participate a wide variety physical activities. Students will have the opportunity to choose which activities in which they will participate. During the year, students will participate in basketball, badminton, volleyball, table tennis, baseball, tennis, California kick ball, capture to flag and more. Lesson 11 During this course students will participate a wide variety physical activities.

	Students will have the opportunity to choose which activities in which they will participate. During the year, students will participate in basketball, badminton, volleyball, table tennis, baseball, tennis, California kick ball, capture to flag and more. Lesson 12 During this course students will participate a wide variety physical activities. Students will have the opportunity to choose which activities in which they will participate. During the year, students will participate in basketball, badminton, volleyball, table tennis, baseball, tennis, California kick ball, capture to flag and more. Lesson 13 During this course students will participate a wide variety physical activities. Students will have the opportunity to choose which activities in which they will participate. During the year, students will participate in basketball, badminton, volleyball, table tennis, baseball, tennis, California kick ball, capture to flag and more. Lesson 14 During this course students will participate a wide variety physical activities. Students will have the opportunity to choose which activities in which they will participate. During the year, students will participate in basketball, badminton, volleyball, table tennis, baseball, tennis, California kick ball, capture to flag and more. Lesson 15: Final Evaluation Students will have a test.
授業形態	practice
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	1. Students can set up equipment. 2. Students can keep a lesson log. 3. Students can monitor their daily habits. 4. Students can keep a wellness journal 5. Students can recreate. Grades will be based on engagement, lesson logs, and a wellness journal. Grades will be based on Engagement (50%), Lesson Notes (25%) and wellness log (25%).
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	Feel free to visit me in my office anytime I am not in class or a meeting. Monday 3:00-5:30.
備考・メッセージ	

講義科目名称：スポーツ実習　　授業コード：22051

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ & 4thQ	１年	１単位	選択
担当教員			
野田　章子			

講義概要	①健康調査をおこなう　体力テストをおこなう　体力評価をおこなう ②さまざまなスポーツのルールを理解できる　試合での実践ができる　意欲的な活動ができる ③チームを編成することができる　チームでの練習ができる　チームでの試合ができる ④トレーニング論を理解する　基礎トレーニングを理解する　チームでの試合ができる ⑤生活習慣を見直す　自分に合った運動プログラムを考える　今後のライフスタイルと運動を考える
授業計画	１　体力テスト 新体力テストの実施 ２　トレーニング理論 有酸素トレーニングと筋力トレーニングの実践 ３　バドミントン① ルールの理解と基本練習 ４　バドミントン② リーグ戦形式によるゲーム ５　バドミントン③ リーグ戦形式によるゲーム ６　バドミントン④ リーグ戦形式によるゲーム ７　バレーボール① ルールの理解と基本練習 ８　バレーボール② リーグ戦形式によるゲーム ９　バレーボール③ リーグ戦形式によるゲーム １０　卓球① ルールの理解と基本練習 １１　卓球② シングルスまたはダブルスのゲーム １２　バスケットボール① ルールの理解と基本練習 １３　バスケットボール② リーグ戦形式によるゲーム １４　バスケットボール③ リーグ戦形式によるゲーム １５　まとめ 自分に適した運動を考える
授業形態	実習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①自分の健康と体力に関心をもつ ②運動・スポーツの楽しさを味わう ③スポーツを通じたコミュニケーション能力の向上 ④運動技術・知識の向上 ⑤体力年齢の向上 課題への取り組み50%、授業内レポート20%、体力テスト10%、実技テスト10%、成果レポート10%を総合して評価を行う。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：必要に応じて資料を配布
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します

備考・メッセージ	

講義科目名称：外国語Ⅱ　　授業コード：24551

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ ＆ 6thQ	２年	２単位	必修
担当教員			
内山　智子			

講義概要	さまざまな教材やプリントを用い、日本語の総合的な聴解・聴読解力を高めていく。受講者の活発な質疑応答を期待する。
授業計画	1　オリエンテーション、聴解スキル・聴読解スキル 授業に関するオリエンテーション、聴解スキル・聴読解スキル 復習：「授業に関するオリエンテーション、聴解スキル・聴読解スキル」の確認 2　日常生活　１衣食住 日常生活　１衣食住を通して聴解の力を高める 復習：「日常生活　１衣食住」のスクリプトを読んで語句の意味を確認する。 3　日常生活　２暮らし 日常生活　２暮らしを通して聴解の力を高める 復習：「日常生活　２暮らし」のスクリプトを読んで語句の意味を確認する。 4　日常生活　３余暇 日常生活　３余暇に関する聴解練習 復習：「日常生活　３余暇」のスクリプトを読んで語句の意味を確認する。 5　日常生活　４買い物 日常生活　４買い物に関する聴解練習 復習：「日常生活　４買い物」のスクリプトを読んで語句の意味を確認する。 6　日常生活　５その他 日常生活　５その他に関する聴解練習 復習：「日常生活　５その他」のスクリプトを読んで語句の意味を確認する。 7　キャンパスライフ　６オリエンテーション１ キャンパスライフ　６オリエンテーション１に関する聴解練習 復習：「キャンパスライフ　６オリエンテーション１」のスクリプトを読んで語句の意味を確認する。 8　キャンパスライフ　６オリエンテーション２ キャンパスライフ　６オリエンテーション２に関する聴読解練習 復習：「キャンパスライフ　６オリエンテーション２」のスクリプトを読んで語句の意味を確認する。 9　キャンパスライフ　７科目登録１ キャンパスライフ　７科目登録１に関する聴読解練習 復習：「キャンパスライフ　７科目登録１」のスクリプトを読んで語句の意味を確認する。 １０　キャンパスライフ　７科目登録２ キャンパスライフ　７科目登録２に関する聴読解練習 復習：「キャンパスライフ　７科目登録２」のスクリプトを読んで語句の意味を確認する。 １１　キャンパスライフ　８学生課・教務課１ キャンパスライフ　８学生課・教務課１に関する聴読解練習 復習：「キャンパスライフ　８学生課・教務課１」のスクリプトを読んで語句の意味を確認する。 １２　キャンパスライフ　８学生課・教務課２ キャンパスライフ　８学生課・教務課２に関する聴読解練習 復習：「キャンパスライフ　８学生課・教務課２」のスクリプトを読んで語句の意味を確認する。 １３　キャンパスライフ　９施設利用１ キャンパスライフ　９施設利用１に関する聴読解練習 復習：「キャンパスライフ　９施設利用１」のスクリプトを読んで語句の意味を確認する。 １４　キャンパスライフ　９施設利用２ キャンパスライフ　９施設利用２に関する聴読解練習 復習：「キャンパスライフ　９施設利用２」のスクリプトを読んで語句の意味を確認

	する。 １５　キャンパスライフ　１０課外活動 キャンパスライフ　１０課外活動に関する聴読解練習 復習：「キャンパスライフ　１０課外活動」のスクリプトを読んで語句の意味を確認する。 予習：定期試験の準備をする。
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①自然なスピードの講義の内容をだいたい聞き取れる。 ②自然なスピードの留学生ライフの内容をだいたい聞き取れる。 ③自然なスピードのキャンパス事務連絡の内容をだいたい聞き取れる。 ④日本語能力試験において、上級者はＮ２、中級者はＮ３習得を目指す。 ⑤話し言葉に慣れ、日常の会話に生かすことができる。
科目（教職課程用）	平素の学習意欲（２０％）を重視し、学習状況並びに試験（５０％）などにより行う。 日頃のノート（３０％）についても随時点検し、評価の対象とする。
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	平素の学習意欲（２０％） 学習状況並びに試験（５０％） 日頃のノート（３０％）
教科書・参考書	テキスト：最初の授業で指示する。 参考書：授業を通して紹介する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	毎週金曜日４限。
備考・メッセージ	・欠席の場合は、必ず友人を通すかメールで連絡すること。 （教員のメールアドレスは、授業開始時に知らせる）

講義科目名称：外国語Ⅱ　　授業コード：24552

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ ＆ 6thQ	２年	２単位	必修
担当教員			
園田　靖			

講義概要	日本人が英語を学習する際によくある間違い、勘違いしがちな単語の意味等について書かれたテキストを読むことを中心とする。リーディングだけでなく、語彙力や文法知識の強化をはじめ、四技能それぞれを伸ばすことを目的とし、同時に異なる文化間での言語に対する感覚の違いについても学ぶ。
授業計画	1　sign in / sign up / sign out Web上でも見かける機会の増えてきた、上記の句動詞の違いについて学び、 同時に前置詞のイメージ把握をめざす。 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：テキスト中のわからない単語について辞書で確認しておくこと。 2　sign in / sign up / sign out (2) 前回に引き続き、句動詞の意味の違いについて＆前置詞のイメージ把握（２） 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：テキスト中のわからない単語について辞書で確認しておくこと。 3　Are you okay? / Is that okay? 「あなたは大丈夫ですか？」という曖昧な日本語表現に対応する英語表現について学び、 基本的な疑問文の作り方についても復習する。 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：テキスト中のわからない単語について辞書で確認しておくこと。 4　Are you okay? / Is that okay? (2) 前回に引き続き、日本語表現と英語表現の対応について＆疑問文の基本について（２） 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：テキスト中のわからない単語について辞書で確認しておくこと。 5　a / an / the 日本語話者にとってあまりなじみのない冠詞について、復習しつつ理解を深める。 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：テキスト中のわからない単語について辞書で確認しておくこと。 6　a / an / the (2) 前回に引き続き、冠詞の働きやそれぞれの違いについて（２） 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：テキスト中のわからない単語について辞書で確認しておくこと。 7　cost / price / fee / fare / toll 各種の料金など、お金にかかわる単語の違い・使い分けについて学び、 支払いやお金にかかわる文化の違いについても紹介する。 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：テキスト中のわからない単語について辞書で確認しておくこと。 8　cost / price / fee / fare / toll (2) 前回に引き続き、単語の使い分け・語源などについて（２） 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：テキスト中のわからない単語について辞書で確認しておくこと。 9　drink medicine 薬を「飲む」という表現など、直訳で勘違いしてしまいがちな点について確認し、 健康に関する各種表現についても学ぶ。 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：テキスト中のわからない単語について辞書で確認しておくこと。 10　drink medicine (2) 前回に引き続き、単語の意味の把握や関連した語彙などについて（２） 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：テキスト中のわからない単語について辞書で確認しておくこと。 11　rehouse / rebuild / remodel 耳にする機会の多い単語について、和製英語化している現状の意味と 本来の意味の違いを学び、使い分け方を知る。 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：テキスト中のわからない単語について辞書で確認しておくこと。 12　rehouse / rebuild / remodel (2) 前回に引き続き、混同しがちな単語の意味について（２）

	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：テキスト中のわからない単語について辞書で確認しておくこと。 13 chance / opportunity 辞書では同じような訳語を当てられることの多い単語について、 語源などからどのように異なるのかを学ぶ。 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：テキスト中のわからない単語について辞書で確認しておくこと。 14 chance / opportunity (2) 前回に引き続き、意味が似ている単語の使い分けについて（２） 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：テキスト中のわからない単語について辞書で確認しておくこと。 15 step up / level up 和製英語として本来の意味から変化しつつあるイディオムについて、 元の意味を把握し、ほかの動詞＋前置詞の組み合わせについても学ぶ。 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：テキスト中のわからない単語について辞書で確認しておくこと。 16 評価テスト 筆記試験
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	１）英検2級に合格する程度の英語能力を身に着ける。 ２）単語は平易ながら比較的長さのある英文の内容を理解できる。 ３）論理的な文章構造について把握し、自身でもそれに基づいた英文を書ける。 ４）文章内容についての音声による問題を聞き取り、解答できる。 ５）正しい発音・イントネーションで英文を音読できる。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	適宜、授業内でハンドアウトを配布する。
履修条件	
履修上の注意	予習・復習を忘れずに行ってください。
オフィスアワー	水曜1限（9:10～10:40）　ほか、空きコマでも随時対応します。
備考・メッセージ	授業には辞書を持参してください。

講義科目名称：外国語Ⅱ　　授業コード：41551

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ ＆ 6thQ	２年	２単位	必修
担当教員			
青木　萌			

講義概要	本授業では就職活動や編入学に大きく役立つ中国語検定試験HSK(漢語水平考平)の模擬問題を用いて中国語を学習し、HSK4級の合格を目指す。これにより、中国語の運用能力、特に聴力と読解力を高めることができる。
授業計画	1　オリエンテーション、模擬問題1 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 復習:前回学んだ箇所を音読する 2　模擬問題2 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回の模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する 3　模擬問題3 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回の模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する 4　模擬問題4 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回の模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する 5　模擬問題5 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回の模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する 6　模擬問題6 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回の模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する 7　模擬問題7 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回の模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する 8　模擬問題8 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回の模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する 9　模擬問題9 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回の模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する １０　模擬問題10 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回の模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する １１　模擬問題11 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく

	復習:前回の模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する １２　模擬問題12 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回の模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する １３　模擬問題13 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回の模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する １４　模擬問題14 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回の模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する １５　模擬問題15 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回の模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	評価の観点は、HSKの4級に合格する実力を有していることである。 評価手段・方法は、授業態度、発音練習、および定期試験で評価する。 評価比率は以下の通りである。 授業態度、発音練習50%、定期試験50%
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	教科書は使用せずプリントを配布する。参考書は適宜紹介する。
履修条件	中国語Ｉを履修していること。また、中国語が母語でない学生を履修対象とする。
履修上の注意	毎回、模擬問題の解答や解答理由を求めるので、予習と復習を欠かさず行うこと。
オフィスアワー	授業終了後にその場で、或は、研究室で受け付けます。
備考・メッセージ	HSKの資格を持っていると、就職活動や編入学でとても有利になります。 また、中国語の会話力も向上させることができますので、ぜひ履修して下さい。

講義科目名称：外国語Ⅱ　　授業コード：41552

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ ＆ 6thQ	２年	２単位	必修
担当教員			
李　載宇			

講義概要	韓国語の入門段階の学習のためハングルの組み合わせと正確な発音を学ぶ。簡単な短文を作成するための基礎文法を学習しながら、実戦会話に活用できるように練習する。
授業計画	1　オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 韓国語とは何か、韓国語の特徴、勉強方法について 学習課題　復習　なし 予習　韓国語の文字、基本母音字、基本子音字について調べる 2　韓国語の基本母音字、基本子音字 教科書を使って、各文字を繰り返して書きかなら一個ずつ覚える。 学習課題　復習　韓国語の特徴、韓国語の勉強方法についてもう一度確認する 予習　韓国語の複合母音、韓国語のバッチムについて調べる 3　韓国語の複合母音、韓国語のパッチム 教科書を使って、各文字を繰り返して書きかなら一個ずつ覚える。 学習課題　復習　韓国語の基本母音字、基本子音字についてもう一度確認する 予習　韓国語の発音の変化について調べる 4　韓国語の発音の変化 教科書を使って、該当する各例について一個ずつ確認する。 学習課題　復習　韓国語の複合母音、韓国語のパッチムについてもう一度確認する 予習　「～は」「～です」と話す文法について調べる 5　韓国語基礎文法・実戦会話１ 挨拶と簡単な自己紹介について勉強する。 学習課題　復習　韓国語の発音の変化についてもう一度確認する 予習　「～が」「～ですか」と話す文法について調べる 6　韓国語基礎文法・実戦会話２ 「～ですか？」について勉強する。 学習課題　復習　挨拶と簡単な自己紹介についてもう一度確認する 予習　「～ではありません（か）」と話す文法について調べる 7　韓国語基礎文法・実戦会話３ 「～ではありません」という否定文について勉強する。 学習課題　復習　「～ですか？」についてもう一度確認する 予習　「います・あります」「いません・ありません」と話す文法について調 8　韓国語基礎文法・実戦会話４ 「あります・ありません」について勉強する。 学習課題　復習　「～ではありません」という否定文についてもう一度確認する 予習　「～します」「～しますか」と話す文法について調べる 9　韓国語基礎文法・実戦会話５ 「します・しますか」について勉強する 学習課題　復習　「あります・ありません」についてもう一度確認する 予習　「します」「しますか」「います」「あります」「いません」「ありません」と話す文法について調べる 10　韓国語基礎文法・実戦会話６ 「します」について勉強する。 学習課題　復習　「します・しますか」についててもう一度確認する 予習　「～です」「～ます」と話す文法について調べる 11　韓国語基礎文法・実戦会話７ 「する」以外の動詞、形容詞について勉強する 学習課題　復習　「します」についてもう一度確認する 予習　韓国語のヨ体(～です、～ます)、「～しに」と話す文法について調べる 12　韓国語基礎文法・実戦会話８ 用言の「ヨ体」について勉強する。 学習課題　復習　「する」以外の動詞、形容詞についてもう一度確認する 予習　漢数詞について調べる 13　韓国語基礎文法・実戦会話９ 漢数詞について勉強する。 学習課題　復習　用言の「ヨ体」についてもう一度確認する 予習　固有数詞と「いくつ」「何時何分」と話す文法について調べる 14　韓国語基礎文法・実戦会話１０ 固有数詞と時計の読み方について勉強する。 学習課題　復習　漢数詞についてもう一度確認する 予習　今までの学習内容をまとめる 15　全体のまとめ 学習課題　復習　授業全体で学んだ内容についてもう一度確認する 予習　なし

授業形態	講義 （教科書を中心として講義を行い、必要に応じてパワーポイントやプリント等を利用する。）
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	授業参加度（30%）、課題又はグループワーク（３0%）、定期試験（40%） ①文字と発音をしっかり学習することを目指す。 ②基本的な語彙と短文の理解、簡単な会話、基礎文法の習得を目指す。 ③会話練習や書き取り、聞き取りなどを練習する。 ④韓国の文化に対する関心・理解を高める。 基本的には定期試験を中心にし、さらに授業態度・出欠状況・レポート等を考慮して総合的に評価する。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	礎から学ぶ韓国語講座初級/木内明
履修条件	
履修上の注意	予習・復習をしてくること
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	学習者の学習進度やレベルに応じて、学習計画に変更が生じることがある。

講義科目名称：外国語Ⅱ　　授業コード：41553

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ ＆ 6thQ	２年	２単位	必修
担当教員			
劉　敏正			

講義概要	日本と同じように韓国でも会話の中でたくさんの慣用表現を使う。韓国語がネイティブのように上手であっても慣用表現を学習していないと理解できないことが多い。 従って慣用句の表現とその使い方、関連する文法などを学習し会話につなげることで韓国語会話能力をアップする。
授業計画	1　オリエンテーション 授業の進み方、クラス分け 2　第1課, 第2課 慣用表現：信じやすい、口が堅い　/　文法：～だそうです、～かも知れない 3　第3課 慣用表現：理想が高い　/　文法：～するつもりだ、～しなければならない 4　第4課 慣用表現：決心する　/　文法：～することにする 5　第5課 慣用表現：気に入る　/　文法：～の中で最も 6　第6課 慣用表現：口に合う　/　文法：～だと良い 7　第7課 慣用表現：顔が広い　/　文法：～ですよ、～んですよ 8　第8課 慣用表現：気前が良い　/　文法：～でも 9　小テスト及び復習 10　第9課 慣用表現：一杯する　/　文法：～することで有名だ 11　第10課 慣用表現：おごる　　文法：～ようだ、～そうだ、～みたいだ 12　第11課 慣用表現：胸がジンとする　/　文法：～するために、～のために 13　第12課 慣用表現：一肌脱ぐ　/　文法：～なんて 14　第13課 慣用表現：頭が痛い　/　文法：～だった 15　全体まとめ
授業形態	教科書を中心として講義を行い、必要に応じてプリント等を利用する。
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①基本的な語彙と短文の理解、簡単な会話、基礎文法などを定着させる。 ②日常生活で活用する簡単な言葉、短文を使うことができる。 ③読み書き、日常会話ができる。 ④韓国の文化に対する理解を高める。 ⑤慣用語の理解・習得ができる。
科目（教職課程用）	授業参加度（30%）、小テスト（20%）、課題又はグループワーク（10%）、期末テスト（40%）
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	基本的には定期試験を中心にし、さらに授業態度・出欠状況・レポート・小テスト等を考慮して総合的に評価する。
教科書・参考書	教科書：生きている韓国語　慣用語(株)ハングルパーク
履修条件	ハングルの読み・書き及び基礎的な文法が分かる。
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	学習進度やレベルに応じて、学習計画に変更が生じることがある。

講義科目名称：外国語Ⅱ（日本語・上級）　　授業コード：54551

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ ＆ 6thQ	２年	２単位	必修
担当教員			
小嶋　栄子			

講義概要	さまざまな教材やプリントを用い、日本語の総合的な聴解・聴読解力を高めていく。受講者の活発な質疑応答を期待する。
授業計画	1　オリエンテーション、聴解スキル・聴読解スキル 授業に関するオリエンテーション、聴解スキル・聴読解スキル 復習：「授業に関するオリエンテーション、聴解スキル・聴読解スキル」の確認 2　日常生活　１衣食住 日常生活　１衣食住を通して聴解の力を高める 復習：「日常生活　１衣食住」のスクリプトを読んで語句の意味を確認する。 3　日常生活　２暮らし 日常生活　２暮らしを通して聴解の力を高める 復習：「日常生活　２暮らし」のスクリプトを読んで語句の意味を確認する。 4　日常生活　３余暇 日常生活　３余暇に関する聴解練習 復習：「日常生活　３余暇」のスクリプトを読んで語句の意味を確認する。 5　日常生活　４買い物 日常生活　４買い物に関する聴解練習 復習：「日常生活　４買い物」のスクリプトを読んで語句の意味を確認する。 6　日常生活　５その他 日常生活　５その他に関する聴解練習 復習：「日常生活　５その他」のスクリプトを読んで語句の意味を確認する。 7　キャンパスライフ　６オリエンテーション１ キャンパスライフ　６オリエンテーション１に関する聴解練習 復習：「キャンパスライフ　６オリエンテーション１」のスクリプトを読んで語句の意味を確認する。 8　キャンパスライフ　６オリエンテーション２ キャンパスライフ　６オリエンテーション２に関する聴読解練習 復習：「キャンパスライフ　６オリエンテーション２」のスクリプトを読んで語句の意味を確認する。 9　キャンパスライフ　７科目登録１ キャンパスライフ　７科目登録１に関する聴読解練習 復習：「キャンパスライフ　７科目登録１」のスクリプトを読んで語句の意味を確認する。 １０　キャンパスライフ　７科目登録２ キャンパスライフ　７科目登録２に関する聴読解練習 復習：「キャンパスライフ　７科目登録２」のスクリプトを読んで語句の意味を確認する。 １１　キャンパスライフ　８学生課・教務課１ キャンパスライフ　８学生課・教務課１に関する聴読解練習 復習：「キャンパスライフ　８学生課・教務課１」のスクリプトを読んで語句の意味を確認する。 １２　キャンパスライフ　８学生課・教務課２ キャンパスライフ　８学生課・教務課２に関する聴読解練習 復習：「キャンパスライフ　８学生課・教務課２」のスクリプトを読んで語句の意味を確認する。 １３　キャンパスライフ　９施設利用１ キャンパスライフ　９施設利用１に関する聴読解練習 復習：「キャンパスライフ　９施設利用１」のスクリプトを読んで語句の意味を確認する。 １４　キャンパスライフ　９施設利用２ キャンパスライフ　９施設利用２に関する聴読解練習 復習：「キャンパスライフ　９施設利用２」のスクリプトを読んで語句の意味を確認

	する。 １５　キャンパスライフ　１０課外活動 キャンパスライフ　１０課外活動に関する聴読解練習 復習：「キャンパスライフ　１０課外活動」のスクリプトを読んで語句の意味を確認する。 予習：定期試験の準備をする。
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①自然なスピードの講義の内容をだいたい聞き取れる。 ②自然なスピードの留学生ライフの内容をだいたい聞き取れる。 ③自然なスピードのキャンパス事務連絡の内容をだいたい聞き取れる。 ④日本語能力試験において、上級者はＮ２、中級者はＮ３習得を目指す。 ⑤話し言葉に慣れ、日常の会話に生かすことができる。
科目（教職課程用）	平素の学習意欲（２０％）を重視し、学習状況並びに試験（５０％）などにより行う。 日頃のノート（３０％）についても随時点検し、評価の対象とする。
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	平素の学習意欲（２０％） 学習状況並びに試験（５０％） 日頃のノート（３０％）
教科書・参考書	テキスト：最初の授業で指示する。 参考書：授業を通して紹介する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	毎週火曜日５限。
備考・メッセージ	・欠席の場合は、必ず友人を通すかメールで連絡すること。 （教員のメールアドレスは、授業開始時に知らせる）

講義科目名称：外国語Ⅱ（日本語・中級）　　授業コード：54552

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ ＆ 6thQ	２年	２単位	必修
担当教員			
岩﨑　千恵			

講義概要	さまざまな教材やプリントを用い、日本語能力試験において、上級者はＮ２、中級者はＮ３習得を目指すことを目的とし、日本語の総合的な聴解・聴読解力を高めていく。受講者の活発な質疑応答を期待する。
授業計画	1　オリエンテーション、聴解スキル・聴読解スキル 授業に関するオリエンテーション、聴解スキル・聴読解スキル 復習：「授業に関するオリエンテーション、聴解スキル・聴読解スキル」の確認 2　日常生活　１衣食住 日常生活　１衣食住を通して聴解の力を高める 復習：「日常生活　１衣食住」のスクリプトを読んで語句の意味を確認する。 予習：「暮らし」に関する単語を調べておく 3　日常生活　２暮らし 日常生活　２暮らしを通して聴解の力を高める 復習：「日常生活　２暮らし」のスクリプトを読んで語句の意味を確認する。 予習：「余暇」に関する単語を調べておく 4　日常生活　３余暇 日常生活　３余暇に関する聴解練習 復習：「日常生活　３余暇」のスクリプトを読んで語句の意味を確認する。 予習：「買い物」に関する単語を調べておく 5　日常生活　４買い物 日常生活　４買い物に関する聴解練習 復習：「日常生活　４買い物」のスクリプトを読んで語句の意味を確認する。 予習：　テレビ等で聞いたことのない単語に関する意味を調べておく 6　日常生活　５その他 日常生活　５その他に関する聴解練習 復習：「日常生活　５その他」のスクリプトを読んで語句の意味を確認する。 予習：「オリエンテーション」に関する単語を調べておく 7　キャンパスライフ　６オリエンテーション１ キャンパスライフ　６オリエンテーション１に関する聴解練習 復習：「キャンパスライフ　６オリエンテーション１」のスクリプトを読んで語句の意味を確認する。 予習：「キャンパスライフ」に関する単語を調べておく 8　キャンパスライフ　６オリエンテーション２ キャンパスライフ　６オリエンテーション２に関する聴読解練習 復習：「キャンパスライフ　６オリエンテーション２」のスクリプトを読んで語句の意味を確認する。 予習：「科目登録」に関する単語を調べておく 9　キャンパスライフ　７科目登録１ キャンパスライフ　７科目登録１に関する聴読解練習 復習：「キャンパスライフ　７科目登録１」のスクリプトを読んで語句の意味を確認する。 予習：「授業」に関する単語を調べておく １０　キャンパスライフ　７科目登録２ キャンパスライフ　７科目登録２に関する聴読解練習 復習：「キャンパスライフ　７科目登録２」のスクリプトを読んで語句の意味を確認する。 予習：「学生課」に関する単語を調べておく １１　キャンパスライフ　８学生課・教務課１ キャンパスライフ　８学生課・教務課１に関する聴読解練習 復習：「キャンパスライフ　８学生課・教務課１」のスクリプトを読んで語句の意味を確認する。 予習：「教務課」に関する単語を調べておく １２　キャンパスライフ　８学生課・教務課２ キャンパスライフ　８学生課・教務課２に関する聴読解練習 復習：「キャンパスライフ　８学生課・教務課２」のスクリプトを読んで語句の意味を確認する。 予習：「施設利用」に関する単語を調べておく

	１３　キャンパスライフ　９施設利用１ キャンパスライフ　９施設利用１に関する聴読解練習 復習：「キャンパスライフ　９施設利用１」のスクリプトを読んで語句の意味を確認する。 予習：「一般の施設利用」に関する単語を調べておく １４　キャンパスライフ　９施設利用２ キャンパスライフ　９施設利用２に関する聴読解練習 復習：「キャンパスライフ　９施設利用２」のスクリプトを読んで語句の意味を確認する。 予習：「課外活動」に関する単語を調べておく １５　キャンパスライフ　１０課外活動 キャンパスライフ　１０課外活動に関する聴読解練習 復習：「キャンパスライフ　１０課外活動」のスクリプトを読んで語句の意味を確認する。 予習：定期試験の準備をする。
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①自然なスピードの講義の内容がだいたい聞き取れる。 ②自然なスピードの留学生ライフの内容をだいたい聞き取れる。 ③自然なスピードのキャンパス事務連絡の内容をだいたい聞き取れる。 ④日本語能力試験において、上級者はＮ２、中級者はＮ３習得を目指す。 ⑤話し言葉に慣れ、日常の会話に生かすことができる。 平素の学習意欲を重視し、学習状況並びに試験などにより行う。 平素の学習意欲（２０％） 学習状況並びに試験（５０％） 日頃のノート（３０％）
科目（教職課程用）	日頃のノート（３０％）についても随時点検し、評価の対象とする。
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：最初の授業で指示する。 参考書：授業を通して紹介する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	毎週火曜日４限
備考・メッセージ	・欠席の場合は、必ずメールで連絡すること。 （教員のメールアドレスは、授業開始時に知らせる）

講義科目名称：英語ライティング＆グラマーⅠ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
4thQ	１年	２単位	選択
担当教員			
牟田　美信			

講義概要	毎回、異なる題材に沿って、英語で文章を書き、自分の意見を的確に表現できるようにする。また、TOEICの学習をベースに、実践的に英語のグラマーを学習する。授業の中で、語彙数を増やし、リスニング力を高め、文法理解力を高める。
授業計画	1　Introduction & 英語で自己紹介 授業の進め方、評価方法の説明、Moodleの使い方 レベル別の３クラスが全体で初回を行う。 「自己紹介」を英語で書いてみよう。内容の添削、発表練習 学習課題　復習：ライティング課題と発表の練習 予習：辞書の準備 2　Unit 1: Airport Security Grammar Points: Word Forms 語源に関する問題 Writing Task 学習課題　復習：自己紹介で使う表現を復習 予習：事項珠海の内容を考える 3　Unit2: Weekend Activities Grammar Points: Tricky Prepositions and Phrasal Verbs (1) 前置詞 Writing Task 学習課題　復習：このUnitで学んだ文法項目の復習。 予習：次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかにする。 4　Unit 3: Ecology Grammar Points: Essential Comparatives 大切な比較表現のいろいろ Writing Task 学習課題　復習：このUnitで学んだ文法項目の復習。 予習：次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかにする。 5　Unit 4: Housing and Property Grammar Points: Action Verbs and State Verbs　行動の動詞と状態の動詞 Writing Task 学習課題　復習：このUnitで学んだ文法項目の復習。 予習：次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかにする。 6　Review Test レビューテスト 学習課題　復習：Unit 1 - 4 を復習 予習：次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかにする。 7　Unit 5: Health and Welfare Grammar Points: Articles and Quantifiers 冠詞と数量詞 Writing Task 学習課題　復習：このUnitで学んだ文法項目の復習。 予習：次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかにする。 8　Unit 6: Communications Grammar Points: Participles　分詞構文～ingと～ed Writing Task 学習課題　復習：このUnitで学んだ文法項目の復習。 予習：次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかにする。 9　Unit 7: Careers and Employment Grammar Points: Future Tense　未来形のさまざまな表現 Writing Task 学習課題　復習：このUnitで学んだ文法項目の復習。 予習：次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかにする。 10　Unit 8: Office Procedures and Protocol Grammar Points: Subjet-Verb Agreement　主語と動詞の関係 Writing Task 学習課題　復習：このUnitで学んだ文法項目の復習。 予習：次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかにする。 11　Review Test 2 レビューテスト

	学習課題　復習：Unit 5 - 8を復習 予習：次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。 12　Current Events and Public Affairs Grammar Points: To + Verb versus Verb + ing　toをとる動詞とingをとる動詞 Writing Task 学習課題　復習：このUnitで学んだ文法項目の復習。 予習：次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。 13　Marketing and Sales Campaigns Grammar Points: Past Modals with 'have + -ed'　助動詞をともなう過去完了□形 Writing Task 学習課題　復習：このUnitで学んだ文法項目の復習。 予習：次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。 14　Complaints and Troubleshooting Grammar Points: Conditional Sentences　第２、第３条件文 Writing Task 学習課題　復習：このUnitで学んだ文法項目の復習。 予習：次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。 15　Innovations and Technology Grammar Points: Phrasal Verbs (2)　３□語からなる熟語動詞 Writing Task 学習課題　復習：このUnitで学んだ文法項目の復習。 予習：次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。 16　総合評価
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①語彙数を増やす。 ②苦手とする英文法を正しく理解する。 ③正確に英語の音声を聞きとる。 ④英文の内容を正しく理解できる。 ⑤日常で使う使う簡単な英語の文章をかくことができる。 英文ライティングタスクと筆記試験で総合的に評価する。 筆記試験（８０％）、英語ライティングタスク（２０％）
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	「TOEIC Test ： On Target book 2 - 南雲堂」、プリント教材
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	木曜日 (14:50 - 16:20)
備考・メッセージ	英語ラインティングに関して、個人個人のレベルは大きく異なる。様々な日常と関連した問題に取り組み、自分のレベル、弱点を早く発見し、それぞれにあった問題に取り組み弱みを克服することが肝要である。また、様々な日常の場面や、就職活動で役立つライティングスキルをしっかりと学んで欲しい。実際に英語を使う場面に応じた実践的な内容でもある。英語力の向上に期待したい。

講義科目名称：ライティング＆グラマーⅡ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ	２年	２単位	選択
担当教員			
牟田　美信			

講義概要	TOEICの学習をベースに、ライティングとグラマーを学習する。授業の中で、語彙数を増やし、リスニング力を高め、文法、英文を行う。また、テーマ毎に、英語のライティングも行う。
授業計画	1　Traveling 位置を表す表現、WHで始まる疑問文、自動詞と他動詞、情報発見力を身につける 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 2　Daily Life & Shopping 動作・動きを表す表現、設問を先読み、呼応の理解、タイトルから目的・内容の予測 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 3　At Restaurants 動作・動きを表す表現、メッセージの目的の聞き取り、比較級・最上級、スキャンニング力をつける 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 4　Job Hunting 細部に注意、依頼の表現、関係代名詞・分詞の理解、ダブルパッセージ理解 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 5　At the Office 1 オフィス仕様の語句理解、オフィスでの頻出表現、空所の前後のヒント、読みのスピードアップ 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 6　At the Office 2 写真問題攻略、短いスピーチ理解のポイント、名詞の加算・不加算の理解、数字の理解 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 7　Review Test 1 復習小テスト 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 8　Doing Business Online 言い換え表現、Howで始まる疑問文、仮定法の基本、注意書きの理解 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 9　Housing 動作・動きの表現理解、前置詞の基本イメージをつかむ、用紙や表に親しむ 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 10　Making Deals & Contacts 言い換え表現に注意、位置を示す語句、動名詞とto不定詞の違い 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 11　Public Service 付加疑問文の理解、時や理由、譲歩を表す接続詞、告知文の理解 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 12　Banking & Finance 物が主語になる場合、副詞と形容詞の違い、言い換え表現 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 13　At Seminars & Workshops 選択肢表現、文脈の捉え方、メール内で使われる語句理解

	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 14　News & Media まぎらわしい発音の単語、Yes/No以外の応答表現、時制、全体か部分かの問題の見分け方 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 15　Review Test 2 復習小テスト 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 16　Review Test 2 まとめと評価
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	授業目標 ①　語彙数を増やす。 ②　英文法を正しく理解する。 ③　英文のリスニングを正確に理解する。 ④　英文の内容を正しく理解する。 ⑤　日常で使う簡単な英語の文章を書く。 授業中に行う小テスと筆記試験で総合的に評価を行う。 筆記試験（８０％）、小テスト（２０％）
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	レベル毎にことなるために、教科書は、授業中に指示
履修条件	
履修上の注意	授業には、予習と復習をしてから参加すること。
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00）　＊その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可
備考・メッセージ	英語学習は、継続です。毎日、英語に触れるようにすること。

講義科目名称：ライティング＆グラマーⅡ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ	２年	２単位	選択
担当教員			
Luc Roberge			

講義概要	This course is designed to provide students with opportunities to develop their writing skills. Focus of the course will be on writing related to work.
授業計画	Lesson 1: Introduction to the Course The course will be introduced. Students will enrol to the course on njc.9learn.net. They will get an orientation to the course and the online materials, assignments and projects Finally, students start to explore different types of occupations. All materials for the course will be provided by the teacher on njc.9learn.net. It is the students responsibility to keep up with their work. Lesson 2: Job Descriptions Students will review large numbers. Students will work in groups on terminology related to Qualifications and Benefits. Students will create a job description for their target job. 学習課題　復習：Occupations Vocabulary Sheet located on njc.9learn.net 予習：TBA Lesson 3: Business Emails 1 Students will develop their knowledge about conventions, form, expressions, singnature etc, used in business emails. 学習課題　復習：TBA 予習：TBA . Lesson 4: Business Emails 2 Students will develop their knowledge about conventions, form, expressions, singnature etc, used in business emails. 学習課題　復習：TBA 予習：TBA Lesson 5: Business Emails 3 Students will develop their knowledge about conventions, form, expressions, singnature etc, used in business emails. 学習課題　復習：TBA 予習：TBA Lesson 6: Resume and Cover Letter 1 Students will develop their knowledge about conventions, form, expressions, singnature etc, used in English Resumes and Cover Letters. 学習課題　復習：Students should review the contents of the previous lessons. 予習：Students should preview the upcoming work on njc.9learn.net Lesson 7: Resume and Cover Letter 2 Students will develop their knowledge about conventions, form, expressions, singnature etc, used in English Resumes and Cover Letters. 学習課題　復習：Students should review the contents of the previous lessons. 予習：Students should preview the upcoming work on njc.9learn.net Lesson 8: Resume and Cover Letter 3 Students will develop their knowledge about conventions, form, expressions, singnature etc, used in English Resumes and Cover Letters. 学習課題　復習：Students should review the contents of the previous lessons. 予習：Students should preview the upcoming work on njc.9learn.net Lesson 9: Resume and Cover Letter 4 Students will develop their knowledge about conventions, form, expressions, singnature etc, used in English Resumes and Cover Letters. 学習課題　復習：Students should review the contents of the previous lessons. 予習：Students should preview the upcoming work on njc.9learn.net Lesson 10: Resume and Cover Letter 5 Students will develop their knowledge about conventions, form, expressions, singnature etc, used in English Resumes and Cover Letters. 学習課題　復習：Students should review the contents of the previous lessons. 予習：Students should preview the upcoming work on njc.9learn.net Lesson 11: Resume and Cover Letter 4

	Students will develop their knowledge about conventions, form, expressions, singnature etc, used in English Resumes and Cover Letters. 学習課題　復習：Students should review the contents of the previous lessons. 予習：Students should preview the upcoming work on njc.9learn.net Lesson 12: Job Interview Project 1 Students will choose a job that they may be interested in pursuing. Students will make and English resume. Students will plan and prepare to participate in a mock interview completely in English. 学習課題　復習：Students should become familiar with the materials on njc.9learn.net 予習：Students should be preparing a resume, cover letter and interview question responses. Lesson 13: Job Interview Project 2 Students will choose a job that they may be interested in pursuing. Students will make and English resume. Students will plan, prepare and participate in a mock interview completely in English. 学習課題　復習：Students should become familiar with the materials on njc.9learn.net 予習：Students should be preparing a resume, cover letter and interview question responses. Lesson 14: Job Interview Day 1 Students will choose a job that they may be interested in pursuing. Students will make and English resume. Students will plan, prepare and participate in a mock interview completely in English. 学習課題　復習：Students should be ready for their interview on their selected interview time. 予習：Students should be ready for their interview on their selected interview time. Lesson 15: Job Interview Day 2 Students will choose a job that they may be interested in pursuing. Students will make and English resume. Students will plan, prepare and participate in a mock interview completely in English. 学習課題　復習：Students should be ready for their interview on their selected interview time. 予習：Students should be ready for their interview on their selected interview time.
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	1. Students will be able to keep a weekly journal. 2. Students will be able to write business emails. 3. Students will be able to create a job description. 4. Students will be able to write a resume and cover letter. 4. Students will be able to participate in a mock interview. Grades will be based on classroom engagement, weekly journals, business emails, classwork, and a mock job interview. Grades will be based on engagement (20%), weekly journals (20%), classwork (30%) and job interview (30%).
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	There is no textbook for the course. All course materials will be available to registered students on njc.9learn.net. It is the student responsibility to become familiar with, and keep up with all their classwork.
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	Feel free to visit me in my office anytime I am not in class or a meeting. Monday 3:00-5:30.
備考・メッセージ	Hello students. Let's have fun learning together.

講義科目名称：ライティング＆グラマーⅡ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ	２年	２単位	選択
担当教員			
園田　靖			

講義概要	
授業計画	
授業形態	
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	
備考・メッセージ	

講義科目名称：ライティング＆グラマーⅡ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ	２年	２単位	選択
担当教員			
青木　萌			

講義概要	本授業では就職活動や編入学に大きく役立つ中国語検定試験HSK(漢語水平考平)の模擬問題を用いて、中国語の文法および作文を学習する。
授業計画	1　オリエンテーション、模擬問題1 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 復習:前回学んだ箇所を音読する 2　模擬問題2 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回の模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する 3　模擬問題3 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回の模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する 4　模擬問題4 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回の模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する 5　模擬問題5 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回の模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する 6　模擬問題6 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回の模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する 7　模擬問題7 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回の模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する 8　模擬問題8 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回の模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する 9　模擬問題9 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回の模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する １０　模擬問題10 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回の模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する １１　模擬問題11 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく

	復習:前回の模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する １２　模擬問題12 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回の模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する １３　模擬問題13 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回の模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する １４　模擬問題14 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回の模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する １５　模擬問題15 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回の模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	評価の観点は、HSKの4級合格に相当する文法力および作文力を有していることである。 評価手段・方法は、授業態度、発音練習、および定期試験で評価する。 評価比率は以下の通りである。 授業態度、発音練習50%、定期試験50%
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	教科書は使用せずプリントを配布する。参考書は適宜紹介する。
履修条件	中国語Ｉを履修していること。また、中国語が母語でない学生を履修対象とする。
履修上の注意	毎回、模擬問題の解答や解答理由を求めるので、予習と復習を欠かさず行うこと。
オフィスアワー	授業終了後にその場で、或は、研究室で受け付けます。
備考・メッセージ	中国語の検定試験であるHSKの問題集を解くことで、効率よく文法と作文の理解を深めることができます。HSKの資格を持っていると、就職活動や編入学でとても有利になります。ぜひ履修して下さい。

講義科目名称：ライティング＆グラマーⅡ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ	２年	２単位	選択
担当教員			
井上　麗奈			

講義概要	中国語は語順が一見かなり自由なようだが、一定のルールに沿って語句が配列されている。その語順のルールを把握することが中国語力を確かなものにする重要な基礎となるので、この授業ではこれに関する並べ替え練習を多く行う。同時に８クォータの卒業研究における論文作成を視野に入れ、中国語で学術論文等を作成する方法について触れる。
授業計画	１　動作の諸相（1） 時制とアスペクト ２　動作の諸相（2） 結果・方向・可能 ３　動作の諸相（３） 二重目的語と対象を表す前置き詞 ４　動作の諸相（４） 使役・その他の使役動詞 ５　動作の諸相（５） 受け身・その他の受け身文 ６　つなぎ方（1） 仮定・条件 ７　つなぎ方（２） 順序・全称 ８　つなぎ方（３） 原因・目的 ９　つなぎ方（４） 逆接（ではなく～だ） １０　つなぎ方（５） 並列・累加 １１　標点符号の使い方（1） 句点、マル、コンマ、読点、省略号、書名符号 １２　標点符号の使い方（２） コロン、疑問符、引用符、カッコ １３　論文の書き方（1） 章立ての仕方、引用の仕方、先行研究の調査方法 １４　論文の書き方（2） 参考文献や註の書き方、謝辞の書き方など １５　総括 復習および表現練習
授業形態	①　文の組み立て方を学ぶ。 ②　中国語の様々表現をアクティブに使えるようにすること。 ③　表現の基本パターンとその語順を覚える。 ④　論文の書き方を習得する。 ⑤　類義表現のニュアンスを理解する。
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	定期試験、学習態度・意欲などから総合的に評価する。定期試験、学習態度・意欲などから総合的に評価する。授業内練習30%、レポート30%、定期試験40%。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：『書く中国語』、董燕・遠藤光暁、（株）朝日出版社。 参 考 書：授業内容に合わせて別途提示する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業以外の時間（9時から17時までの間）ならいつでも気軽に訪ねてください。
備考・メッセージ	口語能力こそ文章能力の基礎であることを念頭に置きながら、練習に励んでほしい。

講義科目名称：ライティング＆グラマーⅡ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ	２年	２単位	選択
担当教員			
李　載宇			

講義概要	韓国語の正書法、原稿用紙の書き方など「書く」ことに必要なことを学び、実際に書く練習を行う。また、書いた文章を添削してフィードバックを繰り返しながら、より韓国語の表現に相応しい文型を「文法」を中心に説明し、自然な韓国語文章を作り出す能力を身に付ける。
授業計画	１　オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 「文章をうまく書くために」必要な３要素について 学習課題　復習　なし 予習　韓国語の正書法について調べておく ２　韓国語正書法１ 「文章内の空白（ティオッスギ）の使い方について把握することができる。 勉強した内容をベースで、実際に文章を書いてみる。 学習課題　復習　文章をうまく書くための３要素についてもう一度確認する 予習　韓国語の名詞・数詞について調べておく ３　韓国語正書法２ 「名詞・数詞」の正しい書き方について把握することができる。 勉強した内容をベースで、実際に文章を書いてみる。 学習課題　復習　韓国語の正書法についてもう一度確認する 予習　韓国語の用言について調べておく ４　韓国語正書法３ 「用言と補助用言」の区別と正しい書き方について把握することができる。 勉強した内容をベースで、実際に文章を書いてみる。 学習課題　復習　韓国語の名詞・数詞についてもう一度確認する 予習　原稿用紙の書き方について調べておく ５　韓国語正書法４ 韓国語の「原稿用紙の書き方」を理解し、原稿用紙で文章を書くことができる。 勉強した内容をベースで、実際に文章を書いてみる。 学習課題　復習　韓国語の用言についてもう一度確認する 予習　文章の３段構成について調べておく ６　作文準備１ 文章を構成する基本方法である「３段構成」について理解できる。 実際にテーマに沿って３段階で文を構成する練習を行う。 学習課題　復習　原稿用紙の書き方についてもう一度確認する 予習　自己紹介文の書き方について調べておく ７　作文準備２ 「私は…」で始まる文章を持って自己紹介文を書くことができる。 実際に自分自身について説明する文章を書く練習を行う。 学習課題　復習　文章の３段構成についてもう一度確認する 予習　初稿を作成する方法について調べておく ８　作文準備３ 文を書くための基礎作業である「初稿作成」の進み方を把握することが出来る。 実際に「自己紹介文」の初稿を作成する練習を行う。 学習課題　復習　自己紹介文の書き方についてもう一度確認する 予習　原稿用紙で書く準備をしておく ９　作文練習１ 原稿用紙で「私はこういう人です」という文を作成する。 前もって準備した初稿に合わせて原稿用紙に書く練習を行う。 学習課題　復習　初稿を作成する方法についてもう一度確認する 予習　説明文の表現について調べておく １０　作文練習２ 前回書いた文の添削と、よく間違う文法要素について説明する。 次回テーマの初稿を作成：「クリスマス」について「説明」する。 学習課題　復習　自分が書いた文章と表現についてもう一度確認する 予習　原稿用紙で書く準備をしておく １１　作文練習３ 原稿用紙で「クリスマスの定義とクリスマスですること」という文を作成する。 前もって準備した初稿に合わせて原稿用紙に書く練習を行う。 学習課題　復習　説明文の表現についてもう一度確認する 予習　賛成・反対に関する表現について調べておく １２　作文練習４ 前回書いた文の添削と、よく間違う文法要素について説明する。 次回テーマの初稿を作成：「ジャンケンポン」という意思決定方法について 学習課題　復習　自分が書いた文章と表現についてもう一度確認する 予習　原稿用紙で書く準備をしておく １３　作文練習４ 原稿用紙で「ジャンケンポンのやり方とその活用性」という文を作成する。

	前もって準備した初稿に合わせて原稿用紙に書く練習を行う。 学習課題　復習　賛成・反対に関する表現についてもう一度確認する 予習　感想・添削に関する表現について調べておく １４　作文練習５ 前回書いた文の添削と、よく間違う文法要素について説明する。 今まで作成した作文を全員で読み合い、感想を語り合う。 学習課題　復習　自分が書いた文章と表現についてもう一度確認する 予習　今まで勉強した内容について調べておく １５　まとめ 良い文章を書くために必要なものについて意見交換を行う。 今まで勉強した文法・正書法を活用して、その内容を整理する。 学習課題　復習　今まで勉強した内容についてもう一度確認する 予習　なし
授業形態	講義・演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	授業参加度（３０％）、課題・グループワーク（３０％）、定期テスト（４０％） ①韓国語の正書法について学習し、正しい規則に沿って書けるようになる。 ②文の構成とその要素について把握し、自分の言葉で文書を書くことができる。 ③説明や自分の意見を文章でまとめることができる。 ④他の人が書いた文章を分析し、共に成長することができる。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	各授業で準備します
履修条件	
履修上の注意	実際に書く練習を行うので、積極的に参加して頂きたい。
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	学習者の学習進度やレベルに応じて、学習計画を変更する場合がある。

講義科目名称：ライティング＆グラマーⅡ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ	２年	２単位	選択
担当教員			
劉　敏正			

講義概要	主に文法を中心として学習し、学習した文法を使って文章を作る。同じ単語や文を繰り返し書くことでその意味と活用方法が理解できる。
授業計画	１　イントロダクション ２　第1課　安否 文法；～にみえる、～ように見える、～みたい、～と思わなかった、不規則活用 内容；　本文解説、文法の説明、練習問題 ３　第1課　安否２ 文法；～にみえる、～ように見える、～みたい、～と思わなかった、不規則活用 内容；文法の応用、作文、聞き取り、発表 ４　第２課　外見 文法；～方だ、外見に関する表現、～だが、～ずつ、～ですよ 内容；　本文解説、文法の説明、練習問題 ５　第２課　外見２ 文法；～方だ、外見に関する表現、～だが、～ずつ、～ですよ 内容；文法の応用、作文、聞き取り、発表 ６　第3課　食べ物 文法；～するから、～した方が良い、なんでも、～ておく、～だなんて 内容；　本文解説、文法の説明、練習問題 ７　第3課　食べ物２ 文法；～するから、～した方が良い、なんでも、～ておく、～だなんて 内容；文法の応用、作文、聞き取り、発表 ８　振り返り 復習と小テスト ９　第4課　疾病と治療 文法；～するから、～した方が良い、なんでも、～ておく、～だなんて 内容；　本文解説、文法の説明、練習問題 １０　第4課　疾病と治療２ 文法；～するから、～した方が良い、なんでも、～ておく、～だなんて 内容；文法の応用、作文、聞き取り、発表 １１　第5課　学校生活 文法；～だった、タメ語 内容；　本文解説、文法の説明、練習問題 １２　第5課　学校生活２ 文法；～だった、タメ語 内容；文法の応用、作文、聞き取り、発表 １３　第6課　旅行 文法；～したついでに、～だよ 内容；　本文解説、文法の説明、練習問題 １４　第6課　旅行２ 文法；～したついでに、～だよ 内容；文法の応用、作文、聞き取り、発表 １５　まとめ
授業形態	講義・演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①中級レベルの文法を学習し、長文が書けるようになる。 ②単語や文を繰り返し書くことでその意味と活用方法が理解できる。 ③日常的会話表現が身につく。 ④学習した文法を活用できる。

科目（教職課程用）	授業参加度、小テスト、課題・グループワーク、期末テストの結果から教員が総合的に判断する。
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	授業参加度（20%）、課題・グループワーク（30%）、期末テスト（50%）
教科書・参考書	テキスト：簡単に学ぶ韓国語／釜山外国語大学校韓国語教育院／(株)ハングルパーク
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	学習者の学習進度やレベルに応じて、学習計画を変更する場合がある。

講義科目名称：ライティング＆グラマーⅡ　中級　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ	２年	２単位	選択
担当教員			
冨場　康			
中級			

講義概要	「日本留学試験」「日本語能力試験１級・２級・３級」を受験する際に対応できるように、前者の「読解」「聴読解」「聴解」及び後者の「言語知識（文字・語彙・文法）」「読解」「聴解」の分野での日本語力の向上を図りながら、日本語の総合的な力を高める。
授業計画	１　オリエンテーション 授業に関するオリエンテーションおよびプレースメントテスト 学習課題　復習：プレースメントテストでできなかった問題のやり直し 予習：「読解１」の語句を調べておく。 ２　日本留学試験１ 日本留学試験　読解１ 学習課題　復習：「読解１」の問題をやり直す。 予習：「読解２」」の語句を調べておく。 ３　日本留学試験２ 日本留学試験　読解２ 学習課題　復習：「読解２」の問題のやり直し。 予習：「読解３」」の語句を調べておく。 ４　日本留学試験３ 日本留学試験　読解３ 学習課題　復習：「読解３」の問題のやり直し。 予習：「聴読解１」」の語句を調べておく。 ５　日本留学試験４ 日本留学試験　聴読解１ 学習課題　復習：「聴読解１」のスクリプトの見直し。 予習：「聴読解２」」の語句を調べておく。 ６　日本留学試験５ 日本留学試験　聴読解２ 学習課題　復習：「聴読解２」のスクリプトの見直し 予習：「聴解１」」の語句を調べておく。 ７　日本留学試験６ 日本留学試験　聴解１ 学習課題　復習：「聴解１」のスクリプトの見直し。 予習：「聴解２」の語句を調べておく。 ８　日本留学試験７ 日本留学試験　聴解２ 学習課題　復習：「聴解２」のスクリプトの見直し 予習：「言語知識（文字・語彙・文法）１」の語句を調べておく。 ９　日本語能力試験１ 日本語能力試験　言語知識（文字・語彙・文法）１ 学習課題　復習：「言語知識（文字・語彙・文法）１」の問題の見直し。 予習：「言語知識（文字・語彙・文法）２」の語句を調べておく。 １０　日本語能力試験２ 日本語能力試験　言語知識（文字・語彙・文法）２ 学習課題　復習：「言語知識（文字・語彙・文法）２」の問題の見直し。 予習：「言語知識（文字・語彙・文法）３」の語句を調べておく。 １１　日本語能力試験３ 日本語能力試験　言語知識（文字・語彙・文法）３ 学習課題　復習：「言語知識（文字・語彙・文法）３」の問題の見直し。 予習：「言語知識（文字・語彙・文法）４」の語句を調べておく。 １２　日本語能力試験４ 日本語能力試験　言語知識（文字・語彙・文法）４ 学習課題　復習：「言語知識（文字・語彙・文法）４」の問題の見直し。 予習：「聴解１」の語句を調べておく。 １３　日本語能力試験５ 日本語能力試験　聴解１ 学習課題　復習：「聴解１」の問題の見直し。 予習：「聴解２」の語句を調べておく。 １４　日本語能力試験６ 日本語能力試験　聴解２ 学習課題　復習：「聴解２」の問題の見直し。 予習：「聴解３」の語句を調べておく。 １５　日本語能力試験　聴解３ 日本語能力試験　聴解３ 学習課題　復習：「聴解３」の問題の見直し。 予習：定期試験の準備をする。

授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①日本留学試験の「読解」問題に対応できる力をつける。 ②日本留学試験の「聴読解・聴解」問題に対応できる力をつける。 ③各自の能力に応じた日本語能力試験１・２・３級の「言語知識（文字・語彙・文法）」問題に対応できる力をつける。 ④各自の能力に応じた日本語能力試験１・２・３級の「読解」問題に対応できる力をつける。 ⑤各自の能力に応じた日本語能力試験１・２・３級の「聴解」問題に対応できる力をつける。 平素の学習意欲（２０％）、授業中の小テスト（３０％）、定期試験（５０％）
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：最初の授業で指示する。 参考書：授業中に随時指示する。
履修条件	
履修上の注意	必ず辞書（電子辞書でも可）を持ってくること。
オフィスアワー	授業の前後で対応する。
備考・メッセージ	わからない設問があるときは、どんどん質問して下さい。

講義科目名称：ライティング＆グラマーⅡ　上級　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ	２年	２単位	選択
担当教員			
内山　智子			
上級			

講義概要	・日常生活における日本語運用力向上につながるように配慮しながら授業を行う ・学生の表現能力の実態に基づいた、能力差に配慮した授業を行う
授業計画	1　オリエンテーション 授業に関するオリエンテーション ＜学習課題＞　復習：オリエンテーションの確認 予習：「文型1」の語句を調べてくる。 2　文型1 様々な文型を使って、話したり書いたりする表現力を高める。 ＜学習課題＞　復習：「文型1」の確認・見直し 予習：「文型2」の語句を調べてくる。 3　文型2 様々な文型を使って、話したり書いたりする表現力を高める。 ＜学習課題＞　復習：「文型2」の確認・見直し 予習：「文型3」の語句を調べてくる。 4　文型3 様々な文型を使って、話したり書いたりする表現力を高める。 ＜学習課題＞　復習：「文型3」の確認・見直し 予習：「文型4」の語句を調べてくる。 5　文型4 様々な文型を使って、話したり書いたりする表現力を高める。 ＜学習課題＞　復習：「文型4」の確認・見直し 予習：「文章1」の語句を調べてくる。 6　文章1 文や文章を読む学習を通して、話したり書いたりする表現力を高める。 ＜学習課題＞　復習：「文章1」の確認・見直し 予習：「文章2」の語句を調べてくる。 7　文章2 文や文章を読む学習を通して、話したり書いたりする表現力を高める。 ＜学習課題＞　復習：「文章2」の確認・見直し 予習：「文章3」の語句を調べてくる。 8　文章3 文や文章を読む学習を通して、話したり書いたりする表現力を高める。 ＜学習課題＞　復習：「文章3」の確認・見直し 予習：「文章4」の語句を調べてくる。 9　文章4 文や文章を読む学習を通して、話したり書いたりする表現力を高める。 ＜学習課題＞　復習：「文章4」の確認・見直し 予習：「聴解1」の語句を調べてくる。 10　聴解1 聴解能力を高める訓練を繰り返しながら、 話したり書いたりする表現力を高める。 ＜学習課題＞　復習：「聴解1」のスクリプトの見直し 予習：「聴解2」の語句を調べてくる。 11　聴解2 聴解能力を高める訓練を繰り返しながら、 話したり書いたりする表現力を高める。 ＜学習課題＞　復習：「聴解2」のスクリプトの見直し 予習：「聴解3」の語句を調べてくる。 12　聴解3 聴解能力を高める訓練を繰り返しながら、 話したり書いたりする表現力を高める。 ＜学習課題＞　復習：「聴解3」のスクリプトの見直し 予習：「聴読解1」の語句を調べてくる。 13　聴読解から1 聴読解能力を高める訓練を繰り返しながら、 話したり書いたりする表現力を高める。 ＜学習能力＞　復習：「聴読解から1」のスクリプトの見直し 予習：「聴読解から2」の語句を調べてくる。 14　聴読解から2 聴読解能力を高める訓練を繰り返しながら、 話したり書いたりする表現力を高める。 ＜学習能力＞　復習：「聴読解から2」のスクリプトの見直し 予習：「聴読解から3」の語句を調べてくる。 15　聴読解から3

	聴読解能力を高める訓練を繰り返しながら、 話したり書いたりする表現力を高める。 ＜学習能力＞　復習：「聴読解から3」のスクリプトの見直し 予習：試験の準備
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①学習した文型を使って話したり書いたりする表現力を高める。 ②聴解能力を高めながら話したり書いたりする表現力を高める。 ③聴読解能力を高めながら話したり書いたりする表現力を高める。 ④興味ある話題や課題等について、質疑応答できる表現力を高める。 ⑤様々な場面で学習内容を円滑に運用できる表現力を高める。
科目（教職課程用）	平素の学習意欲（３０％） レポート・発表（２０％） 定期試験（５０％）
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	平素の学習意欲（３０％） レポート・発表（２０％） 定期試験（５０％）
教科書・参考書	テキスト：最初の授業で指示する。 参考書：授業で随時指示する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	時事問題や日本語に関する新聞記事やコラムを取り扱いながら幅広く日本語の知識を広げていきましょう。

講義科目名称：英会話Ⅰ　　授業コード：11151

英文科目名称：English Conversation Ⅰ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
Q1 & Q2	１年	２単位	必修
担当教員			
Luc Roberge, Erika Bucciantini, Rachel Greenhouse, Jennifer Matsuda			

講義概要	This is a four skills-based course with a focus on communication designed to provide opportunities to improve English language knowledge and communication skills. Focus will be given to communication skills needed for informal, everyday situations. Students will meet twice a week for 90 minutes (for 30 lessons), and classes will be conducted entirely in English. Students will learn and practice vocabulary, grammar and expressions needed to talk about everyday topics, as well as the conversation strategies needed to communicate naturally. Much of class time will be devoted to small group and class discussion under the guidance of the teacher. Students will also learn about the culture and customs of people from other countries.
授業計画	Lesson 1: Introduction to the course Students will be introduced to the course. Key points covered: 1. Teacher Introductions 2. Format of the course 3. Evaluations. 4. Expectations Lesson 2: Orientation and Team Building Introduction of the textbook, njc.9learn.net, discussion-groups, discussion-group role, YouTube journals and peer-evaluations. Lesson 3: Streamed Groups Students will be streamed into groups based on language test scores and communication ability. Students will have the opportunity to become acquainted with their teacher and their peers. Speed Dating and circle conversations Lesson 4: Gap Lesson: Communicative Activities Gap Lesson - Teachers will prepare interactive activities and games for students. Students will not use the textbook during Gap Lessons but are asked to bring their textbook as teachers may use this time to check student progress. 学習課題 復習：TBA by teacher 予習：TBA by teacher Lesson 5: Hometown - Lesson A Lesson A - Students will be introduced to a new chapter of the textbook. Students will work progressively through the chapter to practice their listening, reading, and speaking skills. This will also be an opportunity for students to build their topic-related vocabulary and grammar knowledge. 学習課題 復習：TBA by teacher 予習：TBA by teacher Lesson 6: Hometown - Lesson B Lesson B - Students will continue to progressively work through the chapter to practice their listening, reading, and speaking skills. Teachers may choose to bring additional content. Student will build their topic-related vocabulary and grammar knowledge. Students may also be given time to prepare their scrap and scrap presentation. Students should bring photos and other materials for making their scrap for this lesson. 学習課題 復習：TBA by teacher 予習：TBA by teacher Lesson 7: Hometown - Lesson C Lesson C - Students may be given time to work on their scrap presentation. Students will make presentation notes in a notebook. Teachers can help students with language during this period. Students should also use this time to practice presenting their scrap with a partner. 学習課題 復習：TBA by mini-unit teacher 予習：TBA by mini-unit teacher Lesson 8: Hometown - Lesson D Lesson D - Students will be placed in small discussion groups. Each student will present their scrap and there will be time for a Q&A period after. Students will give presenters feedback. Students will use the peer-feedback to improve their presentation. Following the lesson, students will have 3 days to upload a YouTube video link to the njcQlearn cite. Teachers will then evaluate each student presentation. 学習課題 復習：TBA by teacher 予習：TBA by teacher Lesson 9: Gap Lesson: Communicative Activities Gap Lesson - Teachers will prepare interactive activities and games for students. Students will not use the textbook during Gap Lessons but are asked to bring their textbook as teachers may use this time to check student progress.

学習課題　復習：TBA by teacher
予習：TBA by teacher

Lesson 10:　Music - Lesson A

Lesson A - Students will be introduced to a new chapter of the textbook. Students will work progressively through the chapter to practice their listening, reading, and speaking skills.　This will also be an opportunity for students to build their topic-related vocabulary and grammar knowledge.

学習課題　復習：TBA by teacher
予習：TBA by teacher

Lesson 11:　Music - Lesson B

Lesson B - Students will continue to progressively work through the chapter to practice their listening, reading, and speaking skills.　Teachers may choose to bring additional content. Student will build their topic-related vocabulary and grammar knowledge.　Students may also be given time to prepare their scrap and scrap presentation.　Students should bring photos and other materials for making their scrap for this lesson.

学習課題　復習：TBA by teacher
予習：TBA by teacher

Lesson 12:　Music - Lesson C

Lesson C - Students may be given time to work on their scrap presentation.　Students will make presentation notes in a notebook.　Teachers can help students with language during this period. Students should also use this time to practice presenting their scrap with a partner.

学習課題　復習：TBA by mini-unit teacher
予習：TBA by mini-unit teacher

Lesson 13:　Music - Lesson D

Lesson D - Students will be placed in small discussion groups.　Each student will present their scrap and there will be time for a Q&A period after.　Students will give presenters feedback.　Students will use the peer-feedback to improve their presentation.　Following the lesson, students will have 3 days to upload a YouTube video link to the njcQlearn cite.　Teachers will then evaluate each student presentation.

学習課題　復習：TBA by teacher
予習：TBA by teacher

Lesson 14:　Gap Lesson: Communicative Activities

Gap Lesson - Teachers will prepare interactive activities and games for students. Students will not use the textbook during Gap Lessons but are asked to bring their textbook as teachers may use this time to check student progress.

学習課題　復習：TBA by teacher
予習：TBA by teacher

Lesson 15:　Gap Lesson: Communicative Activities

Gap Lesson - Teachers will prepare interactive activities and games for students. Students will not use the textbook during Gap Lessons but are asked to bring their textbook as teachers may use this time to check student progress.

学習課題　復習：TBA by teacher
予習：TBA by teacher

Lesson 16:　Gap Lessons

Lesson A - Students will change teachers.　Some time will be provided to get to know the new teacher.　Students will be introduced to a new chapter of the textbook. Students will work progressively through the chapter to practice their listening, reading, and speaking skills.　This will also be an opportunity for students to build their topic-related vocabulary and grammar knowledge.

学習課題　復習：TBA by teacher
予習：TBA by teacher

Lesson 17:　Books - Lesson A

Lesson B - Students will continue to progressively work through the chapter to practice their listening, reading, and speaking skills.　Teachers may choose to bring additional content. Student will build their topic-related vocabulary and grammar knowledge.　Students may also be given time to prepare their scrap and scrap presentation.　Students should bring photos and other materials for making their scrap for this lesson.

学習課題　復習：TBA by teacher
予習：TBA by teacher

Lesson 18:　Books - Lesson B

Lesson C - Students may be given time to work on their scrap presentation.　Students will make presentation notes in a notebook.　Teachers can help students with language during this period. Students should also use this time to practice presenting their scrap with a partner.

学習課題　復習：TBA by mini-unit teacher
予習：TBA by mini-unit teacher

Lesson 19:　Books - Lesson C

Lesson D - Students will be placed in small discussion groups. Each student will present their scrap and there will be time for a Q&A period after. Students will give presenters feedback. Students will use the peer-feedback to improve their presentation. Following the lesson, students will have 3 days to upload a YouTube video link to the njcQlearn cite. Teachers will then evaluate each student presentation.

学習課題　復習：TBA by teacher
予習：TBA by teacher

Lesson 20: Books - Lesson D

Gap Lesson - Teachers will prepare interactive activities and games for students. Students will not use the textbook during Gap Lessons but are asked to bring their textbook as teachers may use this time to check student progress.

学習課題　復習：TBA by teacher
予習：TBA by teacher

Lesson 21: Family - Lesson A

Lesson A - Students will change teachers. Some time will be provided to get to know the new teacher. Students will be introduced to a new chapter of the textbook. Students will work progressively through the chapter to practice their listening, reading, and speaking skills. This will also be an opportunity for students to build their topic-related vocabulary and grammar knowledge.

学習課題　復習：TBA by teacher
予習：TBA by teacher

Lesson 22: Family - Lesson B

Lesson B - Students will continue to progressively work through the chapter to practice their listening, reading, and speaking skills. Teachers may choose to bring additional content. Student will build their topic-related vocabulary and grammar knowledge. Students may also be given time to prepare their scrap and scrap presentation. Students should bring photos and other materials for making their scrap for this lesson.

学習課題　復習：TBA by teacher
予習：TBA by teacher

Lesson 23: Family - Lesson C

Lesson C - Students may be given time to work on their scrap presentation. Students will make presentation notes in a notebook. Teachers can help students with language during this period. Students should also use this time to practice presenting their scrap with a partner.

学習課題　復習：TBA by mini-unit teacher
予習：TBA by mini-unit teacher

Lesson 24: Family - Lesson D

Lesson D - Students will be placed in small discussion groups. Each student will present their scrap and there will be time for a Q&A period after. Students will give presenters feedback. Students will use the peer-feedback to improve their presentation. Following the lesson, students will have 3 days to upload a YouTube video link to the njcQlearn cite. Teachers will then evaluate each student presentation.

学習課題　復習：TBA by teacher
予習：TBA by teacher

Lesson 25: Gap Lesson: Communicative Activities

Gap Lesson - Teachers will prepare interactive activities and games for students. Students will not use the textbook during Gap Lessons but are asked to bring their textbook as teachers may use this time to check student progress.

学習課題　復習：TBA by teacher
予習：TBA by teacher

Lesson 26: Travel - Lesson A

Lesson A - Students will change teachers. Some time will be provided to get to know the new teacher. Students will be introduced to a new chapter of the textbook. Students will work progressively through the chapter to practice their listening, reading, and speaking skills. This will also be an opportunity for students to build their topic-related vocabulary and grammar knowledge.

学習課題　復習：TBA by teacher
予習：TBA by teacher

Lesson 27: Travel - Lesson B

Lesson B - Students will continue to progressively work through the chapter to practice their listening, reading, and speaking skills. Teachers may choose to bring additional content. Student will build their topic-related vocabulary and grammar knowledge. Students may also be given time to prepare their scrap and scrap presentation. Students should bring photos and other materials for making their scrap for this lesson.

学習課題　復習：TBA by teacher
予習：TBA by teacher

Lesson 28: Travel - Lesson C

Lesson C - Students may be given time to work on their scrap presentation. Students

	will make presentation notes in a notebook. Teachers can help students with language during this period. Students should also use this time to practice presenting their scrap with a partner. 学習課題　復習：TBA by mini-unit teacher 予習：TBA by mini-unit teacher Lesson 29: Travel - Lesson D Lesson D - Students will be placed in small discussion groups. Each student will present their scrap and there will be time for a Q&A period after. Students will give presenters feedback. Students will use the peer-feedback to improve their presentation. Following the lesson, students will have 3 days to upload a YouTube video link to the njcQlearn cite. Teachers will then evaluate each student presentation. 学習課題　復習：TBA by teacher 予習：TBA by teacher Lesson 30: Gap Lesson - Course Review Gap Lesson - Teachers will prepare interactive activities and games for students. Students will not use the textbook during Gap Lessons but are asked to bring their textbook as teachers may use this time to check student progress. 学習課題　復習：TBA by teacher 予習：TBA by teacher
授業形態	Exercises / Practical
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	1. Students will be able to present on variety of topics. 2. Students will be able to upload videos to YouTube. 3. Students will be able to keep notes in a note book. 4. Students will be able to organize a short presentation and provide visuals. 5. Students will be able to do peer-evaluations and self-evaluations. Due to the interactive nature of the course, regular attendance and active participation are required. Grades will be based on classroom engagement (30%), video journals (25%), textbook, scrapbook and notes (30%) and discussion groups (15%) Grades will be based on classroom engagement (30%), video journals (25%), textbook, scrapbook and notes (30%) and discussion groups (15%)
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	Cullen, B. & Mulvey, S. (2011). Scraps (3rd Ed.). Nagoya: Perceptia Press
履修条件	Due to the interactive nature of the course, regular attendance and active participation are required. Lessons will be taught entirely in English. To enroll, student must meet the minimun Lessons will be taught entirely in English. To enroll, student must meet the minimun language requirement.
履修上の注意	
オフィスアワー	Feel free to visit me in my office anytime I am not in class or a meeting. Wednesday 10:50 - 12:20, Wednesday 1:10-4:20, Thursday 10:50 - 12:20, Thursday 1:20-4:20
備考・メッセージ	Every effort will be made to keep classes below 20

講義科目名称：英会話Ⅱ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
4thQ	１年	１単位	必修
担当教員			
Luc Roberge,　Erika Bucciantini,　Rachel Greenhouse and Jennifer Matsuda			

講義概要	This is a four skills-based course with a focus on communication designed to provide opportunities to improve English language knowledge and communication skills. Focus will be given to communication skills needed for informal, everyday situations. Students will meet twice a week for 90 minutes (for 15 lessons), and classes will be conducted entirely in English. Students will learn and practice vocabulary, grammar and expressions needed to talk about everyday topics, as well as the conversation strategies needed to communicate naturally. Much of class time will be devoted to small group and class discussion under the guidance of the teacher. Students will also learn about the culture and customs of people from other countries.
授業計画	Lesson 1:　Introduction to the course Students will discuss in small groups about their Gap Term.　Students will prepare a short informal presentation (poster, photo or other) about their Gap Term activities. Lesson 2:　Gap Term Discussion Groups 学習課題　復習：None 予習：Gap Term Presentation Lesson 3:　Streamed Groups, Gap Term Lesson A Students will be streamed into groups based on language test scores and communication ability.　Students will have the opportunity to become acquainted with their teacher and their peers. Students will be introduced to the topics that will be covered during the course, the discussion cycle and overall course evaluation. Lesson 4:　Gap Term - Lesson B 学習課題　復習：Students will work on building a presentation.　Students will brainstorm, organize and prepare under the guidance of the teacher. 予習：TBA by teacher Lesson 5:　Gap Term - Lesson C 学習課題　復習：Students should bring materials for making their Scraps. A draft of the presentation notes should be complete so teachers can check language. 予習：TBA by teacher Lesson 6:　Gap Term - Lesson D Students will present and participate in discussion groups. 学習課題　復習：TBA by teacher 予習：TBA by teacher Lesson 7:　Christmas Party 学習課題 Students will meet in Perch for Christmas Activities. Lesson 8:　Gap Lesson - New Year in Different Countries 学習課題　復習：TBA by teacher 予習：TBA by teacher Lesson 9:　Gap Lesson - New Year in Different Countries 学習課題　復習：TBA by teacher 予習：TBA by teacher Lesson 10:　School　- Lesson A 学習課題　復習：TBA by mini-unit teacher 予習：TBA by mini-unit teacher Lesson 11:　School - Lesson B 学習課題　復習：TBA by teacher 予習：TBA by teacher Lesson 12:　School - Lesson C 学習課題　復習：Students should bring materials for making their Scraps. A draft of the presentation notes should be complete so teachers can check language. 予習：TBA by teacher Lesson 13:　School - Lesson D: Discussion Group 学習課題　復習：TBA by teacher 予習：TBA by teacher Lesson 14:　Gap Lesson - Final Evaluations 学習課題　復習：TBA by teacher 予習：TBA by teacher Lesson 15:　Gap Lesson - Final Evaluations This is the final lesson

	学習課題　復習：TBA by teacher 予習：TBA by teacher
授業形態	Exercises/ Practical Experience
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	1. Students will be able to develop language related to topics determined in class. 2. Students will be able to participate in group discussions. 3. Students will be able to make video journals. 4. Students will be able to make a scrap book. 5. Students will be able to do peer-evaluations and self-evaluations Due to the interactive nature of the course, regular attendance and active participation are required. Grades will be based on classroom engagement (30%), video journals (25%), textbook, scrapbook and notes (30%) and discussion groups (15%) Grades will be based on classroom engagement (30%), video journals (25%), textbook, scrapbook and notes (30%) and discussion groups (15%)
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	Cullen, B. & Mulvey, S. (2011). Scraps (3rd Ed.). Nagoya: Perceptia Press
履修条件	Due to the interactive nature of the course, regular attendance and active participation are required. Lessons will be taught entirely in English. To enroll, student must meet the minimun language requirement.
履修上の注意	
オフィスアワー	Feel free to visit me in my office anytime I am not in class or a meeting. Wednesday 10:50 - 12:20, Wednesday 1:10-4:20, Thursday 10:50 - 12:20, Thursday 1:20-4:20
備考・メッセージ	Every effort will be keep classes size below 20 students

講義科目名称：英会話Ⅲ　　授業コード：31551

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ & 6thQ	２年	２単位	選択
担当教員			
Luc Roberge and TBA			

講義概要	This is a four skills-based course with a focus on communication designed to provide opportunities to improve English language knowledge and communication skills. Focus will be given to communication skills needed for everyday situations, working in hospitality and travel Students will meet twice a week for 90 minutes (for 30 lessons), and classes will be conducted entirely in English. Students will learn and practice vocabulary, grammar and expressions needed to talk about everyday topics, as well as the conversation strategies needed to communicate naturally. Much of class time will be devoted to small group and class discussion under the guidance of the teacher. Students will also learn about the culture and customs of people from other countries.
授業計画	Lesson 1: Introduction to the course Students will be introduced to the course. Key points covered: 1. Teacher Introductions 2. Format of the course 3. Evaluations. 4. Expectations. 5. Project work The structure of the course will be different than conversation 1. Three teachers will deliver the course. Students will be be placed in 1 of 3 groups. The curriculum, plan, groups can all be accessed by students using the NJC Q-learn system. 学習課題　復習：TBA by teacher 予習：TBA by teacher Lesson 2: Communicative Games and Icebreakers Students will participate in communicative games and icebreakers. Students will participate in a series of communicative games. Students will need to understand the rules of the game, negotiate meaning (in English) when there is gaps in their knowledge. Students will be encouraged to only use English. During the play of the game, students will participate in casual conversation practice. 学習課題　復習：TBA by teacher 予習：TBA by teacher Lesson 3: Food - Lesson A 学習課題　復習：TBA by teacher 予習：TBA by teacher Lesson 4: Food - Lesson B 学習課題　復習：TBA by teacher 予習：TBA by teacher Lesson 5: Food - Lesson C 学習課題　復習：TBA by teacher 予習：TBA by teacher Lesson 6: Food - Lesson D 学習課題　復習：TBA by teacher 予習：TBA by teacher Lesson 7: Gap Lesson - Communicative Games Students will participate in a series of communicative games. Students will need to understand the rules of the game, negotiate meaning (in English) when there is gaps in their knowledge. Students will be encouraged to only use English. During the play of the game, students will participate in casual conversation practice. 学習課題　復習：TBA by mini-unit teacher 予習：TBA by mini-unit teacher Lesson 8: Friends Lesson A 学習課題　復習：TBA by teacher 予習：TBA by teacher Lesson 9: Friends Lesson B 学習課題　復習：TBA by teacher 予習：TBA by teacher Lesson 10: Friends Lesson C 学習課題　復習：TBA by teacher 予習：TBA by teacher Lesson 11: Friends Lesson D : Discussion Groups Students will participate in an end of quarter project. The project will be described to the student in detail. Expectations, timing etc. will be explained. Students will spend the remaining 4 lessons preparing for a final presentation during the last lesson. 学習課題　復習：TBA by teacher 予習：TBA by teacher

Lesson 12:　5 things to do in... Preparation Lesson

Students will choose a city or area outside of Japan. They will then need to research 5 things to do in. as a tourist in that city. Students will then prepare a 5-slide Google Slides presentation to their group the following lesson. Students will need to build individual specific knowledge and language to give a 3-5 minute mini presentations in small groups the following lesson.

学習課題　復習：TBA by teacher
　　予習：TBA by teacher

Lesson 13:　5 things to do in... Presentation Lesson

Students will participate in an end of quarter project. Students will continue preparing for a final presentation during the last lesson.

学習課題　復習：TBA by teacher
　　予習：TBA by teacher

Lesson 14: Show and Tell : Preparation Lesson

Students must bring 1 or more items to class. Students will explain why the item is important. Students will be expected to talk for 1-2 minutes about the item without the use of notes. During this lesson, students will organize their ideas and thoughts and practice.

学習課題　復習：TBA by teacher
　　予習：TBA by teacher

Lesson 15: Show and Tell : Presentation Lesson

Students must bring 1 or more items to class. Students will explain why the item is important. Students will be expected to talk for 1-2 minutes about the item without the use of notes.

学習課題　復習：TBA by teacher
　　予習：TBA by teacher

Lesson 16:　End of Quarter Social

Students will meet in Perch for a social event.

学習課題　復習：TBA by teacher
　　予習：TBA by teacher

Lesson 17:　Mini-Unit #1

Depending on student numbers, students will be separated in 2-3 groups.

Students will spend 5 lessons with a teacher working on a ESP mini-unit before rotating to a new teacher. Each student group will have the opportunity to participate in each mini-unit in turn. In the mini-unit, under the guidance of the teachers, students will develop specific language and communication skills. Mini-units will be Drama, Hospitality and Travel.

学習課題　復習：TBA by teacher
　　予習：TBA by teacher

Lesson 18:　Mini-Unit #1

Students will spend 5 lessons with a teacher working on a ESP mini-unit before rotating to a new teacher. Each student group will have the opportunity to participate in each mini-unit in turn. In the mini-unit, under the guidance of the teachers, students will develop specific language and communication skills. Mini-units will be Drama, Hospitality and Travel.

学習課題　復習：TBA by teacher
　　予習：TBA by teacher

Lesson 19:　Mini-Unit #1

Students will spend 5 lessons with a teacher working on a ESP mini-unit before rotating to a new teacher. Each student group will have the opportunity to participate in each mini-unit in turn. In the mini-unit, under the guidance of the teachers, students will develop specific language and communication skills. Mini-units will be Drama, Hospitality and Travel.

学習課題　復習：TBA by teacher
　　予習：TBA by teacher

Lesson 20:　Mini-Unit #1

Students will spend 5 lessons with a teacher working on a ESP mini-unit before rotating to a new teacher. Each student group will have the opportunity to participate in each mini-unit in turn. In the mini-unit, under the guidance of the teachers, students will develop specific language and communication skills. Mini-units will be Drama, Hospitality and Travel.

学習課題　復習：TBA by teacher
　　予習：TBA by teacher

Lesson 21:　Mini-Unit #2

Students will spend 5 lessons with a teacher working on a ESP mini-unit before rotating to a new teacher. Each student group will have the opportunity to participate in each mini-unit in turn. In the mini-unit, under the guidance of the teachers, students will develop specific language and communication skills. Mini-units will be Drama, Hospitality and Travel.

学習課題　復習：TBA by teacher
予習：TBA by teacher

Lesson 22:　Mini-Unit #2

Students will spend 5 lessons with a teacher working on a ESP mini-unit before rotating to a new teacher. Each student group will have the opportunity to participate in each mini-unit in turn. In the mini-unit, under the guidance of the teachers, students will develop specific language and communication skills. Mini-units will be Drama, Hospitality and Travel.

学習課題　復習：TBA by teacher
予習：TBA by teacher

Lesson 23:　Mini-Unit #2

Students will spend 5 lessons with a teacher working on a ESP mini-unit before rotating to a new teacher. Each student group will have the opportunity to participate in each mini-unit in turn. In the mini-unit, under the guidance of the teachers, students will develop specific language and communication skills. Mini-units will be Drama, Hospitality and Travel.

学習課題　復習：TBA by teacher
予習：TBA by teacher

Lesson 24:　Mini-Unit #2

Students will spend 5 lessons with a teacher working on a ESP mini-unit before rotating to a new teacher. Each student group will have the opportunity to participate in each mini-unit in turn. In the mini-unit, under the guidance of the teachers, students will develop specific language and communication skills. Mini-units will be Drama, Hospitality and Travel.

学習課題　復習：TBA by teacher
予習：TBA by teacher

Lesson 25:　Mini-Unit #2

Students will spend 5 lessons with a teacher working on a ESP mini-unit before rotating to a new teacher. Each student group will have the opportunity to participate in each mini-unit in turn. In the mini-unit, under the guidance of the teachers, students will develop specific language and communication skills. Mini-units will be Drama, Hospitality and Travel.

学習課題　復習：TBA by teacher
予習：TBA by teacher

Lesson 26:　Mini-Unit #3

Students will spend 5 lessons with a teacher working on a ESP mini-unit before rotating to a new teacher. Each student group will have the opportunity to participate in each mini-unit in turn. In the mini-unit, under the guidance of the teachers, students will develop specific language and communication skills. Mini-units will be Drama, Hospitality and Travel.

学習課題　復習：TBA by teacher
予習：TBA by teacher

Lesson 27: Mini-Unit #3

Students will spend 5 lessons with a teacher working on a ESP mini-unit before rotating to a new teacher. Each student group will have the opportunity to participate in each mini-unit in turn. In the mini-unit, under the guidance of the teachers, students will develop specific language and communication skills. Mini-units will be Drama, Hospitality and Travel.

学習課題　復習：TBA by teacher
予習：TBA by teacher

Lesson 28:　Mini-Unit #3

Students will spend 5 lessons with a teacher working on a ESP mini-unit before rotating to a new teacher. Each student group will have the opportunity to participate in each mini-unit in turn. In the mini-unit, under the guidance of the teachers, students will develop specific language and communication skills. Mini-units will be Drama, Hospitality and Travel.

学習課題　復習：TBA by teacher
予習：TBA by teacher

Lesson 29:　Mini-Unit #3

Students will spend 5 lessons with a teacher working on a ESP mini-unit before rotating to a new teacher. Each student group will have the opportunity to participate in each mini-unit in turn. In the mini-unit, under the guidance of the teachers, students will develop specific language and communication skills. Mini-units will be Drama, Hospitality and Travel.

学習課題　復習：TBA by teacher

	予習：TBA by teacher Lesson 30: Mini-Unit #3 Students will spend 5 lessons with a teacher working on a ESP mini-unit before rotating to a new teacher. Each student group will have the opportunity to participate in each mini-unit in turn. In the mini-unit, under the guidance of the teachers, students will develop specific language and communication skills. Mini-units will be Drama, Hospitality and Travel.
授業形態	exercises/ practical activities
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	1. Students will be able to plan, write, translate and perform a skit. 2. Students will be able to plan, write, prepare, and discuss their "life in a bag" 3. Students will be able to participate in discussion groups. 4. Students will be able to make two YouTube video journals 5. Students will be able to participate in presentations, conversation and discussions in both small groups and to the whole class. Due to the interactive nature of the course, regular attendance and active participation are required. Grades will be based on classroom engagement (20%), mini presentations and discussion groups (30%) and projects (50%) Grades will be based on classroom engagement (20%), mini presentations and discussion groups (30%) and projects (50%).
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	Students will complete SCRAPS. Students are required to bring a notebook, and any materials provided by the teacher.
履修条件	Due to the interactive nature of the course, regular attendance and active participation are required. Lessons will be taught entirely in English. To enroll, student must meet the minimun language requirement. Lessons will be taught entirely in English. To enroll, student must meet the minimun language requirement.
履修上の注意	
オフィスアワー	Feel free to visit me in my office anytime I am not in class or a meeting. Monday 3:00-5:30, Tuesday 10:50-12:20.
備考・メッセージ	An effort will be made to keep class sizes below 20 students.

講義科目名称：英会話Ⅳ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ & 8thQ	２年	２単位	選択
担当教員			
Luc Roberge & TBA			

講義概要	This is a four skills-based course with a focus on communication designed to provide opportunities to improve English language knowledge and communication skills. Focus will be given to communication skills needed for informal, everyday situations. Students will meet twice a week for 90 minutes (for 30 lessons), and classes will be conducted entirely in English. Students will learn and practice vocabulary, grammar and expressions needed to talk about everyday topics, as well as the conversation strategies needed to communicate naturally. Much of class time will be devoted to small group and class discussion under the guidance of the teacher. Students will also learn about the culture and customs of people from other countries.
授業計画	Lesson 1: Introduction to the course Students will introduced to the contents of the course. Students will participate in communicative activities and icebreakers. Lesson 2: Pop Culture: Movie Study 1 Students will study language, grammar and culture through watching a popular movie. The movie will be used to demonstrate authentic language. Students will participate in individual, partner and group activities to develop their vocabulary, grammar, and conversation skills and cultural knowledge. 学習課題　復習：None 予習：Gap Term Presentation Lesson 3: Pop Culture: Movie Study 2 Students will study language, grammar and culture through watching a popular movie. The movie will be used to demonstrate authentic language. Students will participate in individual, partner and group activities to develop their vocabulary, grammar, and conversation skills and cultural knowledge. Lesson 4: Pop Culture: Movie Study 3 Students will study language, grammar and culture through watching a popular movie. The movie will be used to demonstrate authentic language. Students will participate in individual, partner and group activities to develop their vocabulary, grammar, and conversation skills and cultural knowledge. Lesson 5: Pop Culture: Movie Study 4 Students will study language, grammar and culture through watching a popular movie. The movie will be used to demonstrate authentic language. Students will participate in individual, partner and group activities to develop their vocabulary, grammar, and conversation skills and cultural knowledge. Lesson 6: Pop Culture: Movie Study 5 Students will study language, grammar and culture through watching a popular movie. The movie will be used to demonstrate authentic language. Students will participate in individual, partner and group activities to develop their vocabulary, grammar, and conversation skills and cultural knowledge. Lesson 7: Pop Culture: Comedy Skits 1 Students will study language, grammar and culture through watching a popular movie. The movie will be used to demonstrate authentic language. Students will participate in individual, partner and group activities to develop their vocabulary, grammar, and conversation skills and cultural knowledge. Lesson 8: Pop Culture: Comedy Skits 1 Students will study language, grammar and culture through watching a comedy TV Show. The comedy TV show will be used to demonstrate authentic language. Students will participate in individual, partner and group activities to develop their vocabulary, grammar, and conversation skills and cultural knowledge, especially related to humor. Lesson 9: Pop Culture: Comedy Skits 2 Students will study language, grammar and culture through watching a comedy TV Show. The comedy TV show will be used to demonstrate authentic language. Students will participate in individual, partner and group activities to develop their vocabulary, grammar, and conversation skills and cultural knowledge, especially related to humor. Lesson 10: Pop Culture: Comedy Skits 3 Students will study language, grammar and culture through watching a comedy TV Show. The comedy TV show will be used to demonstrate authentic language. Students will participate in individual, partner and group activities to develop their vocabulary, grammar, and conversation skills and cultural knowledge, especially related to humor. Lesson 11: Pop Culture: Comedy Skits 4 Students will study language, grammar and culture through watching a comedy TV Show. The comedy TV show will be used to demonstrate authentic language. Students will participate in individual, partner and group activities to develop their vocabulary, grammar, and conversation skills and cultural knowledge, especially related to humor. Lesson 12: Pop Culture: Comedy Skits 5

Students will study language, grammar and culture through watching a comedy TV Show. The comedy TV show will be used to demonstrate authentic language. Students will participate in individual, partner and group activities to develop their vocabulary, grammar, and conversation skills and cultural knowledge, especially related to humor.

Lesson 13: TED Talks : Ideas Worth Spreading 1

Students will introduced to Ted Talks. Students will learn about academic language and message delivery. Students will choose 1 video and paraphrase the message via a presentation to their peers.

Lesson 14: TED Talks : Ideas Worth Spreading 2

Students will introduced to Ted Talks. Students will learn about academic language and message delivery. Students will choose 1 video and paraphrase the message via a presentation to their peers.

Lesson 15: TED Talks : Ideas Worth Spreading 3

Students will introduced to Ted Talks. Students will learn about academic language and message delivery. Students will choose 1 video and paraphrase the message via a presentation to their peers.

Lesson 16: TED Talks : Ideas Worth Spreading 4

Students will introduced to Ted Talks. Students will learn about academic language and message delivery. Students will choose 1 video and paraphrase the message via a presentation to their peers.

Lesson 2: Pop Culture: Movie Study 1

Students will study language, grammar and culture through watching a popular movie. The movie will be used to demonstrate authentic language. Students will participate in individual, partner and group activities to develop their vocabulary, grammar, and conversation skills and cultural knowledge.

Lesson 18: Pop Culture: Movie Study 1

Students will study language, grammar and culture through watching a popular movie. The movie will be used to demonstrate authentic language. Students will participate in individual, partner and group activities to develop their vocabulary, grammar, and conversation skills and cultural knowledge.

Lesson 19: Pop Culture: Movie Study 1

Students will study language, grammar and culture through watching a popular movie. The movie will be used to demonstrate authentic language. Students will participate in individual, partner and group activities to develop their vocabulary, grammar, and conversation skills and cultural knowledge.

Lesson 20: Pop Culture: Movie Study 1

Students will study language, grammar and culture through watching a popular movie. The movie will be used to demonstrate authentic language. Students will participate in individual, partner and group activities to develop their vocabulary, grammar, and conversation skills and cultural knowledge.

Lesson 21:Pop Culture: Movie Study 1

Students will study language, grammar and culture through watching a popular movie. The movie will be used to demonstrate authentic language. Students will participate in individual, partner and group activities to develop their vocabulary, grammar, and conversation skills and cultural knowledge.

Lesson 22: Interview Project

Students will discuss and prepare for a 10-minute English interview given entirely in English.

Lesson 23: Interview Project

Students will discuss and prepare for a 10-minute English interview given entirely in English.

学習課題　復習：TBA by teacher
　　予習：TBA by teacher

Lesson 24: Interview Project

Students will discuss and prepare for a 10-minute English interview given entirely in English.

学習課題　復習：TBA by teacher
　　予習：TBA by teacher

Lesson 25: Interview Project

Students will discuss and prepare for a 10-minute English interview given entirely in English.

学習課題　復習：TBA by teacher
　　予習：TBA by teacher

Lesson 26: Interview Project

Students will discuss and prepare for a 10-minute English interview given entirely in English.

学習課題　復習：TBA by teacher
　　予習：TBA by teacher

Lesson 27: Interview Project

Students will discuss and prepare for a 10-minute English interview given entirely in English.

学習課題　復習：TBA by teacher
　　予習：TBA by teacher

	Lesson 28: ENGLIH INTERVIEW Students will discuss and prepare for a 10-minute English interview given entirely in English. 学習課題　復習：TBA by teacher 予習：TBA by teacher Lesson 29: ENGLIH INTERVIEW Students will discuss and prepare for a 10-minute English interview given entirely in English. 学習課題　復習：TBA by teacher 予習：TBA by teacher Lesson 30: ENGLIH INTERVIEW Students will discuss and prepare for a 10-minute English interview given entirely in English. 学習課題　復習：TBA by teacher 予習：TBA by teacher
授業形態	exercises
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	1. Students will be able to use authentic language. 2. Students will be able to learn about pop-culture using online materials. 3. Students will be able to participate in a mini-skit. 4. Students will be able to study English using academic level presentations using TED Talks. 5. Students will be able to prepare and participate in an English Interview. Due to the interactive nature of the course, regular attendance and active participation are required. Grades will be based on classroom engagement (35%), classwork (25%), mini-projects (20%) and English Interview (20%) Grades will be based on classroom engagement (35%), classwork (25%), mini-projects (20%) and English Interview (20%)
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	
履修条件	Due to the interactive nature of the course, regular attendance and active participation are required. Lessons will be taught entirely in English. To enroll, student must meet the minimun language requirement. Lessons will be taught entirely in English. To enroll, student must meet the minimun language requirement.
履修上の注意	
オフィスアワー	Feel free to visit me in my office anytime I am not in class or a meeting. Monday 3:00-5:30.
備考・メッセージ	

講義科目名称：韓国語Ⅰ　　授業コード：31152

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ & 2ndQ	１年	２単位	選択
担当教員			
李　載宇			

講義概要	韓国語の入門段階の学習のためハングルの組み合わせと正確な発音を学ぶ。簡単な短文を作成するための基礎文法を学習しながら、実戦会話に活用できるように練習する。
授業計画	1　オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 韓国語とは何か、韓国語の特徴、勉強方法について 学習課題　復習　なし 予習　韓国語の文字、基本母音字、基本子音字について調べる 2　韓国語の基本母音字、基本子音字 韓国語の基本母音字、基本子音字について勉強する。 教科書を使って、各文字を繰り返して書きかなら一個ずつ覚える。 学習課題　復習　韓国語の特徴、韓国語の勉強方法についてもう一度確認する 予習　韓国語の複合母音、韓国語のバッチムについて調べる 3　韓国語の複合母音、韓国語のパッチム 韓国語の複合母音、韓国語のパッチムについて勉強する。 教科書を使って、各文字を繰り返して書きかなら一個ずつ覚える。 学習課題　復習　韓国語の基本母音字、基本子音字についてもう一度確認する 予習　韓国語の発音の変化について調べる 4　韓国語の発音の変化 韓国語の発音の変化について勉強する。 教科書を使って、該当する各例について一個ずつ確認する。 学習課題　復習　韓国語の複合母音、韓国語のパッチムについてもう一度確認する 予習　「～は」「～です」と話す文法について調べる 5　韓国語基礎文法・実戦会話１「私は浅井ゆかりです」 挨拶と簡単な自己紹介について勉強する。 学習課題　復習　韓国語の発音の変化についてもう一度確認する 予習　「～が」「～ですか」と話す文法について調べる 6　韓国語基礎文法・実戦会話２「出身はソウルです」 「（～ですか？）」について勉強する。 学習課題　復習　挨拶と簡単な自己紹介についてもう一度確認する 予習　「～ではありません（か）」と話す文法について調べる 7　韓国語基礎文法・実戦会話３「図書館ではありません」 「（～ではありません）」という否定文について勉強する。 学習課題　復習　「（～ですか？）」についてもう一度確認する 予習　「います・あります」「いません・ありません」と話す文法について調べる 8　韓国語基礎文法・実戦会話４「時間がありますか」 「（あります・ありません）」について勉強する。 学習課題　復習　「（～ではありません）」という否定文についてもう一度確認する 予習　「～します」「～しますか」と話す文法について調べる 9　韓国語基礎文法・実戦会話５「何をしますか」 「（します・しますか）」について勉強する。 学習課題　復習　「（あります・ありません）」についてもう一度確認する 予習　「します」「しますか」「います」「あります」「いません」「ありません」と 話す文法について調べる 10　韓国語基礎文法・実戦会話６「貿易会社で働いています」 「（します）」について勉強する。 学習課題　復習　「（します・しますか）」についてもう一度確認する 予習　「～です」「～ます」と話す文法について調べる 11　韓国語基礎文法・実戦会話７「服を買います」 「（する）」以外の動詞、形容詞について勉強する 学習課題　復習　「（します）」についてもう一度確認する 予習　韓国語のヨ体(～です、～ます)、「～しに」と話す文法について調べる 12　韓国語基礎文法・実戦会話８「スーパーでよく買います」 用言の「ヨ体」について勉強する。 学習課題　復習　「（する）」以外の動詞、形容詞についてもう一度確認する 予習　漢数詞について調べる 13　韓国語基礎文法・実戦会話９「２万５千ウォンです」 漢数詞について勉強する。 学習課題　復習　用言の「ヨ体」についてもう一度確認する 予習　固有数詞と「いくつ」「何時何分」と話す文法について調べる 14　韓国語基礎文法・実戦会話１０「今、何時ですか」 固有数詞と時計の読み方について勉強する。 学習課題　復習　漢数詞についてもう一度確認する 予習　今までの学習内容をまとめる

	15　　全体のまとめ 学習課題　　復習　授業全体で学んだ内容についてもう一度確認する 予習　なし
授業形態	教科書を中心として講義を行い、必要に応じてパワーポイントやプリント等を利用する。
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①文字と発音をしっかり学習することを目指す。 ②基本的な語彙と短文の理解、簡単な会話、基礎文法の習得を目指す。 ③会話練習や書き取り、聞き取りなどを練習する。 ④韓国の文化に対する関心・理解を高める。 授業参加度（30%）、課題又はグループワーク（30%）、定期試験（40%） 基本的には定期試験を中心にし、さらに授業態度・出欠状況・レポート等を考慮して総合的に評価する。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	基礎から学ぶ韓国語講座初級/木内明　著
履修条件	
履修上の注意	予習・復習をしてくること
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	学習者の学習進度やレベルに応じて、学習計画に変更が生じることがある。 個人のレベルに応じてクラス分けを行う。

講義科目名称：韓国語Ⅰ　　授業コード：31153

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ & 2ndQ	１年	２単位	選択
担当教員			
劉　敏正			

講義概要	本授業は韓国語の入門段階の学習を終えた学習者が会話 、聞き取り、書き取りなどの能力を検証する段階である。 日常生活で最も使われてる韓国語会話を中心に学習し、反復練習をすることで様々な表現を身に付ける。
授業計画	1　オリエンテーション クラス分け＆授業の進み方の説明 2　第１課　挨拶 ～は、～です、～ではありません。 自己紹介と挨拶が出来る。 3　第２課　日常生活 ～ですよ、～を、～も、否定の表現 日常生活について話すことが出来る。否定文が使える。 4　第３課　日にちと曜日 ～が、何、～に、何の 日にちと曜日を聞いたり答えたり出来る。 5　振り返り 復習と小テスト 6　第４課　位置 ～がある（いる）、～がない（いない）、～で、位置 場所を聞いたり答えたり出来る。 7　第５課　日課 ～から～まで、～に行く（来る）、不規則 時間を聞いたり答えたり出来る。 8　第６課　買い物 ～と、～ください、単位名詞、この、その、あの、どの 値段を聞いたり品物を買ったりすることが出来る。 9　振り返り 復習と小テスト 10　演習 グループワーク 11　第７課　週末 ～でした、～で、～なので、脱落、副詞、～一緒に 週末にしたことが説明出来る。理由を説明出来る。 12　第８課　休暇 ～だと思います、～たい、～けど、不規則 計画と希望が伝えることが出来る。 13　演習 グループワーク 14　発表 グループワーク 15　まとめ 復習と全体まとめ。
授業形態	講義・演習

評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①学習者が実際に韓国訪問した際や韓国人との交流の中で必要な会話・マナー等を身につけるようにする。 ②あらゆる場面で適切な対応が出来るようになる。 ③演習を通して韓国語に多く触れ、韓国語に対する興味を深める。
科目（教職課程用）	授業参加度（20%）、小テスト（10%）、課題又はグループワーク（30%）、期末テスト（40%）
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	授業態度・出欠状況・レポート・小テスト・定期試験等を考慮して総合的に評価する。
教科書・参考書	教科書　開かれた韓国語　初級１　図書出版　夏雨
履修条件	ハングルの読み・書きができる。
履修上の注意	教科書には日本語が書いてありません。
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	学習進度やレベルに応じて、学習計画に変更が生じることがある。

講義科目名称：韓国語Ⅱ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
6thQ	２年	２単位	選択
担当教員			
劉　敏正			

講義概要	本授業では実際の韓国人の言語生活の中で最も頻度が高い文型を使い、会話・聞き取り・書き取り能力をそれぞれ高める。また多様な演習の機会を設けることで韓国語の正確性と流暢性を高めると共に短期間で韓国語の能力を向上させる。 初級から中級段階の基本的な必須文型をまとめて学習し様々な場面での日常会話を習得する。
授業計画	1　オリエンテーション 2　第1課　韓国生活 文法／～する上に、～だけど、～するようになる。～するために 内容／　本文の読み、解説、文法 3　第1課　韓国生活２ 文法／～する上に、～だけど、～するようになる。～するために 内容／文法の応用、作文、聞き取り、会話 4　第2課　健康 文法／～だそうです、～と言う 内容／本文の読み、解説、文法 5　第2課　健康２ 文法／～だそうです、～と言う 内容／文法の応用、作文、聞き取り、会話 6　第3課　職場にて 文法／～はどうですか？、～の方が良いと思います、～ですよ、～ようにする 内容／本文の読み、解説、文法 7　第3課　職場にて２ 文法／～はどうですか？、～の方が良いと思います、～ですよ、～ようにする 内容／文法の応用、作文、聞き取り、会話 8　振り返り 復習・グループワーク 9　第4課　集まり 文法／～しようと誘う・誘われる、～するように言う・言われる 内容／本文の読み、解説、文法 10　第4課　集まり２ 文法／～しようと誘う・誘われる、～するように言う・言われる 内容／文法の応用、作文、聞き取り、会話 11　第5課　余暇 文法／～すれば良かった、～でしたよ、～に値する 内容／本文の読み、解説、文法 12　第5課　余暇２ 文法／～すれば良かった、～でしたよ、～に値する 内容／文法の応用、作文、聞き取り、会話 13　第6課　外見と性格 文法／～方だ、～する程度、タメ語 内容／本文の読み、解説、文法 14　第6課　外見と性格２ 文法／～方だ、～する程度、タメ語 内容／文法の応用、作文、聞き取り、会話 15　全体まとめ
授業形態	講義・演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①中級レベルの基本的な語彙と短文の理解、簡単な会話、基礎文法などを定着させる。 ②日常生活で活用できる中級レベルの語彙、長文を使うことができる。 ③読み書き、日常会話ができる。 ④様々な場面での日常会話が理解できる。 授業参加度（30%）、課題又はグループワーク（10%）、期末テスト（60%） 基本的には定期試験を中心にし、さらに授業態度・出欠状況・レポート・小テスト等を考慮して総合的に評価する。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	

教科書・参考書	教科書：開かれた韓国語　中級1　韓国国際交流財団文化センター韓国語教室教材　／(株)図書出版夏雨
履修条件	ハングルの読み・書き及び基礎的な文法を理解している。
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	学習進度やレベルに応じて、学習計画に変更が生じることがある。

講義科目名称：韓国語Ⅱ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
6thQ	２年	２単位	選択
担当教員			
李　載宇			

講義概要	韓国語の文字と基礎文法及を習得している学習者のための本格的中級学習となる。韓国語の母音・子音の正確な発音と、発音の変化について詳しく学習する。また、韓国語のイントネーションを分析し、性別・年齢に相応しい発音を身に着ける。
授業計画	1　オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、自己紹介 ハングルの基礎について 学習課題　復習　なし 予習　韓国語の母音発音ついて調べておく 2　韓国語母音１ 韓国語母音の構成、各母音の発音を単語と一緒に確認する。 各母音・単語を発音するときの口の形に注意して、直接発音してみる。 学習課題　復習　ハングルの基礎についてもう一回確認する 予習　韓国語の複合母音の発音について調べておく 3　韓国語母音２ 韓国語の複合母音の構成、各複合母音の発音を単語と一緒に確認する。 各複合母音・単語を発音するときの口の形に注意して、直接発音してみる。 学習課題　復習　韓国語母音の構成と発音についてもう一回確認する 予習　韓国語の子音発音について調べておく 4　韓国語子音１ 韓国語子音の構成、各子音の発音を単語と一緒に確認する。 各子音・単語を発音するときの口の形に注意して、直接発音してみる。 学習課題　復習　韓国語複合母音の構成と発音についてもう一回確認する 予習　韓国語バッチムの発音について調べておく 5　韓国語子音２ 韓国語バッチム・双子音の構成と発音を単語と一緒に確認する。 各バッチム・双子音を発音するときの口の形に注意して、直接発音してみる。 学習課題　復習　韓国語子音の構成と発音についてもう一回確認する 予習　韓国語の有声音化、連音化について調べておく 6　韓国語発音１ 韓国語の音素発音と発音の変化（有声音化、連音化）について勉強する。 各発音の変化を音節別で発音するときと単語で発音するときを比較しながら確認する。 学習課題　復習　韓国語バッチム・双子音の構成と発音についてもう一回確認する 予習　韓国語の流音化、「ヒウッ」音の変化について調べておく 7　韓国語発音２ 韓国語の音素発音と発音の変化（流音化、「ヒウッ」音の変化）について勉強する。 各発音の変化を音節別で発音するときと単語で発音するときを比較しながら確認する。 学習課題　復習　韓国語の有声音化、連音化についてもう一回確認する 予習　韓国語の濃音化、口蓋音化について調べておく 8　韓国語発音３ 韓国語の音素発音と発音の変化（濃音化、口蓋音化）について勉強する。 各発音の変化を音節別で発音するときと単語で発音するときを比較しながら確認する。 学習課題　復習　韓国語の流音化、「ヒウッ」音の変化についてもう一回確認する 予習　韓国語の鼻音化について調べておく 9　韓国語発音４ 韓国語の音素発音と発音の変化（鼻音化）について勉強する。 各発音の変化を音節別で発音するときと単語で発音するときを比較しながら確認する。 学習課題　復習　韓国語の濃音化、口蓋音化についてもう一回確認する 予習　韓国語の叙述文のイントネーションについて調べておく 10　韓国語イントネーション１ 韓国語の叙述文のイントネーションについて勉強する。 各例文を男性・女性で区別して発音を確認し、自分に合わせて練習する。 学習課題　復習　韓国語の鼻音化についてもう一回確認する 予習　韓国語の疑問文のイントネーションについて調べておく 11　韓国語イントネーション２ 韓国語の疑問文のイントネーションについて勉強する。 各例文を男性・女性で区別して発音を確認し、自分に合わせて練習する。 学習課題　復習　韓国語の叙述文のイントネーションについてもう一回確認する 予習　韓国語の命令文のイントネーションについて調べておく 12　韓国語イントネーション３ 韓国語の命令文のイントネーションについて勉強する。 各例文を男性・女性で区別して発音を確認し、自分に合わせて練習する。 学習課題　復習　韓国語の疑問文のイントネーションについてもう一回確認する 予習　韓国語の提案文のイントネーションについて調べておく 13　韓国語イントネーション４ 韓国語の提案文のイントネーションについて勉強する。

	各例文を男性・女性で区別して発音を確認し、自分に合わせて練習する。 学習課題　復習　韓国語の命令文のイントネーションについてもう一回確認する 予習　韓国語テキストを読む練習をしておく 14　リーディング 韓国の人なら誰でも知っている物語・歌・詩などを読む練習を行う。 各文の中で叙述・疑問・命令・提案のイントネーションに注意して練習する。 学習課題　復習　韓国語の提案文のイントネーションについてもう一回確認する 予習　今まで勉強した内容について調べておく 15　全体のまとめ 学習課題　復習　今まで勉強した内容についてもう一回確認する 予習　なし
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	授業参加度（30%）、課題又はグループワーク（３０%）、定期テスト（40%） 到達目標 ①韓国語の母音・子音の正確な構成と発音を習得することができる。 ②韓国語の発音の変化を理解し、より自然に発音することができる。 ③韓国語の叙述文・疑問文・命令文・提案文のイントネーションを把握し、場面に相応しいイントネーションを使用することができる。 ④男性と女性のイントネーションの違いを理解し、自分らしい発音を身に着けることができる。 ⑤韓国人に幅広く読まれている文を読んで、理解することができる。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	各授業で提示 参考資料：韓国国立国語院「正しい音」
履修条件	
履修上の注意	予習・復習をしてくること
オフィスアワー	授業の前後で対応します
備考・メッセージ	学習者の学習進度やレベルに応じて、学習計画に変更が生じることがある。

講義科目名称：韓国語会話　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
4thQ	１年	１単位	選択
担当教員			
劉　敏正			

講義概要	本授業は韓国語の入門段階の学習を終えた学習者が会話 、聞き取り、書き取りなどの能力を検証する段階である。 日常生活で最も使われてる韓国語会話を中心に学習し、反復練習をすることで様々な表現を身に付ける。
授業計画	1　オリエンテーション 授業の進み方 次回本文の読む練習をしてくること。 2　第１課 病院 文法／～しても良い、～してはいけない、～しないでください、～ように、不規則 内容／許可する、禁止する、病気の症状が説明できる 本文の読み、翻訳、文法の学習 3　第１課 病院２ 文法／～しても良い、～してはいけない、～しないでください、～ように、不規則 内容／許可する、禁止する、病気の症状が説明できる 文法の活用、聞き取り、練習問題、作文 次回単語テスト有 4　第2課　紛失物 文法／～ですが、～は、不規則、どんな、～よりもっと 内容／比較する、物を見つける 本文の読み、翻訳、文法の学習 5　第2課　紛失物２ 文法／～ですが、～は、不規則、どんな、～よりもっと 内容／比較する、物を見つける 文法の活用、聞き取り、練習問題、作文 次回単語テスト有 6　第３課　交換と返金 文法／～ですが、～しなければならない、～差し上げます、～にみえる 内容／義務、津測して話す、交換する、返金する 本文の読み、翻訳、文法の学習 7　第３課　交換と返金２ 文法／～ですが、～しなければならない、～差し上げます、～にみえる 内容／義務、推測して話す、交換する、返金する 文法の活用、聞き取り、練習問題、作文 次回単語テスト有 8　振り返り 復習・小テスト 9　第4課　天気と季節 文法／～のように、～みたいに、～でしょう、～する前に 内容／時間の流れ、決心を話す、推測して話す 本文の読み、翻訳、文法の学習 10　第4課　天気と季節２ 文法／～のように、～みたいに、～でしょう、～する前に 内容／時間の流れ、決心を話す、推測して話す 文法の活用、聞き取り、練習問題、作文 次回単語テスト有 11　第５課　予約 文法／～たら良い、～しか 内容／希望事項が言える、予約・変更、ビジネス用語 本文の読み、翻訳、文法の学習 12　第５課　予約２ 文法／～たら良い、～しか 内容／希望事項が言える、予約・変更、ビジネス用語 文法の活用、聞き取り、練習問題、作文 次回単語テスト有 13　第6課　銀行 文法／～しようと、～した後、～することができない、～でも 内容／時間の流れが言える、不可能なことの表現 本文の読み、翻訳、文法の学習 14　第6課　銀行２

	文法／～しようと、～した後、～することができない、～でも 内容／時間の流れが言える、不可能なことの表現 文法の活用、聞き取り、練習問題、作文 次回単語テスト有 15　まとめ
授業形態	講義・演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①学習者が実際に韓国訪問した際や韓国人との交流の中で必要な会話・マナー等を身につけるようにする。 ②あらゆる場面で適切な対応が出来るようになる。 ③演習を通して韓国語に多く触れ、韓国語に対する興味を深める。 授業参加度（30%）、課題及び小テスト（20%）、期末テスト（50%） 授業態度・出欠状況・レポート・小テスト・定期試験等を考慮して総合的に評価する。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	教科書　開かれた韓国語　初級3　図書出版　夏雨
履修条件	
履修上の注意	ハングルの読み・書きができる。教科書には日本語が書いてありません。 授業の前に単語テストがあります。予習・復習は必須です。
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	学習進度やレベルに応じて、学習計画に変更が生じることがある。

講義科目名称：韓国語会話　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
4thQ	１年	１単位	選択
担当教員			
李　載宇			

講義概要	本授業は門段階の韓国語を学習した人が会話を中心としたコミュニケーション能力を身に付けることを目標としている。さまざまな場面で核心フレーズをベースとして日常生活を自ら作り出し、それを持ってネイティブの韓国人学生達と話して会話の「感」を覚える。
授業計画	1　オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 「会話」の定義、韓国語会話の作り方について 学習課題　復習　なし 予習　韓国語の挨拶について調べる 2　アンニョンハセヨ 自己紹介と挨拶が出来る。 核心フレーズをベースで自分のことを話し、相手のことを聞く「やり取り」を準備する。 学習課題　復習　韓国語会話の作り方についてもう一度確認する。 予習　韓国語会話文を準備する 3　実戦会話 勉強したフレーズを使って実際に会話練習を行う 学習課題　復習　韓国語の挨拶についてもう一度確認する。 予習　韓国語の住居に関する表現について調べておく 4　オディエサラヨ 住んでいるところについて表現出来る。 核心フレーズをベースで自分のことを話し、相手のことを聞く「やり取り」を準備する。 学習課題　復習　自分が作った韓国語会話文もう一度確認する 予習　韓国語会話文を準備する 5　実戦会話 勉強したフレーズを使って実際に会話練習を行う 学習課題　復習　韓国語の住居に関する表現についてもう一度確認する。 予習　韓国語の好き嫌い関する表現について調べておく 6　ジョアヘヨ・シロヘヨ 好き嫌いについて表現出来る。 核心フレーズをベースで自分のことを話し、相手のことを聞く「やり取り」を準備する。 学習課題　復習　自分が作った韓国語会話文もう一度確認する 予習　韓国語会話文を準備する 7　実戦会話 勉強したフレーズを使って実際に会話練習を行う 学習課題　復習　韓国語の好き嫌い関する表現についてもう一度確認する。 予習　韓国語の数字について調べておく 8　オルマエヨ 値段を聞いたり品物を買ったりすることが出来る。 核心フレーズをベースで自分のことを話し、相手のことを聞く「やり取り」を準備する。 学習課題　復習　自分が作った韓国語会話文もう一度確認する 予習　韓国語会話文を準備する 9　実戦会話 勉強したフレーズを使って実際に会話練習を行う 学習課題　復習　韓国語の数字についてもう一度確認する。 予習　韓国語の数え方について調べておく 10　カジョギミョッミョンイエヨ 家族の構成と人数を放して、人数や個数を数えることが出来る。 核心フレーズをベースで自分のことを話し、相手のことを聞く「やり取り」を準備する。 学習課題　復習　自分が作った韓国語会話文もう一度確認する 予習　韓国語会話文を準備する 11　実戦会話 勉強したフレーズを使って実際に会話練習を行う 学習課題　復習　韓国語の数字についてもう一度確認する。 予習　韓国語の数え方について調べておく 12　ガジゴイッソヨ 持っているものについて話すことが出来る 核心フレーズをベースで自分のことを話し、相手のことを聞く「やり取り」を準備する。 学習課題　復習　自分が作った韓国語会話文もう一度確認する 予習　韓国語会話文を準備する 13　実戦会話 勉強したフレーズを使って実際に会話練習を行う 学習課題　復習　韓国語の数え方についてもう一度確認する。 予習　今まで勉強したフレーズを整理しておく 14　会話文作り１ 今まで勉強した内容をまとめ、自分が選んだテーマで「会話文」を作ることが出来る。 勉強した内容の全体まとめ、会話文作成の作業

	学習課題　　復習　今まで勉強した単語・表現をもう一度確認する。 予習　韓国語会話文を準備する 15　会話文作り２・まとめ 今まで勉強した内容をまとめ、自分が選んだテーマで「会話文」を作ることが出来る。 会話文発表、授業アンケート作成 学習課題　　復習　今まで勉強した単語・表現をもう一度確認する。 予習　なし
授業形態	講義・演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	授業参加度（30%）、課題又はグループワーク（３0%）、定期試験（40%） ①学習者が実際に韓国訪問した際や韓国人との交流の中で必要な単語・表現を身につける。 ②ネイティブとの会話練習を通じて、あらゆる場面で適切な対応が出来るようになる。 ③演習を通して韓国語に多く触れ、韓国語に対する興味を深める。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	毎回パワーポイントの資料を準備する。
履修条件	
履修上の注意	韓国・釜山観光高校実習行程に合わせて内容を調整する場合がある
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	学習進度やレベルに応じて、学習計画に変更が生じることがある。 個人のレベルに応じてクラス分けを行う。

講義科目名称：中国語Ⅰ　　授業コード：31151

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ & 2ndQ	１年	２単位	選択
担当教員			
青木　萌			

講義概要	本授業は以下の二点について学ぶ。ひとつは、中国語の発音方法、および、ピンイン（中国語式ローマ字）を学ぶ。その中でも、四声（第一声、第二声、第三声、第四声）と軽声の発音方法を明確に理解し、繰り返し練習する。いまひとつは、初歩の中国語の文法と基本語彙を学習し、それらによって形成される中国語の文を正確に発音し、同時に日本語への的確な解釈ができるようにする。
授業計画	1　オリエンテーション、発音練習１ 単母音、声調について、発音練習 学習課題 復習:授業で指定した箇所の音読練習 2　発音練習２ 子音、複母音について、発音練習 学習課題 復習:授業で指定した箇所の音読練習 3　発音練習３ 鼻母音、軽声、声調の変化、アル化音について、発音練習 学習課題 復習:授業で指定した箇所の音読練習 4　課文1 人称代名詞、動詞”是”について、発音練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で指定した箇所の音読練習 5　課文2 疑問文、否定文について、発音練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で指定した箇所の音読練習 6　課文3 形容詞述語文について、発音練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で指定した箇所の音読練習 7　課文4 数詞について、発音練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で指定した箇所の音読練習 8　課文5 動詞”在”、助動詞について、発音練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で指定した箇所の音読練習 9　課文6 動詞”有”について、発音練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で指定した箇所の音読練習 １０　課文7 中国語の時間体系について、発音練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で指定した箇所の音読練習 １１　課文8 中国語の時間体系について、発音練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく

	復習:授業で指定した箇所の音読練習 １２　課文9 前置詞、二重目的語構文、発音練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で指定した箇所の音読練習 １３　課文10 動詞の重ね型について、発音練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で指定した箇所の音読練習 １４　課文11 ”去”・”来”＋動詞について、発音練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で指定した箇所の音読練習 １５　課文12 ”的”構文について、発音練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で指定した箇所の音読練習
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	評価の観点は以下の通りである。 ①四声と軽声の発音方法を理解している。 ②ピンインが正確に読める。 ③ひとつの文を一息で読める。 ④中国語の文を日本語で正しく解釈できる。 ⑤中国語検定試験であるHSK2級に挑戦できる。 評価手段・方法は、授業態度、発音練習、および定期試験で評価する。 評価比率は以下の通りである。 授業態度、発音練習50%、定期試験50%
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：『《最新版》一年生のコミュニケーション中国語』、塚本慶一監修、劉穎著、白水社。 参 考 書：授業内容に合わせて別途提示します。
履修条件	中国語が母語でない学生を履修対象とする。
履修上の注意	基礎となる発音を習得するため、繰り返し音読練習を行う。大きな声で発音するよう努められたい。
オフィスアワー	授業終了後その場で、或いは、研究室で受け付けます。
備考・メッセージ	今、中国語は本当に多くの人が使用しています。中国語を学ぶと、就職活動や編入学などに役立つだけでなく、みなさんの人生がより豊かになり、生涯の宝物になります。漢字や語学が苦手な方でも大丈夫です。一緒に楽しく頑張りましょう。ぜひ履修してください。

講義科目名称：中国語Ⅱ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
6thQ	２年	２単位	選択
担当教員			
青木　萌			

講義概要	本授業では、有名な歴史小説として知られる《李自成》を編集したテキストを用いて、初級（中国語Ⅰ）よりも複雑な文章を解読、音読する。まず、テキストにおける課文の中国語を一文字ずつ丁寧に解読し、日本語へ翻訳する。同時に、四声と軽声に注意しながら音読を行い、正確に発音できるよう繰り返し練習する。
授業計画	1　オリエンテーション、第一課「もはやこれまで」 課文の解読、音読練習、動詞の作用域、方向補語について 学習課題 復習:前回学んだ箇所を音読する 2　第一課の続き 課文の解読、音読練習、限定語について 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回学んだ箇所の音読練習 3　第二課「焦眉の急は」 課文の解読、音読練習、連動文について 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回学んだ箇所の音読練習 4　第二課の続き 課文の解読、音読練習、前置詞について 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回学んだ箇所の音読練習 5　第三課「こざかしからず」 課文の解読、音読練習、量詞について 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回学んだ箇所の音読練習 6　第三課の続き 課文の解読、音読練習、助詞について 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回学んだ箇所の音読練習 7　第四課「今なら間に合う」 課文の解読、音読練習、方向補語、結果補語について 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回学んだ箇所の音読練習 8　第四課の続き 課文の解読、音読練習、前置詞について 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回学んだ箇所の音読練習 9　第五課「いますぐ断を」 課文の解読、音読練習、接続詞について 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回学んだ箇所の音読練習 １０　第五課の続き 課文の解読、音読練習、方向補語について 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回学んだ箇所の音読練習 １１　第六課「うなずかず」 課文の解読、音読練習、接続詞について 学習課題

	予習:分からない単語を調べておく 復習:前回学んだ箇所の音読練習 １２　第六課の続き 課文の解読、音読練習、前置詞について 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回学んだ箇所の音読練習 １３　第七課「救うにすべなし」 課文の解読、音読練習、動詞について 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回学んだ箇所の音読練習 １４　第七課の続き 課文の解読、音読練習、代名詞について 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回学んだ箇所の音読練習 １５　第八課「わしにもわからぬわ」 課文の解読、音読練習、疑問代名詞について 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回学んだ箇所の音読練習
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	評価の観点は、 ①中国語Ⅰよりも複雑な中国語を解読、音読することができる。 ②HSKの4級に挑戦できる。 である。 評価手段・方法は、 ①授業態度 ②テキストの解読練習 ③発音練習 ④定期試験 で評価する。 評価比率は以下の通りである。 授業態度、テキストの解読練習、発音練習50％、定期試験50％
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：『中国語中級読本 李自成』、松村文芳・山口建治編注、白帝社。 参 考 書：授業内容に合わせて別途提示する。
履修条件	中国語Ⅰを履修していること。
履修上の注意	中国語Ⅰよりも複雑な文章を用いるので、予習と復習を欠かさず行うこと。
オフィスアワー	授業終了後その場で、或いは、研究室で受け付けます。
備考・メッセージ	中国の文豪が書いた素晴らしい名文に触れながら、一緒に頑張っていきましょう。 真剣に取り組めば中国語の能力が大幅に向上します。中国語の検定試験（HSK）もより高得点が望めます。

講義科目名称：中国語Ⅱ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
6thQ	２年	２単位	選択
担当教員			
井上　麗奈			

講義概要	
授業計画	
授業形態	
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	
備考・メッセージ	

講義科目名称：中国語会話　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
4thQ	１年	１単位	選択
担当教員			
青木　萌			

講義概要	本授業では、テレビドラマ、テレビ番組、映画などの映像言語資料を参考にしながら、中国語の会話練習を行う。同時に、速い中国語を聞き取る訓練を繰り返し行う。更に、映像を見ながら中国語を学習することにより、どのような場面でどのような表現を使うのかを深く理解する。
授業計画	1　オリエンテーション、映像言語資料1 セリフの解読、会話練習 学習課題 復習:前回学んだ箇所を音読する 2　映像言語資料2 セリフの解読、会話練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回学んだ箇所を音読する 3　映像言語資料3 セリフの解読、会話練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回学んだ箇所を音読する 4　映像言語資料4 セリフの解読、会話練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回学んだ箇所を音読する 5　映像言語資料5 セリフの解読、会話練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回学んだ箇所を音読する 6　映像言語資料6 セリフの解読、会話練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回学んだ箇所を音読する 7　映像言語資料7 セリフの解読、会話練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回学んだ箇所を音読する 8　映像言語資料8 セリフの解読、会話練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回学んだ箇所を音読する 9　映像言語資料9 セリフの解読、会話練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回学んだ箇所を音読する １０　映像言語資料10 セリフの解読、会話練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回学んだ箇所を音読する １１　映像言語資料11 セリフの解読、会話練習 学習課題

	予習:分からない単語を調べておく 復習:前回学んだ箇所を音読する １２　映像言語資料12 セリフの解読、会話練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回学んだ箇所を音読する １３　映像言語資料13 セリフの解読、会話練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回学んだ箇所を音読する １４　映像言語資料14 セリフの解読、会話練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回学んだ箇所を音読する １５　映像言語資料15 セリフの解読、会話練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回学んだ箇所を音読する
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	評価の観点は以下の三点である。 ①中国語の文を一息で発音することができる。 ②速い中国語を聞き取り、返答することができる。 ③中国語検定試験であるHSK2級に挑戦できる。 評価手段・方法は、授業態度、会話練習、および定期試験で評価する。 評価比率は以下の通りである。 授業態度、会話練習50%、定期試験50%
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：プリント等を配付する。 参 考 書：授業内容に合わせて別途提示する。
履修条件	中国語Ｉを履修していること。また、中国語が母語でない学生を履修対象とする。
履修上の注意	速い中国語を用いるので、予習と復習をしっかり行うこと。中国語を発話する際には、大きな声で発話すること。
オフィスアワー	授業終了後その場で、或いは、研究室で受け付けます。
備考・メッセージ	現地で実際に耳にするような速い中国語をたくさん聴いて頑張っていきましょう。 中国の面白い映画やテレビ番組、テレビドラマ等も紹介するので、中国への理解も深まります。

講義科目名称：外国語検定Ⅱ　　授業コード：21551

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ	２年	２単位	選択
担当教員			
牟田　美信			

講義概要	目安として（G1）英検2級以上レベル、（G2）2級レベル、（G3）準2級レベルに分け、それぞれ上のクラスに移動することを目標に、卒業時には全員が英検2級以上を取得できるレベルに上げることを目標とする。テキストはVocabulary, Idioms Grammar, Composition, Reading, Listeningを含む英語総合問題集を使用する。かなりのスピードを必要とするので、十分の予習が必要となる。テキストを中心に演習していくが、随時レベルに応じたプリント教材を使用する。３人の教員で、レベル別に授業を行う。
授業計画	1　Unit 1 Listening Section: Part 1 Photographs 写真描写問題 Ｇ１）TOEIC（600点程度）の模擬問題、解説、復習 Ｇ２）英検２級問題の模擬問題、解説、復習 Ｇ３）英検準２級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 2　Unit 2 Listening Section: Part 2 Question-Response 応答問題１ Ｇ１）TOEIC（600点程度）の模擬問題、解説、復習 Ｇ２）英検２級問題の模擬問題、解説、復習 Ｇ３）英検準２級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 3　Unit 3 Listening Section: Part 2 Question-Response 応答問題２ Ｇ１）TOEIC（600点程度）の模擬問題、解説、復習 Ｇ２）英検２級問題の模擬問題、解説、復習 Ｇ３）英検準２級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 4　Unit 4 Listening Section: Part 3 Short Conversation 会話問題１ Ｇ１）TOEIC（600点程度）の模擬問題、解説、復習 Ｇ２）英検２級問題の模擬問題、解説、復習 Ｇ３）英検準２級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 5　Unit 5 Listening Section: Part 3 Short Conversation 会話問題２ Ｇ１）TOEIC（600点程度）の模擬問題、解説、復習 Ｇ２）英検２級問題の模擬問題、解説、復習 Ｇ３）英検準２級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 6　Unit 6 Listening Section: Part 4 Short Talks 説明文問題１ Ｇ１）TOEIC（600点程度）の模擬問題、解説、復習 Ｇ２）英検２級問題の模擬問題、解説、復習 Ｇ３）英検準２級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 7　Unit 7 Listening Section: Part 4 Short Talks 説明文問題２ Ｇ１）TOEIC（600点程度）の模擬問題、解説、復習 Ｇ２）英検２級問題の模擬問題、解説、復習 Ｇ３）英検準２級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 8　Unit 8 Reading Section: Part 5 Incomplete Sentences 短文穴埋め問題　1 Ｇ１）TOEIC（600点程度）の模擬問題、解説、復習 Ｇ２）英検２級問題の模擬問題、解説、復習 Ｇ３）英検準２級問題の模擬問題、解説、復習

	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 9 Unit 9 Reading Section: Part 5 Incomplete Sentences 短文穴埋め問題 2 G１）TOEIC（600点程度）の模擬問題、解説、復習 G２）英検２級問題の模擬問題、解説、復習 G３）英検準２級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 10 Unit 10 Reading Section: Part 5 Incomplete Sentences 短文穴埋め問題 3 G１）TOEIC（600点程度）の模擬問題、解説、復習 G２）英検２級問題の模擬問題、解説、復習 G３）英検準２級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 11 Unit 11 Reading Section: Part 6 Text Completion 長文穴埋め問題 1 G１）TOEIC（600点程度）の模擬問題、解説、復習 G２）英検２級問題の模擬問題、解説、復習 G３）英検準２級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 12 Unit 12 Reading Section: Part 7 Reading Comprehension 読解問題１ G１）TOEIC（600点程度）の模擬問題、解説、復習 G２）英検２級問題の模擬問題、解説、復習 G３）英検準２級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 13 Unit 13 Reading Section: Part 7 Reading Comprehension 読解問題２ G１）TOEIC（600点程度）の模擬問題、解説、復習 G２）英検２級問題の模擬問題、解説、復習 G３）英検準２級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 14 Unit 14 Listening Section: Shadowingシャドーイング G１）TOEIC（600点程度）の模擬問題、解説、復習 G２）英検２級問題の模擬問題、解説、復習 G３）英検準２級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 15 Unit 15 Reading Section: Shadowingスキャンニング G１）TOEIC（600点程度）の模擬問題、解説、復習 G２）英検２級問題の模擬問題、解説、復習 G３）英検準２級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 評価テスト 16 総合評価
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	このタームの終了時の目標として、G1は、TOEIC(CASEC) 700点、G2は、TOEIC(CASEC) 500点、G3は、TOEIC(CASEC)400点を目指します。 特に、上記の目標達成のために、以下の５項目で各レベルまでの達成を目指します。 ①　Vocabulary、Idiom：語彙やイディオムを増やす。 ②　Grammar：苦手とする文法を理解する。 ③　Composition：基本的な英作文ができるようにする。 ④　Reading：英文読解の精度とスピードをあげる。 ⑤　Listening：正確に英語を聞き取れるようになる。 授業への取り組み・姿勢、予習・復習の状況、筆記試験で総合的に評価する。 筆記試験（80%）、授業態度及び授業中に課す課題（20%）
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科	

目区分又は事項等	
教科書・参考書	（レベルに合わせたクラス分け後に）授業中に指示します。参考）TOEIC Test: On Target Book 1
履修条件	
履修上の注意	授業に参加するにあたり、予習復習を必ずしておくこと。
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00）　＊その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可
備考・メッセージ	資格取得を意識した短期集中型の授業なので進度も早い、個人個人で予習復習を十分にして積極的に取り組むこと。

講義科目名称：外国語検定Ⅱ　　授業コード：21551

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ	２年	２単位	選択
担当教員			
牟田　美信			

講義概要	目安として（G1）英検2級以上レベル、（G2）2級レベル、（G3）準2級レベルに分け、それぞれ上のクラスに移動することを目標に、卒業時には全員が英検2級以上を取得できるレベルに上げることを目標とする。テキストはVocabulary, Idioms Grammar, Composition, Reading, Listeningを含む英語総合問題集を使用する。かなりのスピードを必要とするので、十分の予習が必要となる。テキストを中心に演習していくが、随時レベルに応じたプリント教材を使用する。３人の教員で、レベル別に授業を行う。
授業計画	1　Unit 1 Listening Section: Part 1 Photographs 写真描写問題 Ｇ１）TOEIC（600点程度）の模擬問題、解説、復習 Ｇ２）英検２級問題の模擬問題、解説、復習 Ｇ３）英検準２級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 2　Unit 2 Listening Section: Part 2 Question-Response 応答問題１ Ｇ１）TOEIC（600点程度）の模擬問題、解説、復習 Ｇ２）英検２級問題の模擬問題、解説、復習 Ｇ３）英検準２級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 3　Unit 3 Listening Section: Part 2 Question-Response 応答問題２ Ｇ１）TOEIC（600点程度）の模擬問題、解説、復習 Ｇ２）英検２級問題の模擬問題、解説、復習 Ｇ３）英検準２級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 4　Unit 4 Listening Section: Part 3 Short Conversation 会話問題１ Ｇ１）TOEIC（600点程度）の模擬問題、解説、復習 Ｇ２）英検２級問題の模擬問題、解説、復習 Ｇ３）英検準２級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 5　Unit 5 Listening Section: Part 3 Short Conversation 会話問題２ Ｇ１）TOEIC（600点程度）の模擬問題、解説、復習 Ｇ２）英検２級問題の模擬問題、解説、復習 Ｇ３）英検準２級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 6　Unit 6 Listening Section: Part 4 Short Talks 説明文問題１ Ｇ１）TOEIC（600点程度）の模擬問題、解説、復習 Ｇ２）英検２級問題の模擬問題、解説、復習 Ｇ３）英検準２級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 7　Unit 7 Listening Section: Part 4 Short Talks 説明文問題２ Ｇ１）TOEIC（600点程度）の模擬問題、解説、復習 Ｇ２）英検２級問題の模擬問題、解説、復習 Ｇ３）英検準２級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 8　Unit 8 Reading Section: Part 5 Incomplete Sentences 短文穴埋め問題　1 Ｇ１）TOEIC（600点程度）の模擬問題、解説、復習 Ｇ２）英検２級問題の模擬問題、解説、復習 Ｇ３）英検準２級問題の模擬問題、解説、復習

	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 9 Unit 9 Reading Section: Part 5 Incomplete Sentences 短文穴埋め問題 2 G１）TOEIC（600点程度）の模擬問題、解説、復習 G２）英検２級問題の模擬問題、解説、復習 G３）英検準２級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 10 Unit 10 Reading Section: Part 5 Incomplete Sentences 短文穴埋め問題 3 G１）TOEIC（600点程度）の模擬問題、解説、復習 G２）英検２級問題の模擬問題、解説、復習 G３）英検準２級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 11 Unit 11 Reading Section: Part 6 Text Completion 長文穴埋め問題 1 G１）TOEIC（600点程度）の模擬問題、解説、復習 G２）英検２級問題の模擬問題、解説、復習 G３）英検準２級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 12 Unit 12 Reading Section: Part 7 Reading Comprehension 読解問題１ G１）TOEIC（600点程度）の模擬問題、解説、復習 G２）英検２級問題の模擬問題、解説、復習 G３）英検準２級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 13 Unit 13 Reading Section: Part 7 Reading Comprehension 読解問題２ G１）TOEIC（600点程度）の模擬問題、解説、復習 G２）英検２級問題の模擬問題、解説、復習 G３）英検準２級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 14 Unit 14 Listening Section: Shadowingシャドーイング G１）TOEIC（600点程度）の模擬問題、解説、復習 G２）英検２級問題の模擬問題、解説、復習 G３）英検準２級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 15 Unit 15 Reading Section: Shadowingスキャンニング G１）TOEIC（600点程度）の模擬問題、解説、復習 G２）英検２級問題の模擬問題、解説、復習 G３）英検準２級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 評価テスト 16 総合評価
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	このタームの終了時の目標として、G1は、TOEIC(CASEC) 700点、G2は、TOEIC(CASEC) 500点、G3は、TOEIC(CASEC)400点を目指します。 特に、上記の目標達成のために、以下の５項目で各レベルまでの達成を目指します。 ①　Vocabulary、Idiom：語彙やイディオムを増やす。 ②　Grammar：苦手とする文法を理解する。 ③　Composition：基本的な英作文ができるようにする。 ④　Reading：英文読解の精度とスピードをあげる。 ⑤　Listening：正確に英語を聞き取れるようになる。 授業への取り組み・姿勢、予習・復習の状況、筆記試験で総合的に評価する。 筆記試験（80%）、授業態度及び授業中に課す課題（20%）
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科	

目区分又は事項等	
教科書・参考書	（レベルに合わせたクラス分け後に）授業中に指示します。参考）TOEIC Test: On Target Book 1
履修条件	
履修上の注意	授業に参加するにあたり、予習復習を必ずしておくこと。
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00）　＊その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可
備考・メッセージ	資格取得を意識した短期集中型の授業なので進度も早い、個人個人で予習復習を十分にして積極的に取り組むこと。

講義科目名称：外国語検定Ⅱ　　授業コード：21552

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ	２年	２単位	選択
担当教員			
園田　靖			

講義概要	目安として（G1）英検2級以上レベル、（G2）2級レベル、（G3）準2級レベルに分け、それぞれ上のクラスに移動することを目標に、卒業時には全員が英検2級以上を取得できるレベルに上げることを目標とする。テキストはVocabulary, Idioms Grammar, Composition, Reading, Listeningを含む英語総合問題集を使用する。かなりのスピードを必要とするので、十分の予習が必要となる。テキストを中心に演習していくが、随時レベルに応じたプリント教材を使用する。３人の教員で、レベル別に授業を行う。
授業計画	Listening Section: Part 1 Photographs 写真描写問題 Ｇ１）TOEIC（600点程度）の模擬問題、解説、復習 Ｇ２）英検２級問題の模擬問題、解説、復習 Ｇ３）英検準２級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 Listening Section: Part 2 Question-Response 応答問題１ Ｇ１）TOEIC（600点程度）の模擬問題、解説、復習 Ｇ２）英検２級問題の模擬問題、解説、復習 Ｇ３）英検準２級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 Listening Section: Part 2 Question-Response 応答問題２ Ｇ１）TOEIC（600点程度）の模擬問題、解説、復習 Ｇ２）英検２級問題の模擬問題、解説、復習 Ｇ３）英検準２級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 Listening Section: Part 3 Short Conversation 会話問題１ Ｇ１）TOEIC（600点程度）の模擬問題、解説、復習 Ｇ２）英検２級問題の模擬問題、解説、復習 Ｇ３）英検準２級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 Listening Section: Part 3 Short Conversation 会話問題２ Ｇ１）TOEIC（600点程度）の模擬問題、解説、復習 Ｇ２）英検２級問題の模擬問題、解説、復習 Ｇ３）英検準２級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 Listening Section: Part 4 Short Talks 説明文問題１ Ｇ１）TOEIC（600点程度）の模擬問題、解説、復習 Ｇ２）英検２級問題の模擬問題、解説、復習 Ｇ３）英検準２級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 Listening Section: Part 4 Short Talks 説明文問題２ Ｇ１）TOEIC（600点程度）の模擬問題、解説、復習 Ｇ２）英検２級問題の模擬問題、解説、復習 Ｇ３）英検準２級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。

	Reading Section: Part 5 Incomplete Sentences 短文穴埋め問題 1 G１）TOEIC（600点程度）の模擬問題、解説、復習 G２）英検２級問題の模擬問題、解説、復習 G３）英検準２級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 Reading Section: Part 5 Incomplete Sentences 短文穴埋め問題 2 G１）TOEIC（600点程度）の模擬問題、解説、復習 G２）英検２級問題の模擬問題、解説、復習 G３）英検準２級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 Reading Section: Part 5 Incomplete Sentences 短文穴埋め問題 3 G１）TOEIC（600点程度）の模擬問題、解説、復習 G２）英検２級問題の模擬問題、解説、復習 G３）英検準２級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 Reading Section: Part 6 Text Completion 長文穴埋め問題 1 G１）TOEIC（600点程度）の模擬問題、解説、復習 G２）英検２級問題の模擬問題、解説、復習 G３）英検準２級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 Reading Section: Part 7 Reading Comprehension 読解問題１ G１）TOEIC（600点程度）の模擬問題、解説、復習 G２）英検２級問題の模擬問題、解説、復習 G３）英検準２級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 Reading Section: Part 7 Reading Comprehension 読解問題２ G１）TOEIC（600点程度）の模擬問題、解説、復習 G２）英検２級問題の模擬問題、解説、復習 G３）英検準２級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 Listening Section: Shadowingシャドーイング G１）TOEIC（600点程度）の模擬問題、解説、復習 G２）英検２級問題の模擬問題、解説、復習 G３）英検準２級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 Reading Section: Shadowingスキャンニング G１）TOEIC（600点程度）の模擬問題、解説、復習 G２）英検２級問題の模擬問題、解説、復習 G３）英検準２級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 評価テスト
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	このタームの終了時の目標として、G1は、TOEIC(CASEC) 700点、G2は、TOEIC(CASEC) 500点、G3は、TOEIC(CASEC)400点を目指します。 特に、上記の目標達成のために、以下の５項目で各レベルまでの達成を目指します。 ①　Vocabulary、Idiom：語彙やイディオムを増やす。 ②　Grammar：苦手とする文法を理解する。 ③　Composition：基本的な英作文ができるようにする。

	④　Reading：英文読解の精度とスピードをあげる。 ⑤　Listening：正確に英語を聞き取れるようになる。 授業への取り組み・姿勢、予習・復習の状況、筆記試験で総合的に評価する。 筆記試験（80%）、授業態度及び授業中に課す課題（20%）
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	（レベルに合わせたクラス分け後に）授業中に指示します。
履修条件	
履修上の注意	授業に参加するにあたり、予習復習を必ずしておくこと。
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00）　＊その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可
備考・メッセージ	資格取得を意識した短期集中型の授業なので進度も早い、個人個人で予習復習を十分にして積極的に取り組むこと。

講義科目名称：外国語検定Ⅱ　　授業コード：24553

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ	２年	２単位	選択
担当教員			
青木　萌			

講義概要	本授業では就職活動や編入学に大きく役立つ中国語検定試験HSK(漢語水平考試)の模擬問題を用いて中国語を学習し、HSK3級の合格を目指す。これにより、中国語の運用能力、特に聴力と読解力を高めることができる。
授業計画	1　オリエンテーション、模擬問題1 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:前回学んだ箇所を音読する 2　模擬問題2 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:前回の模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する 3　模擬問題3 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:前回の模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する 4　模擬問題4 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:前回の模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する 5　模擬問題5 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:前回の模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する 6　模擬問題6 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:前回の模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する 7　模擬問題7 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:前回の模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する 8　模擬問題8 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:前回の模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する 9　模擬問題9 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:前回の模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する １０　模擬問題10 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:前回の模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する １１　模擬問題11 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題

	予習:分からない単語の意味を調べる 復習:前回の模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する １２　模擬問題12 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:前回の模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する １３　模擬問題13 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:前回の模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する １４　模擬問題14 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:前回の模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する １５　模擬問題15 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:前回の模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	評価の観点は、HSKの3級に合格する実力を有していることである。 評価手段・方法は、授業態度、発音練習、および定期試験で評価する。 評価比率は以下の通りである。 授業態度、発音練習50%、定期試験50%
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	教科書は使用せずプリントを配布する。参考書は適宜紹介する。
履修条件	中国語Ｉを履修していること。また、中国語が母語でない学生を履修対象とする。
履修上の注意	毎回、模擬問題の解答や解答理由を求めるので、予習と復習を欠かさず行うこと。
オフィスアワー	授業終了後にその場で、或は、研究室で受け付けます。
備考・メッセージ	HSKの資格を持っていると、就職活動や編入学の際にとても有利になります。 また、中国語の会話力も向上させることができるので、ぜひ履修して下さい。

講義科目名称：外国語検定Ⅱ　　授業コード：24554

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ	２年	２単位	選択
担当教員			
井上　麗奈			

講義概要	日本政府は2008年に観光庁を発足させるなど、海外からの観光客の受け入れに力を入れるようになり、その中で日本へやってくる中国語圏からの観光客は大きな割合を占めている。これからは、日本人が中国人を受け入れ、日本を案内するという状況がどんどん増えていくことが考えられる。授業を通じて、道を訊く、ホテルを予約する、買い物をする、等々の実用表現を身につける。また、HSK中国語検定資格（2級）取得にチャレンジする。
授業計画	1　UNIT１ 数字表現 予習：時刻と時間、年月日 復習：前期の内容 2　UNIT２ 数量の表現 予習：量詞の使い方 復習：時刻と時間、年月日 3　UNIT３ 中国語の前置詞・介詞 予習：場所や比較、対象、方向を示す介詞 復習：量詞の使い方 4　UNIT４ 能願動詞１ 予習：３つの「できる」 復習：場所や比較、対象、方向を示す介詞 5　UNIT５ 能願動詞２ 予習：「要」の用法 復習：「３つのできる」 6　UNIT６ 動詞述語文 予習：動詞述語文の用法 復習：「要」の用法 7　UNIT７ 副詞の使い方 予習：副詞の語順と意味 復習：動詞述語文の用法 8　UNIT８ 疑問文 予習：正反疑問文 復習：副詞の語順と意味 9　UNIT９ 完了のアスペクト 予習：「了」の用法 復習：正反疑問文 １０　UNIT１０ 進行・持続のアスペクト 予習：進行・持続のアスペクト 復習：「了」の用法 １１　UNIT１１ 経験・将来のアスペクト 予習：「過」「要…了」の用法 復習：進行・持続のアスペクト １２　UNIT１２ 禁止・使役の表現 予習：禁止・使役の言い方 復習：「過」「要…了」の用法 １３　UNIT１３ 語気助詞 予習：疑問、省略、推量、変化の表現

	復習：禁止・使役の言い方 １４　UNIT１４ 補語・複文 予習：補語の意味・用法 復習：疑問、省略、推量、変化の表現 １５　UNIT１５ HSK中国語検定2級対策 予習：HSK中国語検定2級試験模擬問題 復習：後期の内容
授業形態	１．日本人学習者が苦手な発音を習得することとピンインの読み方になれることを目標にした発音練習。 ２．本文で学んだ表現から1～2個を取り上げて、語句の置き換え練習を行う。 ３．本文で学んだ表現を応用した短文や会話の練習を行う。 この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分です。
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	遅刻回数、板書をノートに写す度合などを授業態度の評価基準とし、また、授業中の発言や発音練習の様子を口頭練習の積極性の評価基準とする。定期試験の成績を70％とし口頭・筆記試験を行う。口頭試験では、ピンインの読み方、四声・アクセントの正確さなどが確認される。筆記試験は文法と翻訳を中心に問題を出す。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	教科書：特になし。適宜授業中に指示する。 参考書：宮岸雄介（2012年）『中国語検定HSK公認テキスト1級』株式会社中央印刷。
履修条件	母国語が中国語である学生は履修できない。
履修上の注意	原則として、外国語検定１を履修してから、Ⅱを履修してください。
オフィスアワー	授業以外の時間（9時から17時までの間）ならいつでも気軽に訪ねてください。
備考・メッセージ	外国語を学ぶ大事な目的の一つは「相手とのコミュニケーション」である。言葉ができれば、相手との距離はぐっと縮まる。皆さんと最後まで楽しく中国語を学び、そして学んだ中国語でたくさんの友人を作ることができるよう願っている。

講義科目名称：外国語検定Ⅱ　　授業コード：34551

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ	２年	２単位	選択
担当教員			
李　載宇			

講義概要	韓国語能力試験(TOPIK)は大韓民国政府（教育省）が認定・実施する唯一の韓国語試験である。韓国語（ハングル）の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示するとともに、韓国語の普及や試験結果の学習・留学・就職等への活用などを目的に、世界70カ国以上で一斉に実施されている。 本授業は「TOPIK　Ⅰ」を収得するために必要である文法・聞取り・読解などを学習した上で模擬試験を行い、本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにする。
授業計画	1　オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 ＴＯＰＩＫ概要、ＴＯＰＩＫＩの特徴、勉強方法について 学習課題　復習　なし 予習　韓国語能力試験（TOPIK）聞取りについて調べておく 2　ＴＯＰＩＫ（聞取り１） ＴＯＰＩＫの聞取り概要、問題類型分析、問題解説 学習課題　復習　ＴＯＰＩＫ概要、勉強方法についてもう一度確認する 予習　韓国語能力試験（TOPIK）読解について調べておく 3　ＴＯＰＩＫ（読解１） ＴＯＰＩＫの読解概要、問題類型分析、問題解説 学習課題　復習　ＴＯＰＩＫの聞取り概要、問題類型についてもう一度確認する 予習　韓国語能力試験（TOPIK）聞取り既出問題について調べておく 4　ＴＯＰＩＫ（聞取り２） ＴＯＰＩＫの聞取り既出問題分析 学習課題　復習　ＴＯＰＩＫの読解概要、問題類型についてもう一度確認する 予習　韓国語能力試験（TOPIK）聞取り既出問題について調べておく 5　ＴＯＰＩＫ（聞取り３） ＴＯＰＩＫの聞取り既出問題分析 学習課題　復習　ＴＯＰＩＫの聞取り既出問題ついてもう一度確認する 予習　韓国語能力試験（TOPIK）聞取り既出問題について調べておく 6　ＴＯＰＩＫ（聞取り４） ＴＯＰＩＫの聞取り既出問題分析 学習課題　復習　ＴＯＰＩＫの聞取り既出問題ついてもう一度確認する 予習　韓国語能力試験（TOPIK）聞取りの模擬テストを準備する 7　ＴＯＰＩＫ（聞取り５） ＴＯＰＩＫの聞取り模擬テスト 学習課題　復習　ＴＯＰＩＫの聞取り既出問題ついてもう一度確認する 予習　模擬テストで間違った問題について調べておく 8　ＴＯＰＩＫ（聞取り６） ＴＯＰＩＫの聞取り模擬テスト解説 学習課題　復習　模擬テストで間違った問題についてもう一度確認する 予習　韓国語能力試験（TOPIK）読解既出問題について調べておく 9　ＴＯＰＩＫ（読解２） ＴＯＰＩＫの読解既出問題分析 学習課題　復習　模擬テストで間違った問題についてもう一度確認する 予習　韓国語能力試験（TOPIK）読解既出問題について調べておく 10　ＴＯＰＩＫ（読解３） ＴＯＰＩＫの読解既出問題分析 学習課題　復習　ＴＯＰＩＫの読解既出問題ついてもう一度確認する 予習　韓国語能力試験（TOPIK）読解既出問題について調べておく 11　ＴＯＰＩＫ（読解４） ＴＯＰＩＫの読解既出問題分析 学習課題　復習　ＴＯＰＩＫの読解既出問題ついてもう一度確認する 予習　韓国語能力試験（TOPIK）読解の模擬テストを準備する 12　ＴＯＰＩＫ（読解５） ＴＯＰＩＫの読解模擬テスト 学習課題　復習　ＴＯＰＩＫの読解既出問題ついてもう一度確認する 予習　模擬テストで間違った問題について調べておく 13　ＴＯＰＩＫ（読解６） ＴＯＰＩＫの読解模擬テスト解説 学習課題　復習　模擬テストで間違った問題についてもう一度確認する 予習　聞取り・読解両方の模擬テストで間違った問題について調べておく 14　ＴＯＰＩＫ（聞取り７、読解７） ＴＯＰＩＫ聞取り、読解模擬テスト解説、質疑応答 学習課題　復習　模擬テストで間違った問題についてもう一度確認する 予習　今までの学習内容をまとめる 15　全体まとめ 学習課題　復習　韓国語能力試験（TOPIK）のという試験についてもう一度確認する

	予習　なし
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	授業参加態度（30%）、課題又はグループワーク（30%）、定期試験(40%) 到達目標 ①韓国語能力試験（TOPIK）Iの合格基準、格科目の細部内容、問題の構成などについて把握できる。 ②韓国語能力試験（TOPIK）Iの「読解」問題にある程度対応できる。 ③韓国語能力試験（TOPIK）Iの「聞取り」問題にある程度対応できる。 ④韓国語能力試験（TOPIK）Iのレベルに合わせた単語をある程度覚えることができる。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	各授業で配布 参考書：「韓国語能力試験TOPIK完全対策」など
履修条件	
履修上の注意	予習・復習をしてくること
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	学習者の学習進度やレベルに応じて、学習計画に変更が生じることがある。

講義科目名称：外国語検定Ⅱ　　授業コード：34552

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ	２年	２単位	選択
担当教員			
劉　敏正			

講義概要	韓国語能力試験は大韓民国政府（教育省）が認定・実施する唯一の韓国語試験です。韓国語（ハングル）の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示するとともに、韓国語の普及や試験結果の学習・留学・就職等への活用などを目的に、世界70カ国以上で一斉に実施されています。 本授業は韓国語能力試験(TOPIK)を収得するために必要である文法・書取り・読解などを学習した上で模擬試験を行い、本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにする。
授業計画	1　イントロダクション 学習課題　復習　なし 予習　韓国語能力試験（TOPIK）という試験について調べておく 2　トピックとは 学習課題　復習　韓国語能力試験（TOPIK）の内容についてもう一度確認する 予習　韓国語能力試験（TOPIK）Ⅱレベルの文法について調べておく 3　文法 学習課題　復習　韓国語能力試験（TOPIK）Ⅱレベルの文法についてもう一度確認する 予習　韓国語能力試験（TOPIK）Ⅱレベルの読解について調べておく 4　読解 学習課題　復習　韓国語能力試験（TOPIK）Ⅱレベルの読解についてもう一度確認する 予習　韓国語能力試験（TOPIK）Ⅱレベルの読解でより難しい内容について調べておく 5　読解 学習課題　復習　韓国語能力試験（TOPIK）Ⅱレベルの読解についてもう一度確認する 予習　韓国語能力試験（TOPIK）Ⅱレベルの模擬テストを準備する 6　模擬テスト 学習課題　復習　韓国語能力試験（TOPIK）Ⅱレベルの模擬テストの問題をもう一度確認する 予習　韓国語能力試験（TOPIK）Ⅱレベルの模擬テストで間違った内容をチェックする 7　模擬テストの解説 学習課題　復習　韓国語能力試験（TOPIK）Ⅱレベルの模擬テスで間違った内容をもう一度確認する 予習　韓国語能力試験（TOPIK）Ⅱレベルの聞き取りについて調べておく 8　聞取り 学習課題　復習　韓国語能力試験（TOPIK）Ⅱレベルの聞き取についてもう一度確認する 予習　韓国語能力試験（TOPIK）Ⅱレベルの聞き取りでより難しい内容について調べておく 9　聞取り 学習課題　復習　韓国語能力試験（TOPIK）Ⅱレベルの聞き取についてもう一度確認する 予習　韓国語能力試験（TOPIK）Ⅱレベルの模擬テストを準備する 10　模擬テスト 学習課題　復習　韓国語能力試験（TOPIK）Ⅱレベルの模擬テストの問題をもう一度確認する 予習　韓国語能力試験（TOPIK）Ⅱレベルの模擬テストで間違った内容をチェックする 11　模擬テストの解説 学習課題　復習　韓国語能力試験（TOPIK）Ⅱレベルの模擬テスで間違った内容をもう一度確認する 予習　韓国語能力試験（TOPIK）Ⅱレベルの聞き取りについて調べておく 12　模擬テスト 学習課題　復習　韓国語能力試験（TOPIK）Ⅱレベルの模擬テストの問題をもう一度確認する 予習　韓国語能力試験（TOPIK）Ⅱレベルの模擬テストで間違った内容をチェックする 13　模擬テストの解説 学習課題　復習　韓国語能力試験（TOPIK）Ⅱレベルの模擬テスで間違った内容をもう一度確認する 予習　韓国語能力試験（TOPIK）Ⅱレベルの聞き取りについて調べておく 14　模擬テストの解説 学習課題　復習　韓国語能力試験（TOPIK）Ⅱレベルの模擬テスで間違った内容をもう一度確認する 予習　韓国語能力試験（TOPIK）Ⅱレベルの聞き取りについて調べておく 15　全体まとめ 学習課題　復習　韓国語能力試験（TOPIK）のという試験についてもう一度確認する 予習　なし
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	授業参加態度（30%）、小テスト（20%）、定期試験(50%) 到達目標 ①韓国語能力試験（TOPIK）Ⅱの合格基準、格科目の細部内容、問題の構成などについて把握できる。 ②韓国語能力試験（TOPIK）Ⅱの基礎的な「読解」についてある程度把握できる。 ③韓国語能力試験（TOPIK）Ⅱの「読解」問題にある程度対応できる。 ④韓国語能力試験（TOPIK）Ⅱの「聞き取り」問題にある程度対応できる。 ⑤韓国語能力試験（TOPIK）Ⅱのレベルに合わせた単語をある程度覚えることができる。

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：各授業ごとに配布 参考書：韓国語能力試験TOPIKなど
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後に対応します。
備考・メッセージ	学習者の学習進度やレベルに応じて、学習計画に変更が生じることがある。

講義科目名称：外国語検定Ⅱ（日本語・上級）　　授業コード：34553

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ	２年	２単位	選択
担当教員			
青木　萌			

講義概要	「日本留学試験」「日本語能力試験１級・２級・３級」を受験する際に対応できるように、前者の「読解」「聴読解」「聴解」及び後者の「文字・語彙」「読解・文法」「聴解」の分野での日本語力の向上を図りながら、日本語の総合的な力を高める。
授業計画	１　オリエンテーション 授業に関するオリエンテーションおよびプレースメントテスト 学習課題　復習：プレースメントテストでできなかった問題のやり直し 予習：「読解１」の語句を調べておく。 ２　日本留学試験１ 日本留学試験　読解１ 学習課題　復習：「読解１」の問題をやり直す。 予習：「読解２」」の語句を調べておく。 ３　日本留学試験２ 日本留学試験　読解２ 学習課題　復習：「読解２」の問題のやり直し。 予習：「読解３」」の語句を調べておく。 ４　日本留学試験３ 日本留学試験　読解３ 学習課題　復習：「読解３」の問題のやり直し。 予習：「聴読解１」」の語句を調べておく。 ５　日本留学試験４ 日本留学試験　聴読解１ 学習課題　復習：「聴読解１」のスクリプトの見直し。 予習：「聴読解２」」の語句を調べておく。 ６　日本留学試験５ 日本留学試験　聴読解２ 学習課題　復習：「聴読解２」のスクリプトの見直し 予習：「聴解１」」の語句を調べておく。 ７　日本留学試験６ 日本留学試験　聴解１ 学習課題　復習：「聴解１」のスクリプトの見直し。 予習：「聴解２」の語句を調べておく。 ８　日本留学試験７ 日本留学試験　聴解２ 学習課題　復習：「聴解２」のスクリプトの見直し 予習：「言語知識（文字・語彙・文法）１」の語句を調べておく。 ９　日本語能力試験１ 日本語能力試験　言語知識（文字・語彙・文法）１ 学習課題　復習：「言語知識（文字・語彙・文法）１」の問題の見直し。 予習：「言語知識（文字・語彙・文法）２」の語句を調べておく。 １０　日本語能力試験２ 日本語能力試験　言語知識（文字・語彙・文法）２ 学習課題　復習：「言語知識（文字・語彙・文法）２」の問題の見直し。 予習：「言語知識（文字・語彙・文法）３」の語句を調べておく。 １１　日本語能力試験３ 日本語能力試験　言語知識（文字・語彙・文法）３ 学習課題　復習：「言語知識（文字・語彙・文法）３」の問題の見直し。 予習：「言語知識（文字・語彙・文法）４」の語句を調べておく。 １２　日本語能力試験４ 日本語能力試験　言語知識（文字・語彙・文法）４ 学習課題　復習：「言語知識（文字・語彙・文法）４」の問題の見直し。 予習：「聴解１」の語句を調べておく。 １３　日本語能力試験５ 日本語能力試験　聴解１ 学習課題　復習：「聴解１」の問題の見直し。 予習：「聴解２」の語句を調べておく。 １４　日本語能力試験６ 日本語能力試験　聴解２ 学習課題　復習：「聴解２」の問題の見直し。 予習：「聴解３」の語句を調べておく。 １５　日本語能力試験　聴解３ 日本語能力試験　聴解３ 学習課題　復習：「聴解３」の問題の見直し。 予習：定期試験の準備をする。

授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	到達目標 ①日本留学試験の「読解」問題にだいたい対応できる。 ②日本留学試験の「聴読解・聴解」問題にだいたい対応できる。 ③日本語能力試験１・２・３級の「言語知識（文字・語彙・文法）」問題にだいたい対応できる。 ④日本語能力試験１・２・３級の「読解」問題にだいたい対応できる。 ⑤国内大学への編入学や日本での就職に必要な検定の点数や内容を把握することができる。 平素の学習意欲（２０％）を重視し、授業中の小テスト（３０％）および試験など（５０％）により行う。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：最初の授業で指示する。 参考書：授業中に随時指示する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業終了後にその場で、或は、研究室で受け付けます。
備考・メッセージ	意欲的に取り組んでください。

講義科目名称：外国語検定Ⅱ（日本語・中級）　　授業コード：34554

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ	２年	２単位	選択
担当教員			
小嶋　栄子			

講義概要	「日本留学試験」「日本語能力試験１級・２級・３級」を受験する際に対応できるように、前者の「読解」「聴読解」「聴解」及び後者の「文字・語彙」「読解・文法」「聴解」の分野での日本語力の向上を図りながら、日本語の総合的な力を高める。
授業計画	１　オリエンテーション 授業に関するオリエンテーションおよびプレースメントテスト 学習課題　復習：プレースメントテストでできなかった問題のやり直し 予習：「読解１」の語句を調べておく。 ２　日本留学試験１ 日本留学試験　読解１ 学習課題　復習：「読解１」の問題をやり直す。 予習：「読解２」」の語句を調べておく。 ３　日本留学試験２ 日本留学試験　読解２ 学習課題　復習：「読解２」の問題のやり直し。 予習：「読解３」」の語句を調べておく。 ４　日本留学試験３ 日本留学試験　読解３ 学習課題　復習：「読解３」の問題のやり直し。 予習：「聴読解１」」の語句を調べておく。 ５　日本留学試験４ 日本留学試験　聴読解１ 学習課題　復習：「聴読解１」のスクリプトの見直し。 予習：「聴読解２」」の語句を調べておく。 ６　日本留学試験５ 日本留学試験　聴読解２ 学習課題　復習：「聴読解２」のスクリプトの見直し 予習：「聴解１」」の語句を調べておく。 ７　日本留学試験６ 日本留学試験　聴解１ 学習課題　復習：「聴解１」のスクリプトの見直し。 予習：「聴解２」の語句を調べておく。 ８　日本留学試験７ 日本留学試験　聴解２ 学習課題　復習：「聴解２」のスクリプトの見直し 予習：「言語知識（文字・語彙・文法）１」の語句を調べておく。 ９　日本語能力試験１ 日本語能力試験　言語知識（文字・語彙・文法）１ 学習課題　復習：「言語知識（文字・語彙・文法）１」の問題の見直し。 予習：「言語知識（文字・語彙・文法）２」の語句を調べておく。 １０　日本語能力試験２ 日本語能力試験　言語知識（文字・語彙・文法）２ 学習課題　復習：「言語知識（文字・語彙・文法）２」の問題の見直し。 予習：「言語知識（文字・語彙・文法）３」の語句を調べておく。 １１　日本語能力試験３ 日本語能力試験　言語知識（文字・語彙・文法）３ 学習課題　復習：「言語知識（文字・語彙・文法）３」の問題の見直し。 予習：「言語知識（文字・語彙・文法）４」の語句を調べておく。 １２　日本語能力試験４ 日本語能力試験　言語知識（文字・語彙・文法）４ 学習課題　復習：「言語知識（文字・語彙・文法）４」の問題の見直し。 予習：「聴解１」の語句を調べておく。 １３　日本語能力試験５ 日本語能力試験　聴解１ 学習課題　復習：「聴解１」の問題の見直し。 予習：「聴解２」の語句を調べておく。 １４　日本語能力試験６ 日本語能力試験　聴解２ 学習課題　復習：「聴解２」の問題の見直し。 予習：「聴解３」の語句を調べておく。 １５　日本語能力試験　聴解３ 日本語能力試験　聴解３ 学習課題　復習：「聴解３」の問題の見直し。 予習：定期試験の準備をする。

授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	到達目標 ①日本留学試験の「読解」問題にだいたい対応できる。 ②日本留学試験の「聴読解・聴解」問題にだいたい対応できる。 ③日本語能力試験１・２・３級の「言語知識（文字・語彙・文法）」問題にだいたい対応できる。 ④日本語能力試験１・２・３級の「読解」問題にだいたい対応できる。 ⑤国内大学への編入学や日本での就職に必要な検定の点数や内容を把握することができる。 平素の学習意欲（２０％）を重視し、授業中の小テスト（３０％）および試験など（５０％）により行う。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：最初の授業で指示する。 参考書：授業中に随時指示する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	木曜日の１コマ目（9:10-10:40）に研究室までどうぞ。
備考・メッセージ	意欲的に取り組んでください。

講義科目名称：総合日本語Ａ　上級　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
３rdQ	１年	１単位	選択
担当教員			
福元　美和子			

講義概要	・日常生活における日本語運用力向上につながるように配慮しながら授業を行う ・学生の表現能力の実態に基づいた、能力差に配慮した授業を行う ・日本語能力試験Ｎ１・Ｎ２の試験対策の練習問題を学習する
授業計画	1　イントロダクション ①本授業に関する説明 ②本授業に関するアンケート ＜学習課題＞　復習：オリエンテーションの確認 予習：プリント 2　文型1 様々な文型を使って、話したり書いたりする表現力を高める１。 ＜学習課題＞　復習：「文型1」の確認・見直し 予習：「文型2」の語句を調べてくる。 3　文型2 様々な文型を使って、話したり書いたりする表現力を高める２。 ＜学習課題＞　復習：「文型2」の確認・見直し 予習：「文型3」の語句を調べてくる。 4　文型3 様々な文型を使って、話したり書いたりする表現力を高める３。 ＜学習課題＞　復習：「文型3」の確認・見直し 予習：「文型4」の語句を調べてくる。 5　文型4 様々な文型を使って、話したり書いたりする表現力を高める４。 ＜学習課題＞　復習：「文型4」の確認・見直し 予習：「文章1」の語句を調べてくる。 6　文章1 文や文章を読む学習を通して、話したり書いたりする表現力を高める１。 ＜学習課題＞　復習：「文章1」の確認・見直し 予習：「文章2」の語句を調べてくる。 7　文章2 文や文章を読む学習を通して、話したり書いたりする表現力を高める２。 ＜学習課題＞　復習：「文章2」の確認・見直し 予習：「文章3」の語句を調べてくる。 8　文章3 文や文章を読む学習を通して、話したり書いたりする表現力を高める３。 ＜学習課題＞　復習：「文章3」の確認・見直し 予習：「文章4」の語句を調べてくる。 9　文章4 聴解能力を高める訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする表現力を高める１。 文や文章を読む学習を通して、話したり書いたりする表現力を高める。 ＜学習課題＞　復習：「文章4」の確認・見直し 予習：「聴解1」の語句を調べてくる。 10　聴解1 聴解能力を高める訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする表現力を高める２。 ＜学習課題＞　復習：「聴解1」のスクリプトの見直し 予習：「聴解2」の語句を調べてくる。 11　聴解2 聴解能力を高める訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする表現力を高める３。 日本語能力試験Ｎ１・Ｎ２対策の問題を解く１。 ＜学習課題＞　復習：「聴解2」のスクリプトの見直し 予習：「聴解3」の語句を調べてくる。 12　聴解3 聴解能力を高める訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする表現力を高める３ 日本語能力試験Ｎ１・Ｎ２対策の問題を解く２。 ＜学習課題＞　復習：「聴解3」のスクリプトの見直し 予習：「聴読解1」の語句を調べてくる。 13　聴読解から1 聴読解能力を高める訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする表現力を高める。 日本語能力試験Ｎ１・Ｎ２対策の問題を解く３。 ＜学習能力＞　復習：「聴読解から1」のスクリプトの見直し 予習：「聴読解から2」の語句を調べてくる。 14　聴読解から2 聴読解能力を高める訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする表現力を高める。 日本語能力試験Ｎ１・Ｎ２対策の問題を解く４。 ＜学習能力＞　復習：「聴読解から2」のスクリプトの見直し 予習：「聴読解から3」の語句を調べてくる。

	15　　聴読解から3 聴読解能力を高める訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする表現力を高める。 日本語能力試験Ｎ１・Ｎ２対策の問題を解く５。 ＜学習能力＞　復習：「聴読解から3」のスクリプトの見直し 予習：試験の準備
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①学習した文型を使って話したり書いたりする表現力を高める。 ②聴解能力を高めながら話したり書いたりする表現力を高める。 ③聴読解能力を高めながら話したり書いたりする表現力を高める。 ④興味ある話題や課題等について、質疑応答できる表現力を高める。 ⑤様々な場面で学習内容を円滑に運用できる表現力を高める。 平素の学習意欲（３０％） レポート・発表（２０％） 定期試験（５０％）
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：最初の授業で指示する。 参考書：授業で随時指示する。
履修条件	なし
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で質問等に対応します。
備考・メッセージ	この授業では、さまざまな場に応じた日本語の話し方や書き方、日本語能力検定試験など自分の日本語力を指し示す検定試験問題に触れ、自分の日本語力を高めていくことを目的としています。すぐには伸びが見えないかもしれませんが、一緒にコツコツ積み重ねていきましょう。

講義科目名称：総合日本語Ａ　中級　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
3rdQ	１年	２単位	選択
担当教員			
内山　智子			

講義概要	・日常生活における日本語運用力向上につながるように配慮しながら授業を行う ・学生の表現能力の実態に基づいた、能力差に配慮した授業を行う ・日本語能力試験Ｎ１・Ｎ２の試験対策の練習問題を学習する
授業計画	1　オリエンテーション 授業に関するオリエンテーション ＜学習課題＞　復習：オリエンテーションの確認 予習：「文型1」の語句を調べてくる。 2　文型1 様々な文型を使って、話したり書いたりする表現力を高める１。 ＜学習課題＞　復習：「文型1」の確認・見直し 予習：「文型2」の語句を調べてくる。 3　文型2 様々な文型を使って、話したり書いたりする表現力を高める２。 ＜学習課題＞　復習：「文型2」の確認・見直し 予習：「文型3」の語句を調べてくる。 4　文型3 様々な文型を使って、話したり書いたりする表現力を高める３。 ＜学習課題＞　復習：「文型3」の確認・見直し 予習：「文型4」の語句を調べてくる。 5　文型4 様々な文型を使って、話したり書いたりする表現力を高める４。 ＜学習課題＞　復習：「文型4」の確認・見直し 予習：「文章1」の語句を調べてくる。 6　文章1 文や文章を読む学習を通して、話したり書いたりする表現力を高める１。 ＜学習課題＞　復習：「文章1」の確認・見直し 予習：「文章2」の語句を調べてくる。 7　文章2 文や文章を読む学習を通して、話したり書いたりする表現力を高める２。 ＜学習課題＞　復習：「文章2」の確認・見直し 予習：「文章3」の語句を調べてくる。 8　文章3 文や文章を読む学習を通して、話したり書いたりする表現力を高める３。 ＜学習課題＞　復習：「文章3」の確認・見直し 予習：「文章4」の語句を調べてくる。 9　文章4 聴解能力を高める訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする表現力を高める１。 文や文章を読む学習を通して、話したり書いたりする表現力を高める。 ＜学習課題＞　復習：「文章4」の確認・見直し 予習：「聴解1」の語句を調べてくる。 10　聴解1 聴解能力を高める訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする表現力を高める２。 ＜学習課題＞　復習：「聴解1」のスクリプトの見直し 予習：「聴解2」の語句を調べてくる。 11　聴解2 聴解能力を高める訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする表現力を高める３。 日本語能力試験Ｎ１・Ｎ２対策の問題を解く１。 ＜学習課題＞　復習：「聴解2」のスクリプトの見直し 予習：「聴解3」の語句を調べてくる。 12　聴解3 聴解能力を高める訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする表現力を高める３ 日本語能力試験Ｎ１・Ｎ２対策の問題を解く２。 ＜学習課題＞　復習：「聴解3」のスクリプトの見直し 予習：「聴読解1」の語句を調べてくる。 13　聴読解から1 聴読解能力を高める訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする表現力を高める。 日本語能力試験Ｎ１・Ｎ２対策の問題を解く３。 ＜学習能力＞　復習：「聴読解から1」のスクリプトの見直し 予習：「聴読解から2」の語句を調べてくる。 14　聴読解から2 聴読解能力を高める訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする表現力を高める。 日本語能力試験Ｎ１・Ｎ２対策の問題を解く４。 ＜学習能力＞　復習：「聴読解から2」のスクリプトの見直し 予習：「聴読解から3」の語句を調べてくる。

	15　　聴読解から3 聴読解能力を高める訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする表現力を高める。 日本語能力試験Ｎ１・Ｎ２対策の問題を解く５。 ＜学習能力＞　復習：「聴読解から3」のスクリプトの見直し 予習：試験の準備
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①学習した文型を使って話したり書いたりする表現力を高める。 ②聴解能力を高めながら話したり書いたりする表現力を高める。 ③聴読解能力を高めながら話したり書いたりする表現力を高める。 ④興味ある話題や課題等について、質疑応答できる表現力を高める。 ⑤様々な場面で学習内容を円滑に運用できる表現力を高める。 平素の学習意欲（３０％） レポート・発表（２０％） 定期試験（５０％）
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：最初の授業で指示する。 参考書：授業で随時指示する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	

講義科目名称：総合日本語Ｂ　上級　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
3rdQ	１年	２単位	選択
担当教員			
内山　智子			

講義概要	・読んだり聞いたりする学習が幅広い生活の表現力向上に生きてはたらくように配慮しながら授業を行う ・学生の表現能力の実態に基づきながら、能力差に配慮した授業を行う
授業計画	1　授業に関するオリエンテーション 2　文型から1 様々な文型を使って話したり書いたりする基礎的な表現力を身につける1 3　文型から2 様々な文型を使って話したり書いたりする基礎的な表現力を身につける2 4　文型から3 様々な文型を使って話したり書いたりする基礎的な表現力を身につける3 5　文型から4 様々な文型を使って話したり書いたりする基礎的な表現力を身につける4 6　文章から1 文や文章を読む学習を通して、基礎的な書く力を身につける1 7　文章から2 文や文章を読む学習を通して、基礎的な書く力を身につける2 8　文章から3 文や文章を読む学習を通して、基礎的な書く力を身につける3 9　文章から4 文や文章を読む学習を通して、基礎的な書く力を身につける4 10　聴解から1 聴解能力を養う訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする基礎的な表現力を身につける1 11　聴解から2 聴解能力を養う訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする基礎的な表現力を身につける2 12　聴解から3 聴解能力を養う訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする基礎的な表現力を身につける3 13　聴読解から1 聴読解能力を養う訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする基礎的な表現力を身につける1 14　聴読解から2 聴読解能力を養う訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする基礎的な表現力を身につける2 15　聴読解から3 聴読解能力を養う訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする基礎的な表現力を身につける3
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①様々な文型を使って話したり書いたりする基礎的な表現力を身につける。 ②多くの分野の文章を読むことによって、基礎的な書く力を身につける。 ③聴解能力を養いながら、話したり書いたりする基礎的な表現力を身につける。 ④聴読解能力を養いながら、話したり書いたりする基礎的な表現力を身につける。 ⑤興味ある話題や課題等について、話したり書いたりする表現力をより多く身につける。 平素の学習意欲（20%） レポート・発表（20%） 定期試験（60%）
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：最初の授業で指示する。 参考書：授業で随時指示する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。

備考・メッセージ	

講義科目名称：総合日本語Ｂ　中級　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
3rdQ	１年	２単位	選択
担当教員			
岩見　真知子			

講義概要	・読んだり聞いたりする学習が幅広い生活の表現力向上に生きてはたらくように配慮しながら授業を行う ・学生の表現能力の実態に基づきながら、能力差に配慮した授業を行う
授業計画	1　授業に関するオリエンテーション 2　文型から1 様々な文型を使って話したり書いたりする基礎的な表現力を身につける1 3　文型から2 様々な文型を使って話したり書いたりする基礎的な表現力を身につける2 4　文型から3 様々な文型を使って話したり書いたりする基礎的な表現力を身につける3 5　文型から4 様々な文型を使って話したり書いたりする基礎的な表現力を身につける4 6　文章から1 文や文章を読む学習を通して、基礎的な書く力を身につける1 7　文章から2 文や文章を読む学習を通して、基礎的な書く力を身につける2 8　文章から3 文や文章を読む学習を通して、基礎的な書く力を身につける3 9　文章から4 文や文章を読む学習を通して、基礎的な書く力を身につける4 10　聴解から1 聴解能力を養う訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする基礎的な表現力を身につける1 11　聴解から2 聴解能力を養う訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする基礎的な表現力を身につける2 12　聴解から3 聴解能力を養う訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする基礎的な表現力を身につける3 13　聴読解から1 聴読解能力を養う訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする基礎的な表現力を身につける1 14　聴読解から2 聴読解能力を養う訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする基礎的な表現力を身につける2 15　聴読解から3 聴読解能力を養う訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする基礎的な表現力を身につける3
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①様々な文型を使って話したり書いたりする基礎的な表現力を身につける。 ②多くの分野の文章を読むことによって、基礎的な書く力を身につける。 ③聴解能力を養いながら、話したり書いたりする基礎的な表現力を身につける。 ④聴読解能力を養いながら、話したり書いたりする基礎的な表現力を身につける。 ⑤興味ある話題や課題等について、話したり書いたりする表現力をより多く身につける。 平素の学習意欲（20%） レポート・発表（20%） 定期試験（60%）
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：最初の授業で指示する。 参考書：授業で随時指示する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。

備考・メッセージ	

講義科目名称：日本語Ｉ（上級）　　授業コード：32152

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ	１年	２単位	選択
担当教員			
小嶋　栄子			

講義概要	受講者の日本語能力を考慮しながらさまざまな教材やプリントを用い、日本語とはどのような言語なのか（総合的な読解力（文字・語彙・文法）の向上も含めて）を講義していく。受講者の活発な質疑応答を期待する。
授業計画	1　オリエンテーションおよび「日本語とは」 授業に関するオリエンテーション 「日本語とは」 学習課題　復習：オリエンテーションの確認 予習：「漢字」のプリントの語句の意味を調べてくる。 2　漢字 漢字の伝来。 漢字表記と送り仮名の考え方。 学習課題　復習：「漢字」の確認 予習：「表記」のプリントの語句の意味を調べてくる。 3　表記 仮名づかい 送りかな 学習課題　復習：「表記」の確認 予習：「文法１」のプリントの語句の意味を調べてくる。 4　文法１ 文の組み立て きまった言い方が下にくる言葉 学習課題　復習：「文法１」の確認 予習：「文法２」のプリントの語句の意味を調べてくる。 5　文法２ 動詞 文のねじれ 学習課題　復習：「文法２」の確認 予習：「文法３」のプリントの語句の意味を調べてくる。 6　文法３ 指示語 学習課題　復習：「文法３」の確認 予習：「文法４」のプリントの語句の意味を調べてくる。 7　文法４ 接続語 学習課題　復習：「文法４」の確認 予習：「文法５」のプリントの語句の意味を調べてくる。 8　文法５ 助詞 助動詞 学習課題　復習：「文法５」の確認 予習：「語彙１」のプリントの語句の意味を調べてくる。 9　語彙１ 言葉と言葉の関係 学習課題　復習：「語彙１」の確認 予習：「語彙２」のプリントの語句の意味を調べてくる。 10　語彙２ 類義語 学習課題　復習：「語彙２」の確認 予習：「語彙３」の語句の意味を調べてくる。 11　語彙３ 対義語 学習課題　復習：「語彙３」の確認 予習：「言葉の意味１」のプリントの語句の意味を調べてくる。 12　言葉の意味１ 言葉の使い方 慣用句

講義科目名称：日本語Ⅰ（中級）　　授業コード：32153

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ	１年	２単位	選択
担当教員			
岩﨑　千恵			

講義概要	日本の生活における基礎的なシチュエーションに対応できるように、初級前半の文型、語彙、文字（ひらがな・カタカナ）を学習し、日常的な場面で、場面に応じた適切なコミュニケーションができるようになる。 日本語能力試験３～４級合格を目指す内容を扱う。
授業計画	1　オリエンテーション 授業に関するオリエンテーション 自己紹介 学習課題　復習：オリエンテーションの確認 予習：「第１課」の語句の意味を調べてくる。 2　第１課 平易な教材を読み進めながら、文法力を高める。 学習課題　復習：「第１課」の確認 予習：「第２課」の語句の意味を調べてくる。 3　第２課 平易な教材を読み進めながら、さまざまな文法を理解する。 学習課題　復習：「第２課」の確認 予習：「第３課」の語句の意味を調べてくる。 4　第３課 日本語の平易な短文を読み、その中の語句の意味と使い方を理解する。 学習課題　復習：「第３課」の確認 予習：「第４課」の語句の意味を調べてくる。 5　第４課 日本語の平易な短文を読み、新しい文型、文構成を理解する。 学習課題　復習：「第４課」の確認 予習：「第５課」の語句の意味を調べてくる。 6　第５課 日本語の平易な短文を読み、必要な情報を理解する。 学習課題　復習：「第５課」の確認 予習：「第６課」の語句の意味を調べてくる。 7　第６課 日本語の平易な短文を読み、内容を理解する。 学習課題　復習：「第６課」の確認 予習：「第７課」の語句の意味を調べてくる。 8　第７課 日本語の平易な短文を読み、論点や要旨をつかむ。 学習課題　復習：「第７課」の確認 予習：「第８課」の語句の意味を調べてくる。 9　第８課 日本語の平易な長文を読み、その中の語句の意味と使い方を理解する。 学習課題　復習：「第８課」の確認 予習：「第９課」の語句の意味を調べてくる。 10　第９課 日本語の平易な長文を読み、新しい文型、文構成を理解する。 学習課題　復習：「第９課」の確認 予習：「第１０課」の語句の意味を調べてくる。 11　第１０課 日本語の平易な長文を読み、必要な情報を理解する。 学習課題　復習：「第１０課」の確認 予習：「第１１課」の語句の意味を調べてくる。 12　第１１課 日本語の平易な長文を読み、内容を理解する。 学習課題　復習：「第１１課」の確認 予習：「第１２課」の語句の意味を調べてくる。 13　第１２課

	日本語の平易な長文を読み、論点や要旨をつかむ。 学習課題　復習：「第１２課」の確認 予習：「第１３課」の語句の意味を調べてくる。 14　第１３課 日本語の平易な長文を読み、論点や要旨をつかむ。 学習課題　復習：「第１３課」の確認 予習：「第１４課」の語句の意味を調べてくる。 15　第１４課 日本語の平易な長文を読み、論点や要旨をつかむ。 学習課題　復習：「第１４課」の確認 予習：定期試験の準備
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①日本の生活に必要な基本的会話と心得るべきマナーができるようになる ②平易な文章を読んで、必要な情報を読み取ることができる ③小学上級学年レベルの基礎的な漢字の習得を目的とし、努力する ④理解した文法を、日常的な表現に生かすことができる ⑤日常的に日本人との会話を楽しむことができるようになる 平素の学習意欲（２０％）を重視し、定期試験（５０％）、小テスト（３０％）などにより行う。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：みんなの日本語初級I 参考書：授業を通して紹介する。
履修条件	
履修上の注意	積極的な授業参加を望みます
オフィスアワー	火曜日（14：50-16：30）
備考・メッセージ	・欠席の場合は、必ずメールで連絡すること（連絡方法については授業開始時に指示する）。 ・語学は継続的な努力が必要です。一緒に頑張りましょう！

講義科目名称：日本語Ⅱ（日本語・上級）　　授業コード：32553

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ	２年	２単位	選択
担当教員			
岩見　真知子			

講義概要	一刻も早く日本の生活に慣れるよう基本的会話に習熟し、まずはとりあえず日本語能力検定試験２級以上合格を目指す内容を扱う。
授業計画	1　オリエンテーション 自己紹介、近隣環境の案内、必要に応じて身近な情報の提供など。 2　中級内容の読解（A） 語彙・語法の解説(A) ビジネス漢字（A） 3　中級内容の読解（B） 語彙・語法の解説(B) ビジネス漢字（B） 1分間スピーチ 4　中級内容の読解（C） 語彙・語法の解説(C) ビジネス漢字（C） 1分間スピーチ 5　（各分野の小テスト） 語彙・語法の解説(D) ビジネス漢字（D） 1分間スピーチ 6　N2程度の読解（A） 語彙・語法の解説(E) ビジネス漢字（E） 1分間スピーチ 7　N2程度の読解（B） 語彙・語法の解説(F) ビジネス漢字（F） 1分間スピーチ 8　N2程度の読解（C） 語彙・語法の解説(G) ビジネス漢字（G） 1分間スピーチ 9　（各分野の小テスト） 語彙・語法の解説(H) ビジネス漢字（H） 1分間スピーチ 10　N2程度の読解（D） 語彙・語法の解説(I) ビジネス漢字（I） 1分間スピーチ 11　N2程度の読解（E） 語彙・語法の解説(J) ビジネス漢字（J） 1分間スピーチ 12　N2程度の読解（F） 語彙・語法の解説(K) ビジネス漢字（K） 1分間スピーチ 13　（各分野の小テスト） 語彙・語法の解説(L) ビジネス漢字（L） 1分間スピーチ 14　新聞記事の読解 N2模擬試験 15　定期試験に向けての復習 質問受付 （N2模擬試験）
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①日本の生活に必要な基本的会話及びビジネスシーンでのマナー、的確な敬語の運用力を身に付ける。 ②N2上級レベルの読解を身に付け、ビジネス漢字の習得に力を注ぎ、日頃の生活のより円滑な暮らしに資する。 ③日本社会に溶け込むより自然な発話能力を高め、日本人学生とのスムーズな会話が楽しめるようにする。 ④N2（以上）合格を目指す。

	受講中の意欲　レポート等課題提出、その他、数回の小テストおよび定期試験で評価する。 ①定期試験（50%） ②学習意欲・出席（30%） ③発表・提出物
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	使用テキスト：開講はじめに指示する。 参考書：必要に応じて指示する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	

講義科目名称：日本語Ⅱ　　授業コード：32554

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ	２年	２単位	選択
担当教員			
内山　智子			

講義概要	一刻も早く日本の生活に慣れるよう基本的会話に習熟し、まずはとりあえず日本語能力検定試験２級以上合格を目指す内容を扱う。
授業計画	1　オリエンテーション 自己紹介、近隣環境の案内、必要に応じて身近な情報の提供など。 2　中級内容の読解（A） 語彙・語法の解説(A) ビジネス漢字（A） 3　中級内容の読解（B） 語彙・語法の解説(B) ビジネス漢字（B） 1分間スピーチ 4　中級内容の読解（C） 語彙・語法の解説(C) ビジネス漢字（C） 1分間スピーチ 5　（各分野の小テスト） 語彙・語法の解説(D) ビジネス漢字（D） 1分間スピーチ 6　N2程度の読解（A） 語彙・語法の解説(E) ビジネス漢字（E） 1分間スピーチ 7　N2程度の読解（B） 語彙・語法の解説(F) ビジネス漢字（F） 1分間スピーチ 8　N2程度の読解（C） 語彙・語法の解説(G) ビジネス漢字（G） 1分間スピーチ 9　（各分野の小テスト） 語彙・語法の解説(H) ビジネス漢字（H） 1分間スピーチ 10　N2程度の読解（D） 語彙・語法の解説(I) ビジネス漢字（I） 1分間スピーチ 11　N2程度の読解（E） 語彙・語法の解説(J) ビジネス漢字（J） 1分間スピーチ 12　N2程度の読解（F） 語彙・語法の解説(K) ビジネス漢字（K） 1分間スピーチ 13　（各分野の小テスト） 語彙・語法の解説(L) ビジネス漢字（L） 1分間スピーチ 14　新聞記事の読解 N2模擬試験 15　定期試験に向けての復習 質問受付 （N2模擬試験）
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①日本の生活に必要な基本的会話及びビジネスシーンでのマナー、的確な敬語の運用力を身に付ける。 ②N2上級レベルの読解を身に付け、ビジネス漢字の習得に力を注ぎ、日頃の生活のより円滑な暮らしに資する。 ③日本社会に溶け込むより自然な発話能力を高め、日本人学生とのスムーズな会話が楽しめるようにする。 ④N2（以上）合格を目指す。

	受講中の意欲　レポート等課題提出、その他、数回の小テストおよび定期試験で評価する。 学習意欲（20%）小テスト（20%）定期試験（50%）課題への取り組み（10%）
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	使用テキスト：開講はじめに指示する。 参考書：必要に応じて指示する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	

講義科目名称：日本語会話Ⅰ　　授業コード：11152

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ & 2ndQ	１年	２単位	選択
担当教員			
岩見　真知子			

講義概要	「日本語能力試験１～２級」の合格力めざして、「文字・語彙・読解・文法」等のオールランドな分野の日本語力を、できるだけ早急に高めていくことを主眼とする。　主体的な学習態度・活発な質疑大歓迎。
授業計画	1　オリエンテーション 授業および日本の習慣など　早期に取り組みやすくするための必要事項にふれる。 2　演習① 初級段階の日本語の習得度を確認し基礎的な内容から始める。 3　演習② 平易な内容の教材で語彙・文法を学習。 4　演習③ 前項目の内容に、語彙力を養成するために、小学中学年用教材から入って様子をみる。 5　演習④ 「演習③」を補強、進展させる。「書く」力も養成する。（単語レベル） 6　演習⑤ 前回同様の内容ながら、初歩的なつまずきを防ぐ。 7　演習⑥ 基礎内容の充実に力を入れる。 8　演習⑦ Term　Exam　に向けての復習 9　演習⑧ 使い慣れつつある教材の持続使用とともに、新聞記事、随筆物などとりいれる。 10　演習⑨ できれば、テーマをあたえての文を書き、発表の場を設ける。 11　演習⑩ 平易な教材の使用と、易しい内容の読み物（新聞記事、随筆物）を扱う。 12　演習⑪ 「演習⑩」の継続学習 13　演習⑫ 演習⑩の継続学習 14　演習⑬ 演習⑩の継続学習 15　２nd Term Exam に向けての復習
授業形態	選択
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①普段の生活で、おおまかな意思疎通がとれる聴解の能力をつけることができる。 ②おおよそ必要とされる基本的漢字、カタカナ、ひらがななどで表記される内容がほぼ理解できる。 ③日本人特有の感覚を察知できる。（講義の気持ちなど） ④自分の言いたいことを、表現して発言できる。 ⑤日本人学生との会話が楽しめる。 受講中の積極的態度を重視し、小テストおよび本試験などによる 定期試験（５０％）、発表、提出物（２０％）、出席、学習態度（３０％）
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：最初の授業で指示する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	

講義科目名称：日本語会話Ⅰ　　授業コード：11153

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ & 2ndQ	１年	２単位	選択
担当教員			
福元　美和子			

講義概要	日常のさまざまな場面で必要となる日本語力を高めていく。その際、必要となる語彙や文法も併せて紹介し理解を深める。会話力の向上を目指す授業なので、ペアやグループワークが中心の授業構成。 また、日常会話だけではなく、新聞や短い読み物を読んで、理解できたことを人に伝える力も身に着けるため、時折、簡単なプレゼンテーションを行う。
授業計画	１．　オリエンテーション ①本授業の流れの説明 ②授業に関するアンケート 課題：次回の予習　―　プリントを配布 ２．　いろいろなあいさつ 学修項目 ①自己紹介 ②日本のあいさつと自国のあいさつ・ジェスチャー ③教室での日本語 ④まとめ 課題：授業の復習と予習　―　プリントを配布 ３．　買い物に行ったら 学習項目 ①洋服・家電など、買い物をする際に必要な日本語 ②ネットショッピングで必要な日本語 ③まとめ 課題：授業の復習と予習　―　プリントを配布 ４．　もし道を聞かれたら？ 学習項目 ①道順の尋ね方と答え方 ②まとめ 課題：授業の復習と予習　―　プリントを配布 ５．　レストランで（食文化について） 学習項目 ①日本の食文化と自国の食文化 ②レストランでのいろいろ ③まとめ 課題：授業の復習と予習　―　プリントを配布 ６．　もしも病気になったら 学習項目 ①病院で受診するときの日本語 ②病状を表現する日本語 ③まとめ 課題：授業の復習と予習　―　プリントを配布 ７．　日本の住居事情 学習項目 ①間取りを説明する ②友人の家を訪問したときの日本語 ③日本の住居と自国の住居について ④まとめ 課題：授業の復習と予習　―　プリントを配布 ８．　職場の日本語１ 学習項目 ①レストランやコンビニ、スーパーなどではどんな日本語が使われているか調べて、グループで話し合い、グループ毎に発表する ②まとめ 課題：授業の復習と予習　―　プリントを配布 ９．　もし旅に出るなら？１ 学習項目 ①歴史と文化の町　京都へ旅に出てみよう！（※テキスト13課） ②日本で行ってみたい街について話す。旅行計画を立てる ③まとめ 課題：授業の復習と予習　―　プリントを配布 １０．　もし旅に出るなら？２ 学習項目 ①友人へ自分の故郷のおすすめプランを紹介する ②自国のおすすめの観光スポットを紹介する ③まとめ 課題：授業の復習と予習　―　プリントを配布 １１．　職場の日本語２ 学習項目 ①さまざまな職業の日本語名を確認する

	②子供のころなりたかった職業について話す ③やってみたい仕事について、なぜ働いてみたいのか、その仕事について知っていることについて話す ④まとめ 課題：授業の復習と予習　―　プリントを配布 １２．　職場の日本語３ 学習項目 ①基本の敬語を確認 ②接客に必要な敬語を知る（１）　―　ホテルでの日本語を中心に ③まとめ 課題：授業の復習と予習　―　プリントを配布 １３．　職場の日本語４ 学習項目 ①接客に必要な敬語を知る（２）　―　ホテルでの日本語を中心に ②まとめ 課題：授業の復習と予習　―　プリントを配布 １４．　職場の日本語５ 学習項目 ①職場でのウチとソトの敬語 ②職場の日本語の振り返り ③まとめ 課題：授業の復習と予習　―　プリントを配布 １５．　授業のまとめ ①すべての授業を振り返り、自分で理解度を確認する 課題：授業の復習　―　プリントを配布
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	評価の観点 ①既知の文法や語彙を日常会話の中で適切に使うことができるようになる。 ②基本的な敬語を使って話し、相手の話しを理解することができる。 ③さまざまな教材に接しながら、読む・書く・聞く・話すなどの基本的な技能を身につける。 ④基本的なプレゼンテーションや簡単なスピーチができる。 ⑤日本語能力試験やギャップイヤー等、自らの目標に向かって必要となる日本語会話力を身に着ける。 評価手段・方法 ①授業参加の積極性３０％ ①ルーブリック(授業中に行うプレゼンテーション等) ２５％ ②定期試験５０％
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	教科書『まるごと　日本のことばと文化』(2014)三修社　ほか適宜資料を配布。
履修条件	なし
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で質問等を受け付けます。
備考・メッセージ	本授業では、日常会話の基礎を演習形式で行います。 授業中も、たくさん会話練習をして、日本語で会話することの面白さを一緒に発見しましょう。

講義科目名称：日本語会話Ⅱ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
4thQ	１年	１単位	選択
担当教員			
内山　智子			
上級			

講義概要	幅広い話題に対応できる日本語力を高めていく。その際、必要となる語彙や文法も併せて紹介し理解を深める。会話力の向上を目指す授業なので、ペアやグループワークが中心。 また、会話だけではなく、ある一つのテーマについて人に伝える力も身に着けるため、時折、簡単なプレゼンテーションを行う。
授業計画	１．　イントロダクション 課題：次回の予習　―　プリントを配布 ２．　ギャップイヤーを振り返ろう ①シートにまとめる。 ②ペアまたはグループで発表する。 ③仲間の報告を聞き取りまとめる。 課題：授業の復習と予習　―　プリントを配布 ３．　おもしろい名前を探そう―商品パッケージ１ ①お菓子や食品のパッケージからユニークな名前がついているものを探し、なぜその名前になったか想像してみる 課題：授業の復習と予習　―　プリントを配布 ４．　リサイクルマークを探そう―商品パッケージ２ ①さまざまな商品パッケージから「リサイクルマーク」、「健康に関することば」を見つけ出し、言葉の意味を話し合う。 ②自国の商品パッケージとの比較、またリサイクルや健康意識と比較しグループで発表し合う。 課題：授業の復習と予習　―　プリントを配布 ５．　新聞の見出しを読み解こう ①新聞の見出しから、どんなニュースを伝えようとしているのか想像し発表し合う。 課題：授業の復習と予習　―　プリントを配布 ６．　漫画のストーリーを考えてみよう ①いくつかの漫画のコマを見て、順番を決め、それぞれどのような場面か話し合いストーリーを完成させる。 擬態語・擬音語を考える 課題：授業の復習と予習　―　プリントを配布 ７．　友達にインタビューしよう１ ①質問文を考える ②インタビューをする（携帯電話などで録音、録画する） 課題：授業の復習と予習　―　プリントを配布 ８．　友達にインタビューしよう２ ①インタビューの内容をまとめる ②内容を精査し、聞きたかった内容が質問できたか判断する グループで発表し合う 課題：授業の復習と予習　―　プリントを配布 ９．　友達にインタビューしよう３ ①自分がインタビューした内容を発表する（録音・録画資料を使って） ②仲間の発表に対して質問する 課題：授業の復習と予習　―　プリントを配布 １０．　周りの人にインタビューしてみよう１ ①質問文を考える ②インタビューする（携帯電話などで録音、録画する） 課題：授業の復習と予習　―　プリントを配布 １１．　周りの人にインタビューしてみよう２ ①インタビューした内容をまとめる ②内容を精査し、聞きたかった内容が質問できたか判断する グループで話し合う 課題：授業の復習と予習　―　プリントを配布 １２．　周りの人にインタビューしてみよう３ ①自分がインタビューした内容を発表する（録音・録画資料を使って） ②仲間の発表に対して質問する 振り返る―自分のインタビューについて、また仲間のインタビューの良かった点について話し合う 課題：授業の復習と予習　―　プリントを配布 １３．　一年を振り返ろう ①もっとも印象に残っていることや、失敗したこと、日本の生活で驚いたことなど、仲間と話し合う。 課題：授業の復習と予習　―　プリントを配布 １４．　授業のまとめ１ ①すべての授業を振り返り、自分で理解度を確認する 課題：授業の復習と予習　―　プリントを配布 １５．　授業のまとめ２

	①すべての授業を振り返り、自分で理解度を確認する 課題：授業の復習　―　プリントを配布
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①既知の文法や語彙を会話場面で適切に使うことができるようになる。 ②特定の話題について、考えを述べ合い、相互の文化や習慣・考えの理解を深める。 ③さまざまな教材に接しながら、読む・書く・聞く・話すなどの基本的な技能を向上させる。 ④基本的なプレゼンテーションやスピーチができる。 ⑤日本語能力試験等、資格取得に向けて必要となる日本語表現を身に着ける。 授業参加度（積極性）、課題・グループワーク、小テスト、定期試験 授業参加度（積極性）20%、課題・グループワーク20%、小テスト10%、定期試験50%
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で質問等を受け付けます
備考・メッセージ	

講義科目名称：日本語会話Ⅱ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
4thQ	１年	１単位	選択
担当教員			
岩見　真知子			
上級			

講義概要	幅広い話題に対応できる日本語力を高めていく。その際、必要となる語彙や文法も併せて紹介し理解を深める。会話力の向上を目指す授業なので、ペアやグループワークが中心。 また、会話だけではなく、ある一つのテーマについて人に伝える力も身に着けるため、時折、簡単なプレゼンテーションを行う。
授業計画	１．　イントロダクション 課題：次回の予習　―　プリントを配布 ２．　ギャップイヤーを振り返ろう ①シートにまとめる。 ②ペアまたはグループで発表する。 ③仲間の報告を聞き取りまとめる。 課題：授業の復習と予習　―　プリントを配布 ３．　おもしろい名前を探そう―商品パッケージ１ ①お菓子や食品のパッケージからユニークな名前がついているものを探し、なぜその名前になったか想像してみる 課題：授業の復習と予習　―　プリントを配布 ４．　リサイクルマークを探そう―商品パッケージ２ ①さまざまな商品パッケージから「リサイクルマーク」、「健康に関することば」を見つけ出し、言葉の意味を話し合う。 ②自国の商品パッケージとの比較、またリサイクルや健康意識と比較しグループで発表し合う。 課題：授業の復習と予習　―　プリントを配布 ５．　新聞の見出しを読み解こう ①新聞の見出しから、どんなニュースを伝えようとしているのか想像し発表し合う。 課題：授業の復習と予習　―　プリントを配布 ６．　漫画のストーリーを考えてみよう ①いくつかの漫画のコマを見て、順番を決め、それぞれどのような場面か話し合いストーリーを完成させる。 擬態語・擬音語を考える 課題：授業の復習と予習　―　プリントを配布 ７．　友達にインタビューしよう１ ①質問文を考える ②インタビューをする（携帯電話などで録音、録画する） 課題：授業の復習と予習　―　プリントを配布 ８．　友達にインタビューしよう２ ①インタビューの内容をまとめる ②内容を精査し、聞きたかった内容が質問できたか判断する グループで発表し合う 課題：授業の復習と予習　―　プリントを配布 ９．　友達にインタビューしよう３ ①自分がインタビューした内容を発表する（録音・録画資料を使って） ②仲間の発表に対して質問する 課題：授業の復習と予習　―　プリントを配布 １０．　周りの人にインタビューしてみよう１ ①質問文を考える ②インタビューする（携帯電話などで録音、録画する） 課題：授業の復習と予習　―　プリントを配布 １１．　周りの人にインタビューしてみよう２ ①インタビューした内容をまとめる ②内容を精査し、聞きたかった内容が質問できたか判断する グループで話し合う 課題：授業の復習と予習　―　プリントを配布 １２．　周りの人にインタビューしてみよう３ ①自分がインタビューした内容を発表する（録音・録画資料を使って） ②仲間の発表に対して質問する 振り返る―自分のインタビューについて、また仲間のインタビューの良かった点について話し合う 課題：授業の復習と予習　―　プリントを配布 １３．　一年を振り返ろう ①もっとも印象に残っていることや、失敗したこと、日本の生活で驚いたことなど、仲間と話し合う。 課題：授業の復習と予習　―　プリントを配布 １４．　授業のまとめ１ ①すべての授業を振り返り、自分で理解度を確認する 課題：授業の復習と予習　―　プリントを配布 １５．　授業のまとめ２

	①すべての授業を振り返り、自分で理解度を確認する 課題：授業の復習　―　プリントを配布
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①既知の文法や語彙を会話場面で適切に使うことができるようになる。 ②特定の話題について、考えを述べ合い、相互の文化や習慣・考えの理解を深める。 ③さまざまな教材に接しながら、読む・書く・聞く・話すなどの基本的な技能を向上させる。 ④基本的なプレゼンテーションやスピーチができる。 ⑤日本語能力試験等、資格取得に向けて必要となる日本語表現を身に着ける。 授業参加度（積極性）20%、課題・グループワーク20%、小テスト10%、定期試験50%
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	教科書：授業で指示する。 参考書：授業をとおして紹介する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で質問等を受け付けます
備考・メッセージ	

講義科目名称：日本語会話Ⅲ　　授業コード：41554

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ & 6thQ	２年	1単位	選択
担当教員			
冨場　康			

講義概要	幅広い話題に対応できる日本語力を高めていく。その際、必要となる語彙や文法も併せて紹介し理解を深める。会話力の向上を目指す授業なので、ペアやグループワークが中心。 また、会話だけではなく、ある一つのテーマについて人に伝える力も身に着けるため、時折、簡単なプレゼンテーションを行う。7月、12月に実施される、日本語能力試験対策として過去の問題を解くことで能力向上を図る。
授業計画	1　１．　イントロダクション 課題：次回の予習　―　プリントを配布 2　２　場面別の敬語を学習する１ ①訪問する ②簡単に挨拶する 課題：授業の復習と予習　―　プリントを配布 3　３　場面別の敬語を学習する２ ③誘う ④お願いする 課題：授業の復習と予習　―　プリントを配布 4　４　場面別の敬語を学習する３ ①さまざまな商品パッケージから「リサイクルマーク」、「健康に関することば」を見つけ出し、言葉の意味⑤断る ⑥申し出る 課題：授業の復習と予習　―　プリントを配布 5　５　場面別の敬語を学習する４ ⑦お詫びする ⑧意見を言う 課題：授業の復習と予習　―　プリントを配布 6　６　場面別の敬語を学習する５ ⑨予約を受ける ⑩サービスの敬語 課題：授業の復習と予習　―　プリントを配布 7　７　場面別の敬語を学習する６ ⑪相談を受ける ⑫スピーチをする 課題：授業の復習と予習　―　プリントを配布 8　８　場面別の敬語を学習する７ ⑬面接を受ける ⑭電話の敬語 課題：授業の復習と予習　―　プリントを配布 9　９　場面別の敬語を学習する８ ⑮インタビューする ⑯報告をする 課題：授業の復習と予習　―　プリントを配布 10　１０　場面別の敬語を学習する９ ⑰司会の敬語 ⑱メールの敬語 課題：授業の復習と予習　―　プリントを配布 11　１１　日本語能力試験対策１ ①言語知識（文字・語彙） ②文法 ③読解 課題：授業の復習と予習　―　プリントを配布 12　１２　日本語能力試験対策２ ①言語知識（文字・語彙） ②文法 ③読解 課題：授業の復習と予習　―　プリントを配布 13　１３　日本語能力試験対策３ ①言語知識（文字・語彙） ②文法　③読解　④聴解 課題：授業の復習と予習　―　プリントを配布 14　１４　日本語能力試験対策４ ①言語知識（文字・語彙） ②文法　③読解　④聴解 課題：授業の復習と予習　―　プリントを配布 15　１５　授業のまとめ１

	①すべての授業を振り返り、自分で理解度を確認する 課題：授業の復習　―　プリントを配布
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	◎到達目標◎ ①既知の文法や語彙を会話場面で適切に使うことができるようになる。 ②特定の話題について、考えを述べ合い、相互の文化や習慣・考えの理解を深める。 ③さまざまな教材に接しながら、読む・書く・聞く・話すなどの基本的な技能を向上させる。 ④基本的なプレゼンテーションやスピーチができる。 ⑤日本語能力試験等、資格取得に向けて必要となる日本語表現を身に着ける。 ◎評価基準◎ 授業参加度（積極性）20%、課題・グループワーク20%、小テスト10%、定期試験50% ◎評価方法◎ 授業中の学習態度意欲、定期試験の結果により総合的に評価する
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	教科書：授業で指示する。 参考書：授業をとおして紹介する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で質問等を受け付けます
備考・メッセージ	

講義科目名称：日本語会話Ⅳ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ & 8thQ	２年	２単位	選択
担当教員			
内山　智子			

講義概要	・読んだり聞いたりする学習が幅広い生活の表現力向上に活きてはたらくように配慮しながら授業を行う。 ・学生の表現能力の実態に基づきながら、能力差に配慮した授業を行う。
授業計画	1　オリエンテーション 授業に関するオリエンテーション 学習課題　復習：オリエンテーションの確認 予習：「文型１」の語句を調べてくる。 2　文型から１ 様々な文型を使って、話したり書いたりする表現力をさらに高める１。 学習課題　復習：「文型から１」の確認・見直し 予習：「文型から２」の語句を調べてくる。 3　文型から２ 様々な文型を使って、話したり書いたりする表現力をさらに高める２。 学習課題　復習：「文型から２」の確認・見直し 予習：「文型から３」の語句を調べてくる。 4　文型から３ 様々な文型を使って、話したり書いたりする表現力をさらに高める３。 学習課題　復習：「文型から３」の確認・見直し 予習：「文型から４」の語句を調べてくる。 5　文型から４ 様々な文型を使って、話したり書いたりする表現力をさらに高める４。 学習課題　復習：「文型から４」の確認・見直し 予習：「文章から１」の語句を調べてくる。 6　文章から１ 文や文章を読む学習を通して、書く力をさらに高める１ 学習課題　復習：「文章から１」の確認・見直し 予習：「文章から２」の語句を調べてくる。 7　文章から２ 文や文章を読む学習を通して、書く力をさらに高める２ 学習課題　復習：「文章から２」の確認・見直し 予習：「文章から３」の語句を調べてくる。 8　文章から３ 文や文章を読む学習を通して、書く力をさらに高める３ 学習課題　復習：「文章から３」の確認・見直し 予習：「文章から４」の語句を調べてくる。 9　文章から４ 文や文章を読む学習を通して、書く力をさらに高める４ 学習課題　復習：「文章から４」の確認・見直し 予習：「聴解１」の語句を調べてくる。 １０　聴解から１ 聴解能力を高める訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする表現力をさらに高める１。 学習課題　復習：「聴解から１」のスクリプトの見直し 予習：「聴解から２」の語句を調べてくる １１　聴解から２ 聴解能力を高める訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする表現力をさらに高める２。 学習課題　復習：「聴解から２」のスクリプトの見直し 予習：「聴解から３」の語句を調べてくる １２　聴解から３ 聴解能力を高める訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする表現力をさらに高める３。 学習課題　復習：「聴解から３」のスクリプトの見直し 予習：「聴読解から１」の語句を調べてくる １３　聴読解から１ 聴読解能力を高める訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする表現力をさらに高める１。

	学習課題　復習：「聴読解から１」のスクリプトの見直し 予習：「聴読解から２」の語句を調べてくる １４　聴読解から２ 聴読解能力を高める訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする表現力をさらに高める２。 学習課題　復習：「聴読解から２」のスクリプトの見直し 予習：「聴読解から３」の語句を調べてくる １５　聴読解から３ 聴読解能力を高める訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする表現力をさらに高める３。 学習課題　復習：「聴読解から３」のスクリプトの見直し 予習：試験の準備
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①様々な文型を使って話したり書いたりする表現力をさらに高める。 ②多くの分野の文章を読むことによって、書く力をさらに高める。 ③聴解能力を高めながら話したり書いたりする表現力をさらに高める。 ④聴読解能力を高めながら話したり書いたりする表現力をさらに高める。 ⑤興味ある話題や課題等について、それらを書いたり話したりする表現力をさらに高める。 平素の学習意欲（２０％）、レポート・発表（２０％）、定期試験（６０％）
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：最初の授業で指示する。 参考書：授業で随時指示する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	

講義科目名称：外国語Ⅲ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
8thQ	２年	２単位	選択
担当教員			
園田　靖			

講義概要	
授業計画	
授業形態	
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	
備考・メッセージ	

講義科目名称：外国語Ⅲ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
8thQ	２年	２単位	選択
担当教員			
牟田　美信			

講義概要	短大での総まとめ英語学習として、TEDトークを教材に、総合的な英語力を高めます。「自分たちが素晴らしい」と思うアイディアを広く効率的に人々に伝えることを目的としているTEDトークを教材として、英語力を高めるとともに、様々な知識を増やします。
授業計画	１　TED Talk 1 ケン・ロビンソン「学校教育は創造性を殺してしまっている」 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 ２　TED Talk 1 ケン・ロビンソン「学校教育は創造性を殺してしまっている」 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 ３　TED Talk 2 エイミー・カディ　「ボディランゲージが人を作る」 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 ４　TED Talk 2 エイミー・カディ　「ボディランゲージが人を作る」 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 ５　TED Talk 3 サイモン シネック: 優れたリーダーはどうやって行動を促すか 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 ６　TED Talk 3 サイモン シネック: 優れたリーダーはどうやって行動を促すか 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 ７　TED Talk 4 ブレネー・ブラウン:傷つく心の力 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 ８　TED Talk 4 ブレネー・ブラウン:傷つく心の力 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 ９　TED Talk 5 アンソニー・ロビンズ　「何が人を動かすのか」 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 １０　TED Talk 5 アンソニー・ロビンズ　「何が人を動かすのか」 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 １１　TED Talk 6 ダニエル・ピンク　「やる気に関する驚きの科学」

	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 １２　TED Talk 6 ダニエル・ピンク　「やる気に関する驚きの科学」 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 １３　TED Talk 7 キャメロン・ラッセル　「ルックスだけが全てじゃない。モデルの私が言うんだから信じて」 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 １４　TED Talk 7 キャメロン・ラッセル　「ルックスだけが全てじゃない。モデルの私が言うんだから信じて」 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 １５　ジュリアン・トレジャー「人を惹きつける話し方」 ジュリアン・トレジャー「人を惹きつける話し方」 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 16　まとめ 評価
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①語彙力を高めることができる。 ②リスニング力を高めることができる。 ③話させる内容理解力を高めることができる。 ④話される内容に対して、英語もしくは日本語で自分の意見を言えることができる。 ⑤英語のスクリプトを簡潔に要約することができる。 授業態度(40%)およびレポートあるいは定期試験(60%)で総合的に評価する。 授業態度(40%)、レポートあるいは定期試験(60%)
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	レベル別のテキストとなるため、授業中に支持する。その他、リントを配布する。
履修条件	
履修上の注意	授業計画は、進捗状況によって内容が前後することがある。
オフィスアワー	木曜日：14:50～16:20
備考・メッセージ	英語学習は、継続が重要です。毎日、英語に触れるようにしてください。

講義科目名称：外国語Ⅲ　上級　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
8thQ	２年	２単位	選択
担当教員			
岩堺　千恵			
上級			

講義概要	この講義ではさまざまなテーマの日本語を聞き、外国語Ⅰ・外国語Ⅱよりもさらに複雑な日本語の聴解・聴読解の能力を培っていく。
授業計画	1　オリエンテーション 授業に関するオリエンテーション 復習：オリエンテーションの内容を配布物等でしっかり把握し、15回の授業の展開をイメージする。 2　聴解の基礎１ 繰り返しの練習を通して聴解の力を高める 復習：「繰り返しの練習」のスクリプトを読んで語句の意味を確認する。 3　聴解の基礎２ 繰り返しの練習を通して聴解の力を高める 予習：復習テストに備える。 復習：スクリプトを読んで語句の意味を確認する。 4　聴解１ 留学生ライフに関する聴解練習 予習：復習テストに備える。 復習：スクリプトを読んで語句の意味を確認する。 5　聴解２ キャンパス事務手続きに関する聴解練習 予習：復習テストに備える。 復習：スクリプトを読んで語句の意味を確認する。 6　聴解３ 講義中の話題に関する聴解練習 予習：復習テストに備える。 復習：スクリプトを読んで語句の意味を確認する。 7　聴解４ 日常生活の会話に関する聴解練習 予習：復習テストに備える。 復習：スクリプトを読んで語句の意味を確認する。 8　聴読解１ 留学生ライフに関する聴読解練習１ 予習：復習テストに備える。 復習：スクリプトを読んで語句の意味を確認する。 9　聴読解２ キャンパス事務連絡に関する聴読解練習１ 予習：復習テストに備える。 復習：スクリプトを読んで語句の意味を確認する。 10　聴読解３ キャンパス事務連絡に関する聴読解練習２ 予習：復習テストに備える。 復習：スクリプトを読んで語句の意味を確認する。 11　聴読解４ キャンパス事務連絡に関する聴読解練習３ 予習：復習テストに備える。 復習：スクリプトを読んで語句の意味を確認する。 12　聴読解５ 講義中の話題に関する聴読解練習１ 予習：復習テストに備える。 復習：スクリプトを読んで語句の意味を確認する。 13　聴読解６ 講義中の話題に関する聴読解練習２ 予習：復習テストに備える。

	復習：スクリプトを読んで語句の意味を確認する。 14　総合実践１ 日本語能力試験に備え模擬テストをする。 復習：スクリプトを読んで語句の意味を確認する。 15　総合実践２ 日本語能力試験に備え模擬テストをする。 復習：スクリプトを読んで語句の意味を確認する。
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	到達目標 ①自然な速さの講義の内容を聞き取れる。 ②テーマに関係する語彙の聞き取りがほぼできる。 ③テーマに関係する文章の内容がほぼ理解できる。 ④テーマについて、時事等を踏まえて話すことができる。 ⑤日本語能力試験の取得を目指す。（上級：N1、中級：N2） 評価方法 平素の学習意欲（20%） 発言や発表（30%） 日頃の小試験や授業後の試験（50%）
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	教科書：最初の授業で指示する。 参考書：授業を通して紹介する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	質問等があれば、木曜日３コマ目（13:10-14:40）に研究室にどうぞ。
備考・メッセージ	受講者の皆さんの活発な質疑応答を期待します。

講義科目名称：外国語Ⅲ（日本語・中級）　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
8thQ	２年	２単位	選択
担当教員			
小嶋　栄子			
中級			

講義概要	この講義ではさまざまなテーマの日本語を聞き、外国語Ⅰ・外国語Ⅱよりもさらに複雑な日本語の聴解・聴読解の能力を培っていく。
授業計画	1　オリエンテーション 授業に関するオリエンテーション 復習：オリエンテーションの内容を配布物等でしっかり把握し、15回の授業の展開をイメージする。 2　聴解の基礎１ 繰り返しの練習を通して聴解の力を高める 復習：「繰り返しの練習」のスクリプトを読んで語句の意味を確認する。 3　聴解の基礎２ 繰り返しの練習を通して聴解の力を高める 予習：復習テストに備える。 復習：スクリプトを読んで語句の意味を確認する。 4　聴解１ 留学生ライフに関する聴解練習 予習：復習テストに備える。 復習：スクリプトを読んで語句の意味を確認する。 5　聴解２ キャンパス事務手続きに関する聴解練習 予習：復習テストに備える。 復習：スクリプトを読んで語句の意味を確認する。 6　聴解３ 講義中の話題に関する聴解練習 予習：復習テストに備える。 復習：スクリプトを読んで語句の意味を確認する。 7　聴解４ 日常生活の会話に関する聴解練習 予習：復習テストに備える。 復習：スクリプトを読んで語句の意味を確認する。 8　聴読解１ 留学生ライフに関する聴読解練習１ 予習：復習テストに備える。 復習：スクリプトを読んで語句の意味を確認する。 9　聴読解２ キャンパス事務連絡に関する聴読解練習１ 予習：復習テストに備える。 復習：スクリプトを読んで語句の意味を確認する。 10　聴読解３ キャンパス事務連絡に関する聴読解練習２ 予習：復習テストに備える。 復習：スクリプトを読んで語句の意味を確認する。 11　聴読解４ キャンパス事務連絡に関する聴読解練習３ 予習：復習テストに備える。 復習：スクリプトを読んで語句の意味を確認する。 12　聴読解５ 講義中の話題に関する聴読解練習１ 予習：復習テストに備える。 復習：スクリプトを読んで語句の意味を確認する。 13　聴読解６ 講義中の話題に関する聴読解練習２ 予習：復習テストに備える。

	復習：スクリプトを読んで語句の意味を確認する。 14 総合実践１ 日本語能力試験に備え模擬テストをする。 復習：スクリプトを読んで語句の意味を確認する。 15 総合実践２ 日本語能力試験に備え模擬テストをする。 復習：スクリプトを読んで語句の意味を確認する。
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	到達目標 ①自然な速さの講義の内容を聞き取れる。 ②テーマに関係する語彙の聞き取りがほぼできる。 ③テーマに関係する文章の内容がほぼ理解できる。 ④テーマについて、時事等を踏まえて話すことができる。 ⑤日本語能力試験の取得を目指す。（上級：N1、中級：N2） 評価方法 平素の学習意欲（20%） 発言や発表（30%） 日頃の小試験や授業後の試験（50%）
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	教科書：最初の授業で指示する。 参考書：授業を通して紹介する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	質問等があれば、木曜日３コマ目（13:10-14:40）に研究室にどうぞ。
備考・メッセージ	受講者の皆さんの活発な質疑応答を期待します。

講義科目名称：中国語Ⅲ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ & 8thQ	２年	２単位	選択
担当教員			
青木　萌			

講義概要	本授業は中国語Ⅱの続きである。有名な歴史小説として知られる《李自成》を編集したテキストを用いて、初級（中国語Ⅰ）よりも複雑な文章を解読、音読する。まず、テキストにおける課文の中国語を一文字ずつ丁寧に解読し、日本語へ翻訳する。同時に、四声と軽声に注意しながら音読を行い、正確に発音できるよう繰り返し練習する。
授業計画	1　オリエンテーション、第八課の続き 課文の解読、音読練習、使役について 学習課題 復習:前回学んだ箇所を音読する 2　第九課「はたと思い当たり」 課文の解読、音読練習、限定語について 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で指定した箇所の音読練習 3　第九課の続き 課文の解読、音読練習、接続詞、代名詞について 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で指定した箇所の音読練習 4　第十課「くわばら,くわばら」 課文の解読、音読練習、接続詞について 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で指定した箇所の音読練習 5　第十課の続き 課文の解読、音読練習、受け身について 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で指定した箇所の音読練習 6　第十一課「いかがいたしましょう」 課文の解読、音読練習、前置詞について 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で指定した箇所の音読練習 7　第十一課の続き 課文の解読、音読練習、中国語の時間体系について 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で指定した箇所の音読練習 8　第十二課「にらみつけて問う」 課文の解読、音読練習、方向補語について 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で指定した箇所の音読練習 9　第十二課の続き 課文の解読、音読練習、連動文について 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で指定した箇所の音読練習 １０　第十三課「ようしゃせぬ」 課文の解読、音読練習、副詞について 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で指定した箇所の音読練習 １１　第十三課の続き 課文の解読、音読練習、疑問詞について

	学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で指定した箇所の音読練習 １２　第十四課「臆病者は首を」 課文の解読、音読練習、助動詞について 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で指定した箇所の音読練習 １３　第十四課の続き 課文の解読、音読練習、存現文について 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で指定した箇所の音読練習 １４　第十五課「さっと一振り」 課文の解読、音読練習、補語について 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で指定した箇所の音読練習 １５　第一五課の続き、総括 課文の解読、これまでの総括、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で指定した箇所の音読練習
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	評価の観点は、 ①中国語Ⅰよりも複雑な中国語を解読、音読することができる ②HSKの5級に挑戦できる、 である。 評価手段と方法は、 ①授業態度 ②テキストの解読練習 ③発音練習 ④定期試験の成績 を基に評価する。 評価比率は以下の通りである。 授業態度、テキストの解読練習、発音練習50%、定期試験50%
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：『中国語中級読本 李自成』、松村文芳・山口建治編注、白帝社。 参 考 書：授業内容に合わせて別途提示する。
履修条件	中国語Ⅱを履修していること。
履修上の注意	複雑な中国語を用いて学習するので、予習と復習を欠かさず行うこと。
オフィスアワー	授業終了後その場で、或いは、研究室で受け付けます。
備考・メッセージ	この授業を真剣に取り組むと、これまで努力してきた成果が報われます。中国の文豪が書いた素晴らしい名文を楽しみながら、引き続き一緒に頑張っていきましょう。中国語の検定試験（HSK）もより高得点が望めます。

講義科目名称：韓国語Ⅲ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ & 8thQ	２年	２単位	選択
担当教員			
劉　敏正			

講義概要	日本と同じように韓国でも会話の中でたくさんの慣用表現を使うため、慣用表現を学習していないと理解できないことが多い。 従って本授業では慣用句の表現とその使い方、関連する文法などを学習し会話につなげることで会話能力をさらにアップすることを目指す。
授業計画	1　オリエンテーション 2　慣用表現：結婚式を挙げる、日にちを決める　/　文法：～かと聞く 3　慣用表現：お腹が痛い、嫉妬する　/　文法：～ように 4　慣用表現：耳がかゆい　/　文法：～のようだ 5　慣用表現：厚かましい　/　文法：～だと言うけど 6　慣用表現：すごい、あきれる　/　文法：～模様だ 7　慣用表現：浮気をする　/　文法：～にかかっている 8　慣用表現：極まりが悪い、とても恥ずかしい　/　文法：～しようとする 9　小テスト及びグループワーク 10　慣用表現：冷や汗が出る　/　文法：～していて 11　慣用表現：私の鼻が三尺　/　文法：～すればよかった 12　慣用表現：荷が重い　/　文法：～を通じて 13　慣用表現：目をつぶる、見逃す　/　文法：～ふりをする 14　慣用表現：烈火のごとく目を皿のようにする　/　文法：～ても、～でも 15　全体まとめ
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①基本的な語彙と短文の理解、簡単な会話、基礎文法などを定着させる。 ②日常生活で活用する簡単な言葉、短文を使うことができる。 ③読み書き、日常会話ができる。 ④慣用句の理解を高める。
科目（教職課程用）	授業参加度（30%）、小テスト（20%）、課題又はグループワーク（10%）、期末テスト（40%）
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	基本的には定期試験を中心にし、さらに授業態度・出欠状況・レポート・小テスト等を考慮して総合的に評価する。
教科書・参考書	教科書：生きている韓国語　慣用語(株)ハングルパーク
履修条件	ハングルの読み・書き及び基礎的な文法が分かる。
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	学習進度やレベルに応じて、学習計画に変更が生じることがある。

講義科目名称：韓国語Ⅲ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ ＆ 8thQ	２年	２単位	選択
担当教員			
李　載宇			

講義概要	韓国語深化学習者のために、韓国の学生達が実際韓国語を「国語」として勉強するときに必ず学習するテキストを読解する。「だれもが知っている韓国の話」を韓国語で読むことで韓国語読解力と語彙力を身につけると共に、韓国文化全般に対しての理解を深め、韓国語の上級学習者としての成長することを目標とする
授業計画	1　オリエンテーション 授業概要、アンケート、韓国伝来童話の特徴について 学習課題　復習：なし 予習：韓国の伝来童話「ヘッニムダルニム（お日様お月様）」の内容について調 2　韓国伝来童話１「ヘッニムダルニム（お日様お月様）」（読む・聞く） 伝来童話のあらすじ説明、視聴覚資料で聞いて、全文を読みながら単語・熟語確認 学習課題　復習：韓国伝来童話の特徴についてもう一度確認する 予習：韓国の伝来童話の「ヘッニムダルニム」のまとめ書きについて調べておく 3　韓国伝来童話１「ヘッニムダルニム（お日様お月様）」（話す・書く） 伝来童話の内容まとめを韓国語で書いてみて、その内容について話し合う 学習課題　復習：韓国の伝来童話「ヘッニムダルニム」の内容についてもう一度確認する 予習：韓国の伝来童話の「ウネガプンカチ」内容について調べておく 4　韓国伝来童話２「ウネガプンカチ（恩返ししたカササギ）」（読む・聞く） 伝来童話のあらすじ説明、視聴覚資料で聞いて、全文を読みながら単語・熟語確認 学習課題　復習：韓国の伝来童話「ヘッニムダルニム」のまとめ書きについてもう一度確認する 予習：韓国の伝来童話の「ウネガプンカチ」まとめ書き 5　韓国伝来童話２「ウネガプンカチ（恩返ししたカササギ）」（話す・書く） 伝来童話の内容まとめを韓国語で書いてみて、その内容について話し合う 学習課題　復習：：韓国の伝来童話の「ウネガプンカチ」内容についてもう一度確認する 予習：韓国の伝来童話「（コンジパッジ」の内容について調べておく 6　韓国伝来童話３「コンジパッジ（姉妹のコンジ・パッジ）」（読む・聞く） 伝来童話のあらすじ説明、視聴覚資料で聞いて、全文を読みながら単語・熟語確認 学習課題　復習：韓国の伝来童話「ウネガプンカチ」のまとめ書きについてもう一度確認する 予習：韓国の伝来童話「コンジパッジ」のまとめ書きについて調べておく 7　韓国伝来童話３「コンジパッジ（姉妹のコンジ・パッジ）」（話す・書く） 伝来童話の内容まとめを韓国語で書いてみて、その内容について話し合う 学習課題　復習：韓国の伝来童話「コンジパッジ（姉妹のコンジ・パッジ）」の内容についてもう一度確認する 予習：韓国の伝来童話「グムドッキウンドッキ（金の斧、銀の斧）」の内容について調べておく 8　韓国伝来童話４「グムドッキウンドッキ（金の斧、銀の斧）」（読む・聞く） 伝来童話のあらすじ説明、視聴覚資料で聞いて、全文を読みながら単語・熟語確認 学習課題　復習：：韓国の伝来童話「コンジパッジ」のまとめ書きについてもう一度確認する 予習：韓国の伝来童話「グムドッキウンドッキ」のまとめ書きについて調べ 9　韓国伝来童話４「グムドッキウンドッキ（金の斧、銀の斧）」（話す・書く） 伝来童話の内容まとめを韓国語で書いてみて、その内容について話し合う 学習課題　復習：韓国の伝来童話「グムドッキウンドッキ」の内容についてもう一度確認する 予習：韓国の伝来童話「フンブワノルブ」の内容について調べておく 10　韓国伝来童話５「フンブワノルブ（フンブ・ノルブ兄弟）」（読む・聞く） 伝来童話のあらすじ説明、視聴覚資料で聞いて、全文を読みながら単語・熟語確認 学習課題　復習：韓国の伝来童話「グムドッキウンドッキ」のまとめ書きについてもう一度確認する 予習：韓国の伝来童話「フンブワノルブ」のまとめ書きについて調べておく 11　韓国伝来童話５「フンブワノルブ（フンブ・ノルブ兄弟）」（話す・書く） 伝来童話の内容まとめを韓国語で書いてみて、その内容について話し合う 学習課題　復習：韓国の伝来童話「フンブワノルブ」の内容についてもう一度確認する 予習：韓国の伝来童話「ヒョニョシムチョン」の内容について調べておく 12　韓国伝来童話６「ヒョニョシムチョン（孝女、シムチョン）」「（読む・聞く） 伝来童話のあらすじ説明、視聴覚資料で聞いて、全文を読みながら単語・熟語確認 学習課題　復習：韓国の伝来童話「フンブワノルブ」のまとめ書きについてもう一度確認する 予習：韓国の伝来童話「ヒョニョシムチョン」の内容について調べておく 13　韓国伝来童話６「ヒョニョシムチョン（孝女、シムチョン）」（話す・書く） 伝来童話の内容まとめを韓国語で書いてみて、その内容について話し合う 学習課題　復習：韓国の伝来童話「ヒョニョシムチョン」の内容についてもう一度確認する 予習：韓国の伝来童話「ヒョニョシムチョン」のまとめ書きについて調べておく 14　韓国伝来童話６「ヒョニョシムチョン（孝女、シムチョン）」（詠む・聞く・話す・書く） 伝来童話を視聴覚資料で聞いて、全文を読みながら単語・熟語確認 伝来童話の内容まとめを韓国語で書いてみて、その内容について話し合う 学習課題　復習：韓国の伝来童話「ヒョニョシムチョン」の内容についてもう一度確認する 予習：今まで勉強した内容について調べておく 15　まとめ

	一番印象に残った話とその理由、日本の伝来童話との共通点・相違点、授業アンケート 学習課題　復習：韓国の伝来童話の内容についてもう一度確認する 予習：なし
授業形態	講義・演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	授業参加度（30%）、課題又はグループワーク（３0%）、定期試験（40%） ①韓国語のテキストと読んで、単語と熟語の意味を把握することができる。 ②韓国語の書き言葉と話し言葉の違いを理解し、正しい発音で話すことができる。 ③話の流れを自分でまとめて、その内容について話すことができる。 ④韓国の伝来童話を通じて韓国文化への理解を深め、語学力を伸びることができる。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	各授業で教員が準備する
履修条件	
履修上の注意	グループプロジェクトを実施するが、グループメンバー全員が積極的に活動に参加すること。
オフィスアワー	授業の前後で対応します
備考・メッセージ	学習者の学習進度やレベルに応じて、学習計画に変更が生じることがある。

講義科目名称：比較文化研究　　授業コード：42552

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ	２年	２単位	選択
担当教員			
李　載宇			

講義概要	グローバルに活躍する人材を目指すため、「文化とは何か」を再認識し、異文化との交流を通して他文化や価値観の違いを知り、自国文化に関しての理解を深める。グループワークを通したプロジェクト型の授業となるため、その中でコミュニケーション力を磨き、協調性を培い、責任感を育てる。プレゼン作成等もあるので、調査・まとめ力も鍛えたい。グループ全員がそれぞれの立場からそれぞれの特徴を活かしコミットすることに意義がある。共に学ぶ日本人・留学生が協働して、学科行事に関連したプロジェクトにグループワークで取組み、プレゼンテーション等の作成・発表を実施。5つの到達目標達成を目指す。
授業計画	1　オリエンテーション 授業の進み方、グループ分け→グループ内で自己紹介 「文化とは何か」ディスカッション 2　グループ別打ち合わせ ・「文化とは何か」を定め、各グループで「日本文化のキーワード」と「留学生母国文化のキーワード」をテーマとして決定する。Ex)食文化、服文化、住居文化、音楽、文学、恋愛・・・などなど。 避けたいテーマ：宗教。政治。法律。 ・発表方法を決める。 ＊形式自由、他の人にわかりやすく、ユニークなもの。１０分以内。 ・順番を決める。（くじ引き） 予習＆復習：それぞれのグループで作業を進行させること 3　発表準備１ ＭＡＣやＰＣ、ファイトボード、色紙などを使って各グループ発表準備 予習＆復習：それぞれのグループで作業を進行させること 4　発表準備２ ＭＡＣやＰＣ、ファイトボード、色紙などを使って各グループ発表準備 予習＆復習：それぞれのグループで作業を進行させること 5　グループ発表 各グループの発表及び相互評価１ 予習＆復習：なし 6　グループ発表 各グループの発表及び相互評価２ 予習＆復習：なし 7　グループ発表 各グループの発表及び相互評価３ 予習＆復習：なし 8　相互評価書整理・提出、次回プロジェクト提示 第２プロジェクト「・・の人なら誰でも知っている物語」 各国の昔からの話で一番有名な話を１つ選択する。 その話を日本語で翻訳して、最小限で４カット以上の漫画にして、内容を発表する。 話の名前、いつの話か（背景）、登場人物（年齢、名前）、主な内容を整理する。 留学生母国の言葉から日本語で翻訳しる。日本の物語の場合、英語で翻訳する。 発表の順番を決める（くじ引き） 予習＆復習：それぞれのグループで作業を進行させること 9　発表準備１ ＭＡＣやＰＣ、ファイトボード、色紙などを使って各グループ発表準備 予習＆復習：それぞれのグループで作業を進行させること 10　発表準備２ ＭＡＣやＰＣ、ファイトボード、色紙などを使って各グループ発表準備 予習＆復習：それぞれのグループで作業を進行させること 11　グループ発表 各グループの発表及び相互評価１ 予習＆復習：なし 12　グループ発表 各グループの発表及び相互評価２ 予習＆復習：なし 13　グループ発表 各グループの発表及び相互評価３

	予習＆復習：なし 14　相互評価書整理・提出（各グループ別） 各グループ発表物観覧。一番記憶に残ったチームの作品を選定。 予習＆復習：それぞれのグループで作業を進行させること 15　全体まとめ 全体の振り返り、振り返っての感想、 「文化とは何か」改めて再認識。アンケート作成 予習＆復習：それぞれのグループで作業を進行させること
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	授業参加３０％、課題評価40%、グループワークでの相互評価30% ①　日本人と留学生の合同授業で多様な文化や価値観の違いを知り、理解し、自分なりに受容できるようになる。 ②　異文化間交流の中で自国の文化の特性を再認識し、見直し、交流の際の助力とすることができる。 ③　グループワークを通してコミュニケーション能力・リーダーシップ・責任感・協調性を醸成することができる。 ④　プレゼン作成、発表を通し調査・まとめ・発表能力をつけることができる。 ⑤　グループのメンバー一人一人が積極的に行事に参加、プロジェクトに取り組み、必ず自らの役割を果たすことができる。 グループワークでの成果物（パワポ、ポスターなど）、発表内容、各グループ相互評価を行う。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	特になし
履修条件	
履修上の注意	グループプロジェクトを実施するが、グループメンバー全員が積極的に活動に参加すること。
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	母語が異なるメンバーによるプロジェクトになるため、コミュニケーションが難しい時がある。その場合、辞書などを上手に使うなど、工夫してプロジェクトを完成すること。

講義科目名称：比較文化研究　　授業コード：42551

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ	２年	２単位	選択
担当教員			
岩堺　千恵　・　青木　萌			

講義概要	この授業では、諸外国について、テーマに基づいて見聞を深める。 青木萌が担当する授業では、主に中国事情について学びながら、日本文化との比較を行う。
授業計画	1　オリエンテーション、第一課 中国の大学生活について① 学習課題 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける 2　第二課 中国の食文化について 学習課題 予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける 3　第三課 中国の交通について 学習課題 予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける 4　第四課 中国の数に対する考え方について 学習課題 予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける 5　第五課 中国の大学生のバイトについて 学習課題 予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける 6　第六課 中国の大学生活について② 学習課題 予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける 7　第七課 中国の職業について 学習課題 予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける 8　第八課 中国の買い物について 学習課題 予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける 9　第九課 中国の贈り物について 学習課題 予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける １０　第十課 中国の結婚について 学習課題 予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける １１　第十一課 中国の仕事について 学習課題 予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく

	復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける １２　第十二課 中国の呼称について 学習課題 予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける １３　総括① これまでの授業の中で特に興味深く感じたことについて更に詳述し、討論する 学習課題 予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける １４　総括② これまでの授業の中で特に興味深く感じたことについて更に詳述し、討論する 学習課題 予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける １５　総括③ これまでの授業の中で特に興味深く感じたことについて更に詳述し、討論する 学習課題 予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	評価の観点は次の通りである。 ①世界には多様な文化があることを認識することができる。 ②中国文化と比較し、日本文化の特徴を見出すことができる。 ③授業で得た知識を自分の経験と照らし合わせて考えることができる。 ④テーマに関する語彙を身につけることができる。 ⑤中国語の文章を正確に読むことができる。 評価手段と方法は、授業態度と定期試験で判断する。具体的な評価比率は、 授業態度（50%） 定期試験（50%） である。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	教科書:『知っておきたい中国事情』吉田泰謙著、白水社。 参考書:授業を通して紹介する
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業終了後にその場で、或は、研究室で受け付けます。
備考・メッセージ	中国をより深く理解することができます。 また、中国語の文章を読むことが多いので、中国語も学ぶことができます。

講義科目名称：異文化理解演習　　授業コード：51151

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ & 2ndQ	１年	２単位	必修
担当教員			
牟田　美信　・　園田　靖　・　青木　萌			

講義概要	この授業の目的となるキーワードは、「協働」「異文化理解」「コミュニケーション」「自国文化理解」「創造性」「パソコン・スマホ活用」とする。 　これからのグローバル社会では、様々な国の出身者と協働で働き、生活を共にすることがますます必要となる。いつくかのプロジェクトを通して、多様な文化を理解し、価値観の違いを知り、また自国文化に関しての理解を深る。 　グループワークを通したプロジェクト型の授業となるため、その中でコミュニケーション力を磨き、協調性を培い、責任感を育てる。グループ全員がそれぞれの立場からそれぞれの資質を活かし、プロジェクトにコミットすることに意義があり、共に学ぶ日本人・留学生が協働して、プロジェクトに取組み、プレゼンテーション等の作成・発表を通して、5つの到達目標達成を目指す。
授業計画	1　Introduction　プロジェクト①－１：グループ紹介カード作成　＊多国籍　(4/13) ・グループ分け→グループ名決定→グループメンバー紹介カード（名刺）作成　＊日本・中国・台湾・韓国・ベトナム・ミャンマー→ ・画用紙１枚に、グループ写真を貼り、各メンバーのプロフィールを（ユニークに）色などを使い自由に書込み作成する。 予習＆復習：自己紹介ができるように口頭練習を行う。 2　プロジェクト①－２：グループ紹介カード作成　＊多国籍（4/20） ・作成したグループ紹介カードを用いて、他のグループとの「自己・他己紹介」を行う。 予習＆復習：できるだけクラスメイトの名前を覚える。 プロジェクト②－１　他言語フレーズ集の作成（4/27） ・ギャップ・アルバイト等で使うであろう、実用的な他言語フレーズ集をEXCELで作成する。 ・留学生言語はカタカナで表記。 ・「日本語」「英語」「グループ内の留学生言語」　例）こんにちは・Hello・ニーハオ 予習＆復習：それぞれのグループで作業を進行させること 4　プロジェクト②－２　他言語フレーズ集の作成（5/11） ・ギャップ・アルバイト等で使うであろう、実用的な他言語フレーズ集をEXCELで作成する。 ・留学生言語はカタカナで表記。 ・「日本語」「英語」「グループ内の留学生言語」　例）こんにちは・Hello・ニーハオ 予習＆復習：それぞれのグループで作業を進行させること 5　プロジェクト②－３　他言語フレーズ集の作成（5/18） ・ギャップ・アルバイト等で使うであろう、実用的な他言語フレーズ集をEXCELで作成する。 ・留学生言語はカタカナで表記。 ・「日本語」「英語」「グループ内の留学生言語」　例）こんにちは・Hello・ニーハオ 予習＆復習：それぞれのグループで作業を進行させること 6　プロジェクト②－４　他言語フレーズ集の作成（5/25） ・他言語フレーズ集を印刷し、データも提出する。 ・データをスクリーンに映し出し、各グループで作成時での「苦労した点」「学んだ点」など、自分たちの作品のアピールを行う。 ・次回のテーマに関して、考えて来るように頭出しする。 予習＆復習：特になし。 7　プロジェクト③－１　HTB宿泊研修プレゼン準備（6/1） ・各チームで、３分以内の異文化紹介歌、スキットなど、HTBの夜に発表。 ・例）桃太郎の歌をミャンマー語で、私が驚いた日本での経験の寸劇、など。 予習＆復習：それぞれのグループで作業を進行させること 8　プロジェクト③－２　HTB宿泊研修（6/11&6/12） ・ハウステンボス園内散策 ・ハウステンボス・ローレライ宿泊研修 ・各チームで、３分以内の異文化紹介歌、スキットなど、夕食後に発表。 予習＆復習：なし

	9　プロジェクト④－１　異文化プレゼンテーション作成（6/19） ・異文化交流パーティーでの異文化紹介のプレゼンを準備する。　＊対象は、子供達と地域の大人。 ・例えば、観光地紹介、食事、マナーなどを模造紙で作成、言語・文化紹介カルタ作成、などを作成し、当日説明を行う。 ・例えば、自分の国の子供の遊び紹介と実など。 ・国別の歌や踊りなど。 予習＆復習：それぞれのグループで作業を進行させること 10　プロジェクト④－２　異文化プレゼンテーション作成（6/26） ・異文化交流パーティーでの異文化紹介のプレゼンを準備する。　＊対象は、子供達と地域の大人。 ・例えば、観光地紹介、食事、マナーなどを模造紙で作成、言語・文化紹介カルタ作成、などを作成し、当日説明を行う。 ・例えば、自分の国の子供の遊び紹介と実など。 ・国別の歌や踊りなど。 予習＆復習：それぞれのグループで作業を進行させること 11　プロジェクト④－３　異文化プレゼンテーション作成（7/3） ・異文化交流パーティーでの異文化紹介のプレゼンを準備する。　＊対象は、子供達と地域の大人。 ・例えば、観光地紹介、食事、マナーなどを模造紙で作成、言語・文化紹介カルタ作成、などを作成し、当日説明を行う。 ・例えば、自分の国の子供の遊び紹介と実など。 ・国別の歌や踊りなど。 予習＆復習：それぞれのグループで作業を進行させること 12　プロジェクト④－４　異文化プレゼンテーション作成（7/10）　＊シミレーションを行う。 ・異文化交流パーティーでの異文化紹介のプレゼンを準備する。　＊対象は、子供達と地域の大人。 ・例えば、観光地紹介、食事、マナーなどを模造紙で作成、言語・文化紹介カルタ作成、などを作成し、当日説明を行う。 ・例えば、自分の国の子供の遊び紹介と実など。 ・国別の歌や踊りなど。 予習＆復習：それぞれのグループで作業を進行させること 13　プロジェクト④－５　異文化プレゼンテーション作成（7/17）　＊シミレーションを行う。 ・異文化交流パーティーでの異文化紹介のプレゼンを準備する。　＊対象は、子供達と地域の大人。 ・例えば、観光地紹介、食事、マナーなどを模造紙で作成、言語・文化紹介カルタ作成、などを作成し、当日説明を行う。 ・例えば、自分の国の子供の遊び紹介と実など。 ・国別の歌や踊りなど。 予習＆復習：それぞれのグループで作業を進行させること 14　プロジェクト④－６　異文化交流パーティー（7/21） ・異文化交流パーティーにて実演。 予習＆復習：良かったこと、改善点などを考えてくる。 15　各プロジェクトの振り返り　(7/24) 「異文化理解演習」での取り組みについて振り返り ・グループで感想（良かったこと、改善点など）をまとめる。 ・ルーブリック評価による自己評価 ・授業評価を実施 予習＆復習：特になし。
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①　日本人と留学生の合同授業で多様な文化や価値観の違いを知り、理解し、自分なりに受容できるようになる。 ②　異文化間交流の中で自国の文化の特性を再認識し、見直し、交流の際の助力とすることができる。 ③　グループワークを通してコミュニケーション能力・リーダーシップ・責任感・協調性を醸成することができる。 ④　プレゼン作成、発表を通し調査・まとめ・発表能力をつけることができる。 ⑤　グループのメンバー一人一人が積極的に行事に参加、プロジェクトに取り組み、必ず自らの役割を果たすことができる。 グループワークでの成果物（パワポ、ポスターなど）、発表内容、授業や諸行事への積極的な関わりで評価します。ルーブリック評価も取り入れます。 課題40%、授業、グループワークへの積極的な参加30%、プレゼンテーション30% 備考）宿泊研修、土曜日実施イベント参加で、6/8、7/31は授業は実施しない。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	特になし

履修条件	
履修上の注意	グループプロジェクトを実施するが、グループメンバー全員が積極的に活動に参加すること。
オフィスアワー	月曜日１限（9：10～10：40）は研究室にいます。
備考・メッセージ	母語が異なるメンバーによるプロジェクトになるため、コミュニケーションが難しい時がある。その場合、辞書などを上手に使うなど、工夫してプロジェクトを完成すること。

講義科目名称：異文化理解演習　　授業コード：51152

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ & 2ndQ	１年	２単位	必修
担当教員			
小嶋　栄子　・　岩崎　千恵			

講義概要	この授業の目的となるキーワードは、「協働」「異文化理解」「コミュニケーション」「自国文化理解」「創造性」「パソコン・スマホ活用」とする。 　これからのグローバル社会では、様々な国の出身者と協働で働き、生活を共にすることがますます必要となる。いつくかのプロジェクトを通して、多様な文化を理解し、価値観の違いを知り、また自国文化に関しての理解を深る。 　グループワークを通したプロジェクト型の授業となるため、その中でコミュニケーション力を磨き、協調性を培い、責任感を育てる。グループ全員がそれぞれの立場からそれぞれの資質を活かし、プロジェクトにコミットすることに意義があり、共に学ぶ日本人・留学生が協働して、プロジェクトに取組み、プレゼンテーション等の作成・発表を通して、5つの到達目標達成を目指す。
授業計画	1　Introduction　プロジェクト①－１：グループ紹介カード作成　＊多国籍　(4/13) ・グループ分け→グループ名決定→グループメンバー紹介カード（名刺）作成　＊日本・中国・台湾・韓国・ベトナム・ミャンマー→ ・画用紙１枚に、グループ写真を貼り、各メンバーのプロフィールを（ユニークに）色などを使い自由に書込み作成する。 予習＆復習：自己紹介ができるように口頭練習を行う。 2　プロジェクト①－２：グループ紹介カード作成　＊多国籍（4/20） ・作成したグループ紹介カードを用いて、他のグループとの「自己・他己紹介」を行う。 予習＆復習：できるだけクラスメイトの名前を覚える。 プロジェクト②－１　他言語フレーズ集の作成（4/27） ・ギャップ・アルバイト等で使うであろう、実用的な他言語フレーズ集をEXCELで作成する。 ・留学生言語はカタカナで表記。 ・「日本語」「英語」「グループ内の留学生言語」　例）こんにちは・Hello・ニーハオ 予習＆復習：それぞれのグループで作業を進行させること 4　プロジェクト②－２　他言語フレーズ集の作成（5/11） ・ギャップ・アルバイト等で使うであろう、実用的な他言語フレーズ集をEXCELで作成する。 ・留学生言語はカタカナで表記。 ・「日本語」「英語」「グループ内の留学生言語」　例）こんにちは・Hello・ニーハオ 予習＆復習：それぞれのグループで作業を進行させること 5　プロジェクト②－３　他言語フレーズ集の作成（5/18） ・ギャップ・アルバイト等で使うであろう、実用的な他言語フレーズ集をEXCELで作成する。 ・留学生言語はカタカナで表記。 ・「日本語」「英語」「グループ内の留学生言語」　例）こんにちは・Hello・ニーハオ 予習＆復習：それぞれのグループで作業を進行させること 6　プロジェクト②－４　他言語フレーズ集の作成（5/25） ・他言語フレーズ集を印刷し、データも提出する。 ・データをスクリーンに映し出し、各グループで作成時での「苦労した点」「学んだ点」など、自分たちの作品のアピールを行う。 ・次回のテーマに関して、考えて来るように頭出しする。 予習＆復習：特になし。 7　プロジェクト③－１　HTB宿泊研修プレゼン準備（6/1） ・各チームで、３分以内の異文化紹介歌、スキットなど、HTBの夜に発表。 ・例）桃太郎の歌をミャンマー語で、私が驚いた日本での経験の寸劇、など。 予習＆復習：それぞれのグループで作業を進行させること 8　プロジェクト③－２　HTB宿泊研修（6/11&6/12） ・ハウステンボス園内散策 ・ハウステンボス・ローレライ宿泊研修 ・各チームで、３分以内の異文化紹介歌、スキットなど、夕食後に発表。 予習＆復習：なし

	9　プロジェクト④－１　異文化プレゼンテーション作成（6/19） ・異文化交流パーティーでの異文化紹介のプレゼンを準備する。　＊対象は、子供達と地域の大人。 ・例えば、観光地紹介、食事、マナーなどを模造紙で作成、言語・文化紹介カルタ作成、などを作成し、当日説明を行う。 ・例えば、自分の国の子供の遊び紹介と実など。 ・国別の歌や踊りなど。 予習＆復習：それぞれのグループで作業を進行させること 10　プロジェクト④－２　異文化プレゼンテーション作成（6/26） ・異文化交流パーティーでの異文化紹介のプレゼンを準備する。　＊対象は、子供達と地域の大人。 ・例えば、観光地紹介、食事、マナーなどを模造紙で作成、言語・文化紹介カルタ作成、などを作成し、当日説明を行う。 ・例えば、自分の国の子供の遊び紹介と実など。 ・国別の歌や踊りなど。 予習＆復習：それぞれのグループで作業を進行させること 11　プロジェクト④－３　異文化プレゼンテーション作成（7/3） ・異文化交流パーティーでの異文化紹介のプレゼンを準備する。　＊対象は、子供達と地域の大人。 ・例えば、観光地紹介、食事、マナーなどを模造紙で作成、言語・文化紹介カルタ作成、などを作成し、当日説明を行う。 ・例えば、自分の国の子供の遊び紹介と実など。 ・国別の歌や踊りなど。 予習＆復習：それぞれのグループで作業を進行させること 12　プロジェクト④－４　異文化プレゼンテーション作成（7/10）　＊シミレーションを行う。 ・異文化交流パーティーでの異文化紹介のプレゼンを準備する。　＊対象は、子供達と地域の大人。 ・例えば、観光地紹介、食事、マナーなどを模造紙で作成、言語・文化紹介カルタ作成、などを作成し、当日説明を行う。 ・例えば、自分の国の子供の遊び紹介と実など。 ・国別の歌や踊りなど。 予習＆復習：それぞれのグループで作業を進行させること 13　プロジェクト④－５　異文化プレゼンテーション作成（7/17）　＊シミレーションを行う。 ・異文化交流パーティーでの異文化紹介のプレゼンを準備する。　＊対象は、子供達と地域の大人。 ・例えば、観光地紹介、食事、マナーなどを模造紙で作成、言語・文化紹介カルタ作成、などを作成し、当日説明を行う。 ・例えば、自分の国の子供の遊び紹介と実など。 ・国別の歌や踊りなど。 予習＆復習：それぞれのグループで作業を進行させること 14　プロジェクト④－６　異文化交流パーティー（7/21） ・異文化交流パーティーにて実演。 予習＆復習：良かったこと、改善点などを考えてくる。 15　各プロジェクトの振り返り　(7/24) 「異文化理解演習」での取り組みについて振り返り ・グループで感想（良かったこと、改善点など）をまとめる。 ・ルーブリック評価による自己評価 ・授業評価を実施 予習＆復習：特になし。
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①　日本人と留学生の合同授業で多様な文化や価値観の違いを知り、理解し、自分なりに受容できるようになる。 ②　異文化間交流の中で自国の文化の特性を再認識し、見直し、交流の際の助力とすることができる。 ③　グループワークを通してコミュニケーション能力・リーダーシップ・責任感・協調性を醸成することができる。 ④　プレゼン作成、発表を通し調査・まとめ・発表能力をつけることができる。 ⑤　グループのメンバー一人一人が積極的に行事に参加、プロジェクトに取り組み、必ず自らの役割を果たすことができる。 グループワークでの成果物（パワポ、ポスターなど）、発表内容、授業や諸行事への積極的な関わりで評価します。ルーブリック評価も取り入れます。 課題40%、授業、グループワークへの積極的な参加30%、プレゼンテーション30% 備考）宿泊研修、土曜日実施イベント参加で、6/8、7/31は授業は実施しない。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	特になし

履修条件	
履修上の注意	グループプロジェクトを実施するが、グループメンバー全員が積極的に活動に参加すること。
オフィスアワー	火曜日５限。
備考・メッセージ	母語が異なるメンバーによるプロジェクトになるため、コミュニケーションが難しい時がある。その場合、辞書などを上手に使うなど、工夫してプロジェクトを完成すること。

講義科目名称：国際・時事研究　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
6thQ	２年	２単位	選択
担当教員			
牟田　美信			

講義概要	最近の国内外の時事問題に関して、広く知識を得て、自分の意見を持ち発言できるようにする。 具体的には、時事関連の映像を見て議論したり、気になった新聞やネット記事を各自持ち寄り、「要旨」と「自分の意見」を述べ、時事問題について理解を深める。 授業の中で、各自「時事研究ノート」を作成する。ノートで扱う記事は、日本語又は英語の記事とする。
授業計画	1　時事ノート記入・作成 新聞の構成を理解し、効率的な読み方を学習する。 （記事書き出し、読み確認、用語調べ、内容の図式化）→グループ討議 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。 2　グループ発表・討議 （記事書き出し、読み確認、用語調べ、内容の図式化）→グループ討議 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。 3　時事ノート記入・作成 （記事書き出し、読み確認、用語調べ、内容の図式化）→グループ討議 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。 4　グループ発表・討議 （記事書き出し、読み確認、用語調べ、内容の図式化）→グループ討議 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。 5　時事ノート記入・作成 （記事書き出し、読み確認、用語調べ、内容の図式化）→グループ討議 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。 6　グループ発表・討議 （記事書き出し、読み確認、用語調べ、内容の図式化）→グループ討議 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。 7　時事ノート記入・作成 （記事書き出し、読み確認、用語調べ、内容の図式化）→グループ討議 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。 8　グループ発表・討議 （記事書き出し、読み確認、用語調べ、内容の図式化）→グループ討議 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。 9　時事ノート記入・作成 （記事書き出し、読み確認、用語調べ、内容の図式化）→グループ討議 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。 10　グループ発表・討議 （記事書き出し、読み確認、用語調べ、内容の図式化）→グループ討議 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。 11　時事ノート記入・作成 （記事書き出し、読み確認、用語調べ、内容の図式化）→グループ討議 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。 12　グループ発表・討議 ②TED視聴→意見交換 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。

	13　　時事ノート記入・作成 ①各自社説ノート作成（記事書き出し、読み確認、用語調べ、内容の図式化）→グループ討議 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。 14　　グループ発表・討議 （記事書き出し、読み確認、用語調べ、内容の図式化）→グループ討議 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。 15　　総合まとめ・プレゼンテーション 自分が一番気になった記事に関して、プレゼンテーションを行う。 ＊ノートの提出
授業形態	講義と演習を組み合わせた授業とする。
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	以下がこの授業で達成してもらいたい項目である。 ①ニュースを正しく理解でき、記事内容を簡潔に要約できる。 ②要約した記事内容を口頭で第３者にわかりやすく説明できる。 ③新聞の社説の内容を正しく理解できる。 ④取り扱う国内・国際時事用語を正しく理解できる。 ⑤時事研究ノートを作成することができる。 評価は、「時事研究ノート（70%）」、「授業での参加度・発言度（30%）
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	各社新聞、ネットニュース、その他、授業中に指示
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	木曜日（14:50-16:30）
備考・メッセージ	できるだけ毎日、新聞を読んだり、テレビのニュースを視聴すること。

講義科目名称：国際・時事研究　　授業コード：42652

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
6thQ	２年	２単位	選択
担当教員			
福元　美和子			

講義概要	国内外の時事問題に関して、広く知識を得て、自分の意見を持ち発言できるようにする。 具体的には、時事関連の映像（主に日本語）を見て、内容を理解し、自分の意見を述べ、議論する。 また、自分が関心を持つ自国の時事問題、あるいは、自国で大きな話題になっている時事問題について、要約し発表する。 各自、授業の中で「時事研究ノート」を作成する。 ノートで扱う記事は、日本語・英語、その他の言語の記事とする。
授業計画	1　イントロダクション 学習項目 ①本授業内容の説明。 ②授業に関するアンケート ③時事ノートの作成の仕方の確認、グループ分け ④まとめ 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと（言語は問わない） 予習：プリント 2　グループワーク　ほか 学習項目 ①授業で取り上げられたニュース内容を理解する。 ②グループワーク（①の確認、討議、討議内容をまとめる、発表） ③まとめ 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと（言語は問わない） 予習：プリント 3　グループワーク　ほか 学習項目 ①授業で取り上げられたニュース内容を理解する。 ②グループワーク（①の確認、討議、討議内容をまとめる、発表） ③まとめ 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと（言語は問わない） 予習：プリント 4　グループワーク　ほか 学習項目 ①授業で取り上げられたニュース内容を理解する。 ②グループワーク（①の確認、討議、討議内容をまとめる、発表） ③まとめ 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと（言語は問わない） 予習：プリント 5　グループワーク　ほか 学習項目 ①授業で取り上げられたニュース内容を理解する。 ②グループワーク（①の確認、討議、討議内容をまとめる、発表） ③まとめ 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと（言語は問わない） 予習：プリント 6　グループワーク　ほか 学習項目 ①授業で取り上げられたニュース内容を理解する。 ②グループワーク（①の確認、討議、討議内容をまとめる、発表） ③まとめ 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと（言語は問わない） 予習：プリント 7　グループワーク　ほか 学習項目 ①授業で取り上げられたニュース内容を理解する。 ②グループワーク（①の確認、討議、討議内容をまとめる、発表） ③まとめ 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと（言語は問わない） 予習：プリント 8　グループワーク　ほか 学習項目 ①授業で取り上げられたニュース内容を理解する。 ②グループワーク（①の確認、予習で準備したことを述べる、討議、討議内容をまとめる、発表） ③まとめ 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと（言語は問わない） 予習：プリント 9　グループワーク　ほか 学習項目 ①授業で取り上げられたニュース内容を理解する。

	②グループワーク（①の確認、予習で準備したことを述べる、討議、討議内容をまとめる、発表） ③まとめ 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと（言語は問わない） 予習：プリント １０　グループワーク　ほか 学習項目 ①授業で取り上げられたニュース内容を理解する。 ②グループワーク（①の確認、予習で準備したことを述べる、討議、討議内容をまとめる、発表） ③まとめ 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと（言語は問わない） 予習：プリント １１　グループワーク　ほか 学習項目 ①授業で取り上げられたニュース内容を理解する。 ②グループワーク(1)（①の確認、予習で準備したことを述べる、討議、討議内容をまとめる、発表） ③グループワーク(2) 最終プレゼンテーションに向けて準備 ④まとめ 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと（言語は問わない） 予習：プリント １２　グループワーク　ほか 学習項目 ①授業で取り上げられたニュース内容を理解する。 ②グループワーク(1)（①の確認、予習で準備したことを述べる、討議、討議内容をまとめる、発表） ③グループワーク(2) 最終プレゼンテーションに向けて準備 ④まとめ 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと（言語は問わない） 予習：プリント １３　グループワーク　ほか 学習項目 ①授業で取り上げられたニュース内容を理解する。 ②グループワーク(1)（①の確認、予習で準備したことを述べる、討議、討議内容をまとめる、発表） ③グループワーク(2) 最終プレゼンテーションに向けて準備 ④まとめ 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと（言語は問わない） 予習：プリント １４　グループ発表① 学習項目 ①グループ発表・評価（内容に対しての疑問点や質問を述べる、基準に基づいて評価する） ②まとめ 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと（言語は問わない） １５　グループ発表② 学習項目 ①グループ発表・評価（内容に対しての疑問点や質問を述べる、基準に基づいて評価する） ②まとめ ※授業の最後に「時事ノート」提出
授業形態	講義と演習を組み合わせた授業とする。
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	以下がこの授業で達成してもらいたい項目である。 ①授業で扱われたニュースを正しく理解でき、記事内容を簡潔に要約できる。 ②要約した記事内容を口頭で第三者にわかりやすく説明できる。 ③取り扱う日本国内・国際時事用語を正しく理解できる。 ④時事研究ノートを作成することができる。 ⑤新聞の社説の内容を正しく理解できる。 評価は、「時事研究ノート（５０％）」、「授業での参加度（３０％）」、「授業での発言度（２０％）」
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	各社新聞、ネットニュース、その他、授業中に指示。
履修条件	なし
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後て対応します。
備考・メッセージ	この授業では、授業以外でも準備や学習が必要になります。 日本語だけではなく、みなさんが持つ言語能力をフルに活用して、今、日本国内の都市や地域では何が問題になっているのか、どんなことを日本人は話題にしているのか、内容を正確に理解し、日本人の国民性を感じたり、自国と比較したりしましょう。その中で、仲間と議論し、他国者の視点を理解し、自らの視野を大きく広げていきましょう。

講義科目名称：外国語アクティブラーニング　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ & 8thQ	２年	１単位	選択
担当教員			
Luc Roberge			

講義概要	This course is a project-based student-centered course. Students will be required to work actively and collaboratively to finish several course projects.
授業計画	1 異文化コミュニケーションⅡへの導入（9月29日） Introduction：Students will be given an introduction to the course.　Students will start their first project. 学習課題　復習:　To be announced by the teacher 予習：To be announced by the teacher 2 Video Contest 2 Students, in groups of 1 or 2, will plan, prepare and make a short 1-2 minute video that will be submitted for the NJC Video Contest at the annual school festival. 学習課題　復習:　To be announced by the teacher 予習：To be announced by the teacher 3 Video Contest 3 Students, in groups of 1 or 2, will plan, prepare and make a short 1-2 minute video that will be submitted for the NJC Video Contest at the annual school festival. 学習課題　復習:　To be announced by the teacher 予習：To be announced by the teacher 4 Video Contest 4 Students, in groups of 1 or 2, will plan, prepare and make a short 1-2 minute video that will be submitted for the NJC Video Contest at the annual school festival. 学習課題　復習:　To be announced by the teacher 予習：To be announced by the teacher 5 Sasebo Tourism Project 1 Students will participate in a class project. Each student, or pair of students, will research and prepare a short tourism video to describe Sasebo tourist locals. 学習課題　復習:　To be announced by the teacher 予習：To be announced by the teacher 6 Sasebo Tourism Project 2 Students will participate in a class project. Each student, or pair of students, will research and prepare a short tourism video to describe Sasebo tourist locals. 学習課題　復習:　To be announced by the teacher 予習：To be announced by the teacher 7 Sasebo Tourism Project 3 Students will participate in a class project. Each student, or pair of students, will research and prepare a short tourism video to describe Sasebo tourist locals. 学習課題　復習:　To be announced by the teacher 予習：To be announced by the teacher 8 Sasebo Tourism Project 4 Students will participate in a class project. Each student, or pair of students, will research and prepare a short tourism video to describe Sasebo tourist locals. 学習課題　復習:　To be announced by the teacher 予習：To be announced by the teacher 9 Movie Study 1 Students will study a popular movie. Through the study of the movie, students will develop authentic vocabulary, grammar, expressions and cultural knowledge. 学習課題　復習:　To be announced by the teacher 予習：To be announced by the teacher 10 Movie Study 2 Students will study a popular movie. Through the study of the movie, students will develop authentic vocabulary, grammar, expressions and cultural knowledge. 学習課題　復習:　To be announced by the teacher 予習：To be announced by the teacher 11 Movie Study 3 Students will study a popular movie. Through the study of the movie, students will develop authentic vocabulary, grammar, expressions and cultural knowledge.

	学習課題　復習:　To be announced by the teacher 予習：To be announced by the teacher 12　Movie Study 4 Students will study a popular movie. Through the study of the movie, students will develop authentic vocabulary, grammar, expressions and cultural knowledge. 学習課題　復習:　To be announced by the teacher 予習：To be announced by the teacher 13　Movie Study 5 Students will study a popular movie. Through the study of the movie, students will develop authentic vocabulary, grammar, expressions and cultural knowledge. 学習課題　復習:　To be announced by the teacher 予習：To be announced by the teacher 14　Hero's Journey Project Students will become familiar with stages of the Hero's Journey. Students will demonstrate their knowledge and understanding of the stages through a class presentation to their peers. 学習課題　復習:　To be announced by the teacher 予習：To be announced by the teacher 15　Hero's Journey Project Students will become familiar with stages of the Hero's Journey. Students will demonstrate their knowledge and understanding of the stages through a class presentation to their peers. 学習課題　復習:　To be announced by the teacher 予習：To be announced by the teacher 16　Hero's Journey Project - Presenation Students will become familiar with stages of the Hero's Journey. Students will demonstrate their knowledge and understanding of the stages through a class presentation to their peers. This is the final presentation day.
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	1.　Students　will be able to plan, and make a short video for the NJC school Festival video contest. 2. Students　will be able to make a class video about tourist locations in Sasebo. 3. Students　will be able to study authentic language through study of a popular movie. 4. Students　will be able to learn the Hero's Journey. 5. Students　will be able to make a class presentation. Video 25%,　Tourism project 25%,　Movie Study and classroom engagement 25%,　HJ Presentation 25%.
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	None
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	
備考・メッセージ	特になし

講義科目名称：外国語アクティブラーニング　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ ＆ 8thQ	２年	１単位	選択
担当教員			
青木　萌			

講義概要	本授業では、テレビドラマ、テレビ番組、映画などの映像言語資料を参考にしながら、中国語の会話練習を行う。同時に、速い中国語を聞き取る訓練を繰り返し行う。更に、映像を見ながら中国語を学習することにより、どのような場面でどのような表現を使うのかを深く理解する。
授業計画	１　オリエンテーション、映像言語資料1 セリフの解読、会話練習 学習課題 復習:前回学んだ箇所を音読する ２　映像言語資料2 セリフの解読、会話練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回学んだ箇所を音読する ３　映像言語資料3 セリフの解読、会話練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回学んだ箇所を音読する ４　映像言語資料4 セリフの解読、会話練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回学んだ箇所を音読する ５　映像言語資料5 セリフの解読、会話練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回学んだ箇所を音読する ６　映像言語資料6 セリフの解読、会話練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回学んだ箇所を音読する ７　映像言語資料7 セリフの解読、会話練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回学んだ箇所を音読する ８　映像言語資料8 セリフの解読、会話練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回学んだ箇所を音読する ９　映像言語資料9 セリフの解読、会話練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回学んだ箇所を音読する １０　映像言語資料10 セリフの解読、会話練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回学んだ箇所を音読する １１　映像言語資料11 セリフの解読、会話練習 学習課題

	予習:分からない単語を調べておく 復習:前回学んだ箇所を音読する １２　映像言語資料12 セリフの解読、会話練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回学んだ箇所を音読する １３　映像言語資料13 セリフの解読、会話練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回学んだ箇所を音読する １４　映像言語資料14 セリフの解読、会話練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回学んだ箇所を音読する １５　映像言語資料15 セリフの解読、会話練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:前回学んだ箇所を音読する
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	評価の観点は以下の三点である。 ①中国語の文を一息で発音することができる。 ②速い中国語を聞き取り、返答することができる。 ③中国語検定試験であるHSK5級に挑戦できる。 評価手段・方法は、授業態度、会話練習、および定期試験で評価する。 評価比率は以下の通りである。 授業態度、会話練習50%、定期試験50%
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：プリント等を配付する。 参 考 書：授業内容に合わせて別途提示する。
履修条件	中国語Ｉを履修していること。また、中国語が母語でない学生を履修対象とする。
履修上の注意	速い中国語を用いるので、予習と復習をしっかり行うこと。中国語を発話する際には、大きな声で発話すること。
オフィスアワー	授業終了後その場で、或いは、研究室で受け付けます。
備考・メッセージ	現地で実際に耳にするような速い中国語をたくさん聴いて頑張っていきましょう。 中国の面白い映画やテレビ番組、テレビドラマ等も紹介するので、中国への理解も深まります。

講義科目名称：外国語アクティブラーニング　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ ＆ 8thQ	２年	１単位	選択
担当教員			
井上　麗奈			

講義概要	
授業計画	
授業形態	
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	
備考・メッセージ	

講義科目名称：外国語アクティブラーニング　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ ＆ 8thQ	２年	１単位	選択
担当教員			
李　載宇			

講義概要	定型化された教科書の文形から離れて実際使われている韓国語の言語活動と接して、「自分のことば」としての韓国語を練習することを目的とする。同じ性別・同じ年齢代の韓国人が使用することばで構成されたコンテンツを体験して感想を語り合い、自分のことばで表現することで、より完成度の高い韓国語を駆使できるようにする。
授業計画	1　オリエンテーション 授業概要、アンケート、外国語コンテンツの利用方法について WEBTOON「大学日記」、映画「建築学概論」紹介 学習課題　復習：なし 予習：韓国語のＷＥＢＴＯＯＮについて調べておく 2　「大学日記」１ ＷＥＢＴＯＯＮの内容を読んで、単語と表現をチェックする。 動画を通じて正確な発音を確認する。 学習課題　復習：外国語コンテンツの利用方法についてもう一度確認する 予習：WEBTOON「大学日記」台詞の発音について調べておく 3　「大学日記」２ ＷＥＢＴＯＯＮ動画をベースで練習して、自分も演技してみる。 ポイントは「イントネーション」と「感情表現」 学習課題　復習：韓国語のＷＥＢＴＯＯＮについてもう一度確認する 予習：WEBTOON「大学日記」Ｑシートについて調べておく 4　「大学日記」３ ＷＥＢＴＯＯＮの内容をベースに、自分が再構成してみる。 内容を構成できたら、Ｑシートを作成してみる。もしできれば絵まで追加する。 学習課題　復習：WEBTOON「大学日記」台詞の発音についてもう一度確認する 予習：WEBTOON「大学日記」内容と単語について調べておく 5　「大学日記」４ ＷＥＢＴＯＯＮの内容を読んで、単語と表現をチェックする。 動画を通じて正確な発音を確認する。 学習課題　復習：WEBTOON「大学日記」Ｑシートについてもう一度確認する 予習：WEBTOON「大学日記」台詞の発音について調べておく 6　「大学日記」５ ＷＥＢＴＯＯＮ動画をベースで練習して、自分も演技してみる。 ポイントは「イントネーション」と「感情表現」 学習課題　復習：WEBTOON「大学日記」内容と単語についてもう一度確認する 予習：WEBTOON「大学日記」Ｑシートについて調べておく 7　「大学日記」6 ＷＥＢＴＯＯＮの内容をベースに、自分が再構成してみる。 内容を構成できたら、Ｑシートを作成してみる。もしできれば絵まで追加する。 学習課題　復習：WEBTOON「大学日記」台詞の発音についてもう一度確認する 予習：映画「建築学概論」について調べておく 8　「建築学概論」１ 韓国映画「建築学概論」感想１ 映画の中に出てくる単語、表現を整理する。 学習課題　復習：WEBTOON「大学日記」Ｑシートについてもう一度確認する 予習：映画「建築学概論」について調べておく 9　「建築学概論」２ 韓国映画「建築学概論」感想２ 映画の中に出てくる単語、表現を整理する。 学習課題　復習：映画「建築学概論」についてもう一度確認する 予習：映画「建築学概論」の単語と表現について調べておく 10　「建築学概論」３ 映画の内容をまとめて韓国語で整理する。 記憶に残る「１シーン」を選んで、再現するための役割分担を行う。 学習課題　復習：映画「建築学概論」についてもう一度確認する 予習：映画「建築学概論」の演技と発音について調べておく 11　「建築学概論」４ 映画のシーン再現１ 発音と感情伝達に注意して、映画の１シーンを直接演じてみる。 各グループで感想を語り合い、フィードバックを行う。 学習課題　復習：映画「建築学概論」の単語と表現についてもう一度確認する 予習：映画「建築学概論」の演技と発音について調べておく 12　「建築学概論」５ 映画のシーン再現２ 発音と感情伝達に注意して、映画の１シーンを直接演じてみる。 各グループで感想を語り合い、フィードバックを行う。 学習課題　復習：映画「建築学概論」の単語と表現についてもう一度確認する 予習：映画「建築学概論」の演技と発音について調べておく

	13　「建築学概論」６ 映画のシーン再現３ 発音と感情伝達に注意して、映画の１シーンを直接演じてみる。 各グループで感想を語り合い、フィードバックを行う。 学習課題　復習：映画「建築学概論」の単語と表現についてもう一度確認する 予習：映画「建築学概論」の演技と発音について調べておく 14　「建築学概論」７ 映画のシーン再現４ 発音と感情伝達に注意して、映画の１シーンを直接演じてみる。 各グループで感想を語り合い、フィードバックを行う。 学習課題　復習：映画「建築学概論」の単語と表現についてもう一度確認する 予習：今まで勉強した内容について調べておく 15　まとめ ＷＥＢＴＯＯＮで一番記憶に残るエピソードと、映画で一番記憶に残るシーンを選択する。 授業アンケート 学習課題　復習：映画「建築学概論」の単語と表現についてもう一度確認する 予習：なし
授業形態	講義・演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	授業参加度（30%）、課題又はグループワーク（３0%）、定期試験（40%） ①最新コンテンツを通じて学生達の年齢層に合わせた韓国語の表現を確認できる。 ②正しい発音と単語・熟語の使い方を把握して、直接使用することができる。 ③韓国で知名度の高い視聴覚資料を通じて韓国文化への理解を高めることができる。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	各授業で教員が準備する
履修条件	
履修上の注意	グループプロジェクトを実施するが、グループメンバー全員が積極的に活動に参加すること。
オフィスアワー	授業の前後で対応します
備考・メッセージ	学習者の学習進度やレベルに応じて、学習計画に変更が生じることがある。

講義科目名称：外国語アクティブラーニング　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ ＆ 8thQ	２年	１単位	選択
担当教員			
劉　敏正			

講義概要	今まで学習してきた理論的な知識を様々な活動・演習を通じて実践することで韓国語の表現力・会話力を高めることを本授業の目標とする。 また様々な韓国の文化を体験することでより韓国に関する興味と知識を深める。
授業計画	1　オリエンテーション 授業の進み方 2　曲で学ぶ韓国語 タイトル／あなたは愛されるため生まれた人 曲の歌詞を翻訳しながら曲の中に出てくる文法を理解する。 文法を活用して新しい文章を作る。 パソコンでハングルの入力をしてみる。 次回の課題／韓国の新聞（Web新聞を含め）記事を選び翻訳してみる。 3　新聞 韓国の新聞記事の内容について調べたことを発表する。 グループワーク グループに分けてNJCや佐世保に関する内容の新聞を作ってみる。 事前準備、内容の集計、会議 4　新聞２ グループワーク グループに分けてNJCや佐世保に関する新聞を作ってみる。 ハングルで記事の内容を作成し完成させる。 5　韓国の民俗遊び ①雙六遊び ②ユンノリ 昔ながら伝わる韓国の民俗遊びの種類と内容について学習し、実際体験する。 次回の課題／ハングルで履歴書を書いてみる。 6　韓国での就職活動と手紙 履歴書の書き方及び面接の練習を行う。★評価有 EMS、手紙、年賀状、クリスマスカードの書き方を学び実際書いてみる。 7　旅行会社にて グループワーク 旅行会社のスタッフ＆お客さんになって予約の段階から案内まで韓国語で行う。 グループになって役割を決める→旅行地の設定(韓国国内又は日本国内)→会話文の作成→実践 すべての会話は韓国語になります。 8　旅行会社にて2 旅行会社のスタッフ＆お客さんになって予約の段階から案内まで韓国語で行う。 グループになって役割を決める→旅行地の設定(韓国国内又は日本国内)→会話文の作成→実践 すべての会話は韓国語になります。 ★評価有　（文章力、発音、内容、演技など総合的に判断する） 9　映画 韓国映画を鑑賞する中で ①字幕がないところを翻訳する。 ②映画に出てきたセリフを使って会話文を作ってみる。 ③感想文をハングルで書いてみる。 10　映画２ 韓国映画を鑑賞する中で ①字幕がないところを翻訳する。 ②映画に出てきたセリフを使って会話文を作ってみる。 ③感想文をハングルで書いてみる。 ★評価有 11　編入 編入に必要な書類の作成 面接の準備 12　ゲーム ①マニット(秘密の友達)

	②OXクイズ(韓国の事情＆韓国語の問題) 13　韓国伝統お面 お面の種類 韓国伝統のお面を作ってみる。 14　小説 ハングルで書いてある小説を選択する。 ①読む練習 ②翻訳 ③感想文 ★評価有 15　全体まとめ
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①基本的な語彙と文の理解、会話などを演習を通じて定着させる。 ②読み書き、日常会話がより流暢にできる。 ③韓国の文化に対する理解を高める。 ④韓国文化や現状などに関する興味と知識を深める。 授業参加度（30%）、課題・発表・グループワーク（70%）
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	各授業ごとに教員が配布する。
履修条件	ハングルの読み・書き及び基礎的な文法が分かる。
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	学習進度やレベルに応じて、学習計画に変更が生じることがある。

講義科目名称：外国語アクティブラーニング　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ ＆ 8thQ	２年	１単位	選択
担当教員			
福元　美和子			

講義概要	
授業計画	
授業形態	
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	
備考・メッセージ	

講義科目名称：キャリアガイダンス　　授業コード：21151

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ & 2ndQ	１年	２単位	必修
担当教員			
中野　明人			

講義概要	・国際コミュニケーション学科の学生の進路は実に多様であり、それぞれが自分自身の生き方(キャリア）を描くことで、自分自身の進路設定をすることができます。 ・しかし、そのキャリアを自分でデザインするためには、それなりに時間をかけて、自己理解や社会理解などの準備をする必要があります。 ・自己理解、社会理解を踏まえ、職業を発見するためのさまざまな取組をへて、就活そしてその後のキャリアをデザインする授業になります。
授業計画	1　ガイダンス この授業がめざすもの ・この授業が、2年間の学びのどの位置、どの役割を果たすのかについて理解する。 ・就活事情の今について、新聞の切り抜きを見て、考える。 ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。 2　今の自分を知ろう①客観的な自分のイメージ ・自己認識をする。 ・理想の自己イメージについて考える。 ・自分のパーソナリティ分析をする（ペアワーク）。 ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。 3　今の自分を知ろう②私の行動特徴（エゴグラム） ・エゴグラムテストで自分の行動特徴を調べる。 ・自分のセルフコントロールしたい自我について考える。 ・ジョハリ　ウィンドウについて学ぶ。 ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。 ４　職業選択と自己　ｉ　自分のパーソナリティと適職の関係について ・いろんな職業について知る ・興味のある職業調べを行う。 ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。 5　職業選択と自己　ii　自分の生き方と職業の関係について ・自分にとって大切なものは何かについて考える。 ・自分と職業の関係についてまとめる。 ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。 6　キャリア選択のバリアー　ｉ　自分のバリアーの正体 ・自分にとって大切なものは何かについて考える。 ・自分と職業の関係についてまとめる。 ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。 7　キャリア選択のバリアー　ii　バリアーの克服法 ・自分の思い込みについて考える。 ・自分の思い込みについて修正をしてみる。 ・キャリア選択におけるバリアーについて考え、自分がどうしたいかについて考えをまとめる。 ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。 8　ライフスタイルと職業選択　ｉ 今までのライフスタイル ・今までの自分を振り返る（ライフラインを書いてみる） ・影響のあった出来事や人物についてか書き出してみる。 ・どんな影響を受けたのかについてまとめる。 ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。 ９　ライフスタイルと職業選択　ii ライフスタイルと職業生活 ・職業志向条件と勤務条件から職業について調べる ・自分なりに必要な勤務条件について考えてみる ・勤務条件と職業生活について自分の考えをまとめる。 ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。 １０　キャリア計画　キャリアレインボーを作る ・キャリアレインボーを描いてみる。 ・キャリア計画と目標について、各年代ごとにまとめ、行動目標を作る ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。 １１　仕事選択職業レディネス度　職業レディネスチェック 資格取得の意志決定 ・職業レディネスチェックをする。 ・自分が選択した職業と資格について調べてまとめる。 ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。 １２　就職の意志決定 ・企業情報を集め、自分情報シートをまとめる ・企業情報を自分で調べてまとめる。 ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。 １３　面接の備え：自己理解 ・自分情報シートについてまとめてみる。 ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。 １４　前に進むために　5年後と10年後のわたし ・5年後と10年後の、「ありたい姿」の私について考えをまとめる。 ・就職活動のアクションプラン 自分で計画を立てる

	１５　　プレゼンテーション 未来の自分をプレゼンする ・5年後と10年後の自分について発表し、聞きあい、評価する。 ・就職活動だけでなく、卒業後の自分自身の生き方を主体的に考え、デザインすることができるようになる。
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①自分自身について知ることができる。 ②職業について理解し、選択できるようになる。 ③自分自身の考え方のバリア(限界)を知り、克服することができる。 ④就活を計画し、実行することができる。 ⑤キャリア計画を立てることができる。 ①毎回配布するプリントの内容を評価する。それぞれのプリントが適切に記入されていることを評価の内容とする。 ②授業内容を振り返るコミュニケーションシートにその日の学ぶや気づきについて記入すし、その内容を評価する。 ③最終回に実施する「5年後の自分、10年後の自分」についてのプレゼンを実施し、評価する。 ①14回×5点満点 ②コミュニケーションシートの記入　15回×1点 ③プレゼンの評価　　1回×15点
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキストはありませんが、プリントを配布します。
履修条件	
履修上の注意	① まずA4ファイルを用意してください。 ② 時々メモを取るのでA4のルーズリーフ用紙を用意してください。 ③ 説明をした後に、演習をプリントに行います。 ④ プリントを閉じこんでいきます
オフィスアワー	木曜日の放課後をオフィスアワーとして設定しています。事前に予約を取って研究室を訪問してくださると助かります。 また、木曜日以外の昼休みもオフィスアワーとして利用できますので、ぜひ質問にきてください。
備考・メッセージ	就職活動で内定をえるのはゴールではなく、スタートラインに立つということです。よりよい人生を主体的に生きるためには、キャリアデザインがとても大切になります。計画を立てると修正もできます。早い段階でキャリアについて考えることが大事になります。

講義科目名称：キャリアガイダンス　　授業コード：34555

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ ＆ 6thQ	１年	２単位	必修
担当教員			
梶谷　良子			

講義概要	・国際コミュニケーション学科の学生の進路は実に多様であり、それぞれが自分自身の生き方(キャリア）を描くことで、自分自身の進路設定をすることができます。 ・しかし、そのキャリアを自分でデザインするためには、それなりに時間をかけて、自己理解や社会理解などの準備をする必要があります。 ・自己理解、社会理解を踏まえ、職業を発見するためのさまざまな取組をへて、就活そしてその後のキャリアをデザインする授業になります。
授業計画	1　ガイダンス この授業がめざすもの ・この授業が、2年間の学びのどの位置、どの役割を果たすのかについて理解する。 ・就活事情の今について、新聞の切り抜きを見て、考える。 ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。 2　今の自分を知ろう①客観的な自分のイメージ ・自己認識をする。 ・理想の自己イメージについて考える。 ・自分のパーソナリティ分析をする（ペアワーク）。 ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。 3　今の自分を知ろう②私の行動特徴（エゴグラム） ・エゴグラムテストで自分の行動特徴を調べる。 ・自分のセルフコントロールしたい自我について考える。 ・ジョハリ　ウィンドウについて学ぶ。 ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。 ４　職業選択と自己　ｉ　自分のパーソナリティと適職の関係について ・いろんな職業について知る ・興味のある職業調べを行う。 ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。 5　職業選択と自己　ii　自分の生き方と職業の関係について ・自分にとって大切なものは何かについて考える。 ・自分と職業の関係についてまとめる。 ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。 6　キャリア選択のバリアー　ｉ　自分のバリアーの正体 ・自分にとって大切なものは何かについて考える。 ・自分と職業の関係についてまとめる。 ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。 7　キャリア選択のバリアー　ii　バリアーの克服法 ・自分の思い込みについて考える。 ・自分の思い込みについて修正をしてみる。 ・キャリア選択におけるバリアーについて考え、自分がどうしたいかについて考えをまとめる。 ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。 8　ライフスタイルと職業選択　ｉ 今までのライフスタイル ・今までの自分を振り返る（ライフラインを書いてみる） ・影響のあった出来事や人物についてか書き出してみる。 ・どんな影響を受けたのかについてまとめる。 ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。 ９　ライフスタイルと職業選択　ii ライフスタイルと職業生活 ・職業志向条件と勤務条件から職業について調べる ・自分なりに必要な勤務条件について考えてみる ・勤務条件と職業生活について自分の考えをまとめる。 ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。 １０　キャリア計画　キャリアレインボーを作る ・キャリアレインボーを描いてみる。 ・キャリア計画と目標について、各年代ごとにまとめ、行動目標を作る ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。 １１　仕事選択職業レディネス度　職業レディネスチェック 資格取得の意志決定 ・職業レディネスチェックをする。 ・自分が選択した職業と資格について調べてまとめる。 ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。 １２　就職の意志決定 ・企業情報を集め、自分情報シートをまとめる ・企業情報を自分で調べてまとめる。 ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。 １３　面接の備え：自己理解 ・自分情報シートについてまとめてみる。 ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。 １４　前に進むために　5年後と10年後のわたし ・5年後と10年後の、「ありたい姿」の私について考えをまとめる。 ・就職活動のアクションプラン 自分で計画を立てる

	１５　　プレゼンテーション 未来の自分をプレゼンする ・5年後と10年後の自分について発表し、聞きあい、評価する。 ・就職活動だけでなく、卒業後の自分自身の生き方を主体的に考え、デザインすることができるようになる。
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①自分自身について知ることができる。 ②職業について理解し、選択できるようになる。 ③自分自身の考え方のバリア(限界)を知り、克服することができる。 ④就活を計画し、実行することができる。 ⑤キャリア計画を立てることができる。
科目（教職課程用）	①毎回配布するプリントの内容を評価する。それぞれのプリントが適切に記入されていることを評価の内容とする。 ②授業内容を振り返るコミュニケーションシートにその日の学ぶや気づきについて記入すし、その内容を評価する。 ②最終回に実施する「5年後の自分、10年後の自分」についてのプレゼンを実施し、評価する。
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	①14回×5点満点 ②コミュニケーションシートの記入　15回×1点 ③プレゼンの評価　　1回×15点
教科書・参考書	テキストはありませんが、プリントを配布します。
履修条件	
履修上の注意	① まずA4ファイルを用意してください。 ② 時々メモを取るのでA4のルーズリーフ用紙を用意してください。 ③ 説明をした後に、演習をプリントに行います。 ④ プリントを閉じこんでいきます
オフィスアワー	木曜日の放課後をオフィスアワーとして設定しています。事前に予約を取って研究室を訪問してくださると助かります。 また、木曜日以外の昼休みもオフィスアワーとして利用できますので、ぜひ質問にきてください。
備考・メッセージ	就職活動で内定をえるのはゴールではなく、スタートラインに立つということです。よりよい人生を主体的に生きるためには、キャリアデザインがとても大切になります。計画を立てると修正もできます。早い段階でキャリアについて考えることが大事になります。

講義科目名称：キャリアプランニング　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
4thQ	１年	２単位	必修
担当教員			
中野　明人			

講義概要	国際コミュニケーション学科の学生の進路は実に多様であり、それぞれが自分自身の生き方(キャリア）を描くことで、自分自身の進路設定をすることができます。 しかし、そのキャリアを自分でプランニングするためには、それなりに時間をかけて、準備をする必要があります。 この授業では、最新の就職活動の情報をもとに、自分自身をしっかりと理解したうえで相手にどのように自分を知ってもらうかということについて学びます。 　また、就職試験の実際について知ることで、自分の能力を知り、具体的な目標を設定し、その目標をクリアするために何が必要かということを学びます。 　最終的には、自分のキャリアについてみんなの前でプレゼンをすることで、自分のキャリアを意識化することを目標とします。 　ギャップイヤーで発見した自分自身について振り返り、将来のビジョンを設計することを目標とします。
授業計画	1　オリエンテーション ①今年の就活スケジュール ②就活の実際　（DVDを見て考える） 2　就職活動とキャリアプランニング ①今年の就職戦線について新聞などを通して知る ②今何をすべきか ③就活とは ④就職するとは（求人票や給与明細の見方） 3　社会で求められる能力 ①社会が求める３つの能力と12の能力要素 4　自分を知る ①なぜ自分を知ることが大切か ②ギャップイヤーを経験して自分の強み、弱みを知る ③自分の強み、弱みを文章にしてみる 5　自己PRと志望動機① ①現在の自分について ②自己PR文の基本構成と作り方 ③実際に書いてみる 6　自己PRと志望動機② ①企業研究と志望動機 ②志望動機を書いてみる 7　履歴書の書き方 ①履歴書の書き方の基本を知る ②履歴書を書いてみる 8　就活上のビジネスマナー ①履歴書を添削しての気づき ②就活上のビジネスマナーについて（敬語の使い方や電話のかけ方） 9　就職試験① ①論文や作文について(伝わる文章の書き方) ②実際に書いてみよう 10　就職試験② ①SPIについて ②一般常識について ③実際に解いてみよう 11　就職試験③ ①SPIについて ②一般常識について ③実際に解いてみよう 12　フレッシュワークを利用する① ①フレッシュワークとは ②利用にあたって 13　フレッシュワークを利用する② ①地元に企業の人と対話する 14　働くための労働法規について ①労働基準法 ②労働安全衛生法 ③男女雇用機会均等法 ④実例を通して学ぶ 15　プレゼンテーション ①自己PRと志望動機をみんなの前でプレゼンする
授業形態	授業中に行う演習(文書作成）、そして最終回のプレゼンで評価をします。

評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①就職活動を含めたキャリアプランニングを作成することができる。 ②社会が求める３つの能力と１２の能力要素を理解することができる。 ③自己PR、志望動機、履歴書を書くことができる。 ④就活上のビジネスマナーを身につけることができる。 ⑤働く上で必要な労働法規を理解することができる。 授業中に行う演習（文書作成）60％、そして最終回のプレゼン（40％）で評価をします。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	特に指定はしません。 毎回必要な資料を配布します
履修条件	
履修上の注意	キャリアガイダンスでしっかりと基本的なことを身につけてください。
オフィスアワー	中野については、火曜日の4コマ目と木曜日の放課後をオフィスアワーとして対応します。
備考・メッセージ	研究室に不在の可能性もあるので、事前にメール等で予約を取っていただけると助かります。

講義科目名称：キャリアプランニング　　授業コード：53553

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ & 6thQ	２年	２単位	必修
担当教員			
中野　明人			
旧カリ			

講義概要	国際コミュニケーション学科の学生の進路は実に多様であり、それぞれが自分自身の生き方(キャリア）を描くことで、自分自身の進路設定をすることができます。 しかし、そのキャリアを自分でプランニングするためには、それなりに時間をかけて、準備をする必要があります。 この授業では、最新の就職活動の情報をもとに、自分自身をしっかりと理解したうえで相手にどのように自分を知ってもらうかということについて学びます。 　また、就職試験の実際について知ることで、自分の能力を知り、具体的な目標を設定し、その目標をクリアするために何が必要かということを学びます。 　最終的には、自分のキャリアについてみんなの前でプレゼンをすることで、自分のキャリアを意識化することを目標とします。
授業計画	1　オリエンテーション ①今年の就活スケジュール ②就活の実際　（DVDを見て考える） 2　就職活動とキャリアプランニング ①今年の就職戦線について新聞などを通して知る ②今何をすべきか ③就活とは ④就職するとは（求人票や給与明細の見方） 3　社会で求められる能力 ①社会が求める３つの能力と12の能力要素 4　自分を知る ①なぜ自分を知ることが大切か ②ギャップイヤーを経験して自分の強み、弱みを知る ③自分の強み、弱みを文章にしてみる 5　自己PRと志望動機① ①現在の自分について ②自己PR文の基本構成と作り方 ③実際に書いてみる 6　自己PRと志望動機② ①企業研究と志望動機 ②志望動機を書いてみる 7　履歴書の書き方 ①履歴書の書き方の基本を知る ②履歴書を書いてみる 8　就活上のビジネスマナー ①履歴書を添削しての気づき ②就活上のビジネスマナーについて（敬語の使い方や電話のかけ方） 9　就職試験① ①論文や作文について(伝わる文章の書き方) ②実際に書いてみよう 10　就職試験② ①SPIについて ②一般常識について ③実際に解いてみよう 11　就職試験③ ①面接試験の基本的なマナーと流れについて ②ロールプレイ 12　おもてなしの極意 ①おもてなしとは ②あなたにとってお客様とはどんな人ですか？ 13　働く上で必要な労働法について① ①労働基準法 ②労働安全衛生法 ③実例を通して学ぶ 14　働く上で必要な労働法規について② ①男女雇用機会均等法とは ②ブラック企業とは 15　プレゼンテーション ①自己PRと志望動機をみんなの前でプレゼンする
授業形態	授業中に行う演習(文書作成）、そして最終回のプレゼンで評価をします。

評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①就職活動を含めたキャリアプランニングを作成することができる。 ②社会が求める３つの能力と１２の能力要素を理解することができる。 ③自己PR、志望動機、履歴書を書くことができる。 ④就活上のビジネスマナーを身につけることができる。 ⑤働く上で必要な労働法規を理解することができる。 授業中に行う演習（文書作成）60％、そして最終回のプレゼン（40％）で評価をします。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	特に指定はしません。 毎回必要な資料を配布します。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	中野については、火曜日の4コマ目と木曜日の放課後をオフィスアワーとして対応します。
備考・メッセージ	研究室に不在の可能性もあるので、事前にメール等で予約を取っていただけると助かります。

講義科目名称：キャリアプランニング　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ & 8thQ	２年	２単位	必修
担当教員			
冨場　康　・　梶谷　良子			
7Q冨場、8Q梶谷			

講義概要	国際コミュニケーション学科の学生の進路は実に多様であり、それぞれが自分自身の生き方(キャリア）を描くことで、自分自身の進路設定をすることができます。 しかし、そのキャリアを自分でプランニングするためには、それなりに時間をかけて、準備をする必要があります。 この授業の前半では、「地域を支える企業を知る」というテーマで、地域の企業を調べることで、地域にどのような産業があり、どのような課題を抱えているのかについて知ることで、直前に迫った就職活動に役立てます。地域の事業所を訪問し、実際に自分の働くイメージを作り上げることも目標としています。自分自身の人生設計（キャリアデザイン）を就職活動を基点に自分でできるための授業になります。 後半では、実際に就職活動で求められるビジネススキル・マナーについて学びます。
授業計画	1　ガイダンス ①今年の就活スケジュール ②就活の実際　(DVDを見て考える) 2　就職活動とキャリアプランニング ①今年の就職戦線について新聞などを通して知る ②今何をすべきか ③就活で大切なこと 3　社会で求められる能力 ①社会が求める能力とは？ ②社会が求める課題解決能力とは？ ③この授業がめざすもの 4　地域の企業・職業を知る　Ⅰ ①グループ分け(担当企業を決める) ②まずは自分たちで地元の企業について調べる ③その企業が抱える課題について調べる ④調べてわかったこととわからなかったことをまとめる 5　地域の企業・職業を知る　Ⅱ ①担当する企業が属する業界・業種の現状を調べる ②その業界や業種が抱える課題を調べる ③調べたことをまとめる 6　地域の企業・職業を知る　Ⅲ ①自分たちで企業訪問時に聞きたいことをまとめる ②自分たちが調べたことで提案できることについてまとめる 7　地域の企業・職業を知る Ⅳ ①実際に担当企業から説明を受ける ②担当企業に質問をする ③今回の訪問を通して学んだことをまとめ、グループで共有する 8　従業員スタッフの資質 ①必要とされる要件 ②従業要件 9　対人技能 接遇知識 10　実務技能 社交業務 11　職場でのデモンストレーション 実習① 12　職場・業種に即した業務マナー 実務マナー① 13　職場・業種に即した業務マナー 実務マナー② 14　職場でのデモンストレーション 実習② 15　プレゼンテーション グループでのプレゼンテーション、相互評価
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	前半の「地域を支える企業を知る」というテーマで行うキャリアプランニングでは、プレゼンテーションに対して学生によるルーブリックの相互評価を行います。(60%) 後半のビジネススキル・ビジネスマナーの評価は小テストで行い(20%)、総合的な授業参加態度（グループディスカッションなど）とします(20%)。

	①就職活動を含めたキャリアプランニングを作成することができる。 ②社会が求める３つの能力と１２の能力要素を理解することができる。 ③自己PR、志望動機、履歴書を書くことができる。 ④就活上のビジネスマナーを身につけることができる。 ⑤働く上で必要な労働法規を理解することができる。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	特に指定はしません。 必要な資料を配布するので、「Awesome　Sasebo！　Project]のファイルを持参してください。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	

講義科目名称：アカデミックライティング（日本人学生）　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ ＆ 8thQ	２年	２単位	必修
担当教員			
小嶋　栄子、岩崎　千恵			

講義概要	大学の授業では、多くのレポート・論文が課される。本授業では、レポート・論文とは何かという基本的事項を知るところから始め、実際の作業を通じて、最終的にレポート・論文が書けるようになることを目指す。 また、レポート・論文の執筆を学ぶことで、社会に通じる基本的な文章作成能力も身に付けることも念頭におく。
授業計画	１　オリエンテーション 授業の進め方、目標、評価方法等の説明 作文力テスト 復習：授業の意義の確認 予習：次回のテキスト範囲を読んでおく ２　レポートとは何か 文章にはさまざまな種類があることを知る。 レポート・論文を書くための基本ルールを押さえる。 復習：基本ルールの確認およびノート整理 予習：次回のテキスト範囲を読んでおく ３　レポート・論文のルール① 引用および著作権について学ぶ 復習：引用と著作権の確認およびノート整理 予習：次回のテキスト範囲を読んでおく ４　レポート・論文のルール② 参考文献リストについて学ぶ 復習：参考文献リストの確認およびノート整理 予習：次回のテキスト範囲を読んでおく ５　レポート・論文の種類を知ろう レポート・論文の種類を知る 報告型レポート、ブックレポート、論文の基本形を学ぶ 復習：さまざまな基本形の確認およびノート整理 予習：次回のテキスト範囲を読み、報告型レポートのテーマを考えておく ６　報告型レポートを書いてみよう 報告型レポートを実際に書く 復習：報告型レポートの読み返しおよびノート整理 予習：次回のテキスト範囲を読み、ブックレポートのテーマを考えておく ７　ブックレポートを書いてみよう ブックレポートを実際に書く 復習：ブックレポートの読み返しおよびノート整理 予習：次回のテキスト範囲を読んでおく ８　発想力をつけよう レポート・論文に求められる思考の重要性について学ぶ 復習：さまざまな思考パターンの振り返りおよびノート整理 予習：次回のテキスト範囲を読んでおく ９　読解力をつけよう 文献の読み方を学ぶ 復習：文献の読み方の振り返りおよびノート整理 予習：次回のテキスト範囲を読んでおく １０　要約力をつけよう 要約文の書き方を学ぶ 復習：要約の仕組みの振り返りおよびノート整理 予習：次回のテキスト範囲を読んでおく １１　要約のしくみを新聞から学ぼう 新聞を教材として要約のしかたを学ぶ 復習：要約のしかたの振り返りおよびノート整理 レポート・論文の種類を知る 報告型レポート、ブックレポート、論文の基本形を学ぶ 復習：さまざまな基本形の確認およびノート整理 予習：次回のテキスト範囲を読み、報告型レポートのテーマを考えておく

	１２	批判的思考力をつけよう 批判的思考（クリティカルシンキング）のさまざまなパターンを学ぶ 復習：批判的思考のパターンの振り返りおよびノート整理 予習：次回のテキスト範囲を読んでおく
	１３	表現力をつけよう 事実と意見の違いを学ぶ 意見をまとめる練習をする 復習：意見のまとめ方の振り返りおよびノート整理 予習：次回のテキスト範囲を読んでおく
	１４	レポート論文の実際① レポート・論文の表現法・言葉遣いについて学ぶ 復習：表現法・言葉遣いの確認およびノート整理 予習：次回のテキスト範囲を読んでおく
	１５	レポート・論文の実際② レポート・論文の文体について学ぶ 復習：文体の確認およびノート整理 予習：単位取得レポートの準備
授業形態	講義	
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①レポート・論文とは何かについての基本的事項を知る。 ②レポート・論文に求められる基本的な発想力を身につける。 ③レポート・論文に求められる基本的な要約力を身につける。 ④レポート・論文に求められる基本的な批判的思考力を身につける。 ⑤社会で必要とされる基本的なレポート・論文の書き方を身につける。	
科目（教職課程用）	授業中の小テストと評価期間時の提出レポート	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	授業態度および授業への意欲　４０％ 小テスト　２０％ レポート　６０％	
教科書・参考書	授業で指示します。	
履修条件		
履修上の注意		
オフィスアワー	毎週火曜日16:30-18:00	
備考・メッセージ		

講義科目名称：アカデミックライティング　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ ＆ 8thQ	２年	２単位	必修
担当教員			
冨場　康			

講義概要	本授業は、日本語で文章を書く力を養うためのものである。日常生活で、字を書く機会がだんだん少なくなり、電話で簡単に用事を済ませることが多くなってきているが、字を書くことが不要になることは不可欠であるし、会話とは別の次元で、人との交流が深まり、生活がより楽しくなる。 留学生の大きな目的は、日本語能力試験（JLPT）N1、N2合格であり、進学や就職に役立つ日本語の習得である。そのためのドリルや就職や進学に役立つスキルを学習させたい。
授業計画	1　日本語を書くときの注意点 学習課題　復習：「です・ます」と「だ・である」 予習：日本語を書くときの注意点 ①　原稿用紙の使い方 ②　敬語 ③　文体 2　メモを書く 学習課題　復習：日本語を書くときの注意点 予習：メモを書く ①　電話のメモ ②　訪ねた相手がいなかったときのメモ ③　注意書きのメモ ④　通知・案内のメモ ⑤　箇条書きのメモ ⑥　依頼のメモ 3　伝言版・掲示板に書く 学習課題　復習：メモを書く 予習：伝言板・掲示板に書く ①伝言板に書く ②掲示板に書く 4　はがきを書く 学習課題　復習：伝言板・掲示板に書く 予習：はがきを書く ①住所やあて名の書き方 ②近況報告のはがき ③はがきでお礼を言う 5　いろいろなはがき 学習課題　復習：はがきを書く 予習：いろいろなはがき ①絵はがき ②暑中見舞い・残暑見舞いなど ③住所変更のはがき ④往復はがき 6　手紙を書く 学習課題　復習：いろいろなはがき 予習：手紙を書く ①あて名の書き方 ②あいさつの言葉 ③手紙の形式 ④お礼の手紙 ⑤依頼の手紙 7　年賀状・カードを書く 学習課題　復習：手紙を書く 予習：年賀状・カードを書く 8　日本語能力試験（JLPT）Ｎ１、Ｎ２のドリルをする ※学習課題　次時の予習を必ず行う。 また、学習したことの復習を忘れないで実践すること（～13回まで続ける） ①文字　　漢字の読み ②語彙1　　文脈に合う語 ③語彙2　　言葉の言い換え 9　日本語能力試験（JLPT）Ｎ１、Ｎ２のドリルをする ①語彙3　語の使い方 ②文法1　正しい文法形式 ③文法2　文の組み立て 10　日本語能力試験（JLPT）Ｎ１、Ｎ２のドリルをする

	①文法3　文章に沿った文法形式 ②読解1　文章の内容を理解する（1） ③読解2　文書の内容を理解する（2） 11　日本語能力試験（JLPT）Ｎ１、Ｎ２のドリルをする ①読解3　文章の内容を理解する（3） ②読解　　複数の文章を比べる ③読解　　筆者の主張をつかむ 12　日本語能力試験（JLPT）Ｎ１、Ｎ２のドリルをする ①読解　　必要な情報を拾う ②聴解　　課題は何か ③聴解　　必要な情報を拾う 13　日本語能力試験（JLPT）Ｎ１、Ｎ２のドリルをする ①聴解　　話の流れをつかむ ②聴解　　すばやく応える ③聴解　　複数の情報を組み合わせて理解する 14　履歴書、志望理由書の書き方を学ぶ 学習課題　予習：履歴書、志望理由の下書きをしておくこと。 復習：１～２回練習をして清書すること。 15　まとめ ①日本語の印象をまとめる。 ②日本の文化や生活に対しての感想をまとめる。
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	◎到達目標◎ ①　自分の意見・感想を日本語で書くことができる。 ②　日本語で手紙・はがきをかくことができる。 ③　日本語で簡単なスピーチを書くことができる。 ④　日本社会における基本的なアカデミックライティングの重要性を知り、その用語及び所作を知る。 ⑤　日本のビジネス全体に通用する基本的な日本語を身につける。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	最初の授業で指示する。
履修条件	平成28年度以降の入学者（留学生）。
履修上の注意	辞書、筆記用具、ノートを必ず持参すること。
オフィスアワー	授業時間の前後で質問等受け付けます。
備考・メッセージ	文法や漢字の間違いをあまり気にしないでください。気楽にペンを持って、どんどん書いてみてください。たくさん書いているうちに、楽に書けるようになるでしょう。

講義科目名称：アカデミックライティング　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ ＆ 8thQ	２年	２単位	必修
担当教員			
福元　美和子			

講義概要	本授業は、日本語で文章を書く力を養うためのものである。日常生活で、字を書く機会がだんだん少なくなり、電話で簡単に用事を済ませることが多くなってきているが、字を書くことが不要になることは不可欠であるし、会話とは別の次元で、人との交流が深まり、生活がより楽しくなる。 　本授業は、日本語の初級の終わりから中級の留学生を対象とし、毎日の生活にすぐ役立つことを目的とする。日本語の学習者にとって必要な原稿用紙の書き方、はがきや手紙を書くときの注意点などについて説明する。作文の書き方という面からだけではなく、書くことを通して日本の社会や文化を知ってほしい。
授業計画	1　日本語を書くときの注意点 学習課題　復習：「です・ます」と「だ・である」 予習：日本語を書くときの注意点 ①　原稿用紙の使い方 ②　敬語 ③　文体 2　モメを書く 学習課題　復習：日本語を書くときの注意点 予習：モメを書く ①　電話のメモ ②　訪ねた相手がいなかったときのメモ ③　注意書きのメモ ④　通知・案内のモメ ⑤　箇条書きのメモ ⑥　以来のモメ 3　伝言板・掲示板に書く 学習課題　復習：メモを書く 予習：伝言板・掲示板に書く ①　伝言板に書く ②　掲示板に書く 4　はがきを書く 学習課題　復習：伝言板・掲示板に書く 予習：　はがきを書く ①　住所やあて名の書き方 ②　近況報告のはがき ③　はがきでお礼を言う 5　いろいろなはがき 学習課題　復習：はがきを書く 予習：いろいろなはがき ①　絵はがき ②　暑中見舞い・残暑見舞いなど ③　住所変更のはがき ④　往復はがき 6　手紙を書く 学習課題　復習：いろいろなはがき 予習：手紙を書く ①　あて名の書き方 ②　あいさつの言葉 ③　手紙の形式 ④　お礼の手紙 ⑤　依頼の手紙 7　年賀状・カードを書く 学習課題　復習：手紙を書く 予習：　年賀状・カードを書く ①　クリスマスカード ②　年賀状 ③　誕生日カード ④　お礼のカード ⑤　お見舞いのカード 8　いろいろな書式 学習課題　復習：年賀状・カードを書く 予習：　いろいろな書式

	①　国内・海外へ小包を送るとき ②　現金書留 ③　返信用の封筒やはがき ④　履歴書の書き方 9　壁新聞に書く 学習課題　復習：いろいろな書式 予習：　壁新聞に書く ①　文書は「である体」を使う ②　文末表現の例 ③　印象的な見出し語を選ぶ １０　スピーチの原稿を書く① 学習課題　復習：壁新聞に書く 予習：　スピーチの原稿を書く ①　アイディアを書く ②　キーワードを並べる ③　構成を考える ④　スピーチの原稿を書く １１　スピーチの原稿を書く② 学習課題　復習：スピーチの原稿を書く① 予習：　スピーチの原稿を書く ①　アイディアを書く ②　キーワードを並べる ③　構成を考える ④　スピーチの原稿を書く １２　日記を書く 学習課題　復習：スピーチの原稿を書く② 予習：　日記を書く ①　日付 ②　文体 ③　内容 １３　人や場所を紹介する 学習課題　復習：日記を書く 予習：　人や場所を紹介する ①　日本に行く人を紹介する ②　場所を紹介する １４　身近なことを書く 学習課題　復習：人や場所を紹介する 予習：　身近なことを書く ①　作文を書く手順 ②　接続詞を効果的に使うよう心がける １５　意見・感想を述べる 学習課題　復習：身近なことを書く 予習：　意見・感想を述べる ①　日本の印象を述べる ②　日本語を勉強している理由を述べる
授業形態	講義・演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①　自分の意見・感想を日本語で書くことができる。 ②　日本語で手紙・はがきをかくことができる。 ③　日本語で簡単なスピーチを書くことができる。 ④　日本社会における基本的なアカデミックライティングの重要性を知り、その用語及び所作を知る。 ⑤　日本のビジネス全体に通用する基本的な日本語を身につける。
科目（教職課程用）	授業中の学習態度・意欲、定期試験の結果によって総合的に評価する。
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	授業態度・授業への参加30%、宿題・授業外レポート30%、定期試験40%。
教科書・参考書	特に指定しない。授業の中で適宜紹介する。
履修条件	なし
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で質問等に対応します。
備考・メッセージ	言語にはさまざまな書き方がありますが、日本語の場合のアカデミック（学術的な）書き言葉とはどのようなものか。一緒に考え、身に付けていきましょう。

講義科目名称：ビジネス文書　　授業コード：32151

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ & 2ndQ	１年	１単位	選択
担当教員			
梶谷　良子			

講義概要	①本授業では「文字表現」「文書作成」「文書実践」の学習を通して、正しい書き言葉を身につけるようにする。 ②「口語表現」の学習を通して、待遇表現や来客への応対など、場に応じた正しい言葉を身につけるようにする。 ③サービス接遇実務検定試験筆記2級合格をめざす。 ④授業は講義を中心にしながら、適宜演習を交えて行う。
授業計画	１回　オリエンテーション サービス接遇検定対策 講義のすすめ方・サービス接遇検定について ２回　サービススタッフの資質 サービス接遇検定対策 必要される要件・従業要件 ３回　対人技能 サービス接遇検定対策 人間関係・接遇知識 ４回　対人技能 サービス接遇検定対策 接遇用語・身だしなみ ５回　専門知識 サービス接遇検定対策 サービス知識・従業知識（商業用語・経済用語） ６回　一般知識 サービス接遇検定対策 社会常識 ７回　実務技能 サービス接遇検定対策 問題処理（苦情や問い合わせについての対応） ８回　サービス接遇検定 サービス接遇検定対策 最終対策問題 ９回　表記技能 学習課題　復習：同音異義語・異字同訓語を学習する。 予習：主語述語、修飾語被修飾語とうの呼応について学習する。 ①同音異義語・異字同訓語、慣用の手紙用語について学習する。 １０回　表現技能（１） 学習課題　復習：文の仕組みについて学習する。 予習：接続後（接続詞）の使い方を学習する ①文の仕組み（主語・述語、修飾語・被修飾語）について学習する。 １１回　表現技能（２） 学習課題　復習：接続語（接続詞）の重要性を確認する。 予習：敬語（尊敬語・謙譲語・丁寧語）について学習する。 ①文章構成（文と文、段落、文体）について学習する。 １２回　表現技能（３） 学習課題　復習：敬語（尊敬語・謙譲語・丁寧語）について学習する。 予習：手紙用語（季語）について学習する。 ①敬語（尊敬語・謙譲語・丁寧語）について学習する。 １３回　実務技能（１） 学習課題　復習：原稿用紙の使い方を学習する。 予習：校正の方法について学習する ①原稿用紙の使い方、手紙（葉書）の書き方について学習する。 １４回　実務技能（2） 学習課題　復習：案内状を校正する。 予習正しい：敬語表現を学習する。 ①案内状の作成、校正について学習する。 １５回　まとめ 学習課題　復習：これまでの学習内容を総合的に学習する ①ビジネス文書技能検定試験（１・２級）受験への対応について学ぶ。 ②これまでの学習事項の具体的実践練習。
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①改まった場での日本語の書き方を習得する。 ②改まった場での日本語の話し方を習得する。 ③改まった場での日本語の表現力を身につける。

	④実務的な文書の作成を習得する。 ⑤社会で必要とされるビジネスマナーの基礎を身につける。 ①平素の学習意欲を重視する。（２０％） ②授業中の確認テスト（３０％） ③期末試験（５０％） 　　これらの結果を総合して評価する。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：「ビジネス文書検定実問題集」（早稲田教育出版） 　　「サービス接遇検定実務問題集２級」 参考書：「ビジネス文書検定受験ガイド１・２級」 　　（財）実務技能検定協会編（早稲田教育出版）
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で質問等を受付ます
備考・メッセージ	①接客に対応した正しい言葉遣いや会社での公文書作成、校正を視野に入れた授業を行う。 ②正しい漢字や四字熟語・敬語などを学習する。

講義科目名称：ビジネス文書　上級　　授業コード：12152

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ & 2ndQ	１年	１単位	選択
担当教員			
岩見　真知子			

講義概要	一口にビジネス文書といっても、さまざまな手段、形式、用途がある。本授業では、毎時間一つのテーマに焦点をあて、基本的な文書形式・必要な日本語(敬語の使い分け）の習得を目指す。また独自の言い回し等を掴むために、ビジネス場面を想定したロールプレイも行ってもらう。受講者には、日頃から、日本の社会では場面ごとにどのような日本語が使われているか興味を持ってもらいたい。その上で時折ディスカッションの時間も設けたい。
授業計画	1　オリエンテーション 予習：敬語を確認する。 2　敬語の確認 【ロールプレイ】ビジネス場面においての自己紹介他己紹介 日本語の丁寧語・尊敬語・謙譲語を確認する。 復習：授業で配布されたプリントを確認。 予習：次回のプリントを確認し、漢字や語彙を調べる。 3　仕事の日本語についてのディスカッション ・アルバイトをしているときどのような日本語を使っているのか。 ・コンビニやファーストフードショップやチェーン店ではどのような日本語が使われているのか。 ・不思議だと思う日本語について 4　履歴書の書き方 ・履歴書のルール ・実際に履歴書を書く ・【ロールプレイ】社内・社外での自己紹介（１） 復習：授業で配布されたプリントを確認。 予習：次回のプリントを確認し、漢字や語彙を調べる。 5　封筒やハガキの書き方 ・【ロールプレイ】社内・社外での自己紹介（２） 復習：授業で配布されたプリントを確認。 予習：次回のプリントを確認し、漢字や語彙を調べる。 6　ビジネスメール１ ・メール機能に関する日本語の基本用語 【ロールプレイ】社内・社外での挨拶 ・出社時・退社時 ・久しぶりに会ったときの挨拶 復習：授業で配布されたプリントを確認。 予習：次回のプリントを確認し、漢字や語彙を調べる。 7　ビジネスメール２ ・メール機能に関する日本語の基本用語 ・書き方の基本と文例 【ロールプレイ】社内：欠勤・残業の日本語 社外：訪問客を迎える際の日本語 復習：授業で配布されたプリントを確認。 予習：次回のプリントを確認し、漢字や語彙を調べる。 8　ビジネスメール３ ・メール機能に関する日本語の基本用語 ・書き方の基本と文例 【ロールプレイ】社内・社外：許可をもらう日本語 ・意向を尋ねて許可を求める ・可能性を尋ねて許可を求める 復習：授業で配布されたプリントを確認。 予習：次回のプリントを確認し、漢字や語彙を調べる。 9　これまでの確認 復習：授業で配布されたプリントを確認。 予習：次回のプリントを確認し、漢字や語彙を調べる。 10　ビジネスメール４ ・メール機能に関する日本語の基本用語 ・書き方の用例を読み解く ・実際にビジネスメールを書いてみる 【ロールプレイ】社内：許可をもらう際の日本語 休暇願い、物の貸し借り 社外：訪問のお願い 復習：授業で配布されたプリントを確認。 予習：次回のプリントを確認し、漢字や語彙を調べる。 11　BJT（ビジネス日本語能力テスト）の短文読解問題を読み解く１ 【ロールプレイ】社内・社外：依頼する際の日本語 ・依頼を受ける、断る

	・上司に頼む、他 復習：授業で配布されたプリントを確認。 予習：次回のプリントを確認し、漢字や語彙を調べる。 12 BJT（ビジネス日本語能力テスト）の短文読解問題を読み解く２ 【ロールプレイ】社内・社外：誘いの際の日本語 ・誘いを受ける、断る、勧める 復習：授業で配布されたプリントを確認。 予習：次回のプリントを確認し、漢字や語彙を調べる。 13 BJT（ビジネス日本語能力テスト）の短文読解問題を読み解く３ 【ロールプレイ】社内・社外：電話での日本語 ・電話を取り次ぐ、伝言を頼む、伝言を申し出る、伝言を伝える 復習：授業で配布されたプリントを確認。 予習：次回のプリントを確認し、漢字や語彙を調べる。 14 BJT（ビジネス日本語能力テスト）の短文読解問題を読み解く４ 【ロールプレイ】社内・社外アポイント際の日本語 ・アポイントの入れ方、申し入れ、日時の設定、ほか 復習：授業で配布されたプリントを確認。 予習：次回のプリントを確認し、漢字や語彙を調べる。 15 BJT（ビジネス日本語能力テスト）の短文読解問題を読み解く５ 【ロールプレイ】社内・社外：提案・申し出の際の日本語 ・提案を受ける、断る、申し出る、他 復習：授業で配布されたプリントを確認。 予習：次回のプリントを確認し、漢字や語彙を調べる。 ●本授業の総まとめ 復習：授業で配布されたプリントを確認し、漢字や語彙を調べる。
授業形態	演習（一部講義）
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①日本のビジネス文書の基本ルールや種類を理解する。 ②ビジネス文書を読解できるようになる。 ③ビジネスや改まった場で適切な話し言葉があることを理解する。 ④ビジネスや改まった場にふさわしい会話表現ができるようになる。 ①定期試験（50%） ②発表・提出物（20%） ③学習意欲・出席（50%）
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	プリントを配布する。 参考書：『にほんご敬語トレーニング』（アクセス出版）他
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	

講義科目名称：ビジネス文書　中級　　授業コード：12153

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ & 2ndQ	１年	１単位	選択
担当教員			
冨場　康			

講義概要	①本授業では「文字表現」「文書作成」「文書実践」の学習を通して、正しい書き言葉を身につけるようにする。 ②「口語表現」の学習を通して、待遇表現や来客への応対など、場に応じた正しい言葉を身につけるようにする。 ③サービス接遇実務検定試験筆記2級合格をめざす。 ④授業は講義を中心にしながら、適宜演習を交えて行う。
授業計画	１回　オリエンテーション サービス接遇検定対策 講義のすすめ方・サービス接遇検定について ２回　サービススタッフの資質 サービス接遇検定対策 必要される要件・従業要件 ３回　対人技能 サービス接遇検定対策 人間関係・接遇知識 ４回　対人技能 サービス接遇検定対策 接遇用語・身だしなみ ５回　専門知識 サービス接遇検定対策 サービス知識・従業知識（商業用語・経済用語） ６回　一般知識 サービス接遇検定対策 社会常識 ７回　実務技能 サービス接遇検定対策 問題処理（苦情や問い合わせについての対応） ８回　サービス接遇検定 サービス接遇検定対策 最終対策問題 ９回　表記技能 学習課題　復習：同音異義語・異字同訓語を学習する。 予習：主語述語、修飾語被修飾語とうの呼応について学習する。 ①同音異義語・異字同訓語、慣用の手紙用語について学習する。 １０回　表現技能（１） 学習課題　復習：文の仕組みについて学習する。 予習：接続後（接続詞）の使い方を学習する ①文の仕組み（主語・述語、修飾語・被修飾語）について学習する。 １１回　表現技能（２） 学習課題　復習：接続語（接続詞）の重要性を確認する。 予習：敬語（尊敬語・謙譲語・丁寧語）について学習する。 ①文章構成（文と文、段落、文体）について学習する。 １２回　表現技能（３） 学習課題　復習：敬語（尊敬語・謙譲語・丁寧語）について学習する。 予習：手紙用語（季語）について学習する。 ①敬語（尊敬語・謙譲語・丁寧語）について学習する。 １３回　実務技能（１） 学習課題　復習：原稿用紙の使い方を学習する。 予習：校正の方法について学習する ①原稿用紙の使い方、手紙（葉書）の書き方について学習する。 １４回　実務技能（2） 学習課題　復習：案内状を校正する。 予習正しい：敬語表現を学習する。 ①案内状の作成、校正について学習する。 １５回　まとめ 学習課題　復習：これまでの学習内容を総合的に学習する ①ビジネス文書技能検定試験（１・２級）受験への対応について学ぶ。 ②これまでの学習事項の具体的実践練習。
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①改まった場での日本語の書き方を習得する。 ②改まった場での日本語の話し方を習得する。 ③改まった場での日本語の表現力を身につける。

	④実務的な文書の作成を習得する。 ⑤社会で必要とされるビジネスマナーの基礎を身につける。 ①平素の学習意欲を重視する。（２０％） ②授業中の確認テスト（３０％） ③期末試験（５０％） 　　これらの結果を総合して評価する。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：「ビジネス文書検定実問題集」（早稲田教育出版） 　　「サービス接遇検定実務問題集２級」 参考書：「ビジネス文書検定受験ガイド１・２級」 　　（財）実務技能検定協会編（早稲田教育出版）
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で質問等を受付ます
備考・メッセージ	①接客に対応した正しい言葉遣いや会社での公文書作成、校正を視野に入れた授業を行う。 ②正しい漢字や四字熟語・敬語などを学習する。

講義科目名称：ビジネスマナー　　授業コード：33151

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ & 2ndQ	１年	２単位	選択
担当教員			
梶谷　良子			

講義概要	心地よい人間関係を築いていくためのマナーを身に付ける 社会人として必要なビジネスマナー、日常マナーを学ぶことで相手を尊重し、敬意をもって人と接するための『気配り』『気働き』『心くばり』の自覚を促す。ホテルでの実務体験より実務業務を学ぶ。
授業計画	１　人間関係は挨拶から 心地よい人間関係を作るには。 ２　ホテル実務体験 ホテルステイマナー ３　言葉遣い 正しい敬語の遣い方 ４　和室でのマナー 訪問とおもてなしのマナー、座布団のマナー、和室の席次 ５　冠婚葬祭のマナー 慶弔の服装・祝儀、不祝儀袋の使い方 ６　冠婚葬祭のマナー お参りのしかた・贈り物のマナー・お見舞いのマナー ７　ホテル実務体験 ホテル宴会場（ブライダル研修） ８　電話応対法 （Ⅰ）基礎編 ９　電話応対法 （Ⅱ）応用編 １０　来客応対 案内のしかた・洋室の席次 １１　来客応対 お茶の出し方・いただき方 １２　面接指導 （Ⅰ）ビデオ １３　面接指導 （Ⅱ）ロールプレイング １４　面接指導 （Ⅲ）ロールプレイング １５　実技 模擬面接（ロールプレイング）
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①良い人間関係を築くための基本マナーを身につける ②正しい敬語の遣い方を身につける ③和のマナーを習得する ④電話応対を習得する ⑤来客応対の基本を習得する ⑥ホテルでの実務体験 実技、筆記試験、授業態度にて評価する。 実技（２０％）・筆記試験（８０％）
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：「センスアップ　マナーアップテキスト」　　ソシアル淳心　サービス接遇検定２級問題集
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。

備考・メッセージ	原則としてビジネスマナーに相応しい身だしなみ（制服又はスーツ）、髪型をきちんと整えて授業に出席すること。（スリッパ不可）

講義科目名称：ビジネスマナー　　授業コード：44151

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ & 2ndQ	１年	２単位	選択
担当教員			
梶谷　良子			

講義概要	日本のビジネスマナーの基礎を学ぶ。日本の『おもてなしの心』を学ぶ事で相手を尊重し、敬意をもって人と接するための「気配り」「気働き」「心くばり」の自覚を促す。 国際社会で、また日本社会でのグローバルな人間関係を築いていける力をつける。
授業計画	１　オリエンテーション 授業のすすめ方について、内容について ２　人間関係は挨拶から 好感のもてる日本の挨拶のしかた ３　日本の「おもてなし」について 日本の「おもてなしの心」とは。 ４　美しい立ち居振る舞い 好感のもてる笑顔の演出 ５　言葉遣い 正しい敬語の遣い方 ６　言葉遣い ロールプレイング（接客用語） ７　面接指導 面接での立ち居振る舞い ８　面接指導 ロールプレイング ９　電話応対 （Ⅰ）基礎編 １０　電話応対 （Ⅱ）応用編 １１　電話応対 （Ⅲ）応用編 １２　来客応対 身だしなみ・対応 １３　来客応対 案内のしかた・洋室の席次 １４　来客応対 日本の名刺交換 １５　実技 好感のもてる挨拶・立ち居振る舞い（ロールプレイング）
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①良い人間関係を築くための基本マナーを理解する ②日本の『おもてなしの心』とは何かを学ぶ ③正しい敬語の遣い方を身につける ④ビジネスでの電話応対を習得する ⑤来客応対の基本を習得する 実技、筆記試験、授業態度にて評価する。 実技（２０％）・筆記試験（８０％）
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：プリント『センスアップ　マナーテキスト』　　ソシアル淳心 参考書：配布
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	原則としてビジネスマナーに相応しい身だしなみ（制服又はスーツ）、髪型をきちんと整えて授業に出席する

	こと。（スリッパ不可）

講義科目名称：ホテル業論　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
2ndQ	１年	２単位	選択
担当教員			
松井　英治			

講義概要	①基本的なホテル業務内容を学ぶ。 ②日本に於けるホテル業の歴史を学ぶ。 ③今後のインターンシップ等に活かせる事を学ぶ。
授業計画	1　オリエンテーション 担当教員のビジネスマンとしてのホテル業への関わりについて 復習：実践した体験を振り返り、ノートにまとめておく 2　オリエンテーション 基本的なホテルの仕事と構造について 予習：次回の実践に関してＨＰで調べたり、友人と話し合ったりしておく 復習：実践した体験を振り返り、ノートにまとめておく 3　ホテルでの実務体験 ホテルオークラのサービスについて 予習：次回の実践に関してＨＰで調べたり、友人と話し合ったりしておく 復習：実践した体験を振り返り、ノートにまとめておく 4　ホテルでの実務体験 ホテルのベットメイキング体験および館内見学 予習：次回の実践に関してＨＰで調べたり、友人と話し合ったりしておく 復習：実践した体験を振り返り、ノートにまとめておく 5　ホテルのベットメイキング体験および館内見学 ホテルの発展の歴史を学びます。 予習：次回の実践に関してＨＰで調べたり、友人と話し合ったりしておく 復習：実践した体験を振り返り、ノートにまとめておく 6　ホテルの歴史とブライダルについて ホテルの発展の歴史を学びます。 予習：次回の実践に関してＨＰで調べたり、友人と話し合ったりしておく 復習：実践した体験を振り返り、ノートにまとめておく 7　ホテルの歴史とブライダルについて ブライダルビジネスについて 予習：次回の実践に関してＨＰで調べたり、友人と話し合ったりしておく 復習：実践した体験を振り返り、ノートにまとめておく 8　ホテルでの実務体験 ブライダル研修（衣装・美容・写真など） 予習：次回の実践に関してＨＰで調べたり、友人と話し合ったりしておく 復習：実践した体験を振り返り、ノートにまとめておく 9　ホテルでの実務体験 予習：次回の実践に関してＨＰで調べたり、友人と話し合ったりしておく 復習：実践した体験を振り返り、ノートにまとめておく 10　ブライダル入場デモンストレーションなど プレゼン資料作成 予習：次回の実践に関してＨＰで調べたり、友人と話し合ったりしておく 復習：実践した体験を振り返り、ノートにまとめておく 11　グループ研究発表 ホテル業態の特徴・ホテルチェーンについて 予習：次回の実践に関してＨＰで調べたり、友人と話し合ったりしておく 復習：実践した体験を振り返り、ノートにまとめておく 12　グループ研究 プレゼン資料作成 予習：次回の実践に関してＨＰで調べたり、友人と話し合ったりしておく 復習：実践した体験を振り返り、ノートにまとめておく 13　グループ研究発表 ホテル業態の特徴・ホテルチェーンについて 予習：次回の実践に関してＨＰで調べたり、友人と話し合ったりしておく 復習：実践した体験を振り返り、ノートにまとめておく

	14　グループ研究発表 パワーポイントにてプレゼン 予習：次回の実践に関してＨＰで調べたり、友人と話し合ったりしておく 復習：実践した体験を振り返り、ノートにまとめておく 15　上記のふり返りと試験 復習：実践した体験を振り返り、ノートにまとめておく
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	テーマ：めざましい発展をみせた日本のホテル産業の内容を理解する 到達目標：①ホテル業を理解して、利用することができる様になる。 ②ビジネスマナーを学ぶことができる。 期末試験　70%　授業への取り組み　20%　実習レポート　10%
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：あり（別紙）、プリント配布 参考書：なし
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	授業中にホテルの専門用語がでるかもしれません。その都度、質問してください。

講義科目名称：ホスピタリティビジネス　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ & 8thQ	２年	２単位	選択
担当教員			
梶谷　良子			

講義概要	一年生時に学んだビジネスマナーの内容を『わかる』から確実に『できる』ようにする。 内容を復習、再確認することでそれをしっかりと身につけ各自の就職へと結びつける。 また、卒業後、社会人として働くための心構え、自覚を促す。
授業計画	1　言葉遣い 正しい敬語の遣い方（復習編） 就職面接時の言葉遣い 復習：正しい敬語の遣い方を確認する 2　面接指導 就職面接での好感の持てる立ち居振る舞い 就職面接に向けての身だしなみ 予習：マナーテキストを読む 復習：立ち居振る舞いの練習をする 3　面接指導 ロールプレイング（Ⅰ） 予習：言葉遣い、立ち居振る舞いの練習をする 復習：指摘された点を再確認する 4　面接指導 ロールプレイング（Ⅱ） 予習：質疑応答の練習をしておく 復習：指摘された点を再確認する 5　電話対応 復習編 予習：マナーテキストの電話対応を読み直す 復習：講義内容を確認する 6　電話対応 応用編（Ⅰ） 予習：実習内容を確認しておく 復習：実習編（Ⅰ）の練習 7　電話対応 応用編（Ⅱ） 予習：実習内容を確認しておく 復習：実習編（Ⅱ）の練習 8　冠婚葬祭のマナー 復習編 予習：マナーテキストを読み直す 復習：講義内容を確認する 9　冠婚葬祭のマナー 御参りの仕方 予習：マナーテキストを読み直す 復習：ロールプレイングをしてみる 10　来客対応 復習編 予習：マナーテキストを読み直す 復習：講義内容を確認する 11　来客対応 席次について 予習：マナーテキストを読み直す 復習：配付されたプリントを確認する 12　来客対応 ロールプレイング

	予習：マナーテキストを読み直す 復習：講義内容を確認する 13　名刺交換のマナー ロールプレイング 予習：マナーテキストを読み返す 復習：友人どうしで名刺交換をやる 14　お茶の淹れ方・出し方・いただき方 ロールプレイング 予習：マナーテキストを読み直す 復習：家で実際にお茶を淹れてみる 15　テーブルマナー 洋食のマナー、和食のマナー 予習：マナーテキストを読み返す 復習：講義内容を確認する
授業形態	講義 ロールプレイング
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①就職面接に向けての好感の持てる立ち居振る舞いを身につけることができる。 ②社会人として働くために必要なビジネスマナーを身につけることができる。 ③社会人に必要な一般マナーを身につけることができる。 試験（筆記60%、実技40%、授業態度にて評価する）
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	『センス・アップ　マナーテキスト』ソシアル淳心
履修条件	
履修上の注意	原則として制服又はスーツ ビジネスの場にふさわしく身だしなみを整えて（髪型・くつ）授業に出席すること
オフィスアワー	授業終了後に対応します。
備考・メッセージ	授業のはじめと終了時には笑顔で敬礼の挨拶をしましょう。

講義科目名称：児童英語教授法　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
6thQ	２年	２単位	選択
担当教員			
ルーク・ロベージュ			

講義概要	COURSE OBJECTIVE : This course is designed to give students a brief introduction to the skills needed to teach English to young learners. Students will practice leading and designing songs, games and exercise. Also, focus will be on adapting and developing appropriate teaching materials. Students will acquire teaching skills through hands-on practice. Students will become familiar with popular EFL teaching resources. Students will also practice planning their own games and activities and presenting them to the class. Students that exel at course work and peer-teaching will have the opportunity to teach at a pre-school or for an elementary-aged English program.
授業計画	1 Lesson 1: Introduction to the course The course and course activities will be introduced to the class. Students will participate in a mini French lesson, play kids learning games. 2 Lesson 2: Learning Groups Curriculum and Methodology Students will be given a very brief introduction into building and designing English Language curriculum for young learners. Students will aslo be introduced to ways in which to promote language acquisition for yound learners. Students will be placed in learning groups. 3 Lesson 3: Songs 1 Students will be introduced to, and practice some popular childrens songs. Students will also learn effective strategies to enhance language acquisition through song. 4 Lesson 4: Songs 2 Students will be introduced to, and practice using popular childrens books. 5 Lesson 5: Books Students will be introduced to, and practice using popular childrens books. 6 Lesson 6: Texbooks and Games Students will be introduced to a wide variety of popular children's textbooks. Students will also become familiar with popular games for practicing words and language. 7 Lesson 7: Course Project Student will work making their own unique teaching materials. 8 Lesson 8: Course Project Student will work making their own unique teaching materials. 学習課題　復習：previous work 予習：the next step in completing and present project 9 Lesson 9: Course Project Student will work making their own unique teaching materials. 学習課題　復習：previous work 予習：the next step in completing and present project 10 Lesson 10: Course Project Student will work making their own unique teaching materials. 学習課題　復習：previous work 予習：the next step in completing and present project 11 Lesson 11: Course Project Student will work making their own unique teaching materials. 学習課題　復習：previous work 予習：the next step in completing and present project 12 Lesson 12: Course Project Presentations Students will present their course projects. Students will also peer-evaluate and self-evaluate. 13 Lesson 13: Course Project Presentations Students will present their course projects. Students will also peer-evaluate and self-evaluate. 14 Lesson 14: Song Presentations Students will each teach a children's song. 学習課題　復習：songs from lesson 3 or other 15 Lesson 15: Final Evaluations Students will evaluate the course and self-evaluate their participation in the course. 学習課題　復習：Course work
授業形態	Lecture
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	1. Students will be able to make and teach using flash cards. 2. Students will be able to read children's books. 3. Students will be able to make their own learning materials. 4. Students will be able to sing English learning songs.

	5. Students will be able to teach an English song to their peers. Due to the interactive nature of the course, regular attendance and active participation are required. Grades will be based on attendance, participation, peer-teaching, peer-evaluations and a term project. Classroom Engagement (20%), Song Teaching (20%), Flashcards (20%), Book Reading (20%) Handmade learning materials (20%).
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	
履修条件	This class requires that students have the language skills needed to lead classroom-learning activities entirely in English. Students wishing to enroll in this course require a minimum level of English proficiency to be successful. Students who do not meet the minimum level of English proficiency at the onset of the course may be excluded. The teacher will set the class limit.
履修上の注意	
オフィスアワー	Feel free to visit me in my office anytime I am not in class or a meeting. Monday 3:00-5:30. Tuesday 10:50-12:20.
備考・メッセージ	

講義科目名称：日本語教授法　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ & 8thQ	２年	２単位	選択
担当教員			
岩崎　千恵			

講義概要	本授業では、全１５回の講義を通して、日本語を教える基盤となる下記３つについて学生個々人が見聞を深める機会としたい。 ①世界・日本における日本語教育の現状 ②留学生の日本語学習過程 ③日本語教師という職業・役割 本授業では日本語教育の現状を知り、留学生の日本語学習過程や環境を理解した上で教育指導案を書くことができるように指導案作りもカリキュラムに入れている。将来、日本語教師に関心のある学生や教えることに興味のある学生を対象としているので、積極的な参加を期待します。
授業計画	1　オリエンテーション この授業の内容・展開を知る。「日本語教師」とはどんな職業かを知り、直接法を体験する。 2　日本語教育１（世界） 世界の日本語教育について学ぶ。 関連するテーマについて見聞を深め、自分自身の知識や経験と照らし合わせて考える。 予習：次回テーマについてプリントを読む。 復習：今回のテーマを振り返り、小テストに備える。 3　日本語教育２（日本国内） 日本国内における日本語教育について学ぶ。 関連するテーマについて見聞を深め、自分自身の知識や経験と照らし合わせて考える。 予習：次回テーマについてプリントを読む。 復習：今回のテーマを振り返り、小テストに備える。 4　言語としての日本語 日本語の概要について学ぶ。 関連するテーマについて見聞を深め、自分自身の知識や経験と照らし合わせて考える。 予習：次回テーマについてプリントを読む。 復習：今回のテーマを振り返り、小テストに備える。 5　文字・表記１ 日本語の文字・表記について学ぶ。 関連するテーマについて見聞を深め、自分自身の知識や経験と照らし合わせて考える。 予習：次回テーマについてプリントを読む。 復習：今回のテーマを振り返り、小テストに備える。 6　文字・表記２ 日本語の文字・表記について学ぶ。 関連するテーマについて見聞を深め、自分自身の知識や経験と照らし合わせて考える。 予習：次回テーマについてプリントを読む。 復習：今回のテーマを振り返り、小テストに備える。 7　文法１ 文法について学ぶ。 関連するテーマについて見聞を深め、自分自身の知識や経験と照らし合わせて考える。 予習：次回テーマについてプリントを読む。 復習：今回のテーマを振り返り、小テストに備える。 8　文法２ 文法について学ぶ。 関連するテーマについて見聞を深め、自分自身の知識や経験と照らし合わせて考える。 予習：次回テーマについてプリントを読む。 復習：今回のテーマを振り返り、小テストに備える。 9　社会言語学１ 社会言語学について学ぶ。 関連するテーマについて見聞を深め、自分自身の知識や経験と照らし合わせて考える。 予習：次回テーマについてプリントを読む。 復習：今回のテーマを振り返り、小テストに備える。 10　社会言語学２ 社会言語学について学ぶ。 関連するテーマについて見聞を深め、自分自身の知識や経験と照らし合わせて考える。 予習：次回テーマについてプリントを読む。 復習：今回のテーマを振り返り、小テストに備える。 11　留学生への日本語教育　１

	外国における日本語教育とは別に、日本で日本語を学習する留学生は在留資格、生活、学費などを取り巻く様々な制限や問題を抱えている。日本語教育を実施する上での日本における留学生を取り巻く現状を把握し、留学生理解を図ることでより良い日本語教育への気づきを得る 予習：発表に備えて準備をする。 復習：今回のテーマを振り返り、小テストに備える 12　留学生への日本語教育　2 本学の留学生や知り合いの留学生等にインタビューをし、現状を把握し問題点、改善点、日本語教師としての支援に何が可能なのかを調べて、まとめる（グループ発表） 予習：次週の発表に備える 復習：今回のテーマを振り返り、小テストに備える 13　留学生への日本語教育　3 前週で調べたことを発表し、理解を深める。 日本語教育に必要な「指導案」の作成方法について学ぶ 予習：指導案の構成を考える 復習：指導案作りを念頭に復習する 14　留学生への日本語教育　4 指導案作成 復習：日本語教師の役割について考える。 15　総括 授業や指導案作りをとおした日本語教育・日本語教師についての気づきを共有する。
授業形態	講義・アクティブラーニング
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	到達目標 ①世界・日本における日本語教育の概要を知る。 ②自分の周囲の留学生や外国人の日本での生活を考えながら、日本語教育を学ぶことができる。 ③日本語を外国語として学ぶ人の立場になり、日本語について考えることができる。 ④日本語教育における基本的な専門語彙や教授法を学ぶことができる。 ⑤日本語教師の職業や役割を知る。 評価方法 学習意欲（40%） 発表（30%） 指導案（30%）
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：適宜プリントで配布する。
履修条件	
履修上の注意	本授業では本学の留学生や日本語教師、外部の日本語を勉強している外国人へのインタビュー調査も授業の一環として予定されている。それらの経験をもとに指導案作りを行うため、積極的な授業参加を期待する
オフィスアワー	金曜２コマ目（10：50-12：20）に研究室にどうぞ。
備考・メッセージ	周囲の留学生の友だちや外国人のことを考えながら、授業を受けてみてください。 日本語の面白さ・難しさ、奥深さを皆で共有しながら学びましょう。

講義科目名称：Awesome Sasebo！Ⅰ　　授業コード：13151　13152

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ ＆ 2ndQ	１年	１単位	必修
担当教員			
国際コミュニケーション学科教員			

講義概要	長崎短期大学に隣接する「相浦」「黒島」「高島」「三ヶ町商店街」をフィールドとし、「地域を知るプロジェクト」を実施する。私たちが住む街をまず調査し、正しい情報を集め、地域が課題とする問題を明らかにする。 このプロジェクトに取り組むことにより、情報収集能力、プレゼンテーション能力を高めることはもちろんのこと、様々な世代や職業の人と接することによりコミュニケーション力を高める。
授業計画	1　授業内容の説明 ・「Awesome Sasebo の趣旨・目的の説明」、「学修成果記録ノート記入」、活動用シャツ作成 ・ワーク準備：グループ分け、相浦・三ヶ町商店街（黒島・高島）について下調べ、Evernote活用方法に関して 予習＆復習：フィールドワークがスムーズにできるように内容を理解する。 2　グループ分け等 ・「Awesome Sasebo の趣旨・目的の説明」、「学修成果記録ノート記入」、活動用シャツ作成 ・ワーク準備：グループ分け、相浦・三ヶ町商店街（黒島・高島）について下調べ、Evernote活用方法に関して 予習＆復習：フィールドワークがスムーズにできるように内容を理解する。 3　フィールドワーク準備（情報収集） 黒島フィールドワーク準備：リサーチ項目の確認、持参品などの確認、小中学校での交流準備 ・「Awesome Sasebo の趣旨・目的の説明」、「学修成果記録ノート記入」、活動用シャツ作成 ・ワーク準備：グループ分け、相浦・三ヶ町商店街（黒島・高島）について下調べ、Evernote活用方法に関して 予習＆復習：フィールドワークがスムーズにできるように内容を理解する。 4　フィールドワーク準備（情報収集） ・「Awesome Sasebo の趣旨・目的の説明」、「学修成果記録ノート記入」、活動用シャツ作成 ・ワーク準備：グループ分け、相浦・三ヶ町商店街（黒島・高島）について下調べ、Evernote活用方法に関して 予習＆復習：フィールドワークがスムーズにできるように内容を理解する。 5　フィールドワーク実施① ・「フィールドワーク」の実施　＊相浦・三ヶ町商店街（黒島・高島） 予習＆復習：実施前情報収集と事後のデータのまとめ 6　フィールドワーク①のまとめ ・実施したフィールドワークの内容をPPTにまとめる。 予習＆復習：実施前情報収集と事後のデータのまとめ 7　フィールドワーク①のまとめ ・実施したフィールドワークの内容をPPTにまとめる。 予習＆復習：実施前情報収集と事後のデータのまとめ 8　フィールドワーク①のプレゼンリハーサル ・実施したフィールドワークのプレゼンリハーサルを行う。 予習＆復習：本番前の最終調整を行う。 9　フィールドワーク①の発表 ・フィールドワークの内容（気づき、課題、提案）を発表する。 予習＆復習：第３者にわかりやすくプレゼンを準備する。 10　フィールドワーク実施② ・「フィールドワーク」の実施　＊相浦・三ヶ町商店街（黒島・高島） 予習＆復習：実施前情報収集と事後のデータのまとめ 11　フィールドワーク②のまとめ ・実施したフィールドワークの内容をPPTにまとめる。 予習＆復習：実施前情報収集と事後のデータのまとめ 12　フィールドワーク②のまとめ ・実施したフィールドワークの内容をPPTにまとめる。 予習＆復習：実施前情報収集と事後のデータのまとめ 13　フィールドワーク②のプレゼンリハーサル ・実施したフィールドワークのプレゼンリハーサルを行う。

	予習＆復習：本番前の最終調整を行う。 14　フィールドワーク②の発表 ・フィールドワークの内容（気づき、課題、提案）を発表する。 予習＆復習：第３者にわかりやすくプレゼンを準備する。 15　フィールドワーク①②を元に、２年時のプランを考える ・フィールドワーク終了後の２年次の計画を考える。 予習＆復習：２年次の本格的な地域活動のイメージを持つ。 16　評価・振り返り 「学修成果記録ノート記入」
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	「準備ターム」課題発見力（情報収集）：大学生として、また社会人として、正しく情報を収集し、適切な分析を行う力を養うことができる。同時に、獲得した情報をもとに、地域での活動を行う際の課題を発見する力を養うことができる。 ①様々な取り組みにおいて、正しく情報を収集し、分析することができる。 ②地域活動における課題を発見することができる。 ③地域を知る活動の内容を効果的にプレゼンテーションすることができる。 ④地域の人たちを含めていろいろな人とコミュニケーションができるようになる。 ⑤先輩より留学やインターンシップなどの情報を得て、自分の成長につなげることができる。 グループ活動への取り組みに対して総合的に評価する。 フィールドワーク感想レポート（３０％）最終プレゼンテーションのルーブリック評価(７０％)
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	授業中に指示
履修条件	
履修上の注意	コミュニケーションが特に重要な科目です。普段から、いろいろな人とコミュニケーションをとるように心がけてください。
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00）　＊その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可
備考・メッセージ	グループワークは、メンバー同士のコミュニケーションが非常に重要となります。「ほう（報告）れん（連絡）そう（相談）」を頻繁に行い、グループプロジェクトを完成させてください。

講義科目名称：Awesome Sasebo！Ⅳ（定着）　　授業コード：22551　22552

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ	２年	１単位	必修
担当教員			
国際コミュニケーション学科教員			

講義概要	１年時に実施した「地域を知る活動」で知り得た地域の情報や課題に対して、地域の人と密接に関わりを持ちながら、「地域への提案活動」を実施する。 具体的に、相浦、黒島、高島、３ヶ町商店街、（波佐見）地区でグループに別れて、２年時に実施する地域活動の内容を検討し、実施計画を策定して、活動を実施する。
授業計画	1　地域活動 ・企画構想・準備（具体的な担当地区のイベントを考えながら） ・地域の担当者との打ち合わせを含むフィールドワーク準備、計画、実施 予習＆復習： 2　地域理解 企画構想・準備（具体的な参加イベントを考えながら） 3　地域理解 企画構想・準備・フィールドワーク準備（計画・予約等） 4　地域理解 企画構想・準備・フィールドワーク準備（計画・予約等） 5　フィールドワーク 各場所へ、フィールドワーク（黒島チーム・高島チーム・相浦チーム） ＊この日の補講「外国語Ⅱ」は、前後の月曜日４コマ目に実施 ＊現地訪問は、必要があれば、複数回可能とする。 6　フィールドワーク 各場所へ、フィールドワーク（黒島チーム・高島チーム・相浦チーム） ＊この日の補講「外国語Ⅱ」は、前後の月曜日４コマ目に実施 ＊現地訪問は、必要があれば、複数回可能とする。 7　プランニング 企画構想・準備 8　プランニング 企画構想・準備 9　プランニング 企画構想・準備 10　プランニング 企画構想・準備 11　フィールドワーク 「波佐見フィールドワーク」「船橋社長」の講話　＊この日の補講「外国語Ⅱ」は、前後の月曜日４コマ目に実施 12　フィールドワーク 「波佐見フィールドワーク」「船橋社長」の講話　＊この日の補講「外国語Ⅱ」は、前後の月曜日４コマ目に実施 13　プランニング 企画構想・準備 14　プランニング 企画構想・準備 15　プレゼンテーション 企画の中間プレゼンテーション＆暫定企画書提出 16　プレゼンテーション 企画の中間プレゼンテーション＆暫定企画書提出
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①様々な取り組みにおいて、正しく情報を収集し、分析することができる。 ②地域活動における課題を発見することができる。 ③「地域への提案活動」の計画を立て、実施することができる。 ④実施した「地域での活動」を効果的にプレゼンテーションすることができる。 ⑤地域の人たちを含めていろいろな人とコミュニケーションができるようになる。 グループ活動への取り組みに対して総合的に評価する。 フィールドワーク感想レポート（３０％）最終プレゼンテーションのルーブリック評価(７０％)
科目（教職課程用）	

教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	授業中に指示
履修条件	
履修上の注意	コミュニケーションが特に重要な科目です。普段から、いろいろな人とコミュニケーションをとるように心がけてください。
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00）　＊その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可
備考・メッセージ	グループワークは、メンバー同士のコミュニケーションが非常に重要となります。「ほう（報告）れん（連絡）そう（相談）」を頻繁に行い、グループプロジェクトを完成させてください。

講義科目名称：Awesome Sasebo！Ⅴ（応用）　　授業コード：53551　53552

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
6thQ	２年	１単位	必修
担当教員			
国際コミュニケーション学科教員			

講義概要	１年時に実施した「地域を知る活動」で知り得た地域の情報や課題に対して、地域の人と密接に関わりを持ちながら、「地域への提案活動」を実施する。 具体的に、相浦、黒島、高島、３ヶ町商店街、（波佐見）地区でグループに別れて、２年時に実施する地域活動の内容を検討し、実施計画を策定して、活動を実施する。
授業計画	1　地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 2　地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 3　地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 4　地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 5　地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 6　地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 7　地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 8　地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 9　地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 10　地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 11　地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 12　地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 13　地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 14　地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 15　中間発表 中間発表
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①様々な取り組みにおいて、正しく情報を収集し、分析することができる。 ②地域活動における課題を発見することができる。 ③「地域への提案活動」の計画を立てることができる。 ④「地域への提案活動」の計画を効果的にプレゼンテーションすることができる。 ⑤地域の人たちを含めていろいろな人とコミュニケーションができるようになる。 グループ活動への取り組みに対して総合的に評価する。 フィールドワーク感想レポート（３０％）最終プレゼンテーションのルーブリック評価(７０％)
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	授業中に指示
履修条件	
履修上の注意	コミュニケーションが特に重要な科目です。普段から、いろいろな人とコミュニケーションをとるように心がけてください。

オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00）　＊その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可
備考・メッセージ	グループワークは、メンバー同士のコミュニケーションが非常に重要となります。「ほう（報告）れん（連絡）そう（相談）」を頻繁に行い、グループプロジェクトを完成させてください。

講義科目名称：Awesome Sasebo！Ⅵ（発展）　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ	２年	１単位	必修
担当教員			
国際コミュニケーション学科教員			

講義概要	１年時に実施した「地域を知る活動」で知り得た地域の情報や課題に対して、地域の人と密接に関わりを持ちながら、「地域への提案活動」を実施する。 具体的に、相浦、黒島、高島、３ヶ町商店街、（波佐見）地区でグループに別れて、２年時に実施する地域活動の内容を検討し、実施計画を策定して、活動を実施する。
授業計画	1　地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 ?9/xx　高島「どっとこいin高島」＆キャンプ　＊他のチームにも参加呼びかけ。 2　地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 ?9/xx　高島「どっとこいin高島」＆キャンプ　＊他のチームにも参加呼びかけ。 3　地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 4　地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 5　地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 10/17（火）相浦おくんちお下り　＊留学生を含めてできるだけ、全員参加？企画は、代表グループ ＊他のチームにも参加呼びかけ。 6　地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 10/17（火）相浦おくんちお下り　＊留学生を含めてできるだけ、全員参加？企画は、代表グループ ＊他のチームにも参加呼びかけ。 7　地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 8　地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 9　地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 （月曜授業）　地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 10　地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 （月曜授業）　地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 11　地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 12　地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 13　地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 14　地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 15　中間発表 中間発表 16　中間発表 中間発表
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①様々な取り組みにおいて、正しく情報を収集し、分析することができる。 ②地域活動における課題を発見することができる。 ③「地域への提案活動」の計画を立てることができる。 ④「地域への提案活動」の計画を効果的にプレゼンテーションすることができる。 ⑤地域の人たちを含めていろいろな人とコミュニケーションができるようになる。 グループ活動への取り組みに対して総合的に評価する。 フィールドワーク感想レポート（３０％）最終プレゼンテーションのルーブリック評価(７０％)
科目（教職課程用）	

教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	授業中に指示
履修条件	
履修上の注意	コミュニケーションが特に重要な科目です。普段から、いろいろな人とコミュニケーションをとるように心がけてください。
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00）　＊その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可
備考・メッセージ	グループワークは、メンバー同士のコミュニケーションが非常に重要となります。「ほう（報告）れん（連絡）そう（相談）」を頻繁に行い、グループプロジェクトを完成させてください。

講義科目名称：Awesome Sasebo！Ⅶ（完成）　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
8thQ	２年	１単位	必修
担当教員			
国際コミュニケーション学科教員			

講義概要	１年時に実施した「地域を知る活動」で知り得た地域の情報や課題に対して、地域の人と密接に関わりを持ちながら、「地域への提案活動」を実施する。 具体的に、相浦、黒島、高島、３ヶ町商店街、（波佐見）地区でグループに別れて、２年時に実施する地域活動の内容を検討し、実施計画を策定して、活動を実施する。
授業計画	11/28　フィールドワーク 「有田フィールドワーク」（地域おこし先進地区視察１） 11/28　フィールドワーク 「有田フィールドワーク」（地域おこし先進地区視察１） 12/5　プレゼン準備 グループプレゼンテーション作成 12/5　プレゼン準備 グループプレゼンテーション作成 12/12　プレゼン準備 グループプレゼンテーション作成 12/12　プレゼン準備 グループプレゼンテーション作成 12/19　プレゼンテーション １年生への発表（１年生のスケジュールと照らし合わせると12/19は発表日です） 12/19　プレゼンテーション １年生への発表（１年生のスケジュールと照らし合わせると12/19は発表日です） 1/9　プレゼンテーション改善・準備 グループプレゼンテーション作成＆リハーサル 1/9　プレゼンテーション改善・準備 グループプレゼンテーション作成＆リハーサル 1/16　ブレゼンリハーサル グループプレゼンテーション作成＆リハーサル 1/16　ブレゼンリハーサル グループプレゼンテーション作成＆リハーサル 1/23　発表 １年生への最終発表（１年生のスケジュールと照らし合わせると1/23は発表日です） ?1/26 相浦地区（万年青市民大学）での学生プレゼン 1/23　発表 １年生への最終発表（１年生のスケジュールと照らし合わせると1/23は発表日です） ?1/26 相浦地区（万年青市民大学）での学生プレゼン 1/30　評価 最終評価→学修成果記録ノート？ 1/30　評価 最終評価→学修成果記録ノート？
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①様々な取り組みにおいて、正しく情報を収集し、分析することができる。 ②地域活動における課題を発見することができる。 ③「地域への提案活動」の計画を立てることができる。 ④「地域への提案活動」の計画を効果的にプレゼンテーションすることができる。 ⑤地域の人たちを含めていろいろな人とコミュニケーションができるようになる。 グループ活動への取り組みに対して総合的に評価する。 フィールドワーク感想レポート（３０％）最終プレゼンテーションのルーブリック評価(７０％)
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	授業中に指示
履修条件	

履修上の注意	コミュニケーションが特に重要な科目です。普段から、いろいろな人とコミュニケーションをとるように心がけてください。
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00）　＊その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可
備考・メッセージ	グループワークは、メンバー同士のコミュニケーションが非常に重要となります。「ほう（報告）れん（連絡）そう（相談）」を頻繁に行い、グループプロジェクトを完成させてください。

講義科目名称：ギャップイヤー事前指導　　授業コード：14151　21152

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ & 2ndQ	１年	２単位	必修
担当教員			
国際コミュニケーション学科教員			

講義概要	1st Quarter：　ギャップイヤーに自分が取り組む「留学」「インターンシップ」「サービスラーニング」に関して、「目的」「目標」を含む綿密な「ギャップイヤー計画表」を作成する。教員、外部講師、２年生から様々な情報を得て、ギャップイヤーに取り組む計画をしっかり立てる上で、大学生として、正しく情報を収集し、適切な分析を行う力を養うことができるようにする。 2nd Quarter：　1st Quarterに作成した計画に従って、以下のカテゴリー別に詳細な準備を行う。準備を行う上で、自分の考え、一つの可能性、一つのものの見方にとらわれず、色々な角度から事を考え、他人の意見に耳を傾け、十分に見直しをおこなう。 ・中期（３か月）留学：　渡航手続き、留学・ホームステイアプリケーション作成、異文化理解、ホームシック対応等 ・インターンシップ：　インターンシップ先の情報取集、履歴書作成、面接準備、ビジネスマナー等 ・サービスラーニング：　実施施設の決定、内容の確認、対応マナー等 ・短期（約２週間）留学：　渡航先の決定、渡航手続き、渡航先でのプレゼン準備、異文化理解、ホームシック対応
授業計画	1　留学説明① ・留学説明1（短期研修、３ヶ月留学）＆「３ヶ月留学」への資料配布・希望者の確認 ・２年生による「留学」PPTプレゼン、又は、ポスタープレゼンQ&A 予習＆復習：留学の概要を理解する。 2　インターンシップ ・インターンシップ説明 ・２年生による「インターンシップ」、「サービスラーニング」PPTプレゼン、又はポスタープレゼンQ&A 予習＆復習：インターンシップの概要を理解する。 3　留学説明② ・留学説明2（NZ有給インターンシップ）外部講師（ジーナ＆パートナーズ） ・留学説明3（ワーキングホリデー）外部講師（ワーホリ協会） 予習＆復習：長期留学の概要を理解する。 4　ギャップイヤー準備・計画 ・「３ヶ月留学組」「インターンシップ組」を分けて説明・準備 ・履歴書作成、志望動機作成、面接準備、インターンシップ心得、留学、書類作成、留学準備、海外渡航における心得（危機管理） ＊インターンシップ組は外部講師（フレッシュワーク・就職課）によるアドヴァイス：働く心構え、履歴書・志望動機作成、面接の指導 予習＆復習：履歴書、留学書類を準備する。 5　ギャップイヤー準備・計画 ・「３ヶ月留学組」「インターンシップ組」を分けて説明・準備 ・履歴書作成、志望動機作成、面接準備、インターンシップ心得、留学、書類作成、留学準備、海外渡航における心得（危機管理） ＊インターンシップ組は外部講師（フレッシュワーク・就職課）によるアドヴァイス：働く心構え、履歴書・志望動機作成、面接の指導 予習＆復習：履歴書、留学書類を準備する。 6　ギャップイヤー準備・計画 ・「３ヶ月留学組」「インターンシップ組」を分けて説明・準備 ・履歴書作成、志望動機作成、面接準備、インターンシップ心得、留学、書類作成、留学準備、海外渡航における心得（危機管理） ＊インターンシップ組は外部講師（フレッシュワーク・就職課）によるアドヴァイス：働く心構え、履歴書・志望動機作成、面接の指導 予習＆復習：履歴書、留学書類を準備する。 7　ギャップイヤー準備・計画 ・「３ヶ月留学組」「インターンシップ組」を分けて説明・準備 ・履歴書作成、志望動機作成、面接準備、インターンシップ心得、留学、書類作成、留学準備、海外渡航における心得（危機管理） ＊インターンシップ組は外部講師（フレッシュワーク・就職課）によるアドヴァイス：働く心構え、履歴書・志望動機作成、面接の指導 予習＆復習：履歴書、留学書類を準備する。 8　職業理解 ・「医療事務講座」の説明（ニチイ） ・「エアライン講座」の説明（就職課、エアライン担当者）

	予習＆復習：医療事務、エアラインの仕事を理解する。 9 インターンシップ（職業）服装指導 ・リクルートスーツドレスコード説明　（紳士服の青山） 予習＆復習：インターンシップ時、就職活動時の適切な服装を理解する。 10 仕事における声の出し方トレーニング ・正しい声出し、話し方トレーニング　（卒業生MC高尾先生） 予習＆復習：インターンシップ時、就職活動時の適切な声かけ、声の出し方を理解する。 11 サービス業界の語学 ・サービス業関連の英語・中国語・韓国語フレーズを学ぶ ・留学関連の英語・中国語・韓国語フレーズを学ぶ 予習＆復習：簡単なフレーズをスラスラ言えるようなるまで練習する。 12 サービス業のマナートレーニング ・「サービス業のビジネスマナー（特に挨拶等）」「職場でのコミュニケーションスキル（雑談・スモールトーク）」の練習を行う。 予習＆復習：正しいビジネスマナーを実践できるようにする。 13 日誌・ブログの目的と記入方法 ・「日誌・ブログ等」の記入方法の説明と練習（良い例・悪い例を示しながら日誌の書き方を指導） ・留学・インターンシップ必要事項フォームに回答（別紙参照） 予習＆復習：正しい文書作成を理解する。 14 計画と決意表明の作成 ・ギャップイヤー活動の「計画と決意表明（目標５項目）」の作成と発表練習 予習＆復習：じっくり考え、自分の考えを正確に伝える準備をする。 15 計画と決意表明の発表、評価 ・ギャップイヤー活動の「計画と決意表明（目標５項目）」の発表１ 予習＆復習：じっくり考え、自分の考えを正確に伝える準備をする。 16 計画と決意表明の発表、評価 ・ギャップイヤー活動の「計画と決意表明（目標５項目）」の発表２（学生半分） ・「ギャップイヤー実施計画書」の提出 予習＆復習：じっくり考え、自分の考えを正確に伝える準備をする。
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①ギャップイヤーの活動の目的を正しく理解できる。 ②ギャップイヤーの活動に必要な適切で十分な情報を得ることができる。 ③ギャップイヤーの活動の際のリスクに関しても正しく分析できる。 ④ギャップイヤーの活動計画を立てることができる。 ⑤ギャップイヤーの活動に関する評価システム（活動後に、自らの学びの確認と改善、さらなる学びのために）を理解し、運用できる。 各自作成する「ギャップイヤーの計画表」の内容を評価します。 「ギャップイヤー計画表作成（100%）」 ＊「ギャップイヤー計画表」作成は、「学修成果記録ノート」への記入となります。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	特になし
履修条件	原則、「海外文化事情（留学）」「インターンシップ」「実践Awesome Sasebo!サービスラーニング」を履修する場合は本講義と「ギャップイヤー事後指導」を履修すること。
履修上の注意	ギャップタームでの経験は、これからの職業や進路選択な重要な時期になるので、真剣に取り組むこと。
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00）　＊その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可
備考・メッセージ	必要な知識・技術を吸収し、十分な準備をしてギャップイヤーに臨んでください。

講義科目名称：海外文化事情留学Ⅰ　　授業コード：90157

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
3rdQ	１年	２単位	選択
担当教員			
牟田　美信			

講義概要	【海外短期研修ーアジア圏】 　授業で学んでいる外国語を海外で試し、知識として得た異文化情報を実際に海外で直に感じてみる短期（約10日間）海外研修プログラムです。渡航前に、訪問する国についての文化、言語、観光地、マナー等を事前に学習します。 　主に、韓国や中国・台湾の姉妹大学を訪問し、現地の学生と交流活動をします。滞在中、自分たちで地元のスーパーなどで買物や観光を行い、現地の人と同じ生活体験をします。可能な限り、現地の言語を使ってもらうために、現地での手続き等もできるだけ学生で行います。
授業計画	留学をし、予定されている学校での授業やプログラムで学ぶ。
授業形態	実習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①海外渡航する場合に必要となる情報収集方法、必要とされる知識を獲得することができる。 ②渡航先の国、都市、大学に関する情報を収集し、必要とされる知識を獲得することができる。 ③渡航先で活用できる、基本的な現地語をマスターすることができる。 ④姉妹校の学生との交流会（又は、ホームステイ）などを通して現地の文化を理解することができる。 ⑤帰国後に、渡航先の国と母国と比較した場合の違いなどをまとめ、発表をおこなうことができる。 最終レポートとプレゼンテーションで総合的に判断する。 最終レポート（80%）、プレゼンテーション（20%）
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	必要に応じてプリント等を配布します。
履修条件	授業（遅刻、欠席）や大学生活一般に問題がなく、自ら留学したいという意思が強いこと。
履修上の注意	毎年の世界情勢により、内容が異なることがあります。
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00）　＊その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可
備考・メッセージ	１）授業への出席状況が悪く、生活態度が留学にふさわしくない場合は、申込み後も留学を辞退させることもある。 ２）自分の体調や留学に対する親の同意を必ず確認し申込むこと。また、留学先では、自己責任の部分がかなり高くなることを理解しておくこと。 ３）渡航前には、韓国、中国、台湾、ミャンマー、ベトナム、フィリピンなどアジアからの留学生から様々な情報を得て、有意義な研修になるように努めること。

講義科目名称：海外文化事情留学Ⅱ　　授業コード：90158

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
3rdQ	１年	２単位	選択
担当教員			
牟田　美信			

講義概要	【海外短期研修―英語圏】 　授業で学んでいる外国語を海外で試し、知識として得た異文化情報を実際に海外で直に感じてみる短期（約10日間）海外研修プログラムです。渡航前に、訪問する国についての文化、言語、観光地、マナー等を事前に学習します。 　滞在中、自分たちで地元のスーパーなどで買物や観光を行い、現地の人と同じ生活体験をします。可能な限り、現地の言語を使ってもらうために、現地での手続き等もできるだけ学生で行います。 　渡航先は、参加者の希望や人数で毎年変更する可能性があります。（過去にはカナダ、オーストラリア、イギリス、アメリカ（ハワイ）、ニュージーランドへの研修を実施しました）
授業計画	留学をし、予定されている学校での授業やプログラムで学ぶ。
授業形態	実習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①海外渡航する場合に必要となる情報収集方法、必要とされる知識を獲得することができる。 ②渡航先の国、都市、大学に関する情報を収集し、必要とされる知識を獲得することができる。 ③渡航先で活用できる、基本的な現地語をマスターすることができる。 ④姉妹校の学生との交流会（又は、ホームステイ）などを通して現地の文化を理解することができる。 ⑤帰国後に、渡航先の国と母国と比較した場合の違いなどをまとめ、発表をおこなうことができる。 最終レポートとプレゼンテーションで総合的に判断します。 最終レポート（80%）、プレゼンテーション（20%）
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	特になし。一般の留学に関する本や雑誌を各自必ず読んでおくこと。
履修条件	授業（遅刻、欠席）や大学生活一般に問題がなく、自ら留学したいという意思が強いこと。
履修上の注意	毎年の世界情勢により、内容が異なることがあります。
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00）　＊その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可
備考・メッセージ	１）授業への出席状況が悪く、短大での生活態度が留学にふさわしくないと場合は、申込後も留学を辞退させることもある。 ２）自分の体調や留学に対する親の同意を必ず確認し申込むこと。また、留学先では、自己責任の部分がかなり高くなることを理解しておくこと。 ３）渡航前に、留学生から様々な情報を得て、有意義な研修になるよう、努めること。

講義科目名称：海外文化事情留学Ⅲ　　授業コード：90159

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
3rdQ	１年	６単位	選択
担当教員			
牟田　美信			

講義概要	【海外中期（３か月）留学】 以下のような海外への、約３ヶ月間の留学となります。：＊希望人数により、渡航できない国もあります。 （英語圏）カナダ、オーストラリア、イギリス、ニュージーランド （アジア圏）韓国、中国、台湾 現地での授業内容（例） 1 オリエンテーション 2 プレイスメントテスト 3 語学学習（月～金、週約30時間） 4 セルフスタディ（スーパーバイザ指導のもと） 5 コンピュータやランゲージラボを使用した学習 6 定期的な授業外の課外活動（フィーリドトリップ、地域でのボランティア活動、等々） 7 適期テスト（評価あり） 8 成績所及び修了証書授与
授業計画	留学をし、予定されている学校での授業やプログラムで学ぶ。
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	海外に3ヶ月間留学し、主に語学と文化を集中的に学びます。 ①海外渡航する場合に必要となる情報収集方法、必要とされる知識を獲得することができる。 ②渡航先の国、都市、大学に関する情報を収集し、必要とされる知識を獲得することができる。 ③渡航先で活用できる、基本的な現地語をマスターすることができる。 ④姉妹校の学生との交流会（又は、ホームステイ）などを通して現地の文化を理解することができる。 ⑤帰国後に、渡航先の国と母国と比較した場合の違いなどをまとめ、発表をおこなうことができる。 留学先での学習状況、レポート提出で評価をします。 留学先からの成績表(50%)、E-レポート（20%)、最終レポート(30%)
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	必要に応じてプリント等を配布します。
履修条件	授業（遅刻、欠席）や大学生活一般に問題がなく、自ら留学したいという意思が強いこと。
履修上の注意	毎年の世界情勢により、内容が異なることがあります。
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00）　＊その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可
備考・メッセージ	１）授業への出席状況が悪く、短大での生活態度が留学にふさわしくない場合は、申込後も留学を辞退させることもある。 ２）自分の体調や留学に対する親の同意を必ず確認し申込むこと。また、留学先では、自己責任の部分がかなり高くなることを理解しておくこと。

講義科目名称：インターンシップⅠ　　授業コード：90153

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
3rdQ	１年	２単位	選択
担当教員			
牟田　美信			

講義概要	将来、ホテル・航空・旅行業界などのホスピタリティビジネス（サービス業）に従事しようと考えている者が、実際のサービスの在り方を学び、働くことの本質を体験から学ぶ。 　「ギャップイヤー事前指導」でインターンシップ参加に必要な知識を得た後、インターンシップに参加することになる。 　インターンシップ期間中は、担当教員が各施設を訪問し、現場担当者との意見交換を実施し、インターンシップ状況を確認する。参加者は毎回の出勤日の日誌をネット上で記入する。 　インターンシップ終了後、「ギャップイヤー事後指導」において、職業体験の振り返りをおこなう。 　同一の職場での継続、又は異なる職場でも構わないが、90時間以上の就業体験をもって評価を行う。
授業計画	インターンシップ先で就業体験をする。
授業形態	実習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	本科目をインターンシップⅠ（基礎）と位置づけ、５つの指標を到達目標として設定する。 ①【自己変革】就業体験をする中で長所・短所、思考回路等、自分の性格や特性を深く知ることができる。 ②【主体性】与えられた役割に積極的に取りかかることができる。 ③【規律性・忍耐力】インターンシップ先の規律や自分に与えられた役割のルールを理解し、自ら立てた目標を再確認し、守ることができる。 ④【ストレスコントロール力】自分が負担・ストレスに思うことを認識することができる。 ⑤【良い行いの習慣化】自分に与えられた役割全体を理解することができる。 インターンシップ期間中及び終了後の提出物で評価する。 インターンシップ日誌（80%）、職場担当者の評価（20%）
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	授業中に指示をする。
履修条件	「ギャップイヤー事前指導」の単位を修得し、「ギャップイヤー事後指導」を履修すること。
履修上の注意	インターンシップに参加するという明確な意識を持ち、日頃の学習態度、服装等に注意を払うこと。 上記が守れない場合や学習態度等、インターンシップに不適切であると判断した場合は、参加を辞退してもらう。
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00）　＊その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可
備考・メッセージ	インターンシップに参加することで、自分の適性を知ることができ、働くことの自信に繋がります。 積極的に参加することを勧めます。

講義科目名称：インターンシップⅡ　　授業コード：90154

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
3rdQ	１年	２単位	選択
担当教員			
牟田　美信			

講義概要	将来、ホテル・航空・旅行業界などのホスピタリティビジネス（サービス業）に従事しようと考えている者が、実際のサービスの在り方を学び、働くことの本質を体験から学ぶ。 　「ギャップイヤー事前指導」でインターンシップ参加に必要な知識を得た後、インターンシップに参加することになる。 　インターンシップ期間中は、担当教員が各施設を訪問し、現場担当者との意見交換を実施し、インターンシップ状況を確認する。参加者は毎回の出勤日の日誌をネット上で記入する。 　インターンシップ終了後、「ギャップイヤー事後指導」において、職業体験の振り返りをおこなう。 　同一の職場での継続、又は異なる職場でも構わないが、90時間以上の就業体験をもって評価を行う。
授業計画	インターンシップ先で就業体験をする。
授業形態	実習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	本科目をインターンシップⅡ（定着）と位置づけ、５つの指標を到達目標として設定する。 ①【自己変革】短所・弱点・苦手部分等の改善に努めることができる。 ②【主体性】与えられた役割の意義を確認しながら、誠意をもって役割を果たすことができる。 ③【規律性・忍耐力】自分に与えられた役割のルールを理解した上で、役割を着実に全うできる。 ④【ストレスコントロール力】与えられた役割の意義を確認する中で、自分が負担・ストレスに思う根源を考えることができる。 ⑤【良い行いの習慣化】自分に与えられた役割を着実に行うことができる。 インターンシップ期間中及び終了後の提出物で評価する。 インターンシップ日誌（80%）、職場担当者の評価（20%）
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	授業中に指示をする。
履修条件	「ギャップイヤー事前指導」の単位を修得し、「ギャップイヤー事後指導」を履修すること。
履修上の注意	インターンシップに参加するという明確な意識を持ち、日頃の学習態度、服装等に注意を払うこと。 上記が守れない場合や学習態度等、インターンシップに不適切であると判断した場合は、参加を辞退してもらう。
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00）　＊その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可
備考・メッセージ	インターンシップに参加することで、自分の適性を知ることができ、働くことの自信に繋がります。 積極的に参加することを勧めます。

講義科目名称：インターンシップⅢ　　授業コード：90155

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
3rdQ	１年	２単位	選択
担当教員			
牟田　美信			

講義概要	将来、ホテル・航空・旅行業界などのホスピタリティビジネス（サービス業）に従事しようと考えている者が、実際のサービスの在り方を学び、働くことの本質を体験から学ぶ。 　「ギャップイヤー事前指導」でインターンシップ参加に必要な知識を得た後、インターンシップに参加することになる。 　インターンシップ期間中は、担当教員が各施設を訪問し、現場担当者との意見交換を実施し、インターンシップ状況を確認する。参加者は毎回の出勤日の日誌をネット上で記入する。 　インターンシップ終了後、「ギャップイヤー事後指導」において、職業体験の振り返りをおこなう。 　同一の職場での継続、又は異なる職場でも構わないが、90時間以上の就業体験をもって評価を行う。
授業計画	インターンシップ先で就業体験をする。
授業形態	実習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	本科目をインターンシップⅢ（応用）と位置づけ、５つの指標を到達目標として設定する。 ①【自己変革】長所・強みを仕事に活かすよう努めることができる。 ②【主体性】社会・実習先の帰属意識を高め、周囲の状況を判断し積極的に自分ができることを探すことができる。 ③【規律性・忍耐力】自分の取り組みの中で新たな課題を発見し、目標を追加・再設定した上で、確実に役割・目標を全うできる。 ④【ストレスコントロール力】自分が負担・ストレスに思うことを解決する具体的な方法を発見することができる。 ⑤【良い行いの習慣化】周囲の社員の行動を見つめなおし、自分の役割を洗練させることができる。 インターンシップ期間中及び終了後の提出物で評価する。 インターンシップ日誌（80%）、職場担当者の評価（20%）
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	授業中に指示をする。
履修条件	「ギャップイヤー事前指導」の単位を修得し、「ギャップイヤー事後指導」を履修すること。
履修上の注意	インターンシップに参加するという明確な意識を持ち、日頃の学習態度、服装等に注意を払うこと。 上記が守れない場合や学習態度等、インターンシップに不適切であると判断した場合は、参加を辞退してもらう。
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00）　＊その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可
備考・メッセージ	インターンシップに参加することで、自分の適性を知ることができ、働くことの自信に繋がります。 積極的に参加することを勧めます。

講義科目名称：インターンシップⅣ　　授業コード：90156

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ	２年	２単位	選択
担当教員			
牟田　美信			

講義概要	将来、ホテル・航空・旅行業界などのホスピタリティビジネス（サービス業）に従事しようと考えている者が、実際のサービスの在り方を学び、働くことの本質を体験から学ぶ。 　「ギャップイヤー事前指導」でインターンシップ参加に必要な知識を得た後、インターンシップに参加することになる。 　インターンシップ期間中は、担当教員が各施設を訪問し、現場担当者との意見交換を実施し、インターンシップ状況を確認する。参加者は毎回の出勤日の日誌をネット上で記入する。 　インターンシップ終了後、「ギャップイヤー事後指導」において、職業体験の振り返りをおこなう。 　同一の職場での継続、又は異なる職場でも構わないが、90時間以上の就業体験をもって評価を行う。
授業計画	インターンシップ先で就業体験をする。
授業形態	実習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	本科目をインターンシップⅢ（応用）と位置づけ、５つの指標を到達目標として設定する。 ①【自己変革】他人の言動を観察し、良い点は取り入れ、自分をより成長させることができる。 ②【主体性】社会・実習先の帰属意識をより高め、周囲の状況から課題を発見し、積極的に自分ができることを行うことができる。 ③【規律性・忍耐力】新しい職務に取り組む中でも、様々な課題・問題を熟考し、確実に役割・目標を全うできる。 ④【ストレスコントロール力】新しい職務に取り組む中でも、ストレスをコントロールしながら自分の役割を着実に果たすことができる。 ⑤【良い行いの習慣化】良いと思われる言動を自ら進んで取り入れ、習慣化させることができる。 インターンシップ期間中及び終了後の提出物で評価する。 インターンシップ日誌（80%）、職場担当者の評価（20%）
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	授業中に指示をする。
履修条件	「ギャップイヤー事前指導」の単位を修得し、「ギャップイヤー事後指導」を履修すること。
履修上の注意	インターンシップに参加するという明確な意識を持ち、日頃の学習態度、服装等に注意を払うこと。 上記が守れない場合や学習態度等、インターンシップに不適切であると判断した場合は、参加を辞退してもらう。
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00）　＊その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可
備考・メッセージ	インターンシップに参加することで、自分の適性を知ることができ、働くことの自信に繋がります。 積極的に参加することを勧めます。

講義科目名称：実践Awesome Sasebo Ⅰサービスラーニング　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
3rdQ	１年	２単位	選択
担当教員			
国際コミュニケーション学科教員			

講義概要	この授業では、次の３項目を意識しながら様々な活動に参加してもらう。 １）教室で獲得した知識を社会的活動の中で実際に活用することで、現実社会で実際に活用できる知識・技能へと変化させること。 ２）社会的活動を通して、将来の職業について考える機会を持つこと。 ３）自らの社会的役割を意識し、市民として必要な資質や能力を高めること。 学びの実践例：授業で身につけた語学力を活用し、地域で必要とされる情報発信のために翻訳や通訳をする。 地域の子供達に英語を教える。高齢化で年々担い手がすくなるなる地域のお祭りを支援する。 地域の例：相浦地区、高島地区、黒島地区（公民館活動、地域の歴史的お祭り支援、等） 短大での活動例：学園祭の企画運営　等 その他例：「ねんりんピック長崎2016」活動支援、長崎新聞「JAM」発行活動　災害支援活動、米軍基地ボランティア等
授業計画	各自、参加する活動の準備（打ち合わせ含む）・計画・実践を行う。 原則、火曜日と金曜日を授業日とする。
授業形態	実習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	本科目をサービスラーニングⅠ（基礎）と位置づけ、５つの指標を到達目標として設定する。 ①【コミュニケーション力】活動の打ち合わせ時等に他人の話を丁寧に聞き、意図をしっかりと理解することができる。 ②【主体性】与えられた役割に積極的に取りかかることができる。 ③【規律性・忍耐力】グループ内や共に活動する人との規律や、自分に与えられた役割のルールを理解し、自ら立てた目標を再確認し、守ることができる。 ④【ストレスコントロール力】自分が負担・ストレスに思うことを認識することができる。 ⑤【課題発見力】活動全体を知ることができる。 活動報告書、活動関係者の評価をもって判定する。 尚、60時間以上の活動をもって評価をする。 活動報告書（60%）、活動関係者評価（40%）
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	授業中に指示をする。
履修条件	「ギャップイヤー事前指導」を履修し、「ギャップイヤー事後指導」を履修すること。
履修上の注意	積極的に地域の方々とコミュニケーションをとるようにすること。 インターンシップ希望者も、インターンシップ実施に影響がなく、並行して参加できる地域活動等があれば参加が可能な場合もある。担当の教員に確認すること。
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00）　＊その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可
備考・メッセージ	将来、社会で生き生きと活躍するために、地域での活動はとても貴重な経験となります。 積極的に参加することを勧めます。

講義科目名称：実践Awesome SaseboⅡサービスラーニング　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
3rdQ	１年	２単位	選択
担当教員			
国際コミュニケーション学科教員			

講義概要	この授業では、次の３項目を意識しながら様々な活動に参加してもらう。 １）教室で獲得した知識を社会的活動の中で実際に活用することで、現実社会で実際に活用できる知識・技能へと変化させること。 ２）社会的活動を通して、将来の職業について考える機会を持つこと。 ３）自らの社会的役割を意識し、市民として必要な資質や能力を高めること。 学びの実践例：授業で身につけた語学力を活用し、地域で必要とされる情報発信のために翻訳や通訳をする。 地域の子供達に英語を教える。高齢化で年々担い手がすくなるなる地域のお祭りを支援する。 地域の例：相浦地区、高島地区、黒島地区（公民館活動、地域の歴史的お祭り支援、等） 短大での活動例：学園祭の企画運営　等 その他例：「ねんりんピック長崎2016」活動支援、長崎新聞「JAM」発行活動　災害支援活動、米軍基地ボランティア等
授業計画	各自、参加する活動の準備（打ち合わせ含む）・計画・実践を行う。 原則、火曜日と金曜日を授業日とする。
授業形態	実習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	本科目をサービスラーニングⅡ（定着）と位置づけ、５つの指標を到達目標として設定する。 ①【コミュニケーション力】意見や話を聞くのが困難である場合でも（例：時間に制限がある）、態度に出さず、丁寧に話を聞き、意図をしっかりと受け止めることができる。 ②【主体性】与えられた役割の意義を確認しながら、誠意をもって役割を果たすことができる。 ③【規律性・忍耐力】自分に与えられた役割のルールを理解した上で、役割を着実に全うできる。 ④【ストレスコントロール力】与えられた役割の意義を確認する中で、自分が負担・ストレスに思う根源を考えることができる。 ⑤【課題発見力】活動全体を知り、一つ一つの役割の意義を確認することができる。 活動報告書、活動関係者の評価をもって判定する。 尚、60時間以上の活動をもって評価する。 活動報告書（60%）、活動関係者評価（40%）
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	授業中に指示をする。
履修条件	「ギャップイヤー事前指導」を履修し、「ギャップイヤー事後指導」を履修すること。
履修上の注意	積極的に地域の方々とコミュニケーションをとるようにすること。 インターンシップ希望者も、インターンシップ実施に影響がなく、並行して参加できる地域活動等があれば参加が可能な場合もある。担当の教員に確認すること。
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00）　＊その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可
備考・メッセージ	将来、社会で生き生きと活躍するために、地域での活動はとても貴重な経験となります。 積極的に参加することを勧めます。

講義科目名称：ギャップイヤー事後指導　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
4thQ	１年	２単位	必修
担当教員			
国際コミュニケーション学科教員			

講義概要	1st Quarter、2nd Quarterに計画準備を行い、3rd Quarterで体験した、留学・インターンシップ・サービスラーニングに関して、個人、グループでまとめ、プレゼンテーションを作成し、発表を行う。 （プレゼンに盛り込む主な内容：体験の言語化） 留学・インターンシップ・サービスラーニング各活動において、 ①「何のために参加したのか」 ②「成果・学んだこと」（ネガティブな点、ポジティブな点を詳細に書き出す。友達同士でも質問し合う） ③「ギャップタームの経験をどのように将来生かして行くか」
授業計画	1　ギャップイヤー振り返り ・「インターンシップ・留学・サービスラーニング振り返りシート」、「振り返りアンケート」（ギャップイヤー事後、社会人基礎力、目標達成度）等の記入 予習＆復習：ギャップタームでの経験を日誌を見ながら分析する。 2　ギャップイヤー振り返り ・「インターンシップ・留学・サービスラーニング振り返りシート」、「振り返りアンケート」（ギャップイヤー事後、社会人基礎力、目標達成度）等の記入 予習＆復習：ギャップタームでの経験を日誌を見ながら分析する。 3　ギャップイヤー振り返り ・「振り返りアンケート」（ギャップイヤー事後、社会人基礎力、目標達成度）等の記入 ・ギャップイヤーでの経験を言語化する１（プレゼン準備・ポスター等の作成） 予習＆復習：ギャップタームでの経験を日誌を見ながら分析する。 4　ギャップイヤー振り返り ・「振り返りアンケート」（ギャップイヤー事後、社会人基礎力、目標達成度）等の記入 ・ギャップイヤーでの経験を言語化する１（プレゼン準備・ポスター等の作成） 予習＆復習：ギャップタームでの経験を日誌を見ながら分析する。 5　体験の言語化 ・ギャップタームでの経験を言語化する（プレゼン準備・ポスター等の作成） 予習＆復習：第３者に自分の経験を正確に伝える準備をする。 6　就職セミナー ・「就職における適性、志望動機、エントリーシートについて」（講師：フレッシュワーク佐世保） 予習＆復習：就職活動の基本を習得する。 7　就職セミナー ・リクルートスーツの選び方・着こなし指導（講師：紳士服の青山） 予習＆復習：就職活動の基本を習得する。 8　体験の言語化 ・ギャップタームでの経験を言語化する（PPTプレゼン準備→ポスタープレゼンの作成） 予習＆復習：第３者に自分の経験を正確に伝える準備をする。 9　体験の言語化 ・ギャップタームでの経験を言語化する（PPTプレゼン準備→ポスタープレゼンの作成） 予習＆復習：第３者に自分の経験を正確に伝える準備をする。 10　体験の言語化 ・ギャップタームでの経験を言語化する（PPTプレゼン準備→ポスタープレゼンの作成） 予習＆復習：第３者に自分の経験を正確に伝える準備をする。 11　体験の言語化 ・プレゼンテーション実践リハーサル 予習＆復習：発表の態度や声の出し方も意識した練習を行う。 12　体験の言語化 ・プレゼンテーション実践リハーサル 予習＆復習：発表の態度や声の出し方も意識した練習を行う。 13　ポスタープレゼン ・プレゼンテーション実践リハーサル

	予習＆復習：発表の態度や声の出し方も意識した練習を行う。 14　ポスタープレゼン ・PPTプレゼンの実施 予習＆復習：発表の最終調整を行う。 15　振り返りスピーチ＆評価 ・PPTプレゼンの実施 予習＆復習：発表の最終調整を行う。 16　振り返りスピーチ＆評価 ・評価＋アンケート（クォーター制・学外学修体験について） 予習＆復習：特になし
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①ギャップイヤーの活動において、自らで立てた目標を達成することができる。 ②ギャップイヤーの活動において、さらに新しい知識情報を得ることができる。 ③ギャップイヤーの活動において、起こったリスクに関しても正しく分析・理解し、解決することができる。 ④ギャップイヤーの活動において、活動計画に沿っ問題なく実施することができる。 ⑤ギャップイヤーの活動において、評価システムに沿って評価することができる。 授業中に行う「ポスター等の資料作成（50%）」、「プレゼンテーション（50%）」で総合的に評価を行う。 ポスター等の資料作成（50%）、プレゼンテーション（50%）
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	特になし
履修条件	
履修上の注意	経験してことを具体的に文章化やプレゼンテーションを行うことで、確実なものとなるので、真剣に取り組むこと。
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00）　＊その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可
備考・メッセージ	体験したことを可能な限り言語化できるように日頃からメモをとるようにしてください。

講義科目名称：卒業研究　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
8thQ	２年	２単位	必修
担当教員			
国際コミュニケーション学科教員			

講義概要	①２年間の学びの総まとめとなる研究を行う。 ②「自分が知りたいこと」、「他の人にも伝えたいこと」「疑問に思うこと」を文献調査、アンケート調査などを行いながら卒業研究としてまとめ発表をおこなう。 ③研究テーマは担当教員と協議し決定する。
授業計画	１　卒業研究レポートの作成の概要に関して ①この講義が目指すもの ②卒業研究を受講する上での注意事項について ③昨年の先輩たちの卒業研究を知る ２　テーマ、及び作成方法の検討 ①各担当教員の指導の下、いくつかテーマの候補を検討する ②各担当教員の指導の下どのような作成方法が良いかについて検討する ３　テーマ、及び作成方法の決定 ①各担当教員の指導の下、テーマを決定する ②各担当教員の指導の下、作成方法を決定する ４　卒業研究作成作業（文献購読を含む） 5　卒業研究作成作業（文献購読を含む） 6　卒業研究作成作業（文献購読を含む） 7　中間報告 8　卒業研究作成作業（文献購読を含む） ９　卒業研究作成作業（文献購読を含む） １０　卒業研究作成作業（文献購読を含む） １１　卒業研究作成作業（文献購読を含む） １２　卒業研究作成作業（文献購読を含む） １３　卒業研究プレゼンテーション、ディフェンス（教員からの口頭質問への回答）及びレポートの提出 １４　卒業研究プレゼンテーション（教員からの口頭質問への回答）及びレポートの提出 １５　卒業研究プレゼンテーション（教員からの口頭質問への回答）及びレポートの提出
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①もの事を客観的、分析的に見ることができるようになる。 ②明確、論理的に文章を書けるようになる。 ③知りたいと思った事象について、新しい発見ができるようになる。 ④自分が調査、研究したことを上手に伝える（プレゼンテーション）ことができるようになる。 ⑤自分が調査、研究したことにたいして、教員からの質問に正確に答えることができるようになる。 卒業研究文書（８０％）、プレゼンテーション（２０％）
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	特に指定しない
履修条件	
履修上の注意	・A4で10ページ以内。 ・スタイル「タイトル、はじめに、。。本文（１、２、）。。、まとめ、文献」

	・インターネットから引用する場合、必ずURLを明記すること。 ・関連の本を最低２冊読み、卒業研究レポートに引用すること。 ・「自分が知りたいこと」、「他の人にも伝えたいこと」「疑問に思うこと」「アンケート調査」など基本的に題材は自由。
オフィスアワー	授業が開講される月曜日と木曜日の放課後は原則としてオフィスアワーとします。ただし、担当教員に必ず確認をしてください。
備考・メッセージ	２年間の学びの集大成となる大切な科目です。 積極的に、教員にコンタクトを取り助言を求めることを期待します。